

72

(岐阜縣農商工報告第四十四號)

畜產要覽

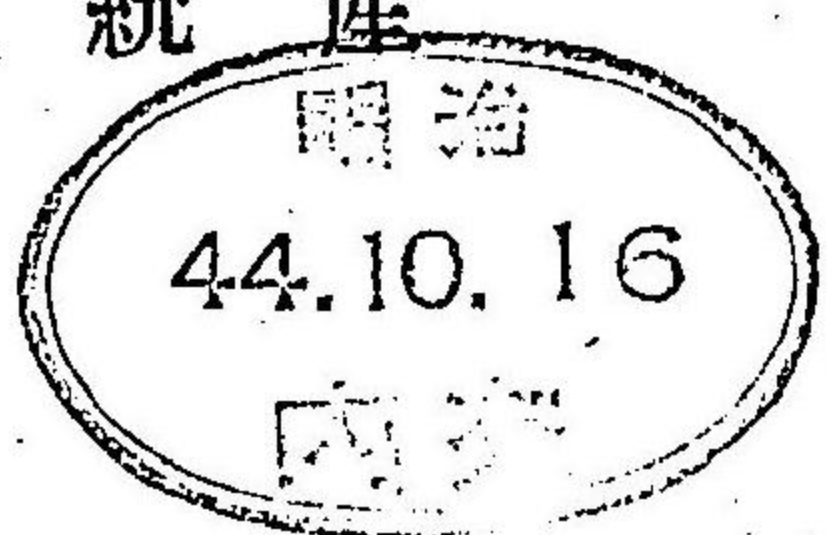
緒言

去ル明治三十六年岐阜縣農商工報告第二十七號トシテ畜産要覽ヲ發刊シ縣下産牛馬組合狀況其他畜産ニ關スル法令統計等ヲ蒐録シタリシカ爾來數星霜ヲ經タルノ間ニ於テ著シキ變化ヲ來シタルモノ多ク恰モ本年第三回岐阜縣畜産共進會並ニ第三回馬匹共進會ノ開催ニ當リ之ヲ補正刊行シ關係者ノ參照ニ資セントス

法令ノ改廢セラレタルモノハ直チニ本文ヲ訂正シ其改訂ニ就テハ煩ヲ避クル爲ニ之ヲ掲記セス

明治四十四年十月

岐阜縣第四課



岐阜縣農商工報告
第四十四號
畜 產 要 覽

目 次

○畜 産 會

- 岐阜縣畜産會分則……………一頁
- 役員及名譽會員……………一
- 明治四十三年度事業報告及決算……………二
- 明治四十四年度豫算……………四
- 明治四十四年度事業豫定……………五

○産牛馬組合

- 産牛馬組合法(三十二年三月)……………五
- 參照重要物産同業組合法(三十二年五月)……………七
- 産牛馬組合法施行規則(農商令九號)……………七
- 參照重要物産同業組合法施行規則(三十二年七月)……………七
- 産牛馬組合ニ加入スヘキ者ノ件ニ付伺並ニ回答(三十二年四月五日)……………九
- 産牛馬組合ノ役員報告ノ件(廿九年十月四日)……………九
- 産牛馬組合ノ定款報告ノ件(廿九年十月九日)……………九
- 産牛馬組合ノ業務狀況報告方ノ件(廿九年五月廿六日)……………一〇
- 産牛馬組合ノ事業報告方達(四十二年六月一日)……………一〇
- 岐阜市稻葉郡産牛組合……………一一

- △定 款……………一一
- △役 員……………一五
- △組合ノ概況……………一五
- 海津郡産牛馬組合……………一六
- △定 款……………一六
- △技術員支給規程……………二一
- △技術員處務規程……………二二
- △藥價手術往診料徴收規定……………二三
- △種牡牛補助規則……………二四
- △役員職員……………二四
- △組合施設事業……………二五
- △明治四十三年度決算……………二五
- △明治四十三年度業務狀況……………二六
- 養老郡産牛組合……………二八
- △定 款……………二八
- △役 員……………二九
- △組合施設事業……………三二
- △明治四十三年度決算……………三二
- △明治四十三年度業務報告……………三三
- 安八郡産牛組合……………三四
- △定 款……………三四

- 屠場ノ構造設備標準(明治三十九年六月二十七日).....二三二
- 屠場法施行細則(三十九年七月十八日).....二三二
- 屠畜検査技手執務規程(明治卅九年九月二十九日).....二三五
- 食肉營業取締規則(明治卅九年六月三十一日).....二三六
- 獸畜死屍取扱規則(明治卅七年六月).....二三八
- 病屍禽獸ニ關スル件(明治卅六年三月).....二三八
- 牛家養養ニ關スル件(明治卅七年五月).....二三九
- 屠場(明治卅四年九月一日現在).....二三九

○獸疫

- 獸疫豫防法(法律第三十三年).....二二九
- 獸疫豫防法施行規則(三十年一月).....二四二
- 獸疫豫防心得(農商務省告示第四號).....二四四
- 獸疫及畜牛結核豫防費用負擔區分(三十四年六月勅令第三百三十九號).....二五七
- 畜牛結核豫防法(三十四年四月法律第三十五號).....二五八
- 輸入畜牛結核検査規則(農商務省令第六號).....二六〇
- 畜牛結核病豫防法施行規則(三十四年九月).....二六〇
- 畜牛結核病豫防心得(三十四年八月農商務省告示第六十九號).....二六七
- 畜牛結核病豫防法ニ依ル検査員執務規程(三十四年八月號第九).....二六九
- 畜牛結核病豫防法施行手續(三十四年九月七日縣訓令第五十號).....二七一
- 畜牛結核病検査員職務章程(三十四年四月十九日).....二七二
- 畜主ヨリ頭數ヲ届出タルトキ便宜ヲ與フ件.....二七二
- 病畜牛移轉ニ關スル件(三十四年三月七日通達衛第一四四七號).....二七三

- 「ツベルクリン」注射心得.....二七三
- 獸疫検査規則(三十九年四月農務省令第十一號).....二七四
- 獸疫發生シタルトキ週報ノ件(三十八年三月廿八日指示第六號).....二七八
- 臨時獸醫手當ノ件(三十年三月農務省令第四號).....二七八
- 皮疽病馬撲殺ニ關スル件(三十八年五月二十四日本縣訓令第一七號).....二七八
- 獸疫豫防ニ關スル消毒藥使用ノ件.....二七九
- 牛疫血清注射心得.....二七九
- 豚羅斯血清注射心得.....二八一
- 腺疫血清注射心得.....二八二
- 炭疽血清注射心得.....二八二
- 炭疽豫防接種液注射心得.....二八三
- 炭疽虎列刺豫防血清注射心得.....二八四
- マイン注射心得.....二八五
- 馬匹胸疫調查關スル件(三十九年十一月七日通達衛第七八三六號).....二八七
- 馬疫血清豫防心得(內閣訓令一號).....二八七

○畜産獎勵

- 產牛獎勵規程(四十一年五月七日).....二九二
- 家禽獎勵ノ件(三十九年四月).....二九三
- 牛馬ノ使役調教ノ件(三十四年七月三十一日).....二九四
- 牧草獎勵ノ件(農務局長三十五年八月十六日).....二九四
- 養豚獎勵ノ件(三十四年十月十八日).....二九四
- 蕃殖用牝牛馬購入費補助ノ件(四十三年六月十七日).....二九四
- 牛馬羊豚改良唱呼ノ件(四十七〇一四號通達).....二九五

○畜産統計

- 馬匹種類ノ稱呼.....二九五
- 牧場.....二九九
- 馬ノ頭數.....三〇〇
- 產馬及斃死馬.....三〇一
- 屠馬.....三〇二
- 馬用役別.....三〇三
- 牛ノ頭數.....三〇四
- 產牛及斃死牛.....三〇五
- 屠牛.....三〇六
- 牛用役別.....三〇七

- 牛乳.....三〇八
- 豚ノ頭數.....三〇八
- 產豚及斃豚.....三〇九
- 屠豚.....三一〇
- 家兔.....三一〇
- 山羊.....三一〇
- 家禽(雞).....三一〇
- 家禽(鶩).....三一〇
- 家禽(家鴨).....三一〇
- 家禽(鴛).....三一〇
- 家禽市場.....三一〇
- 畜牛結核病検査成績.....三一〇

岐阜縣農工商
報告第四十四號
畜產要覽

○畜產會

○岐阜縣畜產會々則

第一條 本會ハ岐阜縣畜產會ト稱シ岐阜縣下產牛馬組合ヲ以テ組織ス

第二條 本會ハ畜產ノ改善發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第三條 本會ヲ組織スル組合ヲ左ノ三等ニ區別ス

一等 大野郡產牛馬組合 郡上郡產牛馬組合

益田郡產牛馬組合 吉城郡產牛馬組合

惠那郡產牛馬組合

二等 加茂郡產牛馬組合 本巢郡產牛馬組合

岐阜市稻葉郡產牛組合 武儀郡產牛組合

揖斐郡產牛組合 養老郡產牛組合

安八郡產牛組合 海津郡產牛馬組合

山縣郡產牛組合

第四條 本會々議ニ列セシムル爲會議ノ都度各組合ヨリ代表者一名ヲ出席セシムルモノトス

前項ノ出席者ハ一等組合ハ二個半二等組合ハ一個半三等組合ハ一個ノ議決權ヲ有ス但無記名投票ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條 本會總會ノ議決ニ依リ名譽會員ヲ推薦スルコトヲ得名譽會員ハ議決權ヲ有セス

畜產會

第六條 本會總會ニ於テ左ノ役員ヲ選舉シ任期ヲ二ケ年トシ本會ノ事務ヲ處理ス

會長 一名 副會長 一名
幹事 五名

第七條 本會費用ノ分賦金ハ一等組合二個半、二等組合一個半、三等組合一個ノ比例ヲ以テ負擔ス但臨時ニ要スル費用ニ付テハ本會々議ノ議決ニ依リ特別ノ課率ヲ設クルコトヲ得

第八條 產牛馬組合ノ新設ニ依リ本會ニ加入スルトキハ會長ニ於テ其ノ等級ヲ定メ第三條中ニ追加シ各組合ニ通知スルモノトス

第九條 本會ニ基本金ヲ積立ツルモノトス其ノ方法ハ本會々議ノ議決ニ依リ之ヲ定ム
組合解散其他ノ事故ニ依リ本會ヲ脫退スルコトアルモ基本金ノ分割、又ハ既納負擔金ノ割戻ヲ請求スルヲ得サルモノトス

○畜產會役員及名譽會員

役員	會長	石橋和
	副會長	大畑市太郎
	幹事	渡邊治右衛門
	同	和田足也
	同	大野勇

名譽會員

- 弓削藤四郎
- 直井信平
- 薄定吉
- 川路利恭
- 笠井信一
- 石橋和
- 高木忠雄
- 鈴木邦義
- 渡邊治右衛門
- 柿元一兵
- 山内權次郎
- 横山基吉
- 和田足也
- 安間亥三郎
- 森勝壽
- 篠有邦
- 大野勇
- 吉田金作
- 三宅貞太郎
- 岸秀次
- 服部元彦
- 攝待初郎
- 矢崎亥八郎
- 酒本勇四郎
- 桑原貫之助

- 山田與十郎
- 後藤元朔
- 林茂
- 堀内政一

明治四十三年度事業報告

- 第十一回事業年度自明治四十三年四月十一日事業概要左ノ如シ
- 一 四十三年七月高木前會長退任ニ付感謝狀ト紀念品ヲ贈リ
 - 二 本年度ヨリ各産牛馬組合ノ主催ニ係ル品評會ノ際優等産牛馬ニ對シ本會ハ賞牌ヲ授ケ之ヲ表彰スルコト、シタルニ其成績良好ナリ授與シタル數左ノ如シ
- | | | | |
|---------|---|---------|---|
| 大野 | 三 | 吉城 | 二 |
| 益田 | 二 | 郡上 | 三 |
| 惠那(二ヶ所) | 四 | 加茂(二ヶ所) | 二 |
| 武儀 | 二 | 安海 | 一 |
| 養老(二ヶ所) | 二 | 八津 | 一 |
- 計 二十一頭
- 三 牧草栽培普及ノ目的ヲ以テ前年度ヨリ牧草種子ヲ配付スルコト、シタルカ本年度ニ於テ各組合ノ希望ニ依リ配付シタルモノ左ノ如シ
- | | | | | | |
|----|------|-----|-----|-----|-----|
| 組合 | チモセー | オーチ | レッド | レッド | 計 |
| 大野 | 三〇 | 五〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇〇 |
| 惠那 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 三〇 |
| 海津 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 一〇 | 三〇 |
| 本巢 | 二〇 | 二〇 | 一〇 | 一〇 | 五〇 |

郡上 一〇〇 二〇〇 一〇〇 四〇〇
 吉城 二〇〇 二〇〇 二〇〇 二〇〇
 加茂 五五〇 五五〇 五五〇 一、五〇〇
 益田 一〇〇 一〇〇 一〇〇 三〇〇
 養老 一〇〇 一〇〇 一〇〇 三〇〇
 計 一〇、〇〇〇 一〇、〇〇〇 一〇、〇〇〇 三九、〇〇〇

四 四十三年八月十二日通常總會ヲ開キ役員ノ選舉決算並事業報告第三回畜産共進會ノ件幼駒早離乳禁止命令發布建議等ヲ決議セリ

五 同年十月本會基本金ノ内ヲ以テ濃飛農工銀行ノ募集ニ係ル第一回農工債券額而八百圓(百圓ニ付價格百圓拾五錢ニテ)ヲ買入レタリ

六 縣ノ補助ヲ受クヘキ改良蕃殖用牝馬ハ四十三年九月及十四年三月ノ兩回ニ本會ヨリ委員ヲ派シ購入セリ其組合別頭數左ノ如シ

組合名	第一回	第二回	計
稻葉	七	一	八
揖斐	三	一	四
武儀	二〇	一	二一
益田	四	二	六
大野	一七	三	二〇
安八	一	二	三
惠那	一	二	三
吉城	四	一	五
本巢	六六	三二	九七

七 縣ノ補助牝牛亦本會ヨリ委員ヲ派シ四十三年十二月及十四年三月ノ二回購入ヲ斡旋セリ其組合別頭數左ノ如シ

組合名	第一回	第二回	計
武儀	四	一	五
大野	一	一	二
揖斐	一	一	二
計	六	三	九

八 四十三年十月一日ヨリ十日マテ廣島ニ於テ中國六縣聯合畜産共進會開催ニ付視察員トシテ幹事弓削藤四郎ヲ又同年十一月一日ヨリ十一日マテ前橋ニ於テ一府十五縣同共進會開催ニ付視察ノ爲メ副會長大畑市太郎ヲ派遣セリ

九 四十四年一月十二日通常會ヲ開キ明治四十四年度豫算産馬大會へ委員出席及提出問題、家畜市場場所期日共進會規則中改正等ノ件ヲ決議セリ

十 四十四年一月二十八日東京ニ於テ全國産馬大會開催ニ付本會委員トシテ副會長大畑市太郎ヲ派遣シタリ尙同會へ本會ヨリ提出シタル放牧地ノ件ハ同會ニ於テ可決セリ

明治四十三年度決算報告

科	歳入	決算額	豫算額	事由
第一款	分賦金	二七、五〇〇	三〇、七五〇	
一	一等組合	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇	
二	二等組合	六七、五〇〇	六七、五〇〇	
三	三等組合	六〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	破早稲葉安八ニ組合未納ノ爲減額セリ
第二款	繰越金	五三、八〇八	四三、〇〇〇	前年度ノ殘金ヲ他ニ支出セス全部繰越タルヲ以テ増加セリ

第三款 雜收入		六四、〇六七	七五、〇〇〇
一	預ケ金利息	二〇、九六〇	五、〇〇〇
二	種畜購入納付金及手数料	四三、一〇七	七五、〇〇〇
計		一四三、三七五	一四七、五〇〇

預ケ金(主トシテ繰越金)多カリシニ依リ増加セリ
取扱頭數少カリシニ依リ減少セリ

科 目		決算額	豫算額
第一款	事務所費	九〇、七五五	九五、〇〇〇
一	書記手當	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二	通信運搬費	三三、三〇〇	二五、〇〇〇
三	消耗品費	六、三六五	一〇、〇〇〇
四	雜費	四一、七五〇	三〇、〇〇〇
第二款	會議費	一九、一〇〇	二八、〇〇〇
一	旅費	一〇、九三〇	一五、〇〇〇
二	雜給	六〇〇	三、〇〇〇
三	雜費	八、五七〇	二五、〇〇〇
第三款	事業費	五七、六五〇	七二、〇〇〇
一	委員手當	四九、九四〇	六〇、〇〇〇
二	牧草種子配付費	一八、三〇〇	一〇、〇〇〇
三	優等産牛馬表 彰 費	九、二五〇	一〇、〇〇〇
第四款	豫備費	—	一四、五〇〇
計		八五八、八五二	一、〇七五、〇〇〇

總會ノ節産馬功勞者表彰式ヲ行ヒタル爲増加セリ
牧草種子配付其他通信ヲ要スルコトノ多カリシニ依リ増加セリ
前會長ニ紀念品ヲ贈リタル爲メ増加セリ

收支差引 殘額五百六拾參圓四拾九錢 翌年度繰越

○明治四十四年度豫算

一	牧草種子配付費	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
二	優等産牛馬表 彰 費	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
三	共進會費負擔金	五〇〇、〇〇〇	—
四	豫備費	二五、〇〇〇	一四、五〇〇
計		一、七五〇、〇〇〇	一、一七五、〇〇〇

一、分賦金ノ納入期日ハ明治四十四年六月三十日限リトス
二、支出ノ費目ハ會長ニ於テ交互流用支出スルコトヲ得

○明治四十四年度事業豫定

- 一、前年ニ引續キ縣ノ補助ヲ受クル種畜購入ノ斡旋ヲ爲スコト其ノ條件左ノ如シ
本會ニ於テ購入斡旋セントスル種畜ノ條件
- 一、購入スヘキ種畜左ノ如シ
種 類 二歳以下ノモノ 三歳以上ノモノ
牝 馬 六拾圓以上 百圓以上
洋種牝牛 百五拾圓以上 貳百圓以上
雜種牝牛 八拾圓以上 百圓以上
和種牝牛 六拾圓以上 七拾圓以上
- 二、購入シタル種畜ハ組合ニ於テ三ヶ年以上蕃殖ノ用ニ供セシムルコトヲ保證スルコト
- 三、補助ノ出願ハ組合ヨリ爲スコト
- 四、種牝牛ノ購入ハ同種ノモノ六頭ニ滿タサルカ又ハ獸疫流行ノトキハ斡旋セサルコトアルヘシ
- 五、各組合カ斡旋スヘキ頭數ハ別ニ之ヲ定メス隨意ニ成ルヘク多數ノ申込ヲ取願メ本會ヘ報告スルコト
若シ其頭數カ非常ニ多クシテ補助ヲ受クヘキ金額ニ影響スルノ虞アルトキハ會長ニ於テ臨機ノ取扱ヲ爲スコト

産牛馬組合

科 目		本年度 豫算額	前年度 豫算額	附 記
第一款	分賦金	四三、〇〇〇	三三、七五〇	五組合一組合五拾圓
一	一等組合	二五、〇〇〇	一五、〇〇〇	二組合一組合參拾圓
二	二等組合	六、〇〇〇	六、七五〇	七組合一組合貳拾圓
三	三等組合	一四、〇〇〇	九、〇〇〇	
第二款	繰越金	五〇、〇〇〇	四五、〇〇〇	
第三款	雜收入	七五、〇〇〇	七五、〇〇〇	
一	預ケ金利息	五、〇〇〇	五、〇〇〇	
二	種畜購入手数料	七〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇	一頭五圓百五十頭分
計		一、七五〇、〇〇〇	一、一七五、〇〇〇	

科 目		本年度 豫算額	前年度 豫算額	附 記
第一款	事務所費	一三、〇〇〇	九、〇〇〇	
一	書記手當	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	
二	通信運搬費	三、〇〇〇	二、〇〇〇	郵便、電信、運搬費
三	消耗品費	三〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	印刷費、用紙其他
四	雜費	五、〇〇〇	三、〇〇〇	旅費、接待費、小使手當諸雜費
第二款	會議費	三三、〇〇〇	二八、〇〇〇	
一	旅費	三〇、〇〇〇	二五、〇〇〇	各組合代表者出席旅費
二	雜給	五、〇〇〇	三、〇〇〇	書記小使等
第三款	事業費	一、三三〇、〇〇〇	七二〇、〇〇〇	
一	委員手當	六〇〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇	

- 六、購入申込ノ種類、頭數、年齡、体尺豫定價格希望者住所氏名等ヲ記シ五
月末日迄ニ組合ヨリ本會ヘ申立ノコト
- 七、購入ヲ申込タル組合ハ本會ヨリ通知スル期日マテニ豫定價格以上ノ現金
ト外ニ率付費及手数料トシテ一頭ニ付貳拾五圓ツ、本會ヘ豫納スルヲ
八、購入委員ノ選定其他必要ノ事項ハ會長ニ於テ定ム
- 二、牧草種子ノ配付ハ前年ニ續繼シ本年ニ於テモ之ヲ施行ス
- 三、郡市産牛馬組合ノ主催ニ係ル産牛馬品評會ノ優等牛馬ニ
對シテ之ヲ旌表スヘキ「メダル」(頸飾用)ヲ贈リ褒賞授
與式ノ際之ヲ授與ス
- 四、岐阜縣農會ト聯合シ第三回岐阜縣畜産共進會及第三回岐
阜縣産馬共進會ヲ開催ス

○産牛馬組合

○産牛馬組合法 (三十二年二月二十四日 法律第二十號)

- 第一條 牛又ハ馬ノ生産ニ從事スル者ハ本法ニ依リ組合ヲ設
置スルコトヲ得
- 第二條 組合ハ牛馬ノ改良及組合員ノ共同ノ利益ヲ圖ルヲ以
テ目的トス
- 第三條 組合ハ郡市以上ノ區域ニ依リ其ノ地區ヲ定ムヘシ但
シ特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第四條 組合ヲ設置セムトスルトキハ其ノ地區内ニ於テ組合
員タルヘキ者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ
定款ヲ議定シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ牛ノ生産ニ從
事スル者及馬ノ生産ニ從事スル者相合シテ組合ヲ設置セム

トスルトキハ各別ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス
第三條 但書ノ場合ニ於テハ地方長官ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ認可ヲ與フヘシ

第五條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ地方又ハ地區ヲ指定シテ組合ノ設置ヲ命スルコトヲ得

第六條 監督官廳ハ必要ト認ムルトキハ組合ヲシテ種牛馬ノ供給若ハ牛馬ノ系統登録ヲ爲サシメ又ハ糶場ヲ設ケシムルコトヲ得

第七條 本法ニ規定ナキモノニ付テハ重要輸出品同業組合法第四條但書ヲ除クノ外之ヲ本法ニ準用ス但シ同法第六條乃至第八條、第十一條及第十六條農商務大臣ノ職務ハ地方長官之ヲ行ヒ第九條第十三條及第十五條農商務大臣ノ職務ハ地方長官ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

附則

第八條 本法ハ明治三十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第九條 重要輸出品同業組合法ノ規定ニ依リ設置シタル産牛馬組合ハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ依リ設置シタルモノト看做ス

第十條 本法施行以前ニ地方長官ノ認可ヲ經テ設置シタル産牛馬組合ニシテ本法ノ規定ニ牴觸セサルモノハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ依リ設置シタルモノト看做ス

參照

重要物産同業組合法(三十三年三月)

第一條 重要物産ノ生産、製造又ハ販賣ニ關スル營業ヲ爲ス者ハ同業者又ハ密接ノ關係ヲ有スル營業者相集リテ本法ニ依リ同業組合ヲ設置スルコトヲ得

重要物産及密接ノ關係ヲ有スル營業ノ種類ハ農商務大臣ノ認定ニ依リ
第二條 同業組合ハ組合員協同一致シテ營業上ノ弊害ヲ矯正シ其ノ利益ヲ増進スルヲ以テ目的ト爲ス

第三條 同業組合ヲ設置セムトスルトキハ豫メ地區ヲ定メ其ノ地區内ノ同業者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ二種以上ノ營業者相集リ組合ヲ設置セムトスルトキハ各種營業毎ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス

第四條 同業組合設置ノ地區内ニ於テ組合員ト同一ノ業ヲ營ム者ハ其ノ組合ニ加入スヘシ但シ營業上特別ノ情況ニ依リ農商務大臣ニ於テ加入ノ必要ナシト認ムル者ハ此ノ限ニ在ラス

第五條 同業組合ハ組合相互ノ氣脈ヲ通シ其ノ目的ヲ達スル爲メ同業組合聯合會ヲ設置スルコトヲ得

同業組合聯合會ヲ設置セムトスルトキハ其ノ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六條 同業組合及同業組合聯合會ハ法人トス

同業組合及同業組合聯合會ハ營理事業ヲ爲スコトヲ得ス

第七條 同業組合及同業組合聯合會ノ定款ノ變更ハ各其ノ定款ノ規定ニ從ヒ之ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 同業組合及同業組合聯合會ハ左ノ役員ヲ置クヘシ
一 組長 一名 一 副組長 若干名 一 評議員 若干名

前項ノ役員ノ外定款ノ規定ニ依リ他ノ役員ヲ置クコトヲ得

役員ハ同業組合ニ於テハ組合員中ヨリ同業組合聯合會ニ於テハ聯合會ヲ組織スル同業組合ノ組合員中ヨリ之ヲ選舉シ農商務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第九條 組長ハ其ノ同業組合又ハ同業組合聯合會ヲ統轄シ其ノ事務ヲ擔任ス副組長ハ組長ノ事務ヲ補佐シ組長故隙アルトキ之ヲ代理ス

評議員ハ組長ノ諮詢ニ應ジ及業務施行ノ狀況ヲ監査スルモノトス副組長及評議員ハ定款ノ規定ニ依リ組長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

組長副組長共ニ故隙アルトキハ評議員之ヲ代理ス

第十條 同業組合及同業組合聯合會ハ各其ノ定款ニ於テ検査規定ヲ設ケ組合員ノ營業品ヲ検査スルコトヲ得

同業組合及同業組合聯合會ハ各其ノ定款ニ於テ違約者ニ關スル規定ヲ設ケ違約者ニ對シ過怠金ヲ徴シ違約物品ヲ沒收スルコトヲ得

第十一條 同業組合及同業組合聯合會ノ經費ノ豫算並徴收法ハ各其ノ定款ノ規定ニ從ヒ之ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條 同業組合及同業組合聯合會ハ其ノ事務ニ關シ行政廳ニ建議スルコトヲ得又其ノ諮問アルトキハ答申スヘシ

第十三條 同業組合及同業組合聯合會ハ農商務大臣又ハ地方長官ノ命シタル官吏ノ臨檢ヲ拒ムコトヲ得又其ノ質問ニ對シ確實ニ答辯スヘキモノトス

第十四條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ同業組合及同業組合聯合會ヲ設ケシムルコトヲ得

農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ同業組合ノ地區ノ範圍、營業ノ種類又ハ定款ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十五條 同業組合若クハ同業組合聯合會ノ決議又ハ其ノ役員ノ行爲ニシテ法律命令ニ違背シ又ハ公益ヲ害シ又ハ其ノ目的ニ違背シ又ハ監督官廳ノ命シタル事項ヲ執行セサルトキハ農商務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 同業組合若クハ同業組合聯合會ノ解散又ハ其ノ業務ノ停止

二 役員ノ解職

三 決議ノ取消

第十六條 同業組合若クハ同業組合聯合會解散ヲ爲サムトスルトキハ組合員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ其ノ事由ヲ具シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條 地方長官ハ其ノ管内ニ於ケル同業組合及同業組合聯合會ヲ監督シ必要アルトキハ意見ヲ具シ農商務大臣ノ處分ヲ請フヘシ

第十八條 農商務大臣ハ同業組合及同業組合聯合會ニ關シ其ノ職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十九條 第四條第十三條ノ規定ニ違背シタル者ハ罰金以上百圓以下ノ過料ニ處ス

産牛馬組合

前項ノ過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第二十條 同業組合又ハ同業組合聯合會ノ證票若クハ検査證ヲ營業品ニ爲リテ附シタル者又ハ偽造、變造ノ證票若クハ検査證ヲ營業品ニ附シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

第二十一條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

重要輸出品同業組合法ハ之ヲ廢止ス

第二十二條 重要輸出品同業組合法ニ依リテ設立シタル組合及聯合會ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ本法ニ依リ設立シタルモノト看做ス

第二十三條 他ノ法律中重要輸出品同業組合法ヲ準用スヘキモノト定メタル場合ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ本法ノ規定ヲ準用シ重要輸出品同業組合法中ノ規定ニ依リヘキモノト定メタル場合ニ付テハ之ニ相當スル本法ノ規定ヲ準用ス

○産牛馬組合法施行規則(三十三年五月二十二日)

(農商務省令第九號)

第一條 産牛馬組合ハ本則ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外重要物産同業組合法施行規則ノ定ムル所ニ依ル

第二條 組合ノ名稱ニハ其事業ノ種類ヲ示シ且之ニ組合ナル文字ヲ附スヘシ

第三條 地方長官組合又ハ聯合會ノ設置ヲ認可シタルトキハ定款及ヒ報告書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ

第四條 重要物産同業組合法施行規則第八條、第十二條並ニ第十七條ノ申請及届出ハ之ヲ地方長官ニ爲スヘシ

附則

第五條 本則ハ産牛馬組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

參照

重要物産同業組合法施行規則(明治三十三年三月)

(農商務省令第七號)

- 第一條 重要物産同業組合法ニ依リ設置スル組合又ハ聯合會ノ名稱ニハ同業組合又ハ同業聯合會ナル文字ヲ附スヘシ
- 第二條 組合ノ地區ハ郡市以上ノ區域ニ依ルヘシ但特別ノ事情アルトキハ此限ニ在ラス
- 第三條 組合ヲ設置セントスルトキハ五名以上ノ營業者ニ於テ其ノ組合ノ地區及ヒ營業ノ種類ヲ定メ發起ノ認可ヲ地方長官ニ申請スヘシ
- 第四條 發起ノ認可アリタルトキハ發起人ハ組合員タルヘキ者ニ左ノ事項ヲ通知シ組合設置ノ同意ヲ求ムヘシ
 - 一 組合ノ地區及營業ノ種類
 - 二 組合員タルヘキ者ノ數但各種營業毎ニ之ヲ區別スヘシ
 - 三 組合ノ目的及業務ノ概目
 - 四 創立費及ヒ經費ノ概算
 - 五 同意表示ノ形式及期間
- 第五條 法定ノ同意者アリタルトキハ發起人ハ定款ヲ作り遲滞ナク創立總會ヲ召集スヘシ
- 創立總會ヲ召集スルニハ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的、日時及場所ヲ組合員タルヘキ者ニ通知シ且之ヲ公告スヘシ
- 前項ノ通知ニハ定款ヲ添附スヘシ
- 第六條 定款ハ組合員タルヘキ者ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ議定スルコトヲ得ズ但二種以上ノ營業者組合員タルヘキ場合ニ於テハ各種營業毎ニ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス
- 第七條 創立總會ニ於テハ組合員タルヘキ者ハ書面ヲ以テ表決ヲ爲シ又ハ他ノ組合員タルヘキ者ニ委任シテ其表決權ヲ行フコトヲ得
- 第八條 創立總會ヲ終リタルトキハ發起人ハ法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書類、定款及ヒ創立總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附シ組合設置ノ認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ
- 第九條 創立總會ニ於テハ其議定シタル定款ノ規定ニ從ヒ役員ヲ選舉シ又ハ經費ノ豫算並ニ徵收法ヲ議定スルコトヲ得

- 第十條 發起人發起ノ認可アリタル後六箇月内ニ組合設置ノ認可ヲ申請セサルトキ又ハ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ發起ノ認可ヲ取消スコトヲ得
- 第十一條 聯合會ノ創立總會ハ其聯合會ヲ組織セントスル組合ニ於テ選定シタル委員ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第十二條 聯合會ノ創立總會ヲ終リタルトキハ聯合會ヲ組織スル組合ヨリ聯合會設置ノ認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ
- 前項ノ認可申請書ニハ定款ヲ添附スヘシ
- 第十三條 組合又ハ聯合會ノ創立費及ヒ其ノ償却ノ方法ハ創立總會ノ承認ヲ經ヘシ
- 第十四條 農商務大臣組合又ハ聯合會ノ設置ヲ命ジタルトキハ地方長官ハ創立委員ヲ選定シ且其氏名ヲ公告スヘシ
- 第十五條 組合又ハ聯合會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
 - 一 目的及業務
 - 二 名稱及事務所ノ位置
 - 三 組合ノ地區及ヒ營業ノ種類但聯合會ニ在リテハ之ヲ組織スル組合ノ名稱
 - 四 加入及脱退ニ關スル規定
 - 五 組合員又ハ聯合會ヲ組織スル組合ノ權利義務
 - 六 役員ノ資格、權限及其選任並ニ解任ニ關スル規定
 - 七 會議ニ關スル規定
 - 八 會計ニ關スル規定
 - 九 違約者ノ處分ニ關スル規定
 - 十 定款ノ變更ニ關スル規定
 - 十一 解散ニ關スル規定
 - 十二 營業品ノ検査又ハ仲裁判斷者クハ調停ヲ爲サントスルトキハ之ニ關スル規定
- 第十六條 定款變更ノ認可申請書ニハ其變更ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十七條 組合又ハ聯合會ニ於テ定款又ハ業務ノ執行ニ關スル規則ヲ設ケタルトキハ其都度農商務大臣ニ届出ヘシ

第十八條 組合又ハ聯合會ノ役員ノ認可申請書ニハ其履歴書ヲ添附スヘシ

第十九條 組合又ハ聯合會ノ經費ノ豫算並徵收法ノ認可申請書ハ創立ノ場合ヲ除ク外毎會計年度ニ之ヲ提出スヘシ

經費ノ決算及ヒ業務成績ハ毎會計年度後三ヶ月内ニ報告スヘシ

第二十條 役員ノ缺ケタル場合ニ於テ補缺選舉ノ手續ヲ行フヘキ者アラサルトキハ地方長官ハ組合員ヲ指定シテ其手續ヲ行ハシム

第二十一條 組合又ハ聯合會解散シタルトキハ組長及副組長ヲ以テ其清算人トシ但定款ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

清算人ハ其氏名住所ヲ地方長官ニ届出ヘシ

第二十二條 前條ノ規定ニ依リテ清算人タル者アラサルトキハ地方長官之ヲ選任ス

第二十三條 清算人其任ニ適セス又ハ不正ノ行爲アリト認ムルトキハ地方長官ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第二十四條 清算人其結果ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第二十五條 農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スヘシ

附則 第二十六條 本則施行前ニ重要輸出品同業組合法施行細則ニ依リテ爲シタル組合設置ノ手續ハ本則ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

○産牛馬組合ニ加入スヘキ者ノ件ニ付伺並回答

(三十五年四月五日島根縣綾川郡産牛馬組合長伺同年同月農務局長回答)

第二十二號

産牛馬組合法疑義ノ件伺

本組合創立日尙ホ淺ク目下専ラ業務整理中ニ候處明治三十三年法律第二十號産牛馬組合法中疑義ノ廉有之差掛リ候ニ付左ニ相伺候間乍御手数數極急御指示相仰度候

産牛馬組合

第一條 牛又ハ馬ノ生産ニ從事スルモノト有之候處右ハ産牛馬組合設置ノ地區内ニ於テハ蕃殖ノ目的ヲ以テ牛馬ノ所有又ハ飼養スルモノヲ指シヤ將又目的ノ如何ヲ問ハス渾テ牛馬(牝牡)ヲ所有シ又ハ飼養スルモノモ一般包含スルノ意ナルヤ右相伺候也

本月五日付第二十二號ヲ以テ産牛馬組合法中疑義ノ件ニ付問合ノ趣テ承同法第一條ニ規定セル牛又ハ馬ノ生産ニ從事スルモノトハ生産ニ供用スル牛又ハ馬ヲ所有シ自己ノ名ヲ以テ生産ニ從事シ若クハ他人ノ牛又ハ馬ヲ飼養管理シ自己ノ名ヲ以テ生産ニ從事スルモノヲ指示スル義ニ有之必スシモ蕃殖ノミノ目的ヲ以テ牛又ハ馬ヲ所有シ又ハ飼養管理スル者タルコトヲ要セサル次第ニ有之候此段及御回答候也

○産牛馬組合役員報告ノ件

(三十九年十月馬政長官ヨリ馬政第三〇九號知事ヘ)

貴管下産牛馬組合現在役員ノ氏名ヲ承知致度候間御回報相成度此段及照會候也

追テ爾後本文役員變更候際ハ其ノ都度御報告相成度候也

○産牛馬組合ノ定款報告ノ件

(三十九年十月二十三日馬政第三四八號馬政長官ヨリ知事ヘ)

馬政第三四八號

從來貴廳ニ於テ認可相成候産牛馬組合定款寫入用ニ付一部御回送相成度此段及照會候也

追而爾後加除訂正等ノ爲本文定款ニ變更ヲ生シ農務大臣ヘ報告相成候場合ハ其ノ都度本局ヘモ御報告相成度此段申

添候也

○產牛馬組合ノ業務狀況報告ノ件

(四十二年五月二十六日馬發第三〇二號馬政長官ヨリ知事ヘ)

馬發第三〇二號

產馬組合及產牛馬組合業務ノ狀況承知致度候ニ付爾後組合毎ニ左ノ各項ヲ具シ毎年御通報相成候様致度此段及照會候也

- 一、組合員總數 (產牛馬組合各ニテハ總組合員ノ内馬ノ生産ニ從事スルモノ、員數ト牛馬ノ生産ニ從事スルモノ、員數ヲ區別シ各別ニ明記スルコト)
- 一、組合及組合員所有別種牡馬及蕃殖牝馬數 (種別、洋種、內國種)
- 一、組合所有種牡馬ノ種付牝馬數
- 一、組合内ニ於ケル生産馬數 牝牡及種別洋種內國種雜種
- 一、組合糶市場ノ數
- 一、組合糶市場ニ於ケル出場頭數賣買頭數賣買總價格最高價格最低價格(以上牝牡別)
- 一、組合ニ於テ牧場又ハ共同放牧場ヲ有スルモノハ其ノ員數及面積
- 一、組合ノ收入支出(内驛ヲ要ス) 右何年何月調

追而前年ノ分御取調此際御通報相成度申添候也

○產牛馬組合事業報告方達

(四十二年六月一日達第二五號岐阜縣知事ヨリ各組合ヘ)

岐阜縣達第二十五號

其ノ組合業務ノ狀況爾後毎年左記様式ニ依リ翌年一月二十日限リ當廳ニ報告スヘシ

五、組合市場調

年末調

馬	牛	市場數		出場頭數		賣買頭數		賣買總價格		最高價格		最低價格	
		牝	牡	牝	牡	牝	牡	円	円	円	円	円	円

六、組合有牧場及放牧場

年末調

放牧場	牧場	個所數	面積	積步

(山縣郡產牛組合ハ明治四十四年一月二十七日四第九六號ヲ以テ毎年提出セシムヘキ様同郡長ヘ照會)

○岐阜縣岐阜市稻葉郡產牛組合

△定 款

第一章 名稱及事務所位置

第一條 當組合ハ岐阜縣 稻葉郡 產牛組合ト稱ス

第二條 當組合ノ事務所ハ稻葉郡々役所内ニ設置ス

第二章 營業ノ種類及其地區

第三條 當組合ハ牛ノ生産ニ從事スル者ヲ以テ組織ス

第四條 當組合ハ岐阜市稻葉郡ヲ以テ區域トス

第三章 目的及其業務

第五條 當組合ハ牛ノ改良及組合員ノ共同ノ利益ヲ圖ルヲ以

產牛馬組合

年末調

一、組合員數

組合員數	產牛馬組合		產牛組合
	馬ノ生産ニ從事スルモノ	牛ノ生産ニ從事スルモノ	

二、種牡牛馬及蕃殖牝牛馬頭數

年末調

種牡馬	蕃殖牝馬	種牡牛	蕃殖牝牛	組合有		組合員有	
				洋種	內國種	洋種	內國種

三、組合有種牡牛馬ノ種付牝牛馬數

年末調

種牡馬	種牡牛	種付頭數	
		洋種	內國種

四、組合内ニ於ケル生産牛馬數

年末調

馬	牛	洋種		雜種		內國種	
		牝	牡	牝	牡	牝	牡

テ目的トス

第六條 當組合業務ノ種類左ノ如シ

- 一 種牡牛ノ供用ニ關スル事項
- 二 牛市ノ開設ニ關スル事項
- 三 牛籍ノ調製ニ關スル事項
- 四 牛共進會品評會ニ關スル事項
- 五 牛販路ノ擴張ニ關スル事項
- 六 牛去勢普及ニ關スル事項
- 七 獸疫ノ豫防制遏ニ關スル事項
- 八 產牛ニ關シ官廳ノ諮問アルトキハ之ニ答ヘ又意見アルトキハ官廳ニ建議スルコト
- 右ノ外委員會ニ於テ必要ト認メタル事項
- 第七條 組合ニ於テ施行スル事務ノ順序方法等ハ委員會ノ決議ニ依リ之ヲ定ムルモノトス
- 第八條 組合ニ種牡牛ヲ購入シテ之ヲ飼養ス
- 第九條 組合有種牡牛ノ交尾ヲ要求セントスルモノハ種類年齡体尺毛色ヲ記シタル交尾請求書ヲ組長ニ差出スヘシ
- 第十條 組合有種牡牛ハ牝牛ノ優等ナルモノニアラサレハ交尾セサルモノトス
- 第十一條 組合有種牡牛カ交尾請求者ニ交尾スヘキ牝牛所有者ニ交尾票ヲ交付ス
- 交尾請求者ハ前項ノ交尾票交付ト同時ニ交尾料金貳圓ヲ納ムヘシ
- 但交尾規程ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十二條 組合有種牡牛ヲ交尾スヘキ牝牛ノ撰定ハ組長副組

長或ハ委員ノ評決ニ依リ交尾票交付ノ當否ヲ定ム

第十三條 組合有種牡牛ニ交尾シテ分娩シタルモノニハ血統證ヲ交付ス

前項ノ血統證ヲ受クルモノハ料金參拾錢ヲ納ムヘシ

第十四條 組合員其所有ノ牝牛分娩シタルトキハ其年月日種類毛色牝牡ヲ記シ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第十五條 組合員其所有ノ牛賣買交換シ又ハ死亡シタルトキハ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第四章 組合員加入及脱退

第十六條 組合員ニハ證票及表札ヲ交附ス此場合ニハ調製料トシテ證票ハ五錢表札ハ拾錢ヲ徴收ス

第十七條 組合ニ加入セントスル者ハ其區ノ委員ヲ經テ當組合事務所ニ申立ツヘシ

第十八條 組合員死亡廢業又ハ組合外ヘ轉居シタルトキハ其旨ヲ届出テ證票及表札ヲ返納スヘシ此場合ニハ已納ノ調製料ハ返付セス

第十九條 組合員組合内ノ轉居家督相續改氏名又ハ證票及表札ヲ遺失毀損シタルトキハ其書換又ハ再渡ヲ請フヘシ此場合ニハ第十六條ヲ適用ス

第二十條 組合ニ加入ノ手續ヲナシタルトキハ五日以内ニ店頭見易キ所ニ表札ヲ掲クヘシ

第二十一條 組合員ノ證票及表札ノ雛形ハ左ノ如シ

證票紙製

第三寸	第 號
岐阜縣 稻葉郡	産牛組合員
住所	氏 名

明治 年 月 日	
岐阜縣 岐阜市 稻葉郡	産牛組合事務所
事務所印	

第七寸五分	第 號
岐阜縣 岐阜市 稻葉郡	産牛組合員
住所	氏 名
烙印	

第五章 役員ノ資格權限及其選舉

第二十二條 當組合ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 組 長 一名
- 一 副組長 一名
- 一 評議員 五名

第二十三條 役員タルヲ得ヘキモノハ年齢二十五才以上ノ男子ニシテ左記各號ニ該當セサルモノニ限ル

- 一、重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ又ハ農商工業ヲ妨害スル罪財産ニ對スル罪風俗ヲ害スル罪信用ヲ害スル罪ヲ

犯シ刑ニ處セラレ滿期又ハ赦免後二ケ年ヲ經サル者

二、公權剝奪セラレタル者又ハ其停止中ノ者

三、復權セサル破産者及家資分散者

第二十四條 役員ハ委員會ニ於テ組合員ヨリ之ヲ選舉ス

第二十五條 役員ノ任期ハ二年トス滿期後再選セララル、コトヲ得

但シ欠員ヲ生スル場合ニアツテハ三十日以内ニ補欠選舉ヲナス其任期ハ前任者ノ任期ニ依ル

第二十六條 組長ハ組合一切ノ事務ヲ總理ス副組長ハ組長ヲ補佐シ組長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第二十七條 組長ハ事務上ノ利害ニ關シ必要ノ事件アルトキハ所轄郡長又ハ縣知事ニ申報スヘシ

第二十八條 組長ハ此ノ定款ニ違背セシモノアリテ之レカ處分ヲ爲シタルトキハ郡役所ヲ經テ縣廳ニ申報スヘシ

第二十九條 組長ハ書記ヲ任用シ及雇員ヲ使用スルコトヲ得

第三十條 評議員ハ組長ノ諮問ニ應シ及業務施行ノ狀況ヲ監査シ又ハ意見ヲ述フヘシ

評議員ハ組長副組長共ニ故障アルトキハ之ヲ代理シ若ハ定款ノ規定ニ依リ組長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

第六章 委員會

第三十一條 委員會ハ各區域ニ於ケル組合員ノ選舉シタル定數ノ委員ヲ以テ組織ス其區域及定數左ノ如シ

- 岐阜市 二人 舊厚見郡 二人
- 舊各務郡 五人 舊方縣郡 二人

第三十二條 委員タルヲ得ヘキモノ、資格ニ付テハ第廿三條ヲ適用ス

第三十三條 委員選舉ハ組長ノ公告ニ依リ之ヲ行フ公告ハ選舉會場及日時ヲ記シ選舉ノ日ヨリ少クモ七日前ニ之ヲ發スヘシ

第三十四條 委員ノ選舉ハ組長ニ於テ選舉掛長及撰舉掛二名ヲ指定シテ撰舉ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシムヘシ

第三十五條 委員ノ當選人定リタルトキハ選舉掛長ハ之ヲ組長ニ報告スヘシ

第三十六條 委員ノ任期ハ四ケ年トス滿期後再選セララル、コトヲ得

第三十七條 委員中缺員アルトキハ五十日以内ニ補欠選舉ヲ行フヘシ但シ補缺員ノ任期ハ前任者ノ任期ニ依ル

第三十八條 委員會ハ組合經費ノ豫算並ニ徵收法ヲ定メ及決算ヲ認定シ其他此定款ニ規定シタル事項ヲ議決ス

第三十九條 委員會ハ毎年五月十二月ノ兩度ニ通常會ヲ開クヘシ其會期ハ三日以内トス其他組長ニ於テ必要ト認メタルトキ若クハ委員三分一以上ノ請求アルトキハ其事件ニ限リ臨時會ヲ開クコトヲ得其會期ハ二日以内トス

第四十條 委員會ハ組長ヲ以テ議長トス

第四十一條 委員會ハ組長之ヲ招集ス

招集ハ會日ヨリ五日日前ニ公告スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此限リニアラス

第四十二條 委員會ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外委員三分二以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

但シ同一ノ議事ニ付招集再回以上ニ涉リタル場合ハ三分一以上出席ニテ足ル

第四十三條 委員會ノ議決ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外過半数ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十四條 凡テ會議ニ於テ議決シタル事項ハ之ヲ議事録ニ記載シ議長及委員二名以上署名捺印スヘシ

第四十五條 議事ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 組合總會

第四十六條 組合員總會ハ任意解散ヲ議決スル場合若ハ本章ノ規定ヲ變更スル場合ニ開クモノトス

第四十七條 組合員總會ハ任意解散ノ場合ヲ除クノ外組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ議決スルコトヲ得

第四十八條 組合員ハ他ノ組合員ヲ代理人トシテ組合員總會ニ出席シ議決權ヲ行ハシムルコトヲ得代理人ハ委任狀ヲ示スヘシ

第四十九條 組合員總會ノ議長及招集ノ手續ハ第四十條第四十一條ヲ適用ス組合員總會ノ開會ヲ請求スル場合ハ組合員三分ノ一以上ヲ要ス

第五十條 組合員總會ハ出席者ノ名簿ヲ調製シ之ニ署名捺印セシメ議事録ニ付綴スヘシ但シ議事録ハ第四十四條ヲ準用ス

第八章 會計

第五十一條 當組合經費ノ費目左ノ如シ

- 一 會議費
- 一 事業費
- 一 豫備費

第五十二條 役員ニハ報酬若クハ給料旅費委員ニハ旅費日常ヲ給スルコトヲ得其ノ額ハ委員會ノ定ムル所ニ依ル

第五十三條 組合ノ支出ニ充ツル費用ハ組合有財産ヨリ生スル收入其他雜收入ヲ以テ充ツルモノ、外ハ組合員ニ分賦ス

第五十四條 組合員ハ組合費ヲ負擔スルノ義務アリ

第五十五條 組合費ハ必ス納期內ニ完納スヘシ若シ納期後十日ヲ過クルトキハ組長之ヲ督促ス

第五十六條 組合費不納者ニ督促ヲナストキハ督促狀ヲ發スヘシ

第五十七條 督促手数料及違約金ハ組合費雜收入トス

第五十八條 督促手数料ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第五十九條 組合費負擔ノ義務消滅又ハ變更スルモ既納ノ分ハ返付セス

組合員組合ヲ脱退スルモ財産ノ分配ヲ請求スルノ權ナキモノトス

第六十條 組長ハ毎年其翌年度ニ係ル經費豫算ヲ調製スヘシ但シ組合ノ會計年度ハ毎月四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第六十一條 組合經費ノ豫算並ニ徵收法ハ委員會ノ議決ヲ經會計年度二ヶ月前ニ縣知事ノ認可ヲ請フモノトス事業成績及ヒ經費ノ決算貸借對照表ハ毎會計年度後二ヶ月以内ニ之ヲ組合ニ公告シ縣知事ニ報告スヘシ

第九章 違約者處分

第六十二條 第十四條第十五條第二十條ニ違背シタル者ハ拾錢以上壹圓以下ノ違約金ヲ出サシムヘシ

第六十三條 違約金ハ其處分ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ組合事務所ニ差出スヘシ

第十章 定款變更及任意解散

第六十四條 此ノ定款ノ規定ハ委員會ニ於テ總員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ決議シ縣知事ノ認可ヲ經テ更正加除スルコトヲ得

但シ第二章第七章ノ事項ヲ議決スルコトヲ得ス

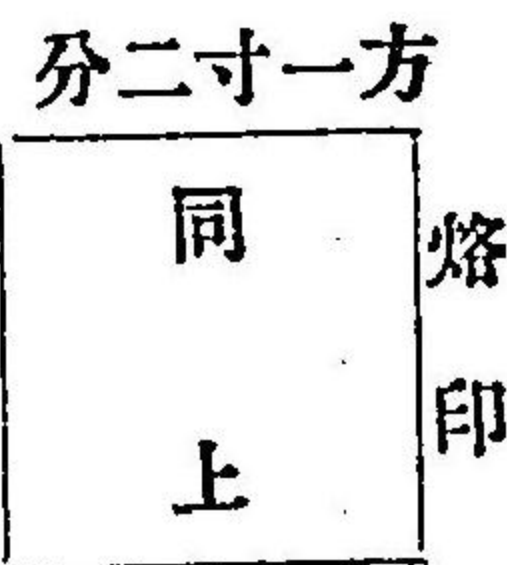
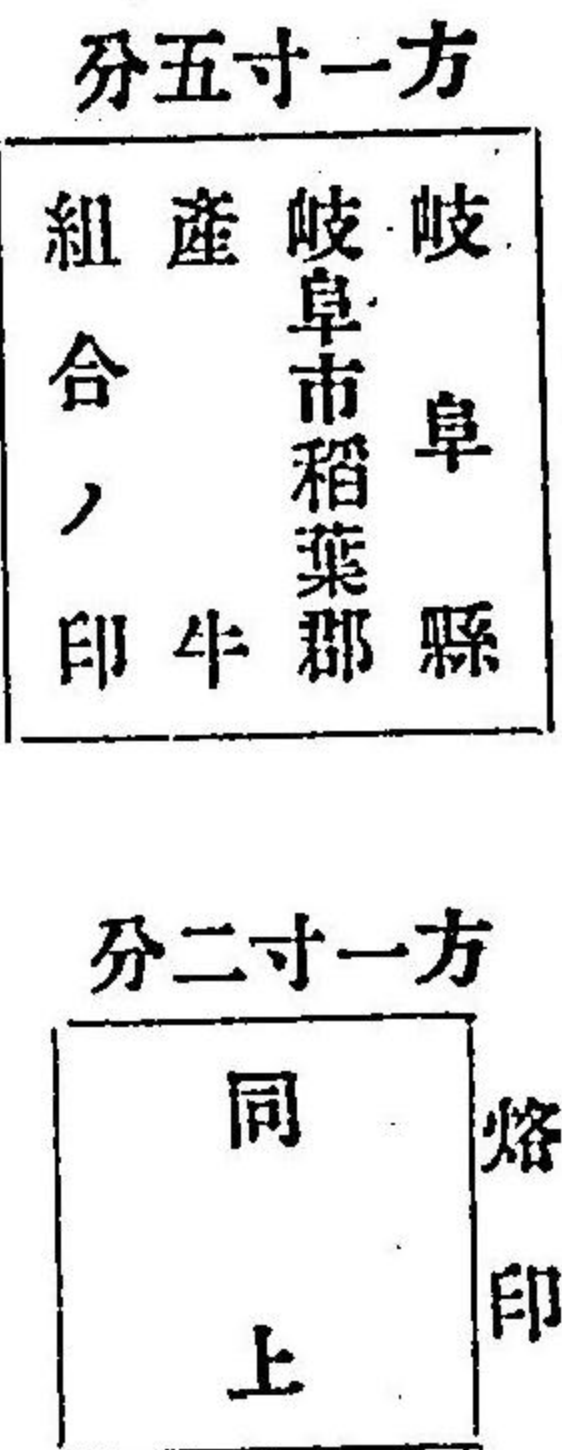
第六十五條 當組合ハ業務ノ都合ニヨリ組合員總會ニ於テ組合員五分ノ四以上ノ同意ヲ得テ縣知事ノ認可ヲ經テ任意解散ヲナスコトヲ得

此定款第七章ノ規定ハ組合員總會ニ於テ前項ノ手續ヲ經テ更正加除スルコトヲ得

第六十六條 前條ノ場合ニ於テハ組合員總會ニ於テ精算人ヲ選舉シ本組合ノ財産及債權債務ヲ處理セシムヘシ

第十一章 雜則

第六十七條 當組合ノ印章左ノ如シ



産牛馬組合

方 岐阜縣 岐阜市 稻葉郡
 七 産牛組合
 分 組長之印

方 岐阜縣 岐阜市 稻葉郡
 七 産牛組合
 分 副組長之印

△役員

組長	坂口 拙三
副組長	松原 輝邑
評議員	久富 武男
同	岩田 太平治
同	山田 興六
同	村上 文雄
同	清水 治吉

△組合ノ概況

組合施設ノ事業

種牡牛ノ(交尾)種付 但本年度ハ豫算不成立ニ付決算ナシ

明治四十三年業務ノ狀況 九十五人

組合員數

蕃殖用牝牛數 洋種 十五頭 雜種 四十頭

種牡牛(本縣預托種牡牛)一頭 但四十三年三月返納

種付頭數 洋種 十頭 雜種 八頭

牛生産頭數 洋種 九頭 雜種 三頭

組合評議員會 四十二年一月八日開會委員會へ提出議案諮問アリ

組合委員會

明治四十三年一月十五日委員會召集出席員定數ニ滿タスシテ會議不成立仍テ再ヒ同月二十日開會出席員四名ニテ開會四十二年度豫算議定直ニ其筋ヘ認可申請セリ同年三月十日認可

同時ニ四十三年度豫算ヲ附議セシモ不成立其事由ハ近キ將來ニ本組合定款ヲ改正シ産牛馬組合ニ變更セントスルヲ以テ其上豫算決議スルコトニセント云フニアリ而シテ爾後專ラ定款變更準備中ニテ近々總會ヲ開キ決議セントス

○岐阜縣海津郡産牛馬組合(四十四年七月八日)

△定 款

第一章 總 則

第一條 本組合ハ牛馬ノ改良及組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本組合ハ岐阜縣海津郡産牛馬組合ト稱ス

第三條 本組合ハ事務所ヲ海津郡高須町大字高須一番戸ニ設置ス

第四條 本組合ハ牛又ハ馬ノ生産ニ従事スルモノヲ以テ組織ス

第五條 本組合ハ海津郡一圓ヲ以テ區域トシ其ノ地區ヲ別チテ左ノ九區トス

- 第一區 高須町 第二區 今尾町 第三區 海西村
- 第四區 吉里村 第五區 東江村 第六區 大江村
- 第七區 西江村 第八區 石津村 第九區 城山村

統ヲ記シタル書面ヲ以テ其ノ區ノ委員ヲ經テ本組長ニ届出ツヘシ

第九條 組合員左記ノ場合ニ於テハ十日以内ニ其ノ區ノ委員ヲ經テ組長ニ届出ツヘシ

- 一、本組合ノ地區外ニ轉居シ又ハ本組合ノ地區内ニ於テ第四條ノ業務ヲ廢止シタルトキ
 - 一、氏名又ハ住所ヲ變更シタルトキ
 - 一、家督相續ノ場合
- 第十條 前二條ノ届出ヲ受ケタルトキハ組長ハ組合員名簿及牛馬籍簿ノ加除訂正ヲ爲スヘシ

第三章 組合員ノ權利義務

第十一條 組合員ハ本定款及別ニ定メタル選舉規定ニ從ヒ組合ノ役員ヲ選舉シ役員ニ選舉セラル、ノ權利ヲ有ス

第十二條 數人共同シテ牛馬ヲ所有シ又ハ管理シ牛馬ノ生産ニ従事スルモノハ組合ニ對スル權利義務ニ付テ之ヲ一人ト看做ス

前項ノ組合員ハ内一人ヲ選定シ代表者トナシ之ヲ組合ニ届出スヘシ

第十三條 組合員ハ何時ニテモ本組合ニ備ヘタル帳簿ノ閱覽ヲ請求スル事ヲ得

第十四條 組合員ハ緊急不得止事項アルトキハ會議ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ示シ組合員三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ開會ヲ請求スル事ヲ得

第十六 本組合ニ於テ使用スル印章左ノ如シ

一、 組 長	一、 副 組 長	一、 評 議 員	一、 理 事
岐 阜 縣 海 津 郡 産 牛 馬 組 合 組 長 之 印	岐 阜 縣 海 津 郡 産 牛 馬 組 合 副 組 長 之 印	岐 阜 縣 海 津 郡 産 牛 馬 組 合 評 議 員 之 印	岐 阜 縣 海 津 郡 産 牛 馬 組 合 理 事 之 印

第六條 本組合ニハ左ノ帳簿ヲ備フ

一、 組合役員及組合員名簿

一、 種付臺帳

一、 牛籍臺帳

一、 馬籍臺帳

一、 市場臺帳

一、 財產目錄

一、 物品受拂簿

一、 歲入 簿

一、 歲出 簿

一、 現金出納簿

一、 組合負擔金徵收臺帳

一、 文信編冊

一、 例規編冊

一、 決議 錄

一、 收受發送簿(件名簿)

但事宜ニ依リ増減變更シ得ルモノトス

第八條 本組合ニ加入スルモノハ其ノ所有若クハ管理牛馬ノ名號、性、種類、毛色、生年月日、身幹、產地、特徴、血

第十五條 組合員ハ正當ノ理由ナクシテ役員ノ當選又ハ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第十六條 組合員ハ定款及經費徵收法ノ定ムル處ニ從ヒ組合費ヲ負擔スルノ義務ヲ有ス

第四章 役員ノ資格權限及其ノ選任並解任

第十七條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一、 組 長 一 名
- 一、 副 組 長 一 名
- 一、 評 議 員 五 名
- 一、 理 事 一 名

第十八條 組長ハ本組合諸般ノ事務ヲ統理シ組合ヲ代表ス副組長ハ組長ヲ補佐シ組長故障アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス評議員ハ組長ノ諮詢ニ應シ及業務施行ノ狀況ヲ監査シ又ハ意見ヲ述フヘシ且組長副組長等ニ故障アルトキハ年長順ヲ以テ其ノ職務ヲ代理ス理事ハ組長ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ掌理シ部下ノ職員ヲ監督ス

第十九條 役員タルヲ得ヘキモノハ年齡二十五歳以上ノ男子ニシテ左記各項ニ該當セサル者ニ限ル

- 一、 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
 - 一、 公權ヲ剝奪セラレタルモノ又ハ停止中ノモノ
 - 一、 復權セサル破産者及家資分散者
- 第二十條 役員ハ委員會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス
- 第二十二條 役員ノ任期ハ四ヶ年トス但再選ヲ妨ケス
- 役員ニ欠員ヲ生シタル時次回ノ改選期ヲ待ツコト能ハサル場合ニ限リ補欠選舉ヲ行フヘシ

補欠選舉ニ依リ就任シタル役員ハ前任者ノ殘任期間就職スルモノトス

役員ニ欠員ヲ生シ其ノ職務ヲ行フモノ無キトキハ前任者ハ后任者ノ就職スル迄其ノ職務ヲ繼續スヘシ

但行政廳ヨリ解職セラレタルモノハ此ノ限リニアラス

第二十二條 役員ハ名譽職トス但委員會ノ決議ニ依リ職務ニ關スル報酬又ハ實費ヲ給スルコトヲ得

第二十三條 本組合ニ左ノ事務員ヲ置キ評議員會ノ諮詢ヲ經テ組長之ヲ任免ス

一、書記 若干名

一、技術員 若干名

書記ハ組長及理事ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス技術員ハ組長及理事ノ指揮ヲ承ケ技術ニ關スル事務ニ從事ス

第二十四條 書記及技術員ハ有給トス其ノ定額ハ委員會ノ決議ヲ經テ之ヲ定ム

第二十五條 本組合ハ左ノ地區別ニ依リ委員ヲ配置スルモノトス

但事宜ニ依リ變更スル事アルヘシ

第一區 高須町 一名 第二區 今尾町 一名

第三區 海西村 一名 第四區 吉里村 一名

第五區 東江村 四名 第六區 大江村 一名

第七區 西江村 一名 第八區 石津村 四名

第九區 城山村 三名

第二十六條 委員ハ前條地區内ニ於ケル左ノ事項ヲ分掌スルモノトス

一、種牡牛馬ノ購入ヲ爲ス事

一、種牡牛馬ノ飼育及種付ヲ行フ事

一、牛馬籍簿ヲ調製スル事

一、牛馬ノ實査ヲ爲ス事

一、牛馬市場ヲ開設スル事

一、牛馬ノ販路擴張ヲ圖ル事

一、牛馬ノ共同購入ヲ爲ス事

一、牛馬ノ去勢ヲ普及セシムル事

一、飼料ノ改良畜産及副産物ノ利用増進ノ方法ヲ講究スル事

一、産牛馬ニ關スル調査ヲ爲ス事

一、牛馬ノ衛生普及ヲ圖ル事

一、講話會及講習會並品評會ヲ開設スル事

一、産牛馬ニ關シ官廳ノ諮問アルトキハ之レニ答ヘ意見アルトキハ建議スル事

第二十五條 組合ニ於テ施行スル業務順序方法等ハ委員會ノ決議ニ依リ之レヲ定ムルモノトス

第二十六條 本組合ハ種牡牛馬ヲ購入シ又ハ預托ヲ受ケテ之ヲ組合員ニ寄托シ種付ヲ爲サシムルモノトス

但特別ノ事由アルトキハ本組合自ラ種付ヲナス事ヲ得

第二十七條 組合種牡牛馬ノ寄托ヲ受ケタル組合員ハ別ニ定ムル種付規定ニ從ヒ之ヲ管理シ種付ヲ爲スノ義務アルモノトス

第三十八條 前條ニ依リ定メタル規程ハ知事ニ届出ルモノトス其ノ之ヲ變更シタル時又々同シ

一、種牡牛馬ニ關スル事

一、市場ニ關スル事

一、牛馬實査ニ關スル事

一、牛馬移動ニ關スル事

一、前項ノ外産牛馬ニ關スル諸般ノ事項ヲ地區内ノ組合員ニ傳達スル事

第二十七條 委員タルヲ得ヘキモノ、資格ニ付テハ第十九條ヲ適用ス

委員ハ左ノ區内ニ於ケル組合員之ヲ選舉ス

第二十八條 委員ノ選舉ハ組長ノ公告ニ依テ之ヲ行フ公告ハ選舉會場及時日ヲ記シ選舉ノ日ヨリ五日以前ニ之ヲ發スヘシ

第二十九條 委員ノ選舉ハ組長ニ於テ選舉長及選舉立會人二名ヲ指定シテ選舉ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシムヘシ

第三十條 委員當選人定マリタル時ハ選舉長之ヲ組長ニ報告スヘシ

第三十一條 委員ノ任期ハ四ケ年トス

但再選ヲ妨ケス

第三十二條 委員ニ欠員ヲ生シタル時ハ三ヶ月以内ニ補欠選舉ヲ行フヘシ

補欠員ノ任期ハ前任者ノ任期ニ依ル

第三十三條 委員ハ名譽職トス

但執務ニ要スル費用ハ之ヲ給スル事ヲ得

第五章 組合ノ業務

第三十四條 本組合ハ左ノ業務ヲ施行ス

第三十九條 本組合ニ於テ組合員ニ種牡牛馬ヲ寄托スル時ハ種牡牛馬寄托契約書ヲ交換スルモノトス

第四十條 寄托セラレタル種牡牛馬ハ別ニ定メタル種付規定ニ依リ相當ノ注意ヲ以テ之ヲ管理シ疾病其ノ他ノ事故ヲ生シタル時ハ直ニ本組合ニ通知シ且相當ノ手當ヲ施スヘシ

前項ノ費用ハ總テ受托者ノ負擔トス但シ場合ニ依リ本組合ニ於テ其ノ幾分若クハ全部ヲ補助スルコトアルヘシ

第四十一條 組合員ノ故意又ハ重大ナル過失ニ依テ本組合ヨリ寄托ノ種牡牛馬ヲ死亡セシメ又ハ其ノ他ノ損害ヲ生セシメタルトキハ評議員會ノ諮詢ヲ經テ相當ノ賠償ヲ爲サシム

第四十二條 本組合ニ於テ必要アルトキハ評議員會ノ諮詢ヲ經テ寄托セル種牡牛馬ヲ返付セシムルコトアルヘシ此ノ場合ニ於ケル受托者ハ協議上最新ニ他ノ種牡牛馬ヲ寄托シ又ハ相當ノ償金ヲ支拂フコトアルヘシ

第四十三條 本組合ヨリ寄托シタル種牡牛馬ニシテ老衰若クハ廢疾ニ罹リ又ハ種付ヲ廢スルニ至リタルトキハ受托者ハ其ノ種牡牛馬ノ交換ヲ組長ニ請求スヘシ組長ハ事實調査ノ上之ヲ許可ス

第四十四條 交換ヲ認可シタル廢種牡牛馬ハ本組合ニ於テ糶賣若クハ評價ニ附シ賣却スルモノトス

第四十五條 組合員ニシテ種牡牛馬ヲ購入シ組合地區内ニ於テ種付ニ共用スル者アルハ本組合ハ別ニ定ムル種牡牛馬補助規程ニ依リ購入費ニ對シ相當ノ補助ヲ爲ス事アルヘシ

第四十六條 前條ノ補助ヲ受ケタルモノハ種牡牛馬補助規程ニ依リ定メタル期間内ハ相當ノ注意ヲ以テ之ヲ管理シ疾病

其ノ他ノ事故ヲ生シタルトキハ直ニ本組合ニ通知シ且ツ相
當ノ手當ヲ施スヘシ

前項ニ依ル費用ハ購入者ノ負擔トス但シ特別ノ事由アルト
キハ組合ニ於テ幾分ノ補助ヲ爲ス事アルヘシ

第四十七條 組合有及組合預托ノ種牡牛馬購入補助ニカ、ル
種牡牛馬ニ對シテ種付ヲ要求セントスルモノハ總テ別ニ定
メタル種付規程ニ依ルモノトス

第四十八條 前條ニ規程セルモノ、外種付ニ關スル事項ハ總
テ種付規程ニ據ルモノトス

第四十九條 本組合ハ時々牛馬ノ實査、動態ヲ調査シ又ハ第
二十六條ニ依リ委員ヲシテ牛馬ノ移動ヲ調査報告セシメ牛
馬籍簿ヲ整理スルモノトス

第五十條 本組合ハ毎年總牛馬ノ實査ヲ施行シ其ノ成績優等
ナルモノニハ賞與ヲ爲スコトアルヘシ

第五十一條 本組合ハ家畜市場法ニ基キ定期牛馬市場ヲ開設
ス

牛馬市場開設日割及糶賣地區順序ハ組長之ヲ定メ組合内ニ
公示スヘシ

第五十二條 市場開設地域内ノ牛馬ハ其ノ競賣ニ對スル日及
其ノ前後ニ於テ本市場地域外ニ讓渡其ノ他ノ寄籍ヲ許サス
但シ正當ノ事由ニ依テ組長ノ承認ヲ經タルモノハ此ノ限り
ニアラス

市場ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定メ知事ノ認可ヲ受クルモノ
トス

其ノ變更シタルトキ又同シ

一、組合解散ニ關スル件

第五十九條 委員會ノ決議事項左ノ如シ

一、組合經費ノ豫算並徵收方法及決算ニ關スル件

一、業務ノ新設並改廢ニ關スル件

一、役員並委員ノ選舉方法ニ關スル件

一、豫算外支出及組合基金ノ管理方法並處分ニ關スル件

一、寄附寄託種付及市場會計規程ニ關スル件

第六十條 評議員會ノ決議事項左ノ如シ

一、組長ノ諮詢ニ係ル件

一、組合業務施行ノ監査ニ關スル件

第六十一條 委員會ノ會期ハ組長ニ於テ必要アル場合ニ其ノ
會期ヲ定メ招集スルコトアルヘシ

第六十二條 總テ會議ハ半數以上ノ出席アルニアラサレハ開
會スルコトヲ得ス

但同一議事ニ付テ再回招集スルモ尙定數ニ達セサルトキハ
三分ノ一以上ノ出席員ヲ以テ開會スルコトヲ得

第六十三條 會議ノ決議ハ特ニ規定セルモノ、外出席員ノ過
半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第六十四條 會議ハ總テ決議録ヲ作り議長及出席員二名以上
之ニ署名スルモノトス

第六十五條 會議ニ關スル規程ハ其ノ會議ノ決議ヲ經テ別ニ
之ヲ定ム

第七章 會計

第六十六條 本組合ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年

産牛馬組合

一、總 會

第五十三條 會議ヲ別テ左ノ三種トシ組長之ヲ招集ス

一、評議員會

一、委員會

總會ハ總組合員ヲ以テ之ヲ組織ス

評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

委員會ハ委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第五十四條 委員會ハ通常會臨時會ノ二種トス通常會ハ毎年
一月六月ノ二回之ヲ開ク

臨時會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一、組長ニ於テ必要ト認メタルトキ

一、委員三分ノ一以上ヨリ開議ノ目的及招集理由ヲ示シテ
請求シタルトキ

第五十五條 左ノ場合ニ於テ組長ハ總會ヲ開クヘシ

一、組長ニ於テ必要ト認メタルトキ

一、第十四條ニ依リ組合員ノ請求アリタルトキ

第五十六條 會議ヲ開カントスルトキハ少クモ三日以前ニ於
テ開會ノ日時場所及會議事項ヲ通知スヘシ

但臨時緊急ヲ要スル場合ハ此ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得

第五十七條 總會評議員會並委員會ノ議長ハ組長ヲ以テ之レ
ニ充ツルモノトス

但業務施行ノ狀況監査ヲ目的トスル評議員會ノ議長ハ評議
員ノ互選トス

第五十八條 總會ノ決議事項左ノ如シ

三月三十一日ニ終ル組長ハ毎年其ノ翌年度ニ係ル經費豫算
ヲ調製スヘシ

第六十七條 本組合ノ經費ハ左ノ收入金ヲ以テ之ニ充ツ

一、組合有財產ヨリ生スル收入

一、負擔金

一、縣費補助金

一、郡費補助金

一、種付料

一、雜收入

第六十八條 本組合ノ經費ハ左ノ費目ヲ以テ支出ス

一、事務所費

一、會議費

一、事業費

一、縣畜産會負擔

一、豫備費

第六十九條 毎年度ノ終リニ於テ經費ノ剩餘アル時ハ委員會
ノ決議ヲ經テ其幾分ヲ組合基金トシテ積立ツルモノトス

第七十條 組合基金ハ評議員會ノ決議ヲ經テ郵便貯金トシ又
ハ確實ナル銀行ニ預ケ入レ若ハ有價證券ヲ購入シ組長之ヲ
保管スルモノトス組合基金ハ利子ヲ除ク外天災其ノ他避ク
ヘカラサル事由アルニアラサレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

第七十一條 每會計年度收支決算業務成績ハ該年度經過後三
ヶ月以内ニ評議員會ノ監査ヲ經テ委員會ニ提出シ認定ヲ得
タルトキハ直ニ知事ニ届出テ組合内ニ公示スヘシ

第七十二條 組合費ハ必ス納期内ニ完納スヘシ若シ納期日後
十日ヲ過クルトキハ組長之ヲ督促ス

組合費ノ滞納者ニ督促ヲ爲ストキハ滞納金額及手数料ヲ列記シタル督促狀ヲ發スヘシ

督促手数料ハ一通金五錢トシ滞納金ト同時ニ徵收ス

第七十三條 督促手数料及過怠金ハ組合費雜收入トス

第七十四條 組合費負擔ノ義務消滅又ハ變更セルコトアルモ既納金ハ返付セス

組合員組合ヲ脱退シタルトキハ財産ヲ享有スルノ權ヲ失フモノトス

第七十五條 組合經費ノ豫算并徵收法ハ委員會ノ議決ヲ經テ會計年度前ニ縣知事ノ認可ヲ請フモノトス

第八章 違約者處分

第七十六條 本組合員ニシテ定款第八條第十六條第三十七條ノ規程ノ義務ヲ果サス又ハ第四十條第一項第五十二條第一項ニ違背シタルモノニハ金五拾錢以上貳百圓以下ノ過怠金ヲ科ス

第七十七條 組長ノ承認ヲ得シテ寄托セル種牡牛馬ヲ他ニ讓リ渡シタルモノアルトキハ前條ノ處分ヲナスノ外寄托物件ヲ返付セシムルカ又ハ相當ノ賠償ヲナサシムルモノトス

第七十八條 糶取牛馬代金廢種牡牛馬賣却代金并過怠金賠償金ノ納付ヲ怠リ督促二回ニ及フモ尙指定ノ期日迄ニ納付セサルトキハ其ノ期日ヨリ起算シ金百圓ニ付日歩金五錢ノ過怠金ヲ科ス

第七十九條 違約者ニ關スル處分ハ評議員會ノ決議ヲ經テ組長之ヲ施行ス

第九章 定款ノ變更及組合ノ解散

第八十條 定款ノ變更ハ委員定數ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ知事ノ認可ヲ受クルモノトス

第八十一條 組合解散セントスルトキハ組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第八十二條 組合ヲ解散シタルトキハ總會ニ於テ精算人ヲ選舉シ精算ノ事務ニ當ラシム

第八十三條 精算人ハ就職後遲滞ナク本組合財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作り之ヲ組合員總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

附 則

第八十四條 本定款ハ認可ヲ得タル日ヨリ實施ス

第八十五條 現任組合役員及委員ハ此ノ定款認可ノ日ヨリ本組合役員及委員ト看做ス

第八十六條 本定款實施ノ際現在組合役員及委員ハ各任期間在任スルモノトス 完

△技術員支給規程

第一條 技術員ノ俸給ハ毎月廿二日(休日ニ當ル時ハ繰上ク)之ヲ支給ス其ノ支給方法ハ文官俸給支給ノ例ニ據ル者トス

第二條 旅費ハ月額ヲ定メ毎月俸給ト同時ニ月額旅費ヲ支給ス

第三條 職務ノ爲メ一肢以上ノ用ヲ失フニ等シキ傷痍ヲ受ケタル時ハ狀況ニ因リ特ニ療養料ヲ支給ス但支給額ハ評議員會ノ決議ニ據ルモノトス

△技術員處務規程

第二條 技術員ハ技術ニ關スル業務ノ外組合事務ヲ兼務スル

診斷料ヲ別テ二種トシ普通診斷料ハ之ヲ徵セス特別診斷ハ此ノ限リニアラス

特別診斷トハ普通稟症の診斷以外ノモノニシテ顯微鏡的診斷、ツベルクリン注射診斷解剖的検査其ノ他牛乳尿等ノ化學的検査ニ依テ診斷スルモノヲ稱ス

前項ノ場合ニ於テ診斷書ヲ要スル時ハ金貳拾錢ヲ徵スルモノトス

二、手術料

手術料ハ手術ノ種類等ニ依テ相當料金を徵收ス

三、藥價

一日分金參拾錢以内トス

但特種ノ藥品ヲ使用スル場合ハ相當料金を徵收ス

四、往診料

畜主ノ請求ニ依テ出張診察施療シタル場合ニ於テハ管内ニ限リ金拾錢ヲ徵ス

但夜間及風雨等ノ場合ハ實費車馬賃ヲ畜主ヨリ支辨セシムルコトアルヘシ

五、乳牛鑑定書料

乳牛ヲ鑑定シタルトキハ組合ニ於テ鑑定書料一通ニ付金貳拾五錢ヲ徵收スルモノトス

六、診斷料、手術料、藥價、往診料並乳牛鑑定書料ハ毎月末組合事務所ヨリ徵收切符ヲ發シ翌月十日限リ畜主ヨリ納付セシムルモノトス

七、藥品、治療器械及診斷器施療用諸物品ハ總テ當組合ニテ購入ス

第九條 組合員ノ畜牛ニ對シ平素巡視ヲ爲スノ外毎年春秋二期ニ健康診斷ヲ爲スモノトス

第十條 前各條ノ外臨時必要ノ事項ハ組長ノ決裁ニ據ルヘシ

第十一條 本規程ハ明治四十二年九月一日ヨリ之ヲ實行スルモノトス

明治四十二年九月一日

△價藥、手術、往診料徵收規定

一、診斷料

產牛馬組合

二二三

八、組合員外ト雖モ請求スル時ハ診斷施療ニ應スヘシ
明治四十二年九月一日

△海津郡產牛馬組合種牡牛補助規則

- 第一條 當組合員ニシテ種牡牛ヲ購入セントスル時ハ購入費ニ對シ相當ノ補助ヲスル事
- 第二條 補助スヘキ種牡牛ハホルスタイン種ニシテ種牡牛檢査ニ合格シタルモノニ限ル
- 第三條 前條補助金ハ價格ノ三分ノ一以內トス
但價格ハ當組合ノ評價ニヨル
- 第四條 補助ヲ受ケタル種牡牛ハ檢査後滿二ケ年間飼養スルモノトス
但期限中他ニ賣却スルトキ若クハ疾病惡癬等種牡牛ノ用ニ堪ヘサルニ至リタル時又ハ死亡セシ時ハ現在種牡牛ヨリ以上ノモノヲ購入スルコト
- 第五條 種付料ハ當組合員證ヲ所持スルモノハ金二圓トス
但種付ノ結果一回ニテ受胎セサルトキハ第二回迄テ種付ヲナシ第三回目ヨリ半額トスルコト
- 第六條 第四條乃至五條ニ違背シタルトキハ補助金ノ全部ヲ返納セシムルコト

種牡牛購入補助願様式

補助願

今回種牡牛壹頭購入致度候ニ付テハ海津郡產牛馬組合種牡牛補助規則ニヨリ購入費補助相成度別紙種牡牛血統證相添ヘ此段相願候也

年月日

住所

海津郡產牛馬組合組長 殿

種牡牛血統證 様式

各號 何々號

種類 純血ホルスタイン種

生年月 明治年月日生

毛色 白黒斑

身幹 四尺 寸

產地 縣郡町村

血統 何々牧場産

母(詳細ヲ要ス)

右相違無之候也

年月日

住所

氏名印

海津郡產牛馬組合組長 殿

請書

今回左記種牡牛購入候ニ付金 圓補助相成候ニ付テハ別紙本郡產牛馬組合種牡牛補助規則ノ趣確守可致此段御請候也

明治年月日

住所

氏名印

海津郡產牛馬組合組長 殿

△組合役員ノ氏名

組長 内藤 兼雄
副組長 佐野 猪之助

評議員

佐藤 丑松
星野 勘三郎
安田 治平
加藤 金太夫
諏訪 壽三
炭 窠雄
山田 武平
田口 梧郎

△組合施設事業

一 技術員設置

組合ニ専門技術員ヲ設置シ常ニ管理、衛生、飼育方法、飼料ノ改良等實地畜主ヲ指導獎勵セシムルト共ニ一貫セラル方針ヲ以テ益々改良セシムルノ方法ヲ執リ亦傳染病ノ豫防、病畜ノ施療診斷ニ從事セシメツ、アリ

一 種牡牛

畜牛種類ノ改良統一ヲ圖リ優秀ナル種ヲ生産セシメンカ爲メ本縣種牡牛ノ配付ヲ受ケ數年來之カ種付ヲ施行セシニ漸次優良ナル成績ヲ舉クルニ至リタレハ今回更ニ尙一頭種牡牛ノ預托ヲ受ケ畜主一般ノ種付ヲ爲シツ、アルモ尙不足ヲ生スルノ憾アリ爲メニ組合ヨリ相當補助ヲ與ヘ購入セシメ當業者ノ需ニ應セシムル等種付ニ供用シ其種類ノ改良統一ヲ圖リツ、アリ

一 品評會

當組合ハ年々春季ニ於テ畜牛ノ品評會ヲ開催シ畜主ヲシテ其優劣ヲ對比セシメ一般畜牛業ノ趨勢ヲ知得セシムル

ト同時ニ販路ノ擴張ヲ圖ルヘキ機關トナシ品評會ヲ開催セリ今ヤ其効空シカラスシテ大ニ見ルヘキモノアルニ至レリ

一 講話會

常ニ畜産的思想即チ畜牛ノ飼育管理飼料ノ改良等ニ渡ル智識ノ普及ヲ圖ランカ爲メ組合ノ技術員ヲシテ農閑ノ時季ニ於テ之レカ講話ヲナサシメ或ハ飼育狀況ヲ視察實地ニ付キ指導獎勵セシメ尙知名ノ専門家を聘シテ斯業改良上ニ付講話ヲ爲スニアリ

△明治四十一年度海津郡立產牛組合經費決算書

科	目	本年度 豫算額	本年度 決算額
收入	第一款 組合費	一三、三五〇	一四、三五〇
	第二款 組合費	一三、三五〇	一四、三五〇
	第三款 雜入	一七、三五〇	一七、七九〇
	第四款 雜入	一七、三五〇	一七、七九〇
支出	第一款 雜入	一七、三五〇	一七、七九〇
	第二款 種付料	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
	第三款 診案及手數料	五、八五〇	六、九二〇
	第四款 證票料	一、五〇〇	一、五〇〇
補助金	第一款 前年度繰越金	六、一〇〇	三、〇六六
	第二款 前年度繰越金	六、一〇〇	三、〇六六
	第三款 前年度繰越金	六、一〇〇	三、〇六六
	第四款 前年度繰越金	六、一〇〇	三、〇六六

第二項 補助金	二五〇〇〇	二四〇〇〇
第一目 縣費補助金	五〇〇〇〇	四〇〇〇〇
第二目 郡費補助金	二〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇
第五款 寄附金	五〇〇〇〇	六〇〇〇〇
第一項 寄附金	五〇〇〇〇	六〇〇〇〇
第一目 寄附金	五〇〇〇〇	六〇〇〇〇
合計	六九一七〇〇	五七六三九八

科 支 出	本年度 豫算額	本年度 決算額
第一款 事務所費	三、一七〇	一、四四七〇
第一項 給料	一、五〇〇	—
第二項 雜給手當	一、五〇〇	—
第一目 手當	一、八七〇	一〇、八五〇
第二目 旅費	六〇〇〇	六、〇〇〇
第三目 手數料	四〇〇〇	—
第三項 需用費	八、一七〇	四、八五〇
第一目 備品費	一五、五〇〇	三、六〇〇
第二目 消耗品費	五、〇〇〇	—
第三目 印刷費	二、五〇〇	八〇〇
第四目 通信運搬費	三、〇〇〇	九〇〇
第二款 會議費	一〇、五〇〇	一、八〇〇
第一項 會議費	一〇、五〇〇	三、五〇〇
第一目 費用辨償額	八、〇〇〇	三、五〇〇
第二目 雜給	一、〇〇〇	二、九七〇
合計	一、〇〇〇	五三〇

第三目 需用費	一、五〇〇	—
第三款 事業費	六六、〇〇〇	五〇、二〇〇
第一項 事業費	六六、〇〇〇	五〇、二〇〇
第一目 技術員費	二八、〇〇〇	二八、〇〇〇
第二目 講話會費	八、〇〇〇	—
第三目 種牡牛飼養費	一〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
第四目 品評會費	一五〇、〇〇〇	一七六、〇〇〇
第五目 藥品療用品費	一〇、〇〇〇	三、八九〇
第六目 撲殺手當	一〇、〇〇〇	—
第七目 雇人料	二六、〇〇〇	一四、四九〇
第八目 消耗品費	三、〇〇〇	一九、六〇〇
第四款 負	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇
第一項 負擔	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇
第五款 豫備費	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇
第一項 豫備費	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇
第一目 豫備費	一五、〇〇〇	一五、〇〇〇
合計	六九一、七〇〇	五七五、五七〇

△明治四十三年度海津郡産牛組合業務狀況
 明治四十三年度ニ於ケル本組合業務中其重ナルモノ、概況ヲ
 舉クレハ左ノ如シ
 第一會 會議
 一、明治四十三年八月二日、通常委員會開會シ左記事項ヲ決議
 セリ
 一、明治四十一年度經費決算議決ノ件

一、同年度組合業務狀況報告ノ件
 一、縣預托種牡牛増加申請ノ件
 一、第四回畜牛品評會開催時日確定ノ件
 一、家畜市場開設ノ方法并ニ市場委員選定ノ件
 二、明治四十四年三月二十三日臨時總會ヲ開會シ左記事項ヲ
 議決セリ

- 一、組合名及組織變更ニ關スル件
- 一、定款及組合諸規程改正ノ件
- 一、明治四十四年度組合經費收支豫算及經費徵收法ニ關
スル件
- 一、第五回畜牛品評會開催ニ關スル件

一、收草栽培獎勵
 昨年度縣畜産會ヨリ配付ヲ受ケシ「チモシイ、オーチャー
 ト、レットトツブ、レットクロバ、ホワイトクロバ」等
 ノ收草種子ヲ組合員ニ配付シ之レカ栽培ヲ獎勵セシニ其
 成績稍良好ナリシヲ以テ本年度モ尙之レカ配付ヲ受ケ以
 テ其ノ栽培ノ獎勵ニ務メタリ

二、家畜市場開設ニ關シ調査委員選定ノ件
 八月二日家畜市場ヲ設ケテ牛馬ノ販路擴張ヲ圖リ賣買ヲ
 安全ナラシメンカ爲メ之レカ調査ニ關シテ左記ノ五氏ヲ
 調査委員ニ選定セリ

神野 松次郎 神野 淺磨 近藤 良吉
 安田 治兵衛 伊藤 久兵衛

三、預托種牡牛ノ申請

産牛馬組合

從來種牡牛トシテ使用セルハ西江村ニ於テ種付セシ縣有
 預托種牡牛ノ外個人ノ購入ニカ、ルモノ一頭アルノミニ
 シテ畜牛飼育増加ノ今日到底種付ニ充分ノ結果ヲ見ル能
 ハザルヲ以テ更ニ預托種牡牛ノ申請ヲナシタリ

四、第四回畜牛品評會
 十月一日二日ノ兩日間高須町ニ於テ第四回畜牛品評會ヲ
 開催審査長ハ本縣技師和田足也氏ニシテ其ノ出品点数第
 一區洋牛百十三点同和牛六十六点第二區參考品四十二点受
 賞別左ノ如シ

一、受賞者表、第一種、四十五人
 一等賞 (ホルスタイン種) 受賞者三人
 二等賞 同 同 五人
 三等賞 同 同 十八
 四等賞 同 同 十二人
 五等賞 同 同 十五人

二、受賞者表、第二種、四人
 二等賞 耕作用牡牛 一人
 三等賞 同 一人
 四等賞 同 一人
 五等賞 同 一人

五、組合組織變更ニ關スル事
 明治四十年同産牛組合ヲ設ケシ以來畜牛ノ改良増殖ニ努
 メツ、アルモ獨リ馬匹ノ改良管理并ニ畜主相互ノ利益ヲ
 圖ランタメ本組合ノ組織ヲ變更シ産牛馬組合ナルモノニ

改メント七月以來馬匹飼育者ノ同意ヲ募リ四十四年三月二十三日漸ク總會ヲ開會シ組合組織變更定款ノ更正ヲナセリ

六、傳染病豫防警告ノ件

十月中縣下稻葉郡ニ於テ猛烈ナル氣腫疽病發生セシヲ以テ之レカ豫防警告ニ務メタリ

七、畜牛管理衛生及飼育獎勵牛籍調査等ニ關スル事

技術員ヲシテ專ラ郡内ヲ巡視セシメ畜牛ノ管理法衛生上ニ關スル注意及牛籍ノ調査畜牛飼育獎勵等ニ付テハ實地指導セシメ病畜ノ診斷治療傳染病ノ豫防等ニ關スル諸業務ヲ行ハシメタリ

○岐阜縣養老郡產牛組合

△定 款

第一章 名稱及事務所

第一條 本組合ハ岐阜縣養老郡產牛組合ト稱ス

第二條 組合ノ事務所ハ養老郡高田町大字高田養老郡役所内ニ之ヲ設置ス

第二章 組織及地區

第三條 組合ハ牛ノ生産ニ從事スル者ヲ以テ組織ス

第四條 組合ハ養老郡壹圓ヲ以テ區域トス

第三章 目的及業務

第五條 組合ハ牛ノ改良繁殖及組合員ノ共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第六條 組合ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ業務ヲ行フ

一 種牡牛ノ供用ニ關スルコト

一 牛市ノ開設ニ關スルコト

一 牛籍ノ調製ニ關スルコト

一 牛ノ共進會品評會ニ關スルコト

一 牛ノ販路擴張ニ關スルコト

一 牛ノ去勢普及ニ關スルコト

一 獸疫ノ豫防制退ニ關スルコト

一 產牛ニ關シ官廳ノ諮問アルトキハ之ニ答ヘ又意見アルトキハ官廳ニ建議スルコト

第四章 組合及組合員ノ權利義務

第七條 組合ニ於テ施行スル事務ノ順序方法等ハ之ヲ評議員ニ諮詢シテ定ムルコトアルヘシ

第八條 組合ニ種牡牛ヲ購入シテ之ヲ飼養ス

第九條 組合有種牡牛ニ交尾ヲ要求セントスルモノハ種類、年齡、体尺、毛色ヲ記シタル交尾請求書ヲ組長ニ差出スヘシ

第十條 組合有種牡牛ハ牝牛ノ健全ナルモノニアラサレハ交尾セシメサルモノトス

第十一條 組合有種牡牛ニ交尾セシメントラ請求シタルトキハ第十二條ニヨリ牝牛所有者ニ交尾票ヲ交付ス

第十二條 組合有種牡牛ニ交尾セシムヘキ牝牛ノ選定ハ組長或ハ別ニ設ケタル選定委員ノ決定ニ依ル

第十三條 組合有種牡牛ニ交尾シ分娩シタルモノニハ血統票ヲ交付ス

前項ノ血統證ヲ受クルモノハ一通ニ付料金貳拾錢ヲ納ムヘシ

第十四條 組合員其所有又ハ飼養ノ牝牛分娩シタルトキハ其年月日、種類、毛色特徴及牝牛ヲ記シ一ヶ月以内ニ組長ニ届出ツヘシ

第十五條 組合員其所有又ハ飼養ノ牛ヲ賣買交換シ又ハ死亡シタルトキハ一ヶ月以内ニ組長ニ届出ヘシ

第十六條 組合員ハ組合ノ經費ヲ負擔スルノ義務ヲ負フ

組合員經費負擔ノ義務消滅シ又ハ變更スルモ既納ノ分ハ之ヲ還付セス

組合員組合ヲ脱退スルモ財産ノ分配ヲ請求スルヲ得ス

第十七條 組合費ハ必ス納期内ニ完納スヘシ若シ納期後十日ヲ過クルトキハ第六十條ニ依リ處分ス

第五章 加入及脱退

第十八條 組合事務所ニ組合員名簿ヲ備置異動ノ都度加除更正スヘシ

第十九條 組合員ニハ證票及表札ヲ交付ス此場合ニハ調製料トシテ證票ハ貳錢表札ハ五錢ヲ徴收ス

第二十條 組合地區内ニ於テ牛ノ生産ニ從事スル者ハ其區ノ委員ヲ經テ當事務所ニ届出ツヘシ

第二十一條 組合員死亡廢業又ハ組合外ヘ轉居シタルトキハ其區委員ヲ經テ證票及表札ヲ返納スヘシ但既納ノ調製料ハ之ヲ返付セス

第二十二條 組合員組合内ノ轉居家督相續改氏名又ハ證票及表札ヲ遺失毀損シタルトキハ其區委員ヲ經テ書換又ハ再渡

ヲ請フヘシ此場合ニハ第十九條ヲ適用ス

第二十三條 組合員ハ其門戸ニ表札ヲ掲クヘシ

第二十四條 證票及表札ノ様式ハ別紙一號ニ依ル

第六章 役員資格權限及其選舉

第二十五條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

一 組長 壹名 一 副組長 壹名 一 評議員 五名

第二十六條 役員タルヲ得ヘキ者ハ年齡二十五歲以上ノ男子ニシテ左記各號ニ該當セサル者ニ限ル

一 地區内ニ於テ產牛ニ從事シ一ケ年ヲ經サル者

二 重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ又ハ農商工業ヲ妨害スル罪財產ニ關スル罪風俗ヲ害スル罪及信用ヲ害スル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレ滿期又ハ赦免後二ケ年ヲ經サル者

三 公權ヲ剝奪セラレタル者又ハ其停止中ノ者

四 復讐セサル破産者及家資分散者

第二十七條 役員ハ委員會ニ於テ組合員中ヨリ選舉シ其任期ヲ二ケ年トス但滿期再選セラルコトヲ得

第二十八條 組長ハ組合ヲ統轄シ其事務ヲ擔任ス副組長ハ組長ヲ補佐シ組長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第二十九條 組長ハ書記其他雇員ヲ任免スルコトヲ得

第三十條 評議員ハ組長ノ諮問ニ應シ又ハ業務施行ノ狀況ヲ監査シ又ハ意見ヲ述フ

評議員ハ組長副組長共ニ故障アルトキハ年長者之ヲ代理ス

第三十一條 左ノ事項ハ評議員ニ諮問スルヲ要ス

一 違約者處分

一 豫算編成ノ目的ニ反セサル範圍内ニ於テ項又ハ目ノ流

用

一 前各號ノ外組長ニ於テ重要ト認メタル事項
第三十二條 役員ハ委員會ニ於テ委員五分ノ四以上ノ同意ニ依リ解任スルコトヲ得

第三十三條 役員ニ缺員ヲ生シタルトキハ三十日以内ニ補缺選舉ヲ行フヘシ補缺員ノ任期ハ前任者ノ任期ニ依ル

第三十四條 役員退任シ其職務ヲ行フモノアラサルトキハ後任者就職ニ至ル迄ノ間前任者其事務ヲ取扱フモノトス

第七章 委員會

第三十五條 委員會ハ組合員ノ選舉シタル委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十六條 委員ハ左ノ區域ニ據リ其區組合員ノ投票ヲ以テ之ヲ選舉ス

- 高田町 一人 養老村 一人 廣幡村 一人
- 上多度村 一人 下多度村 一人 池邊村 一人
- 笠郷村 一人 小畑村 一人 多藝村 一人
- 日吉村 一人 牧田村 一人 一之瀬村 一人
- 多良村 一人 時村 一人

第三十七條 委員タルヲ得ヘキモノ、資格ニ付テハ第二十六條ヲ適用ス

第三十八條 委員ノ選舉ハ組長ノ公告ニ依リ之ヲ行フ

公告ハ選舉會場及月日時ヲ記シ選舉ノ日ヨリ少クモ五日前ニ之ヲ發スヘシ

第三十九條 委員ノ選舉ハ組長ニ於テ選舉掛長及選舉掛二名ヲ指定シ選舉ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシムヘシ

第四十九條 委員會ニ於テ議決シタル事項ハ之ヲ議事録ニ記載シ議長及委員二名以上署名捺印スヘシ

第五十條 委員會ノ議決ハ過半数ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル處ニ依ル

第五十一條 議事細則ハ別ニ之ヲ定ム

第八章 組合總會

第五十二條 組合員總會ハ任意解散ヲ議決スル場合若ハ本章ノ規定ヲ變更スル場合ニ開クモノトス

第五十三條 組合員總會ハ任意解散ヲ除クノ外組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ議決スルコトヲ得ス

第五十四條 組合員ハ他ノ組合員ヲ代理人トシテ組合員總會ニ出席シ議決權ヲ行ハシムルコトヲ得代理人ハ委任狀ヲ示スヘシ

第五十五條 組合員總會ノ議長及招集ノ手續ハ第四十六條第四十八條ヲ適用ス組合員總會ノ開會ヲ請求スルハ組合員三分ノ一以上ヲ要ス

第五十六條 組合員總會ハ出席者ノ名簿ヲ調製シ之ニ署名捺印セシノ議事録ニ付綴スヘシ但シ議事録ハ第四十九條ヲ準用ス

第九章 會計

第五十七條 組合ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第五十八條 組合經費ノ豫算並徵收方法ハ委員會ノ議決ヲ經年度前二ヶ月ヲ限リ知事ノ認可ヲ請フ者トス

第五十九條 組合事業成績經費ノ決算ハ年度後二ヶ月以内ニ

第四十條 委員ノ當選者定マリタルトキハ選舉掛長ハ之ヲ組長ニ報告スヘシ

第四十一條 組長ハ前條ノ報告ニ依リ直ニ之ヲ當選人ニ告知スヘシ

第四十二條 當選人前條ノ告知ヲ受ケ五日以内ニ何等申出サルトキハ其當選ヲ承諾シタルモノトス

第四十三條 委員ノ任期ハ四ケ年トス滿期再選セラル、コトヲ得

委員ニ缺員ヲ生シタルトキハ三十日以内ニ其補缺選舉ヲ行フヘシ補缺員ノ任期ハ前任者ノ任期ニ依ル

第四十四條 委員會ニ於テ議定スヘキ事項左ノ如シ
一 經費ノ豫算並ニ徵收方法ノ件
二 決算報告認定ノ件

三 組合ノ業務執行ニ關スル規程ノ制定改廢ノ件
四 官廳ノ諮問ニ對スル答申ノ件

五 前各號ノ外組長ニ於テ必要ト認メタル事件

第四十五條 委員會ハ通常會臨時會ノ二トシ通常會ハ毎年十二月臨時會ハ必要アル場合ニ於テ其事件ニ限リ之ヲ開ク但開期二日以内トス

第四十六條 委員會ハ組長之ヲ招集ス但委員三分ノ一以上ノ請求アルトキハ組長ハ委員會ヲ招集スヘシ

第四十七條 委員會ハ委員半数以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開クコトヲ得但同一事件ニ付招集再回ニ至ルモ仍定數ニ滿タサルトキハ三分ノ一以上ノ出席ニテ足ル

第四十八條 委員會ノ議長ハ組長ヲ以テ之ニ充ツ

組合員ニ公告シ且知事ニ報告スルモノトス

第十章 違約者處分

第六十條 此定款第十四條第十五條第十七條ニ違背シタル者ハ五圓以下ノ過怠金ヲ徵收ス

第六十一條 過怠金ハ其處分ノ達ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ納付スヘシ

第十一章 定款變更

第六十二條 定款ハ委員會ニ於テ總委員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得但第二章第八章ノ事項ヲ議決スルコトヲ得ス

第十二章 解散

第六十三條 本組合ハ業務ノ都合ニ依リ組合員總會ニ於テ組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ解散スルコトヲ得ス

第六十四條 組合ノ解散ヲ議決シタルトキハ總會ニ於テ精算人五名ヲ選舉シ現務ノ結了債權ノ取立債務ノ辨濟並殘餘財產ノ處分等ニ關スル一切ノ事項ヲ處理セシム

第十三章 雜則

第六十五條 本組合ノ印章ハ別紙第二號ニ依ル

第六十六條 設立當初ノ役員及委員ハ創立總會ニ於テ選舉シ役員ノ任期ハ明治三十六年十二月末日委員ノ任期ハ明治三十八年十二月末日ヲ以テ終了トス

第六十七條 設立當初ニ於ケル豫算ハ創立總會ニ於テ之ヲ議定ス

第一號

證票紙製

三寸

第 號

表

岐阜縣養老郡産牛組合員

住所氏名

4 11

裏

明治年月日

岐阜縣養老郡産牛組合事務所

事務所印

表札木製

七寸五分

第 號

岐阜縣養老郡産牛組合員

住所氏名

4 11

第二號

印章

一方一寸五分
岐阜縣養老郡産牛組合之印

一方一寸二分
岐阜縣養老郡産牛組合之印

烙印

方 岐阜縣養老郡産牛組合
分組長之印

方 岐阜縣養老郡産牛組合
分副組長之印

△養老郡産牛組合役員

副組長 栗田慶之助
評議員 山幡清
同 石原敏雄
同 杉野健藏
同 三宅權次郎
同 三宅權次郎
職員

△組合施設事業

毎年畜牛品評會ヲ開キ改良蕃殖ヲ獎勵ス臨時家畜市場ヲ開キ組合員ノ畜牛ヲ賣買交換之媒介ヲナス
縣共進會出品者ニ補助ヲナシ獎勵ヲナス

△明治四十三年度養老郡産牛組合經費決算

Table with columns for '科' (Category), '目' (Item), '本年度' (Current Year), '豫算高' (Budget High), '本年度' (Current Year), '豫算高' (Budget High), '對' (Comparison), '比' (Ratio), and '附記' (Notes). It details financial entries like '第一款 組合費收入' and '第二款 雜收入'.

Table with columns for '科' (Category), '目' (Item), '本年度' (Current Year), '豫算高' (Budget High), '本年度' (Current Year), '豫算高' (Budget High), '對' (Comparison), '比' (Ratio), and '附記' (Notes). It details financial entries like '第三款 補助金' and '第四款 寄附金'.

Table with columns for '科' (Category), '目' (Item), '本年度' (Current Year), '豫算高' (Budget High), '本年度' (Current Year), '豫算高' (Budget High), '對' (Comparison), '比' (Ratio), and '附記' (Notes). It details financial entries like '第一款 事務所費' and '第二款 實費'.

Table with columns for '科' (Category), '目' (Item), '本年度' (Current Year), '豫算高' (Budget High), '本年度' (Current Year), '豫算高' (Budget High), '對' (Comparison), '比' (Ratio), and '附記' (Notes). It details financial entries like '第四款 負債' and '第五款 借入金'.

△明治四十三年度事業報告
第八回事業年度自四十四年三月至四十五年三月事業概要左ニ報告ス
一 組合員四十二年度末千三百二十六人四十三年度末千三百二十二ニシテ差引四人ヲ減ス
一 四十四年八月二十六日臨時委員會ヲ開キ四十二年度經費決算四十三年度經費追加豫算ノ議定及組長以下ノ役員任期滿限ニ付選舉ヲナセリ
一 四十四年九月十五日委員任期滿了ニ付選舉ヲナセリ
一 四十四年十月十日十一日高田町北堤同十三日十四日多良村下多良ニ於テ第四回畜牛品評會ヲ開ク其概要左ニ
一 十月十日十一日高田町北堤ニテ開設シ十一日褒賞授與式ヲ舉行セリ出品人員四十三人出品點數五十八點五點四等十點五等十點
一 審査員 岐阜縣種畜場技手 内田總一
一 審査員 岐阜縣農會技手 山田與十郎
一 審査員 岐阜縣屠畜検査技手 藤 幸 砂
一 十月十三日十四日多良村下多良ニテ開設シ十四日褒

産牛馬組合

賞授與式ヲ舉行セリ

出品人員六十一人出品點數六十一點授賞點數二十九點内優等一點一等二點二等三點四等八點五等十二點

審査員 岐阜縣種畜場技手 内田 總一

審査員 獸 醫 倉原盛太郎

一 四十四年二月三十一日通常委員會ヲ開キ四十四年度經費豫算ヲ議定セリ

○安八郡産牛組合

△定 款

第一章 名稱及事務所位置

第一條 當組合ハ岐阜縣安八郡産牛組合ト稱ス

第二條 當組合ノ事務所ハ安八郡大垣町字林本郷千七百三十一番地ニ設置ス

第二章 營業ノ種類及其地區

第三條 當組合ハ牛ノ生産ニ從事スル者ヲ以テ組織ス

第四條 當組合ハ安八郡一圓ヲ以テ區域トス

第三章 目的及其業務

第五條 當組合ハ牛ノ改良及組合員ノ共同利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第六條 當組合業務ノ種類左ノ如シ

一 種牡牛ノ供用ニ關スル事項

二 牛市ノ開設ニ關スル事項

三 牛籍ノ調製ニ關スル事項

四 牛共進會品評會ニ關スル事項

五 牛販路ノ擴張ニ關スル事項

六 牛去勢普及ニ關スル事項

七 獸疫ノ豫防制退ニ關スル事項

八 産牛ニ關シ官廳ノ諮問アルトキハ之ニ答ヘ又意見アルトキハ官廳ニ建議スル事

第七條 組合ニ於テ施行スル事務ノ順序方法等ハ委員會ノ決議ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

第八條 組合ニ種牡牛ヲ購入シ又ハ預托ヲ受ケ之ヲ飼養ス

第九條 組合有ノ種牡牛ノ交尾ヲ要求セントスルモノハ種類年齢尺毛色ヲ記シタル交尾請求書ヲ組長ニ差出スヘシ

第十條 組合有種牡牛ハ牝牛ノ優等ナルモノニアラサレハ交尾セシメサルモノトス

第十一條 交尾請求者ハ五拾錢以上五圓以下ノ範圍内ニ於テ組長ノ定ムル所ノ交尾料ヲ納付スヘシ

第十二條 組合有種牡牛ニ交尾シテ分娩シタルモノニハ血統証ヲ交付ス

前項ノ血統証ヲ受クルモノハ料金貳拾錢ヲ納ムヘシ

第十三條 組合員其所有ノ牝牛分娩シタルトキハ其年月日種類毛色牝牡ヲ記シ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第十四條 組合員其所有牛ヲ賣買交換シ又ハ牛死亡シタルトキハ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第四章 組合員加入及脱退

第十五條 組合員ニハ証票及表札ヲ交付ス此場合ニハ調製料トシテ証票ハ貳錢表札ハ五錢ヲ徴收ス

第十六條 組合ニ加入セントスル者ハ其區ノ委員ヲ經テ當組合事務所ニ申立ツヘシ

第十七條 組合員死亡廢業又ハ組合外ヘ轉居シタルトキハ其ノ旨ヲ届出テ証票及表札ヲ返納スヘシ此場合ト雖モ已納ノ調製料ハ返付セス

第十八條 組合員組合内ノ轉居家督相續改氏名又ハ証票及表札ヲ遺失毀損シタルトキハ其書換又ハ再渡ヲ請フヘシ此場合ニハ第十五條及第十六條ヲ適用ス

第十九條 組合ニ加入ノ手續ヲナシタルトキハ速ニ見易キ所ニ表札ヲ掲クヘシ

第二十條 組合員ノ証票及表札ノ雛形ハ左ノ如シ

第 三 寸	第 號
岐阜縣 安八郡 産牛組合員	住所
氏 名	烙印

七寸五分

第五章 役員ノ資格權限及其選舉

第二十一條 當組合ニ左ノ役員ヲ置ク

一 組長 一名

一 副組長 壹名

一 評議員 七名

第二十二條 役員タルヲ得ヘキモノハ年齢二十五歳以上ノ男子ニシテ左記各號ニ該當セサルモノニ限ル

一 地區内組合員ニシテ牛ノ飼養ニ從事シ一箇年ヲ經サル者

二 重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ又ハ農商工業ヲ妨害スル罪財產ニ對スル罪風俗ヲ害スル罪及信用ヲ害スル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレ滿期又ハ赦免後二ケ年ヲ經サル者

三 公權剝奪セラレタル者又ハ其停止中ノ者

四 復權セサル破産者及家資分散者

第二十三條 役員ハ委員會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス

第二十四條 役員ノ任期ハ二年トス滿期ノ後再選セラル、事ヲ得但シ欠員ヲ生スル場合ニアツテハ三ヶ月以内ニ補欠選

舉ヲナス其任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第二十五條 組長ハ組合ノ一切ノ事務ヲ總理ス副組長ハ組長

裏

第 三 寸	第 號
岐阜縣 安八郡 産牛組合員	住所
氏 名	烙印

七寸五分

明治 年 月 日

岐阜縣 安八郡 産牛組合事務所

事務所印

表 札 木 製

産牛馬組合

ヲ補佐シ組長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第二十六條 組長ハ事務上ノ利害ニ關シ必要ノ事件アルトキハ所轄郡長又ハ縣知事ニ申報スヘシ

第二十七條 組長ハ此定款ニ違背セシ者アリテ之カ處分ヲ爲シタルトキハ郡役所ヲ經テ縣廳ニ申報スヘシ

第二十八條 組長ハ書記ヲ任用シ及雇員ヲ使用スル事ヲ得

第二十九條 評議員ハ組長ノ諮問ニ應シ及業務施行ノ狀況ヲ監査シ又ハ意見ヲ述フヘシ

評議員ハ組長副組長共ニ故障アルトキハ之ヲ代理スルモノトス其順位ハ年長者ヲ以テ之レニ充ツ

第六章 委員會

第三十條 委員會ハ各區域ニ於ケル組合員ノ選舉シタル定數ノ委員ヲ以テ組織ス其區域及定數左ノ如シ

但區域内ニ於ケル組合員壹名ノトキハ選舉ヲ要セス委員ト見做ス

大垣町	貳名	安井村	壹名
北杭瀬村	壹名	南杭瀬村	壹名
北平野村	壹名	多藝島村	壹名
中川町	壹名	洲本村	壹名
神宮村	壹名	淺草村	貳名
名森村	壹名	福束村	壹名
結侯町	壹名	仁木村	壹名
墨井村	壹名		
牧川並村	壹名		

三城村 壹名 大藪町 壹名

第三十一條 委員タルヲ得ヘキモノ、資格ニ付テハ第二十二條ヲ適用ス

第三十二條 委員ノ選舉ハ組長ノ公告ニヨリ之ヲ行フ公告ハ選舉會場及日時ヲ記シ選舉ノ日ヨリ少クモ五日前ニ之ヲ發スヘシ

第三十三條 委員ノ選舉ハ組長ニ於テ選舉掛長及選舉掛二名ヲ指定シテ選舉ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシムヘシ

第三十四條 委員當選人定リタルトキハ選舉掛長ハ之ヲ組長ニ報告スヘシ

第三十五條 委員ノ任期ハ四ケ年トス滿期後再選セラレハコトヲ得

第三十六條 委員中缺員アルトキハ三ケ月以内ニ補欠選舉ヲ行フヘシ但シ補欠員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第三十七條 委員會ハ組合經費ノ豫算並ニ徵收法ヲ定メ及決算ヲ認定シ其他定款ニ規定シタル事項ヲ議決ス

第三十八條 委員會ハ毎年一月六月ノ兩度ニ通常會ヲ開クヘシ其會期ハ三日以内トス其他組長ニ於テ必要ト認めタルトキ若クハ委員三分一以上ノ請求アルトキハ其事件ニ限り臨時會ヲ開ク事ヲ得其開期ハ二日以内トス

第三十九條 委員會ハ組長ヲ以テ議長トス

第四十條 委員會ハ組長之ヲ召集ス

召集ハ開會ノ日ヨリ五日前ニ公告スヘシ但急施ヲ要スル場合ハ此限りニアラス

第五十條 當組合經費ノ費目左ノ如シ
一 事務所費 一 會議費 一 事業費
一 負擔金 一 豫備費

第五十一條 役員ニハ報酬若クハ給料旅費委員ニハ旅費日常ヲ給スル事ヲ得其額ハ委員會ノ定ムル所ニ依ル

第五十二條 組合ノ支出ニ充ツル費用ハ組合有財産ヨリ生スル收入其他雜收入ヲ以テ充ツルモノ、外ハ組合員三分賦ス

第五十三條 組合員ハ組合費ヲ負擔スルノ義務アリ

第五十四條 組合費ハ必ス納期内ニ完納スヘシ若シ納期後十日ヲ過クルトキハ組長ハ之ヲ督促ス

第五十五條 組合費不納者ニ督促ヲナストキハ督促狀ヲ發スヘシ

第五十六條 督促手數料及過怠金ハ組合費雜收入トス

第五十七條 督促手數料ハ督促一回ニ付金拾錢トシ滯納金トニ同時ニ徵收ス

第五十八條 組合費負擔ノ義務消滅又ハ變更スルモ既納ノ分ハ返付セス組合員組合ヲ脱退スルモ財産ノ分配ヲ請求スルノ權ナキモノトス

第五十九條 組長ハ毎年翌年度ニ係ル經費豫算ヲ調製スヘシ但シ組合ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第六十條 組合經費ノ豫算並ニ徵收法ハ委員會ノ議決ヲ經會計年度ニケ月前ニ縣知事ノ認可ヲ請フモノトス

事業成績經費ノ決算貸借對照表ハ毎年六月之ヲ組合ニ公告シ縣知事ニ報告スヘシ

第四十一條 委員會ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外委員半數以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲ス事ヲ得ス

但シ同一ノ議事ニ付召集再回以上ニ涉リタル場合ハ本條ノ制限ニ依ラサルモ議決スル事ヲ得

第四十二條 委員會ノ議決ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外過半數ニ依ル可同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十三條 凡テ會議ニ於テ議決シタル事項ハ之ヲ議事録ニ記載シ議長及委員二名以上署名捺印スヘシ

第四十四條 議事ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 組合總會

第四十五條 組合員總會ハ任意解散ヲ議決セントスル場合若クハ本章ノ規定ヲ變更セントスル場合及組合員ノ請求ニヨリ之ヲ開ク者トス

第四十六條 組合員總會ハ組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ議決スルコトヲ得ス

第四十七條 組合員ハ他ノ組合員ヲ代理人トシテ組合員總會ニ出席シ議決權ヲ行ハシムルコトヲ得代理人ハ委任狀ヲ示スヘシ

第四十八條 組合員總會ノ議長及召集ノ手續ハ第三十九條第四十條ヲ適用ス組合員總會ノ開會ヲ請求スルハ組合員三分ノ一以上ヲ要ス

第四十九條 組合員總會ハ出席者ノ名簿ヲ調製シ之ニ署名捺印セシメ議事録ニ付綴スヘシ但シ議事録ハ第四十三條ヲ準用ス

第八章 會計

産牛馬組合

第九章 違約者處分

第六十一條 第十三條第十四條第十九條ニ違背シタル者ハ拾錢以上壹圓以下ノ過意金ヲ出サシムヘシ

第六十二條 過意金ハ其處分ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ組合事務所ニ差出スヘシ

第十章 定款變更及任意解散

第六十三條 此定款中第七章ヲ除キ其他ノ規定ハ委員會ニ於テ總委員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ決議シ縣知事ノ認可ヲ經テ更正加除スル事ヲ得

第六十四條 當組合業務ノ都合ニ依リ組合員總會ニ於テ組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ縣知事ノ認可ヲ經テ任意解散ヲナスコトヲ得

此定款第七章ノ規定ハ組合員總會ニ於テ前項ノ手續ヲ經テ更正加除スルコトヲ得

第六十五條 前條第一項ノ場合ニ於テハ組合員總會ニ於テ精算人ヲ選舉シ本組合ノ財産及債權債務ヲ處理セシムヘシ

第十一章 雜則

第六十六條 當組合ノ印章左ノ如シ

方 岐阜縣安八 郡產牛組 合組長之印	方 同 上 烙 印
方 岐阜縣安八 郡產牛組 合組長之印	方 同 上 烙 印

第六十七條 創立初度役員及委員ハ創立總會ニ於テ之ヲ選舉シ其役員ノ任期ハ明治四十二年十二月迄トス

附則 組合役員氏名

安八郡產牛組合組長	中島吉三郎
副組長	伊藤要輔
評議員	高野祐次郎
同	川井弘
同	坂幸四郎
同	野川文吉
同	川村吾市
同	増田武市
同	澤藤佐内

△組合施設事業

- 一 產牛品評會
郡内ニ於テ生産シタル牛ヲ品評審査シテ之レニ等級ヲ附シテ賞品ヲ授與シ產牛改良ヲ獎勵ス
- 一 種牡牛種付
縣有種牡牛二頭ノ預托ヲ受ケテ郡内牝牛ノ發育健全ナルモノニ種付ヲナス

○岐阜縣揖斐郡產牛組合

△定款

第一章 名稱及事務所位置

第一條 當組合ハ岐阜縣揖斐郡產牛組合ト稱ス

第二條 當組合ノ事務所ハ揖斐郡揖斐町四百十番戶ニ設置ス

第二章 營業ノ種類及其地區

第三條 當組合ハ牛ノ生産ニ從事スル者ヲ以テ組織ス

第四條 當組合ハ揖斐郡一圓ヲ以テ區域トス

第三章 目的及其業務

第五條 當組合ハ牛ノ改良及組合員ノ共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第六條 當組合業務ノ種類左ノ如シ

- 一 種牡牛ノ供用ニ關スル事項
- 二 牛市ノ開設ニ關スル事項
- 三 牛籍ノ調製ニ關スル事項
- 四 牛共進會品評會ニ關スル事項
- 五 牛販路ノ擴張ニ關スル事項
- 六 牛去勢普及ニ關スル事項
- 七 獸疫ノ豫防利退ニ關スル事項
- 八 產牛ニ關シ官廳ノ諮問アルトキハ之ニ答ヘ又意見アルトキハ官廳ニ建議スルコト

右ノ外委員會ニ於テ必要ト認メタル事項

第七條 組合ニ於テ施行スル事務ノ順序方法等ハ委員會ノ決議ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

第八條 組合ニ種牡牛ヲ購入シテ之ヲ飼養ス

第九條 組合有ノ種牡牛ノ交尾ヲ要求セントスルモノハ種類年齢体尺毛色ヲ記シタル交尾請求書ヲ毎年二月迄ニ組長ニ差出スヘシ

第十條 組合有種牡牛ハ牝牛ノ優等ナルモノニアラサレハ交

尾セシメサルモノトス

第十一條 交尾請求者ハ五拾錢以上五圓以下ノ範圍内ニ於テ組長ノ定ムル所ノ交尾料ヲ納付スヘシ

第十三條 組合有種牡牛ニ交尾シテ分娩シタルモノニハ血統證ヲ交付ス

第十四條 組合員其所有ノ牝牛分娩シタルトキハ其年月日種類毛色牝牡ヲ記シ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第十五條 組合員其所有ノ牛賣買交換シ又ハ牛死亡シタルトキハ速ニ組長ニ届出ツヘシ

前項ノ血統證ヲ受クルモノハ料金貳拾五錢ヲ納ムヘシ

第十六條 組合員其所有ノ牝牛分娩シタルトキハ其年月日種類毛色牝牡ヲ記シ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第十七條 組合員其所有ノ牛賣買交換シ又ハ牛死亡シタルトキハ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第十八條 組合員死亡廢業又ハ組合外ニ轉居シタルトキハ其旨ヲ届出テ證票及表札ヲ返納スヘシ此場合ト雖モ已納ノ調製料ハ返付セズ

第十九條 組合員組合内ノ轉居家督相續改氏名又ハ證票及表札ヲ遺失毀損シタルトキハ其書換又ハ再渡ヲ請フヘシ此場合ニハ第十六條ヲ適用ス

第二十條 組合ニ加入ノ手續ヲナシタルトキハ速ニ見易キ所ニ表札ヲ掲クヘシ

第二十一條 組合員ノ證票及表札ノ雛形ハ左ノ如シ

證票 紙製

第 號
岐阜縣揖斐郡產牛組合員
住所
氏名

明治 年 月 日
岐阜縣揖斐郡產牛組合事務所
事務所印

表札木製

第 號
岐阜縣揖斐郡產牛組合員
住所
氏名

第五章 役員ノ資格權限及其選舉

第廿二條 當組合ニ左ノ役員ヲ置ク

一 組長 壹名

一 副組長 壹名

一 評議員 五名

第廿三條 役員タルヲ得ヘモノハ年齡二十五歲以上ノ男子ニ

第三十一條 委員會ハ各區域ニ於ケル組合員ノ選舉シタル定數ノ委員ヲ以テ組織ス其區域及定數左ノ如シ

坂内村 二名 久瀬村 三名 小島村 一名

徳山村 一名 春日村 二名 谷汲村 一名

長瀬村 一名 横藏村 一名 清水村 一名

揖斐町 一名 大和村 一名 西郡村 一名

富秋村川合村 一名 池田村本郷村 一名

大野村豊木村 一名 養基村宮地村 一名

第三十二條 委員タルヲ得ヘキモノ、資格ニ付テハ第二十三條ヲ適用ス

第三十三條 委員ノ選舉ハ組長ノ公告ニ依リ之ヲ行フ公告ハ選舉會場及日時ヲ記シ選舉ノ日ヨリ少クモ五日前ニ之ヲ發スヘシ

第三十四條 委員ノ選舉ハ組長ニ於テ選舉掛長及選舉掛二名ヲ指定シテ選舉ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシムヘシ

第三十五條 委員當選人定リタルトキハ選舉掛長ハ之ヲ組長ニ報告スヘシ

第三十六條 委員ノ任期ハ四ケ年トス滿期後再選セラル、コトヲ得

第三十七條 委員中缺員アルトキハ三ヶ月以内ニ補欠選舉ヲ行フヘシ但シ補缺員ノ任期ハ前任者ノ任期ニ依ル

第三十八條 委員會ハ組合經費ノ豫算并ニ徴收法ヲ定メ及決算ヲ認定シ其他此定款ニ規定シタル事項ヲ議決ス

第三十九條 委員會ハ毎年一月六月ノ兩度ニ通常會ヲ開クヘシ

シテ左記各號ニ該當セザルモノニ限ル

一 地區内ニ於テ組合ヲ組織スル營業ニ従事シ一箇年ヲ經サル者

二 重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ又ハ農商工業ヲ妨害スル罪財產ニ對スル罪風俗ヲ害スル罪及信用ヲ害スル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレ滿期又ハ赦免後二箇年ヲ經サル者

三 公權剝奪セラレタル者又ハ其停止中ノ者

四 復權セザル破産者及ヒ家資分散者

第廿四條 役員ハ委員會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス

第廿五條 役員ノ任期ハ二年トス滿期ノ後再選セラル、コトヲ得

但シ欠員ヲ生スル場合ニアツテハ三ヶ月以内ニ補欠選舉ヲナス其任期ハ前任者ノ任期ニ依ル

第廿六條 組長ハ組合一切ノ事務ヲ總理ス副組長ハ組長ヲ補佐シ組長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第廿七條 組長ハ事務上ノ利害ニ關シ必要ノ事件アルトキハ所轄郡長又ハ縣知事ニ申報スヘシ

第廿八條 組長ハ此定款ニ違背セシモノアリテ之カ處分ヲ爲シタルトキハ郡役所ヲ經テ縣廳ニ申報スヘシ

第廿九條 組長ハ書記ヲ任用シ及雇員ヲ使用スルコトヲ得

第三十條 評議員ハ組長ノ諮問ニ應シ及業務施行ノ狀況ヲ監査シ又ハ意見ヲ述フヘシ評議員ハ組長副組長共ニ故障アルトキハ之ヲ代理シ若クハ定款ノ規定ニ依リ組長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

第六章 委員會

シ其會期ハ三日以内トス其他組長ニ於テ必要ト認メタルトキ若クハ委員三分一以上ノ請求アルトキハ其事件ニ限リ臨時會ヲ開クコトヲ得其會期ハ二日以内トス

第四十條 委員會ハ組長ヲ以テ議長トス

第四十一條 委員會ハ組長之ヲ召集ス

第四十二條 委員會ハ此ノ限ニアラス

第四十三條 委員會ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外委員三分一以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得但シ同一ノ議事ニ付召集再回以上ニ涉リタル場合ハ本條ノ制限ニ依ラザルモ議決スルコトヲ得

第四十四條 委員會ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十五條 凡テ會議ニ於テ議決シタル事項ハ之ヲ議事録ニ記載シ議長及委員二名以上署名捺印スヘシ

第四十六條 議事ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 組合總會

第四十七條 組合員總會ハ任意解散ヲ議決スル場合若ハ本章ノ規定ヲ變更スル場合ニ開クモノトス

第四十八條 組合員總會ハ任意解散ノ場合ヲ除クノ外組合員三分二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ議決スルコトヲ得

第四十九條 組合員ハ他ノ組合員ヲ代理人トシテ組合員總會ニ出席シ議決權ヲ行ハシムルコトヲ得代理人ハ委任狀ヲ示スヘシ

第五十條 組合員總會ノ議長及召集ノ手續ハ第四十條第四

第十二條 適用ス組合員總會ノ開會ヲ請求スルハ組合員三分ノ一以上ヲ要ス

第五十條 組合員總會ハ出席者ノ名簿ヲ調製シ之ニ署名捺印セシメ議事録ニ付綴スヘシ但シ議事録ハ第四十四條ヲ準用ス

第八章 會計

第五十一條 當組合經費ノ費目左ノ如シ

- 一 事務所費
- 一 會議費
- 一 事業費
- 一 負擔金
- 一 豫備費

第五十二條 役員ニハ報酬若クハ給料旅費委員ニハ旅費日當ヲ給スルコトヲ得其額ハ委員會ノ定ムル所ニ依ル

第五十三條 組合ノ支出ニ充ツル費用ハ組合有財産ヨリ生スル收入其他雜收入ヲ以テ充ツルモノ、外ハ組合員ニ分賦ス

第五十四條 組合員ハ組合費ヲ負擔スルノ義務アリ

第五十五條 組合費ハ必ス納期內ニ完納スヘシ若シ納期後十日ヲ過クルトキハ組長之ヲ督促ス

第五十六條 組合費不納者ニ督促ヲナストキハ督促狀ヲ發スヘシ

第五十七條 督促手数料及違約金ハ組合費雜收入トス

第五十八條 督促手数料ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

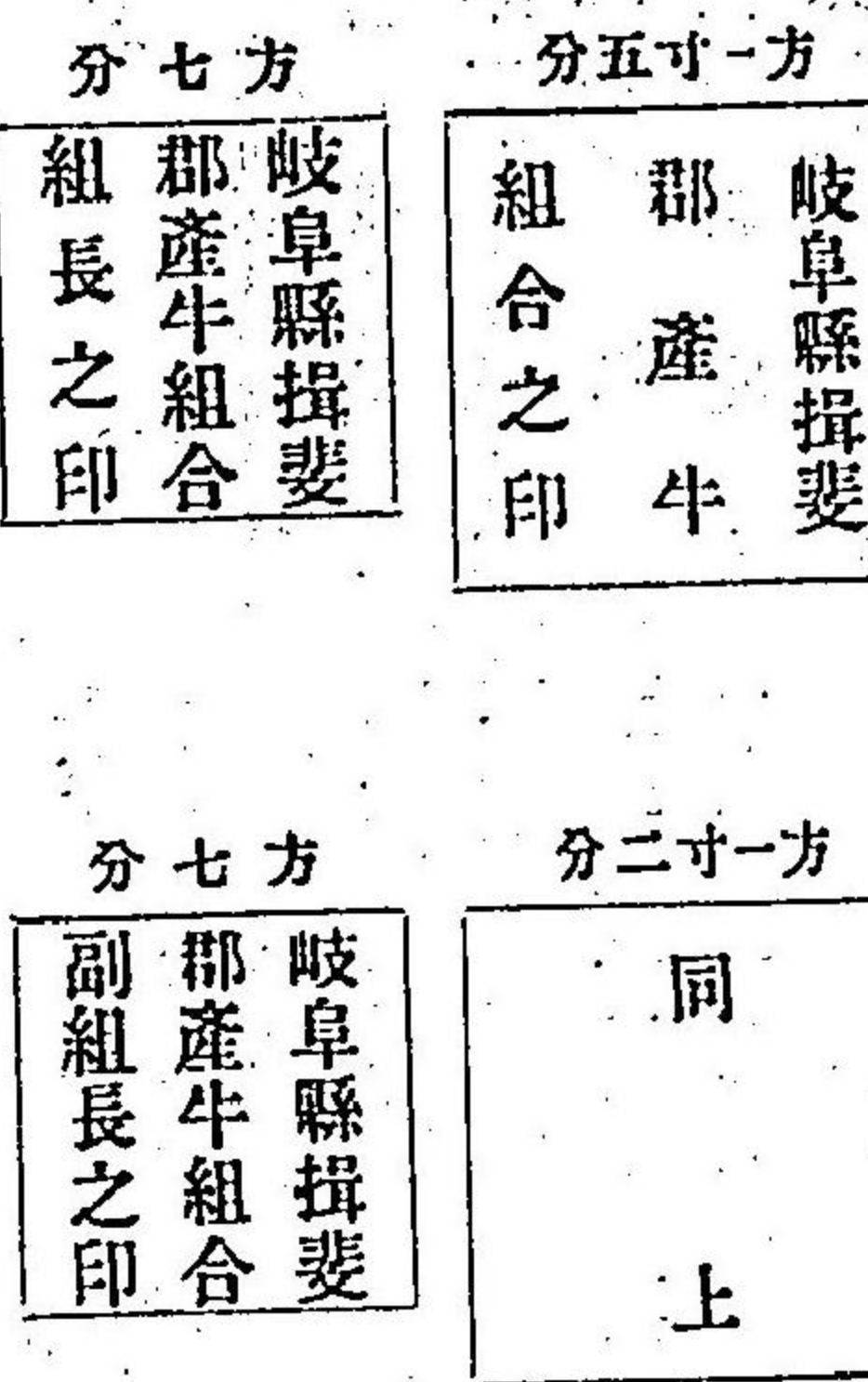
第五十九條 組合費負擔ノ義務消滅又ハ變更スルモ既納ノ分ハ返付セズ組合員組合ヲ脱退スルモ財産ノ分配ヲ請求スルノ權ナキモノトス

清算人ハ就職ノ後遲滞ナク本組合財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作り之ヲ組合員總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

清算人ハ清算事務カ終リタルトキハ遲滞ナク決算報告書ヲ作り之ヲ組合總會ニ提出シ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第十一章 雜則

第六十七條 當組合印章左ノ如シ



△揖斐郡産牛組合役員

- 組長 石田安太
- 副組長 弓削藤四郎
- 評議員 坪井秀彦
- 小林兵五郎
- 牧村元八
- 大岩祐夫

△組合施設事業

産牛馬組合

第六十條 組長ハ毎年其翌年度ニ係ル經費豫算ヲ調製スヘシ但シ組合ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第六十一條 組合經費ノ豫算並ニ徵收法ハ委員會ノ議決ヲ經會計年度二ヶ月前ニ縣知事ノ認可ヲ請フモノトス

事業成績經費ノ決算貸借對照表ハ每會計年度後二ヶ月以内ニ之ヲ組合ニ公告シ縣知事ニ報告スヘシ

第九章 違約者處分

第六十二條 第十四條第十五條第二十條ニ違背シタル者ハ拾錢以上壹圓以下ノ過怠金ヲ出サシムヘシ

第六十三條 過怠金ハ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ組合事務所ニ差出スヘシ

第十章 定款變更及任意解散

第六十四條 此ノ定款ノ規定ハ委員會ニ於テ總委員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ決議シ縣知事ノ認可ヲ經テ更正加除スルコトヲ得

第六十五條 當組合ハ業務ノ都合ニヨリ組合員總會ニ於テ組合員五分ノ四以上ノ同意ヲ得テ縣知事ノ認可ヲ經テ任意解散ヲナスコトヲ得

此定款第七章ノ規定ハ組合員總會ニ於テ前項ノ手續ヲ經テ更正加除スルコトヲ得

第六十六條 前條ノ場合ニ於テハ組合員總會ニ於テ精算人ヲ選舉シ本組合ノ財産及債權債務ヲ處理セシムヘシ

清算人ハ何時ニテモ組合員總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

明治四十四年度

一 縣有種牡牛三頭ノ預托ヲ受ケ之ヲ郡内坂内、久瀬、清水ノ三ヶ村ニ管理セシメ以テ一般種付ノ用ニ供セシムルコト

二 優良ナル種牡牛ノ購入者ニ對シ補助ヲ與ヘ以テ種牡牛ノ設備ヲ獎勵スルコト

三 畜産共進會ノ出品者ニ對シ出品獎勵ノ爲メ補助ヲ與フルコト

四 畜産講話會ノ開設

△明治四十三年度業務

一 明治四十三年七月四日總會ヲ開キ明治四十三年度經費豫算ヲ議決及明治四十二年度ノ決算ノ認定ヲ受ケタリ

一 明治四十四年三月三十一日總會ヲ開キ明治四十四年度經費豫算及組合定款變更ヲ議決シ且ツ組合役員ノ改選ヲ行ヒタリ

一 明治四十三年四月八日縣有預托種牡牛崎浦號ノ種付料徵收ノ件本縣ヨリ認可ヲ得タリ

一 明治四十三年四月十一日日本縣畜産會ヨリ牧草種子ノ配付ヲ受ケ之ヲ北方村香田儀平池田村今西直夫ニ試作セシメタルニ何レモ優良ノ好成绩ヲ得タリ

一 明治四十三年十二月廿二日縣有種牡牛下西號(ホルスタイン)ノ預托ヲ受ケ之ヲ清水村弓削藤四郎ニ管理飼養セシメタリ

一 明治四十四年三月一日同上種牡牛下西號ノ種付料徵收ノ件本縣ノ認可ヲ得タリ

一 明治四十四年三月九日日本郡池田村今西直夫ニ縣費補助ノ

牝牛ノ(ホルスタイン)購入ヲ斡旋シタリ
 一 明治四十三年度縣有種牡牛種付成績左ノ如シ
 デボン 初良號 七十五頭
 ホルスタイン 坂内村 中井市藏管理 四拾貳頭
 久瀨村 高橋豊彦管理 十四頭
 ホルスタイン 下西號 弓削藤四郎管理
 清水村

△明治四十三年度掛斐郡産牛組合經費決算書

科 目	本年度		比 較
	決算額	豫算額	
第一款 組合員分賦徵收金	三三,九〇〇	三三,九〇〇	〇
第一項 組合員分賦金	三三,九〇〇	三三,九〇〇	〇
第一目 組合員分賦金	三三,九〇〇	三三,九〇〇	〇
第二款 雜 收 入	二六,三三八	二六,三三八	〇
第一項 雜 收 入	二六,三三八	二六,三三八	〇
第一目 証 票 料	二〇〇	二〇〇	〇
第二目 表 札 料	五〇〇	五〇〇	〇
第三目 血統証料	五〇〇	五〇〇	〇
第四目 種 付 料	三三,五〇〇	三三,五〇〇	〇
第五目 雜 收 入	四,八八八	七,五〇〇	二,六一二
第三款 繰 越 金	一四,四五九	二〇,〇〇〇	五,五四九
第一項 繰 越 金	一四,四五九	二〇,〇〇〇	五,五四九
第一目 繰 越 金	一四,四五九	二〇,〇〇〇	五,五四九
合 計	六六,七三七	五九,一七〇	七,六〇七

說明

科 目	本年度		比 較
	決算額	豫算額	
第一款 事務所費	八,〇三三	九,九〇〇	一,八六七
第一項 給 料	二六,〇〇〇	二六,〇〇〇	〇
第一目 組長報酬	三,〇〇〇	三,〇〇〇	〇
第二目 副組長報酬	三,〇〇〇	三,〇〇〇	〇
第三目 書記給料	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	〇
第二款 雜 給	五,三三〇	四,四〇〇	九三〇
第一目 雇 人 料	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇
第二目 經費徵收手数料	三六,五〇〇	二〇,〇〇〇	一六,五〇〇
第三目 小 使 給	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇
第四目 人 夫 賃	八〇〇	一,〇〇〇	二〇〇
第三款 需 用 費	四,七三三	二,五〇〇	二,二三三
第一目 備 品 費	一,〇〇〇	一,〇〇〇	〇
第二目 消耗品費	二,九八八	一,〇〇〇	一,九八八
第三目 通信運搬費	一,七五五	四,〇〇〇	二,二四五
第四目 印 刷 費	一,〇〇〇	三,五〇〇	二,五〇〇
第五目 雜 費	一,〇〇〇	三,〇〇〇	二,〇〇〇
第二款 會 議 費	三,六〇〇	三,六〇〇	〇
第一項 評議員會費	三,六〇〇	三,六〇〇	〇
第一目 評議員會費	三,六〇〇	三,六〇〇	〇
第二項 委員會費	五,六〇〇	二,〇〇〇	三,六〇〇
第一目 委員會費	五,六〇〇	二,〇〇〇	三,六〇〇
第三項 雜 給	七,〇〇〇	九,六〇〇	二,六〇〇

說明

科 目	本年度		比 較
	決算額	豫算額	
第一目 評議員會費	七,〇〇〇	九,〇〇〇	二,〇〇〇
第二目 雇 人 料	六〇〇	六〇〇	〇
第四項 雜 費	五,〇〇〇	五,〇〇〇	〇
第一目 雜 費	五,〇〇〇	五,〇〇〇	〇
第二款 事 業 費	二四,五〇〇	四三,〇〇〇	一八,五〇〇
第一項 獎 勵 費	二四,五〇〇	四三,〇〇〇	一八,五〇〇
第一目 預托種牡牛	二四,五〇〇	三三,〇〇〇	八,五〇〇
第二目 種 飼 料 費	二四,五〇〇	三三,〇〇〇	八,五〇〇
第三目 種 飼 料 費	二四,五〇〇	三三,〇〇〇	八,五〇〇
第四款 負 担 金	一五,〇〇〇	一五,〇〇〇	〇
第一項 負 担 金	一五,〇〇〇	一五,〇〇〇	〇
第五款 豫 備 費	一〇,一〇〇	一〇,一〇〇	〇
第一項 豫 備 費	一〇,一〇〇	一〇,一〇〇	〇
第一目 豫 備 費	一〇,一〇〇	一〇,一〇〇	〇
合 計	三三,三三三	五九,一七〇	二五,八三七

○本巢郡産牛馬組合

△定 款

第一章 名稱及事務所位置

- 第一條 當組合ハ岐阜縣本巢郡産牛馬組合ト稱ス
- 第二條 當組合事務所ハ本巢郡役所内ニ設置ス
- 第二章 營業ノ種類及其地區
- 第三條 當組合ハ牛又ハ馬ノ生産ニ従事スル者ヲ以テ組織ス
- 第四條 當組合ハ本巢郡一圓ヲ以テ區域トス

産牛馬組合

第三章 目的及其業務

- 第五條 當組合ハ牛馬ノ改良及組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第六條 當組合業務ノ種類左ノ如シ
 - 一 種牡牛馬ノ供用ニ關スル事項
 - 二 牛馬市ノ開設ニ關スル事項
 - 三 牛馬籍ノ調製ニ關スル事項
 - 四 牛馬共進會品評會ニ關スル事項
 - 五 牛馬販路ノ擴張ニ關スル事項
 - 六 牛馬去勢普及ニ關スル事項
 - 七 獸疫ノ豫防制退ニ關スル事項
 - 八 産牛馬ニ關スル官廳ノ諮問アル時ハ之ニ答ヘ又意見アルトキハ官廳ニ建議スルコト
- 第七條 組合ニ於テ施行スル事務ノ順序方法等ハ委員會ノ決議ニ依リ之ヲ定ムルモノトス
- 第八條 組合ニ種牡牛馬ヲ購入シ又ハ預托ヲ受ケ之ヲ飼養ス
- 第九條 組合有及預托ヲ受ケタル種牡牛馬ノ交尾ヲ要求セントスルモノハ種類年齢尺毛色ヲ記シタル交尾請求書ヲ組長ニ差出スヘシ
- 第十條 組合有種牡牛馬ノ優等ナルモノニアラサレハ之ヲ交尾シメサルモノトス
- 第十一條 交尾請求者ハ組合ニ於テ定メタル交尾料ヲ納付スヘシ
- 第十二條 組合有種牡牛馬ニ交尾シテ分娩シタルモノニハ血統證ヲ交付ス

第四十四條 議事ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 組合總會

第四十五條 組合總會ハ任意解散ヲ議決スル場合又ハ本章ノ規定ヲ變更スル場合若クハ組合員ニ於テ成規ノ賛成ヲ得テ請求スル場合ニ開クモノトス

第四十六條 組合員總會ハ議事ノ特ニ規定セルモノ、外第三條ニ定メタル各種組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ議決ス

第四十七條 組合員ハ他ノ組合員ヲ代理人トシテ組合員總會ニ出席シ議決權ヲ行ハシムルコトヲ得代理人ハ委任狀ヲ示スヘシ

第八章 會計

第五十條 當組合經費ノ費目左ノ如シ

- 一 事務所費
 - 一 會議費
 - 一 事業費
 - 一 負擔費
 - 一 豫備費
- 第五十一條 役員ニハ報酬若クハ給料旅費委員ニハ旅費日常ヲ給スルコトヲ得其額ハ委員會ノ定ムル所ニヨル
- 第五十二條 組合ノ支出ニ充ツル費用ハ組合有財産ヨリ生スル其他ノ雜收入ヲ以テ充ツルモノ、外ハ組合員ニ賦課ス
- 第五十三條 組合費ハ必ス納期內ニ完納スヘシ若シ納期後十日ヲ過クルトキハ組長之ヲ督促ス

日ヲ過クルトキハ組長之ヲ督促ス

第五十四條 組合費不納者ニ督促ヲナストキハ滯納金額及手數料ヲ列記シタル督促狀ヲ發スヘシ

第五十五條 督促手數料ハ一回ニ付金五錢トシ滯納金ト同時ニ徵收ス

第五十六條 督促手數料及過怠金ハ組合費雜收入トス

第五十七條 組合費負擔ノ義務消滅又ハ變更スルモ既納ノ分ハ送付セス組合員組合ヲ脫退スルモ財産ノ分配ヲ請求スルノ權ナキモノトス

第五十八條 組長ハ毎年其翌年度ニ係ル經費豫算ヲ調製スヘシ但組合ノ會計年度ハ毎年四月一日始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第九章 違約者處分

第六十條 第十四條第十九條ニ違背シタル者ハ拾錢以上壹圓以下ノ過怠金ヲ出サシムヘシ

第六十一條 過怠金ハ其處分ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ組合事務所ニ差出スヘシ

第十章 定款變更及任意解散

第六十二條 此定款中第七章ヲ除キ其他ノ規定ハ委員會ニ於テ總委員三分ノ二以上ノ同意ニヨリ決議シ縣知事ノ認可ヲ經テ更正加除スルコトヲ得

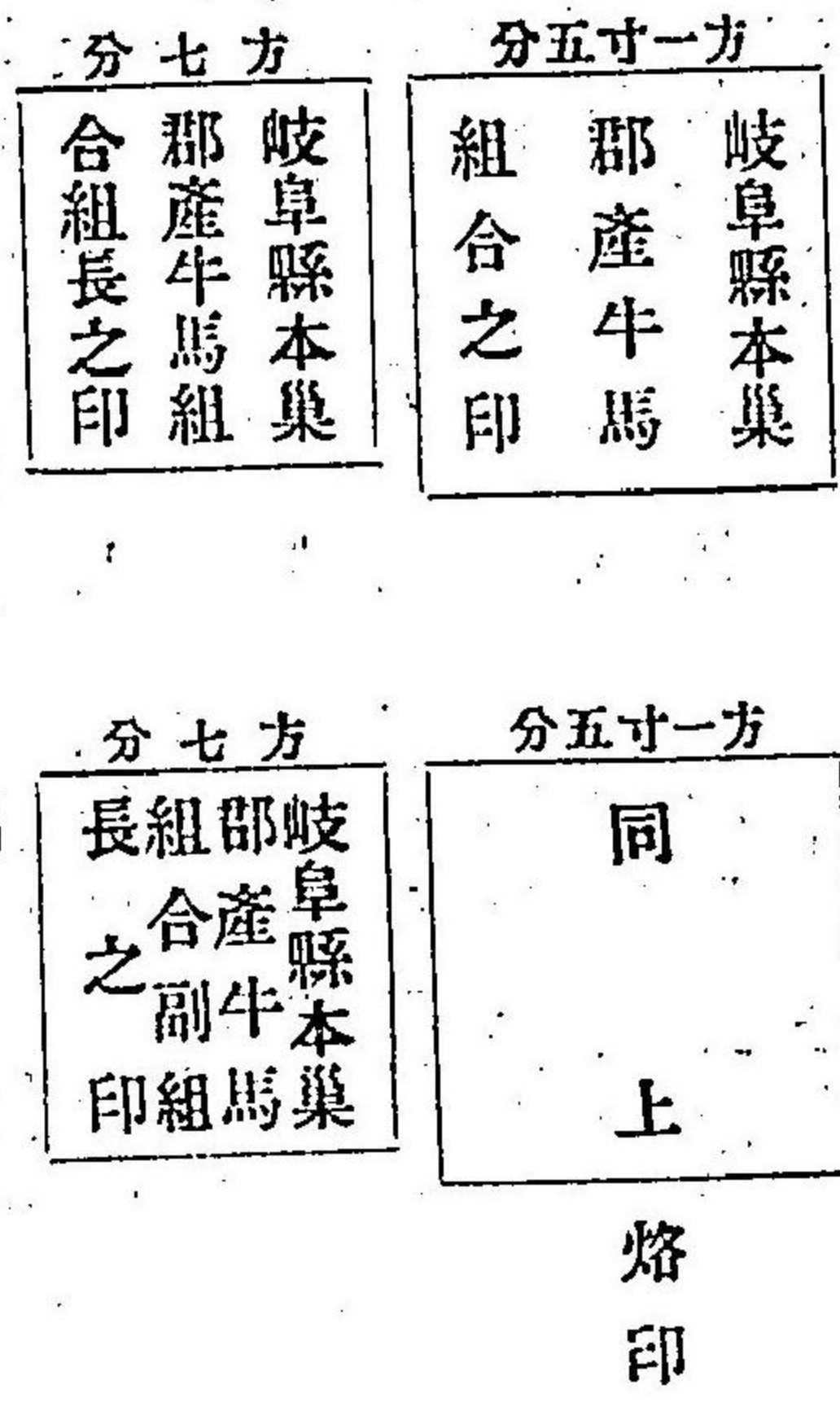
第六十三條 當組合ハ業務ノ都合ニ依リ組合員總會ニ於テ組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得縣知事ノ認可ヲ經テ任意解散ヲナスコトヲ得

此定款第七章ノ規定ヲ組合員總會ニ於テ前項ノ手續ヲ經テ更正加除スルコトヲ得

第六十四條 前條第一項ノ場合ニ於テハ組合員總會ニ於テ精算人ヲ選舉シ本組合ノ財産及債權債務ヲ處理セシムヘシ

第十一章 雜則

第六十五條 當組合ノ印章左ノ如シ



第六十六條 創立當初ノ役員及委員ハ創立總會ニ於テ豫選シ其年ノ終ルマテテテ就職滿一ケ年ニ計算ス

- △本巢郡產牛馬組合役員氏名
- 組長 本巢郡長 後藤又次郎
 - 副組長 本巢郡根尾村 梶原惣之助
 - 同 根尾村 川口鉄次郎
 - 同 眞桑村 安藤藤一
 - 評議員 同

産牛馬組合

- △組合施設事業
- 本郡ハ牝牛飼育數百頭以上アルモ種牡牛ナク繁殖上不利ナリシヲ以テ去ル四十二年ヨリ縣有種牡牛ノ預托ヲ受ケ本組合事業トシテ土貴野村ニ牛舎ヲ建設シ種付ヲ爲シ斯業ノ發達ヲ計リツ、アリ尙産馬改良ニ付テハ縣有種牡馬種付所ヲ根尾村市場揖斐郡大野村ノ二ヶ所ニ置カレアルモ中部即外山網代地方ノ各村ニ於テハ何レモ縣有種付所ヲ去ルコト數里以上ニ亘リ不便不尠爲ニ四十三年度ヨリ外山村神海ニ預托種馬種付所ヲ新設シ普及ヲ圖レリ
 - 縣有預托種牡牛馬種付料 牛 壹頭ニ付 金 貳圓
 - 馬 同 金 壹圓五拾錢

△明治四十三年度本巢郡產牛馬組合歳入歳出決算

科	目	豫算額	決算額	備考
第一款 寄附金	第一項 寄附金	一三、〇〇〇		
	第一目 寄附金	一三、〇〇〇		
	第二項 前年度繰越金		七九〇	
第二款 前年度繰越金	第一項 前年度繰越金		七九〇	
	第一目 前年度繰越金		七九〇	
第三款 組合收入		二六、〇〇〇	一五、〇〇〇	

第一項交尾料	八〇,〇〇〇	
第一目交尾料	八〇,〇〇〇	
第二項組合員割	一八五,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
第一目組合員割	七五,〇〇〇	四〇,〇〇〇
第二目牝馬交尾割	五〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇
第三目産駒割	六〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇
第二項表証料	一七,〇〇〇	四,五〇〇
第一目証票料	三,〇〇〇	一,五〇〇
第二目表札料	一四,〇〇〇	三,〇〇〇
第四款借入金	一六〇,〇〇〇	一四,〇〇〇
第一項借入金	一六〇,〇〇〇	一四,〇〇〇
第五款雜收入	一六〇,〇〇〇	一四,〇〇〇
第一項不用品賣拂代	五,〇〇〇	三,七〇〇
第一目厩肥代	五,〇〇〇	一,八〇〇
第二項過年度收入	五,〇〇〇	一,八〇〇
第一目過年度收入	二,九〇〇	二,九〇〇
第六款財産ヨリ生スル收入		三,一〇〇
第一項利子收入		三,一〇〇
第一目預金利子	五八五,〇〇〇	二七〇,八三二
計		
第一款事務所費	一三三,〇〇〇	三,七五
第二項給料	一三,〇〇〇	
第一目書記給料	一三,〇〇〇	

第二項雜給	六〇,〇〇〇	
第一目役員實費	三〇,〇〇〇	
第二目書記旅費	二五,〇〇〇	
第三項需用費	四〇,〇〇〇	三,七五
第一目消耗品費	一五,〇〇〇	
第二目印刷費	一五,〇〇〇	二,二五
第三目通信費	五,〇〇〇	一,五〇〇
第四目表証調製費	五,〇〇〇	
第二款會議費	一〇,〇〇〇	
第一項會議費	一〇,〇〇〇	
第三款事業費	一〇,〇〇〇	二,一六〇
第一項種牡馬費	三,七五〇	二,一六〇
第一目交尾所設備費	五五,〇〇〇	六,七一九
第二目飼料補給費	九,〇〇〇	三,〇七〇
第三目雜費	二五,〇〇〇	五,五七〇
第四目厩舍費	一,〇〇〇	
第二項預托種牛費	二〇,〇〇〇	一〇,八三〇
第一目牛舎建築費	三,七五〇	一四,四一〇
第二目飼養料	一六,〇〇〇	一四,三三〇
第三目雜費	一,五〇〇	
第四款負擔	一,五〇〇	〇,六〇
第一項負擔	三,五〇〇	三,五〇〇
第一目畜産會費負擔	三,五〇〇	三,五〇〇
第六款雜支出	三六,〇〇〇	三,五〇〇

第一項種牛奉付費及飼料費	三八,〇〇〇	
第一目奉付費	八,〇〇〇	
第二目飼料費	三〇,〇〇〇	
第二項過年度追拂		九,二五五
第一目過年度追拂		九,二五五
第七款豫備費	三〇,〇〇〇	
第二項豫備費	三〇,〇〇〇	
第一目豫備費	三〇,〇〇〇	
計	五八五,〇〇〇	二四七,二三〇

歳入歳出差引

殘金貳拾參圓七拾壹錢壹厘

翌年度へ繰越

△明治四十三年度事業成績報告

第三回事業年度 自四十四年三月廿一日 事業概要左ノ如シ

- 一 明治四十三年三月七日日本組合通常會ヲ開キ 四十四年度歳入出豫算ヲ議決セリ
- 一 同年二月七日付ヲ以テ縣有種牡馬ノ預托認可ヲ受ケ飼育セリ
- 一 同年三月十一日付ヲ以テ本縣種牡馬補助規程ニ依リ組合ニ於テ牝馬壹頭購入ヲ取扱タリ
- 一 同四十二年十一月十八日付ヲ以テ縣有種牡牛預托認可ヲ受ケ飼育中ノ處本年度ニ於テ牛舎ヲ新設セリ
- 一 同四十二年三月二十八日付ヲ以テ牛舎ヲ新設セリ

○岐阜縣山縣郡産牛組合

△定款

産牛馬組合

- 第一章 名稱及事務所位置
- 第一條 當組合ハ岐阜縣山縣郡産牛組合ト稱ス
- 第二條 當組合事務所ハ山縣郡北山村役場内ニ置ク
- 第二章 營業ノ種類及其地區
- 第三條 當組合ハ牛ノ生産ニ從事スル者ヲ以テ組織ス
- 第四條 當組合ハ山縣郡壹圓ヲ以テ區域トス
- 第三章 目的及其業務
- 第五條 當組合ハ牛ノ改良及組合員ノ共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第六條 當組合業務ノ種類左ノ如シ
- 一 種牡牛ノ供用ニ關スル事項
 - 二 牛市ノ開設ニ關スル事項
 - 三 牛籍ノ調製ニ關スル事項
 - 四 牛共進會品評會ニ關スル事項
 - 五 牛販路擴張ニ關スル事項
 - 六 牛去勢普及ニ關スル事項
 - 七 獸疫ノ豫防制遏ニ關スル事項
 - 八 産牛ニ關シ官廳ノ諮問アルトキハ之ニ答ヘ又意見アルトキハ官廳ニ建議スルコト
- 第七條 組合ニ於テ施行スル業務ノ順序方法等ハ委員會ノ決議ニヨリ之ヲ定ムルモノトス
- 第八條 組合ニ種牡牛ヲ購入シ又ハ預托ヲ受ケ之ヲ飼養ス
- 第九條 組合有ノ種牡牛ニ交尾ヲ要求セントスルモノハ種類年齡体尺毛色ヲ記シタル交尾請求書ヲ組長ニ差出スヘシ
- 第十條 組合有種牡牛ハ牝牛ノ優等ナルモノニアラサレハ交

尾セシメサルモノトス

第十一條 交尾請求者ハ五拾錢以上五圓以下ノ範圍内ニ於テ
組長ノ定ル所ノ交尾料ヲ納付スヘシ

第十二條 組合有種牝牛ニ交尾シテ分娩シタルモノニハ血統
證ヲ交付ス

前項ノ血統證ヲ受クルモノハ料金參拾錢ヲ納ムヘシ

第十三條 組合員其所有ノ牝牛分娩シタルトキハ其年月日種
類、毛色、牝、牡ヲ記シ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第十四條 組合員其所有ノ牛ヲ賣買交換シ又ハ死亡シタルトキ
ハ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第四章 組合員加入及脱退

第十五條 組合員ニハ證票及表札ヲ交付ス此場合ニハ調製料
トシテ證票ハ參錢表札ハ七錢ヲ徴收ス

第十六條 組合ニ加入セントスルモノハ其區ノ委員ヲ經テ當
組合事務所ニ申立ツヘシ

第十七條 組合員死亡廢業又ハ組合外へ轉居シタルトキハ其
旨ヲ届出テ證票及表札ヲ返納スヘシ此場合ト雖モ既納ノ調
製料ハ返付セス

第十八條 組合員組合内ノ轉居家督相續改氏名又ハ證票及表
札ヲ遺失毀損シタルトキハ其ノ書換又ハ再渡ヲ請フヘシ此
場合ニハ第十五條及第十六條ヲ適用ス

第十九條 組合ニ加入ノ手續ヲナシタルトキハ速ニ見易キ所
ニ表札ヲ掲クヘシ

第二十條 組合員ノ證票及表札ノ雛形ハ左ノ如シ
證票 紙製

第三寸
第 號
岐阜縣山縣郡產牛組合員
住 氏 所 名

明治 年 月 日

岐阜縣山縣郡產牛組合事務所

事務所印

表札 木製 七寸五分

第 號

岐阜縣山縣郡產牛組合員

住 氏 所 名

烙印

第五章 役員ノ資格權限及其選舉

第二十一條 當組合ニ左ノ役員ヲ置ク
一 評議員 七名
一 組 長 壹名 一 副組長 壹名

第二十二條 役員タルヲ得ヘキモノハ年齡廿五歲以上ノ男子
ニシテ左記各號ニ該當セサルモノニ限ル
一 重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ滿期又ハ赦免後二ヶ年
ヲ經サルモノ

二 公權ヲ剝奪セラレタル者又其停止中ノ者

三 復權セサル破産者及家資分散者

第二十三條 役員ハ委員會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス
第二十四條 役員ノ任期ハ三年トス滿期ノ後再選セララル、コ
トヲ得但シ欠員ヲ生シタル場合ニハ補欠選舉ヲ行フ其任期
ハ前任者ノ殘任期間トス役員ハ其任期滿了後ト雖トモ後任
者ノ就職スル迄其職務ヲ行フモノトス

第二十五條 組長ハ組合一切ノ事務ヲ統理ス副組長ハ組長ヲ
補佐シ組長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第二十六條 組長ハ事務上ノ利害ニ關シ必要事件アルトキハ
所轄郡長又ハ縣知事ニ申報スヘシ

第二十七條 組長ハ此定款ニ違背セシ者アリテ處分ヲ爲シタ
ルトキハ郡役所ヲ經テ縣廳ニ申報スヘシ

第二十八條 組長ハ書記ヲ任用シ及雇員ヲ使用スルコトヲ得
第二十九條 評議員ハ組長ノ諮問ニ應シ及業務施行ノ狀況ヲ
監査シ又ハ意見ヲ述フヘシ

評議員ハ組長副組長共ニ故障アルトキハ之ヲ代理スルモノ
トス其ノ順位ハ年長者ヲ先ニス

第六章 委員會

第三十條 委員會ハ各區域ニ於テ組合員ノ選舉シタル定數ノ
委員ヲ以テ組織ス其區域及定數左ノ如シ但區域内ニ於ケル
組合員壹名ノミナルトキハ選舉ヲ用ヒス其者ヲ委員トス

- 北山村 五名
- 葛原村 二名
- 上伊自良村 一名
- 下伊自良村 一名
- 梅原村 一名
- 谷合村 二名
- 富波村 二名

- 大桑村 一名
- 櫻岡村 一名
- 富岡村 一名
- 高野田村 一名
- 山縣村 一名
- 殿美村 一名
- 春近村 一名
- 保戸島村 一名
- 千正村 一名

第二十一條 委員タルヲ得キヘモノ、資格ニ付テハ第二十二
條ヲ適用ス

第二十二條 委員ノ選舉ハ組長ノ公告ニ依リ之ヲ行フ公告ハ
選舉會場及日時ヲ記シ選舉ノ日ヨリ少クモ五日前ニ之ヲ發
スヘシ

第二十三條 委員ノ選舉ハ組長ニ於テ選舉掛長及選舉掛二名
ヲ指定シテ選舉ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシムヘシ

第二十四條 委員當選人定リタルトキハ選舉掛長ハ之ヲ組合
ニ報告スヘシ

第二十五條 委員ノ任期ハ四ヶ年トス滿期後再選セララル、コ
トヲ得

第二十六條 委員中欠員アルトキハ補欠選舉ヲ行フ但補欠員
ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第二十七條 委員會ハ組合經費豫算并ニ徵收法ヲ定メ及決算
ヲ認定シ其他定款ニ規定シタル事項ヲ議決ス

第二十八條 委員會ハ毎年一月六月兩度ニ通常會ヲ開クヘシ
其會期ハ三日以内トス其他組長ニ於テ必要ト認メタルトキ
若クハ委員三分ノ一以上ノ請求アリタルトキハ其事件ニ限
リ臨時會ヲ開クコトヲ得其會期ハ二日以内トス

第三十九條 委員會ハ組長ヲ以テ議長トス

第四十條 委員會ハ組長之ヲ招集ス

招集ハ開會ノ日ヨリ五日前ニ公告スヘシ但急施ヲ要スル場
合ハ此限リニアラス

第四十一條 委員會ハ定款變更ノ件ヲ除ク外委員半数以上出
席スルニアラサレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲ス事ヲ得ス

但シ同一ノ議事ニ付招集再回以上ニ涉リタル場合ハ本條制
限ニ依ラサルモ議決スルコトヲ得

第四十二條 委員會ノ議決ハ定款變更ノ件ヲ除ク外過半数ニ
依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十三條 凡テ會議ニ於テ議決シタル事項ハ之ヲ議事録ニ
記載シ議長及委員二名以上署名捺印スヘシ

第四十四條 議事ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 組合總會

第四十五條 組合員總會ハ任意解散ヲ議決セントスル場合若
クハ本章ノ規定ヲ變更セントスル場合及組合員ノ請求ニ依
リ之ヲ開クモノトス

第四十六條 組合員總會ハ組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ル
ニアラサレハ議決スルコトヲ得ス

第四十七條 組合員ハ他ノ組合員ヲ代理人トシテ組合員總會
ニ出席シ議決權ヲ行ハシムルコトヲ得代理人ハ委任狀ヲ示
スヘシ

第四十八條 組合員總會ノ議事及招集ノ手續ハ第三十九條第
四十條ヲ適用ス組合員總會ノ開會ヲ請求スルハ組合員三分

ノ一以上ノ同意アルヲ要ス

第四十九條 組合員總會ハ出席者ノ名簿ヲ調査シ之ニ署名捺
印セシメ議事録ニ附綴スヘシ但議事録ハ第四十三條ヲ準

計年度ニケ月前縣知事ノ認可ヲ請フモノトス事業成績經費
ノ決算貸借對照表ハ毎年六月之ヲ組合ニ公告シ縣知事ニ報
告スヘシ

第九章 違約者處分

第六十一條 第十三條第十四條第十九條ニ違背シタル者ハ拾
錢以上壹圓以下ノ過怠金ヲ出サシムヘシ

第六十二條 過怠金ハ其處分ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ組
合事務所ニ差出スヘシ

第十章 定款變更及任意解散

第六十三條 此定款第七章ヲ除キ其他ノ規定ハ委員會ニ於テ
總委員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ決議シ縣知事ノ認可ヲ經
テ更正加除スルコトヲ得

第六十四條 當組業務ノ都合ニ依リ組合員總會ニ於テ組合
員三分ノ二以上ノ同意ヲ得縣知事ノ認可ヲ經テ任意解散ヲ
ナスコトヲ得此定款第七章ノ規定ハ組合員總會ニ於テ前項
ノ手續ヲ經テ更正加除スルコトヲ得

第六十五條 前條第一項ノ場合ニ於テハ組合員總會ニ於テ精
算人ヲ選舉シ本組合ノ財産及債權債務ヲ處理セシムヘシ

第十一章 雜則

第六十六條 當組合ノ印章左ノ如シ

方 一 岐阜縣山
寸 一 縣郡産牛
分 五 組合之印

方 一 岐阜縣山
寸 一 縣郡産牛
分 二 組合之印

産牛馬組合

用ス

第八章 會計

第五十條 當組合經費ノ費目概ネ左之如シ

- 一 事務所費 一 會議費 一 事業費
- 一 負擔金 一 豫備費

第五十一條 役員ニハ報酬若クハ給料旅費委員ニハ旅費日常
及宿泊料ヲ給スルコトヲ得其額ハ委員會ノ定ムル所ニ依ル

第五十二條 組合ノ支出ニ充ツル費用ハ組合有財産ヨリ生ス
ル收入其他雜收入ヲ以テ充ツルモノ、外ハ組合員ニ分賦ス

第五十三條 組合員ハ組合費ヲ負擔スルノ義務アリ

第五十四條 組合費ハ必ス納期內ニ完納スヘシ若シ納期后十
日ヲ過クルトキハ組長ハ之ヲ督促ス

第五十五條 組合費不納者ニ督促ヲナストキハ督促狀ヲ發ス
ヘシ

第五十六條 督促手數料及過怠金ハ組合費雜收入トス

第五十七條 督促手數料ハ督促一回ニ付金拾五錢トシ滞納金
ト同時ニ徴收ス

第五十八條 組合費負擔ノ義務消滅又ハ變更スルモ既納ノ分
ハ返付セス組合員組合ヲ脱退スルモ財産ノ分配ヲ請求スル
ノ權ナキモノトス

第五十九條 組長ハ毎年其翌年度ニ係ル經費豫算ヲ調製スヘ
シ

但シ組合ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十
一日ニ終ル

第六十條 組合經費ノ豫算并ニ徴收法ハ委員會ノ議決ヲ經會

方 岐阜縣山縣
七 郡産牛組合
分 組長之印

方 岐阜縣山縣
七 郡産牛組合
分 副組長之印

附則

第六十七條 創立初度役員及委員ハ創立總會ニ於テ之ヲ選舉
シ其年ノ終ルマテヲ以テ就職滿一ケ年ニ計算ス

△山縣郡産牛組合役員氏名

組長	北山村	早矢仕鶴祐
副組長	谷合村	日比野善兵衛
評議員	北山村	江崎新助
	北山村	河口善右衛門
	葛原村	宮川藤右衛門
	谷合村	日比野善兵衛
	梅原村	榎並才助
	大桑村	木田兼助
	山縣村	永瀬彌三郎

△山縣郡産牛組合明治四十三年度經費決算書

科 目	豫算高	收入高	說 明
第一款 組合員負擔	三三、五〇〇	五、一〇〇	
第一項 組合員負擔	三三、五〇〇	五、一〇〇	
第一目 組合員負擔	三三、五〇〇	五、一〇〇	
第二款 雜 收	一七、〇〇〇	三、三〇〇	
第一項 証 票	三、〇〇〇	六、六〇〇	

第一目証票料	二,000	六七八
第二目表札料	二,000	一五八〇
第一目表札料	二,000	一五八〇
第三目血統証料	一,800	一五八〇
第一目血統証料	一,800	一五八〇
第四目交尾料	一,000	一五八〇
第一目交尾料	一,000	一五八〇
計	三〇,500	一〇,一七〇

科	目	豫算高	支拂高	明
第一款創	立費	一〇,000	九,五三〇	
第二項創	立費	一〇,000	九,五三〇	
第一目創	立費	一〇,000	九,五三〇	
第二款事務	所費	一三,六〇〇	四,〇三三	
第一項給	料	一五,〇〇〇	一〇,〇〇〇	
第一目書記	給料	一五,〇〇〇	一〇,〇〇〇	
第二項報	酬	八,〇〇〇	五,三三三	
第一目組長	報酬	五,〇〇〇	三,三三三	
第二目副組長	報酬	三,〇〇〇	二,〇〇〇	
第三項實費	辨償	三九,六〇〇	四,四〇〇	
第一目實費	辨償	三九,六〇〇	四,四〇〇	
第四項雜	給	一四,〇〇〇	一,〇〇〇	
第一目役員	實費	一四,〇〇〇	一,〇〇〇	
第五項需	用費	三七,〇〇〇	二,二九〇	
第一目消耗	品費	五,〇〇〇	一,六八〇	

第二目備	品費	三,〇〇〇	七〇〇
第三目通	信費	三,〇〇〇	八四〇
第四目	等調製費	二六,〇〇〇	一一七〇
第三款會	議費	三,七五〇	一〇,三〇〇
第一項會	議費	二四,〇〇〇	九,〇〇〇
第一目會	議費	二四,〇〇〇	九,〇〇〇
第二項雜	給	三,五〇〇	九,〇〇〇
第一目小	使給	三,五〇〇	七〇〇
第三項需	用費	一〇,〇〇〇	六〇〇
第一目消耗	品費	三,〇〇〇	一〇〇
第二目印	刷費	五,〇〇〇	六〇〇
第三目議	場借上料	二,〇〇〇	一〇〇
第四款事	業費	一〇,五〇〇	三,九七〇
第一項飼	養費	一〇,五〇〇	三,九七〇
第一目受	托牛費	八五,〇〇〇	三九,六七〇
第二目種	牛飼料補給費	二〇,〇〇〇	三九,六七〇
第五款負	担	一五,〇〇〇	一〇,〇〇〇
第一項負	担	一五,〇〇〇	一〇,〇〇〇
第六款豫	備費	三,九〇〇	一〇,〇〇〇
第一項豫	備費	三,九〇〇	一〇,〇〇〇
第一目豫	備費	三,九〇〇	一〇,〇〇〇
計		二〇〇,五〇〇	一〇一,五三三

△明治四十三年度山縣郡産牛組合事務報告
 一 明治四十三年七月十四日山縣郡谷合村善導寺ニ於テ創立

總會ヲ開キ諸般ノ議決ヲナシ明治四十三年八月二十七日
 設立認可ヲ受ケ事務所ヲ山縣郡北山村役場内ニ置タリ
 一 明治四十三年十二月二十七日縣有種牡牛壹頭預托ヲ受ケ
 北山村大字神崎ニ飼養ス
 一 設立初年ニシテ他ニ事業ヲ爲サス

○岐阜縣武儀郡産牛組合

△定 款

第一章 名稱及事務所位置

第一條 當組合ハ岐阜縣武儀郡産牛組合ト稱ス

第二條 當組合ノ事務所ハ武儀郡美濃町千五百八十二番ノ一

地ニ設置ス

第二章 營業ノ種類及其地區

第三條 當組合ハ牛ノ生産ニ従事スル者ヲ以テ組織ス

第四條 當組合ハ武儀郡一圓ヲ以テ區域トス

第三章 目的及業務

第五條 當組合ハ牛ノ改良及組合員ノ共同ノ利益ヲ圖ルヲ以

テ目的トス

第六條 當組合業務ノ種類左ノ如シ

- 一 種牡牛ノ供用ニ關スル事項
- 二 牛市ノ開設ニ關スル事項
- 三 牛籍ノ調製ニ關スル事項
- 四 牛共進會品評會ニ關スル事項
- 五 牛販路ノ擴張ニ關スル事項
- 六 牛去勢普及ニ關スル事項

七 獸疫ノ豫防制遏ニ關スル事項
 八 産牛ニ關シ官廳ノ諮問アルトキハ之レニ答ヘ又意見アルトキハ官廳ニ建議スル事
 右ノ外委員會ニ於テ必要ト認メタル事項
 第七條 組合ニ於テ施行スル事務ノ順序方法等ハ委員會ノ決議ニ依リ之レヲ定ムルモノトス
 第八條 組合ニ種牡牛ヲ購入シテ之レヲ飼養ス
 第九條 組合有種牡牛ノ交尾ヲ要求セントスルモノハ種類年齢尺毛色ヲ記シタル交尾請求書ヲ毎年二月迄ニ組長ニ差

出スヘシ
 第十條 組合有種牡牛ハ牝牛ノ優等ナルモノニアラサレハ交尾セシムルヲ得ス
 第十一條 組合有種牡牛ニ交尾ヲ請求者中交尾スヘキ牝牛所有者ニハ交尾票ヲ交付ス交尾請求者ハ前項ノ交尾票交付ト同時ニ交尾料貳圓ヲ納ムヘシ
 第十二條 組合有種牡牛ヲ交尾スヘキ牝牛選定ノ爲メ組合ニ於テ選定委員若干名ヲ舉ケ其評決ニ依リ交尾票交付ノ當否ヲ定ム

第十三條 組合有種牡牛ニ交尾シテ分娩シタルモノニハ血統證ヲ交附ス
 第十四條 組合員其所有ノ牝牛分娩シタルトキハ其年月日種類毛色牝牛ヲ記シ速ニ組長ニ届出ツヘシ
 第十五條 組合員其所有ノ牛ヲ賣買交換シ又ハ死亡シタルトキハ速ニ組長ニ届出ツヘシ

前項ノ血統證ヲ受ケタルモノハ料金拾錢ヲ納ムヘシ
 第十五條 組合員其所有ノ牛ヲ賣買交換シ又ハ死亡シタルトキハ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第四章 組合員加入及脱退

第十六條 組合員ニハ證券及表札ヲ交付ス此場合ニハ調製料トシテ證券ハ拾錢表札ハ拾錢ヲ徴收ス

第十七條 組合ニ加入セントスル者ハ其區ノ委員ヲ經テ當組合事務所ニ申立ツヘシ

第十八條 組合員死亡廢業又ハ組合外ヘ轉居シタルトキハ其旨ヲ届出テ證券及表札ヲ返納スヘシ此場合ニハ已納ノ調製料ハ返付セス

第十九條 組合員組合内ノ轉居家督相續改氏名又ハ證券及表札ヲ遺失毀損シタルトキハ其書換又ハ再渡ヲ請フヘシ此場合ニハ第十六條ヲ適用ス

第二十條 組合ニ加入ノ手續ヲナシタルトキハ五日以内ニ見易キ所ニ表札ヲ掲クヘシ

第二十一條 組合員證券及表札ノ雛形ハ左ノ如シ

表 第三號

岐阜縣武儀郡産牛組合員

住所 氏名

明治 年 月 日

岐阜縣武儀郡産牛組合事務所印

表札木製

第三號

岐阜縣武儀郡産牛組合員

住所 氏名

七寸五分 烙印

第五章 役員ノ資格權限及其選舉

第二十二條 當組合ニ左ノ役員ヲ置ク

一 組長 一名

一 副組長 一名

一 理事 二名

一 評議員 六名

第二十三條 役員タルヲ得ヘキモノハ年齢二十五歳以上ノ男子ニシテ左記各號ニ該當セサルモノニ限ル

一、一年以上ノ体刑ニ處セラレ又ハ農商工業ヲ妨害スル罪財産ニ對スル罪風俗ヲ害スル罪及信用ヲ害スル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレ滿期又ハ赦免後二箇年ヲ經サル者

二、復權セサル破産者及ヒ家資分散者

第二十四條 役員ハ委員會ニ於テ組合員ヨリ之ヲ選舉ス

第二十五條 役員ノ任期ハ二年トス滿期ノ後再選セラル、事ヲ得

但シ欠員ヲ生スル場合ニアツテハ三十日以内ニ補欠選舉ヲナス其任期ハ前任者ノ殘任期ニ依ル

第二十六條 役員ハ其任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄

仍其職務ヲ行フヘキモノトス

第二十七條 組長ハ組合一切ノ事務ヲ總理ス副組長ハ組長ヲ補佐シ組長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第二十八條 組長ハ事務上ノ利害ニ關シ必要ノ事件アルトキハ所轄郡長又ハ縣知事ニ申報スヘシ

第二十九條 組長ハ書記ヲ任用シ及雇員ヲ使用スル事ヲ得

第三十條 組長ハ此定款ニ違背セシモノアリテ之カ處分ヲナシタルトキハ郡役所ヲ經テ縣廳ニ申報スヘシ

第三十一條 理事ハ組長ノ指揮ヲ受ケテ庶務ヲ掌ル

第三十二條 評議員ハ組長ノ諮問ニ應ジ業務施行ノ狀況ヲ監査シ又ハ意見ヲ述ヘ或ハ委員會ヲ開クノ暇ナキトキハ之ニ代テ議決ス此ノ場合ニ於テハ次會ノ委員會ニ報告スヘシ

評議員ハ組長副組長共ニ故障アルトキハ之カ代理シ若クハ定款ノ規定ニヨリ組長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

第六章 委員會

第三十三條 委員會ハ各分區ニ於ケル組合員ノ選舉シタル定數ノ委員ヲ以テ組織ス其分區及定數左ノ如シ

- | | | | | |
|-------|------|------|------|------|
| 武儀郡ノ内 | 美濃町 | 安會野村 | 洲原村 | 下牧村 |
| | 上牧村 | 洞戸村 | 板取村 | 乾村 |
| | 北武藝村 | 西武藝村 | 東武藝村 | 南武藝村 |
| | 大矢田村 | 藍見村 | 瀬尻村 | 小金田村 |
| | 倉知村 | 關町 | 吉田村 | 下有知村 |
| | 中有知村 | 富野村 | 下之保村 | 中之保村 |

富之保村 上之保村 神淵村 菅田町

金山町 坂ノ東村 上麻生村

右三十一ヶ町村ヲ卅一分區トシ一分區毎ニ委員一名ヲ置ク

第三十四條 委員タルヲ得ヘキモノ、資格ニ付テハ第二十三條ヲ適用ス

第三十五條 委員ノ選舉ハ組長ノ公告ニ依リ之ヲ行フ公告ハ選舉會場及日時ヲ記シ選舉ノ日ヨリ少クモ七日前ニ之ヲ發スヘシ

第三十六條 委員ノ選舉ハ組長ニ於テ選舉掛長及選舉掛二名ヲ指定シ選舉ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシムヘシ

第三十七條 委員ノ當選人定マリタルトキハ選舉掛長ハ之ヲ組長ニ報告スヘシ

第三十八條 委員ノ任期ハ四ヶ年トス滿期後再選セラル、コトヲ得

第三十九條 委員中缺員アルトキハ五十日以内ニ補缺選舉ヲ行フヘシ但シ補欠員ノ任期ハ前任者ノ殘任期ニ依ル

第四十條 委員會ハ組合經費ノ豫算並ニ徴收法ヲ定メ及決算ヲ認定シ其他此定款ニ規定シタル事項ヲ議決ス

第四十一條 委員會ハ毎年五月十二月ノ兩度ニ通常會ヲ開クヘシ其會期ハ三日以内トス其他組長ニ於テ必要ト認メタルトキ若クハ委員三分ノ一以上ノ請求アルトキハ其事件ニ限リ臨時會ヲ開クコトヲ得其會期ハ二日以内トス

第四十二條 委員會ハ組長ヲ以テ議長トス

第四十三條 委員會ハ組長之ヲ招集ス

第四十四條 招集ハ開會ヨリ五日前に公告スヘシ但シ急施ヲ要スル場合

ハ此限リニアラス委員會ヲ招集スルノ暇ナク且事件輕微ナルトキハ通信會ニ附スルコトヲ得

第四十四條 委員會ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外委員過半数以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開キ議決ヲナスコトヲ得ス但シ同一ノ議事ニ付招集再回以上ニ涉リタル場合ハ三分ノ一以上ノ出席ニテ足ル

第四十五條 委員會ノ議決ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外過半数ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル處ニ依ル

通信會議ニ附シタルトキハ委員ハ議案到着ノ日ヨリ三日以内ニ書留ヲ以テ各自ノ意見ヲ返信スルモノトス但期間内ニ返信ナキ分ハ原案同意ノモノト見做シ處理スルモノトス

第四十六條 凡テ會議ニ於テ議シタル事項ハ之ヲ議事録ニ記載シ議長及委員二名以上署名捺印スヘシ

第四十七條 議事ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 組合員總會

第四十八條 組合員總會ハ任意解散ヲ議決スル場合若ハ本章ノ規定ヲ變更スル場合ニ開クモノトス

第四十九條 組合員總會ハ任意解散ノ場合ヲ除クノ外組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ議決スルコトヲ得ス

第五十條 組合員ハ他ノ組合員ヲ代理人トシテ組合員總會ニ出席シ議決權ヲ行ハシムルコトヲ得代理人ハ委任狀ヲ示スヘシ

第五十一條 組合員總會ノ議長及招集ノ手續ハ第四十二條第

四十三條ヲ適用ス組合員總會ノ開會ヲ請求スルハ組合員三分ノ一以上ヲ要ス

第五十一條 組合員總會ハ出席者ノ名簿ヲ調製シ之ニ署名捺印セシメ議事録ニ付綴スヘシ議事録ハ第四十六條ヲ準用ス

第八章 會計

第五十三條 當組合經費ノ費目概要左ノ如シ

- 一 事務所費
- 一 會議費
- 一 事業費
- 一 豫備費

第五十四條 役員ニハ報酬及旅費委員ニハ旅費日當ヲ給スルコトヲ得其ノ額ハ委員會ノ定ムル所ニ依ル

第五十五條 組合ノ支出ニ充ツル費用ハ組合有財産ヨリ生スル收入其ノ他雜收入ヲ以テ充ツルモ、外組合員ニ分賦ス

第五十六條 組合員ハ組合費ヲ負擔スルノ義務アリ

第五十七條 組合費ハ必ス納期内ニ組長ノ指定スル取扱者ニ完納スヘシ若シ期日ヲ過クルトキハ組長之ヲ督促ス

第五十八條 組合費不納者ニ督促ヲナストキハ督促狀ヲ發スヘシ

第五十九條 督促手数料及過怠金ハ組合費雜收入トス

第六十條 督促手数料ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第六十一條 組合費負擔ノ義務消滅又ハ變更スルモ既納ノ分ハ返付セス

組合員組合ヲ脱退スルモ財産ノ分配ヲ請求スルノ權ナキモノトス

第六十二條 組長ハ毎年其ノ翌年度ニ係ル經費豫算ヲ調製ス

ヘシ但組合ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第六十三條 組合經費ノ豫算並徵收方法ハ委員會ノ議決ヲ經會計年度二ヶ月前ニ縣知事ノ認可ヲ請フ者トス

經費ノ決算貸借對照表ハ每會計年度後二ヶ月以内ニ之レヲ組合ニ公告シ知事ニ報告スヘシ

第九章 違約者處分

第六十四條 第十四條第二十條ニ違背シタル者ハ拾錢以上壹圓以下ノ過怠金ヲ出サシムヘシ

第六十五條 過怠金ハ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ組合事務所ニ差出スヘシ

第十章 定款變更及任意解散

第六十六條 此定款ノ規定ハ委員會ニ於テ總委員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ決議シ縣知事ノ認可ヲ得テ更正加除スルコトヲ得

但第二章第七章ノ事項ヲ議決スルコトヲ得ス

第六十七條 當組合ハ事務ノ都合ニ依リ組合員總會ニ於テ組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ縣知事ノ認可ヲ得テ任意解散スルコトヲ得

第六十八條 前條ノ場合ニ於テハ組合員總會ニ於テ精算人ヲ選舉シ本組合ノ財産及債權債務ヲ處理セシムヘシ

第十一章 雜則

第六十九條 當組合ノ印章左ノ如シ

産牛馬組合

方	武儀郡
一寸	産牛組
五分	合之印

方	武儀郡
一寸	同
二分	上

方	武儀郡
七分	産牛組合
分	組長之印

方	武儀郡
七分	産牛組合
分	副組長之印

△武儀郡産牛組合諸收入督促手数料徵收規程

第一條 本組合ノ諸收入金ヲ定期内ニ納メサルモノハ定款第五十七條ニヨリ組長之レヲ督促シ手数料一回ニ付金五錢ヲ徵收ス

第二條 第一條ノ督促ハ滞納金額及手数料ヲ列記シタル令狀ヲ發付ス

第三條 第一條ノ手数料滞納金額ヲ超過スルトキハ滞納金額ト同額ヲ徵收ス

第四條 督促手数料ハ滞納金額ト同時ニ徵收ス

△産牛組合役員氏名

- | | |
|-----|-------|
| 組長 | 村上定吉 |
| 副組長 | 遠渡熊市 |
| 理事 | 古田義之 |
| 同 | 松村菊太郎 |
| 同 | 杉山彌一郎 |
| 同 | 林喜兵衛 |
| 同 | 渡邊虎藏 |
| 同 | 評議員 |

同 高井竹治郎
 同 長尾卯右衛門
 同 波多野宮松
 職員 囀托獸醫 矢本卯三郎

△組合施設事業

- 一 種牡牛ノ飼養
- 二 牛馬品評會
- 三 去勢ノ獎勵
- 四 講習講話

△四十三年度業務報告

一 本組合ハ縣有種牡牛初武號ノ預托ヲ受ケ種付中ノ處疾病ノ爲メ四十三年七月返納セリ
 一 四十三年十二月縣有種牡牛エーアシャ八島號ノ預托ヲ受ケ種付中ニ屬セリ
 一 本組合ハ四十三年九月二十一日同二十三日ノ二日間關町ニ於テ第二回牛馬品評會ヲ開設セリ出品頭數八十頭ニシテ審査ノ結果優等ニハ褒賞褒狀ヲ授與セリ因ニ審査長ハ岐阜縣種畜場技手内田總一氏ニシテ九月二十二日ヲ以テ褒賞授與式ヲ舉行セリ本品評會優等馬ニ對シ本縣畜産會ヨリ旌表「メタル」ヲ贈與サレタリ
 褒賞ヲ授與セシ數左ノ如シ

牛	一等賞	二	二等賞	三	三等賞	四	四等賞	計
馬	一	二	七	一	九	二	九	一〇
計	一	四	一〇	二	四	三	九	

一 賞與區別

一等 七圓 二等 五圓 三等 貳圓 四等 褒狀
 一 本組合ハ牛ノ去勢ヲ獎勵シ囀托獸醫ヲシテ手術ヲ行ハシメタリ
 一 本組合ハ技術者ヲ招聘シ講習會ヲ開催シ智識ノ普及ヲ圖レリ

○岐阜縣郡上郡産牛馬組合

△定 款

第一章 名稱及事務所位置

第一條 當組合ハ岐阜縣郡上郡産牛馬組合ト稱ス
 第二條 當組合ノ事務所ハ八幡町大字殿町百廿二番戸ノ二ニ設置ス

第二章 營業ノ種類及其地區

第三條 當組合ハ牛又ハ馬ノ生産ニ從事スル者ヲ以テ組織ス
 第四條 當組合ハ郡上郡壹圓ヲ以テ區域トス

第三章 目的及其業務

第五條 當組合ハ牛馬ノ改良及組合員ノ共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第六條 當組合業務種類左ノ如シ

- 一 種牡牛馬ノ供用ニ關スル事項
- 二 牛馬市ノ開設ニ關スル事項
- 三 牛馬籍ノ調製ニ關スル事項
- 四 牛馬共進會品評會ニ關スル事項
- 五 牛馬販路ノ擴張ニ關スル事項

所有者ニハ種付票ヲ交付ス

第十三條 組合有種牡牛馬ヲ種付スヘキ牝牛馬選定ノ爲メ組合ニ於テ選定委員若干名ヲ擧ケ其評決ニ依リ種付票交付ノ當否ヲ定ム

第十四條 組合有種牡牛馬ニ種付シテ分娩シタルモノニハ血統證ヲ交付ス

第十五條 組合員其所有ノ牝牛馬分娩シタルトキハ其年月日種類毛色牝牡ヲ記シ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第十六條 組合員其所有ノ牛馬賣買交換シ又ハ牛馬死亡シタルトキハ速ニ組合ニ届出ツヘシ
 第十七條 組合員名簿ヲ備ヘ置キ組合員ノ員數ヲ明カニス

第四章 組合員加入及脱退

第十八條 組合員ニハ證票及表札ヲ交付ス

第十九條 組合地區内ニ於テ牛馬ノ生産ニ從事スルモノハ組合事務所ニ届出ツヘシ
 第二十條 組合員死亡廢業又ハ組合外ヘ轉居シタルトキハ其旨ヲ届出テ證票及表札ヲ返納スヘシ

第二十一條 組合員組合内ノ轉居家督相續改氏名又ハ證票及表札ヲ遺失毀損シタルトキハ其書換又ハ再渡ヲ請フヘシ此場合ニハ各一枚ニ付金參錢ヲ徴收ス

第二十二條 組合ニ加入ノ手續ヲナシタルトキハ五日以内ニ見易キ所ニ表札ヲ掲クヘシ

第二十三條 組合員ノ證票及表札ノ雛形ハ左ノ如シ

證 票 紙 製

- 六 牛馬去勢普及ニ關スル事項
- 七 獸疫ノ豫防制遏ニ關スル事項
- 八 牛馬ノ健康保護飼育及種付ニ關スル事項
- 九 獸醫蹄鐵工並畜産學ノ講習ニ關スル事項
- 十 牧場設置ニ關スル事項
- 十一 産牛馬ニ關シ官廳ニ諮問アルトキハ之ニ答ヘ又意見アルトキハ官廳ニ建議スル事
- 第七條 組合ニ於テ施行スル事務ノ順序方法等ハ委員會ノ決議ニ依リ之ヲ定ムモノトス
- 第八條 組合ニ種牡牛馬ヲ購入シテ之ヲ飼養ス其配當區域ハ左ノ如シ

第一區	下川村	嵩田村	相生村
第二區	西和良村	和良村	東 村
第三區	奥明方村	口明方村	八幡町
第四區	西川村	山田村	彌富村
	牛道村		上保村
第五區	北濃村	高鷲村	

第九條 組合有種牡牛馬ハ各飼養區内組合員中最モ飼養ニ馴レタルモノヲ選ミ之ニ飼養セシム
 第十條 組合有種牡牛馬ノ種付ヲ要求セントスル者ハ牝牛馬ノ種類年齢尺毛色ヲ記シタル種付請求書ヲ毎年二月末日迄ニ組長ニ差出スヘシ

第十一條 組合有種牡牛馬ハ牝牛馬ノ優等ナルモノニアラサレハ種付セシメサルモノトス
 第十二條 組合有種牡牛馬ニ種付請求者中種付スヘキ牝牛馬

第 三 寸
第 號
岐阜縣郡上郡産牛馬組合員
住所
氏 名

裏
明治 年 月 日
岐阜縣郡上郡産牛馬組合事務所
事務所印

表 札 木 製

第 三 寸
第 號
岐阜縣郡上郡産牛馬組合員
住所
氏 名

- 第五章 役員ノ資格權限及其選舉
- 第二十四條 當組合ニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 組 長 壹 名
 - 一 副 組 長 貳 名
 - 一 理 事 三 名
 - 一 評 議 員 五 名

撰ヲ以テ其職務ヲ代理ス

第六章 委員會

- 第三十四條 委員會ハ各區域ヨリ各一名ヲ撰出ス
但現在委員ノ任期滿了即チ改選期ヨリ實行ス
- 第三十五條 委員タルヲ得ヘキモノ、資格ニ付テ第二十五條ヲ適用ス
- 第三十六條 委員ノ選舉ハ組長ニ於テ日時ヲ定メ其區域内ノ町村長ニ囑託ス若シ町村長之レニ應セサルトキハ組長ニ於テ撰取取扱人ヲ撰ミ之ヲ執行セシム
- 第三十七條 委員ノ當撰人定マルトキハ組長ハ之ヲ本人ニ通知スヘシ
- 第三十八條 委員ノ任期ハ四ケ年トス滿期後再撰セララル、コトヲ得
- 第三十九條 委員中缺員アルトキハ五十日以内ニ補欠撰擧ヲ行フヘシ
- 但補欠員ノ任期ハ前任者ノ任期ニ依ル
- 第四十條 委員會ハ組合經費ノ豫算並ニ徴收法ヲ定メ及決算ヲ認定シ其他此定款ニ規定シタル事項ヲ議決ス
- 第四十一條 委員會ハ毎年五月十二月ノ兩度ニ通常會ヲ開クヘシ其會期ハ三日以内トス其他組長ニ於テ必要ト認メタルトキ若クハ委員三分一以上ノ請求アルトキハ其事件ニ限リ臨時會ヲ開クコトヲ得其會期ハ二日以内トス
- 第四十二條 委員會ハ組長ヲ以テ議長トス
- 第四十三條 委員會ハ組長之ヲ招集ス招集ハ會日ヨリ五日前ニ公告スヘシ

第二十五條 役員タルヲ得ヘキモノハ年齢二十五歳以上ノ男子ニシテ左記各號ニ該當セサルモノニ限ル

- 一 地區内ニ於テ組合ヲ組織スル營業ニ從事シ一ケ年ヲ經サルモノ
- 二 重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ又ハ農商工業ヲ妨害スル罪財產ニ對スル罪風俗ヲ害スル罪及ヒ信用ヲ害スル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレ滿期又ハ赦免後二ケ年ヲ經サル者
- 三 公權剝奪セラレタルモノ又ハ其停止中ノモノ
- 四 復權セサル破産者及ヒ家資分散者

- 第二十六條 役員ハ委員會ニ於テ組合員ヨリ之ヲ選舉ス
- 第二十七條 役員ノ任期ハ二年トス滿期ノ後再選セララル、コトヲ得
- 但シ欠員ヲ生スル場合ニアツテハ三十日以内ニ補欠選舉ヲナス其任期ハ前任者ノ任期ニ依ル
- 第二十八條 組長ハ組合一切ノ事務ヲ總理ス副組長ハ組長ヲ補佐シ組長事故アルトキハ之ヲ代理ス
- 第二十九條 組長ハ事務上ノ利害ニ關シ必要ノ事件アルトキハ所轄郡長又ハ縣知事ニ申報スヘシ
- 第三十條 組長ハ此定款ニ違背セシモノアリテ之カ處分ヲ爲シタルトキハ郡役所ヲ經テ縣廳ニ申報スヘシ
- 第三十一條 組長ハ書記ヲ任用シ及雇員ヲ使用スルコトヲ得
- 第三十二條 理事ハ庶務會計ニ關スル事務ヲ處理ス
- 第三十三條 評議員ハ組長ノ諮問ニ應シ又ハ意見ヲ述ヘ業務執行ノ狀況ヲ監査シ且ツ組長副組長共ニ故障アルトキハ互

但シ急施ヲ要スル場合ハ此限ニアラス

第四十四條 委員會ハ委員二分一以上出席スルニ非サレハ議決スルコトヲ得ス

但同一ノ議事ニ付招集再回以上ニ互リタル場合ハ三分一ニテ足ル

第四十五條 委員會ノ議決ハ出席員ノ過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第四十六條 凡テ會議ニ於テ議決シタル事項ハ之ヲ議事録ニ記載シ議長及ヒ委員二名以上署名捺印スヘシ

第四十七條 議事ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 組合總會

第四十八條 組合員總會ハ任意解散ヲ議決スル場合若クハ本章ノ規程ヲ變更スル場合ニ開クモノトス

第四十九條 組合員總會ハ任意解散ノ場合ヲ除ク外第三條ニ定メタル各種組合員三分一以上ノ同意ノ得ルニアラサレハ議決スルコトヲ得ス

第五十條 組合員ハ他ノ組合員ヲ代理人トシテ組合員總會ヘ出席シ議決權ヲ行ハシムル事ヲ得代理人ハ委任狀ヲ示スヘシ

第五十一條 組合員總會ノ議長及招集ノ手續ハ第四十二條第四十三條ヲ適用ス組合員總會ノ開會ヲ請求スルハ第三條ニ定メタル各種組合員三分一以上ヲ要ス

第五十二條 組合員總會ハ出席者ノ名簿ヲ調製シ之ニ署名捺印セシメ議事録ニ付綴スヘシ議事録ハ第四十六條ヲ準用ス

第八章 會 計

第五十三條 當組合經費ノ費目左ノ如シ

一 事務所費 一 會議費

- 第五十四條 役員ニハ報酬若クハ給料旅費委員ニハ旅費日當ヲ給スルコトヲ得其額ハ委員會ノ定ムル所ニ依ル
- 第五十五條 組合ノ支出ニ充ツル費用ハ組合有財産ヨリ生スル收入其他雜收入ヲ以テ充ツルモノ、外ハ組合員ニ分賦ス
- 第五十六條 組合員ハ組合費ヲ負擔スルノ義務アリ
- 第五十七條 組合費ハ必ス納期內ニ完納スヘシ若シ納期後十日ヲ過クルトキハ組長之ヲ督促ス
- 第五十八條 組合費不納者ニ督促ヲナストキハ督促狀ヲ發スヘシ
- 第五十九條 督促手數料及過怠金ハ組合費雜收入トス
- 第六十條 督促手數料ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム
- 第六十一條 組合費負擔ノ義務消滅又ハ變更スルモ既納ノ分ハ返付セス
- 組合員組合ヲ脫退スルモ財産ノ分配ヲ請求スルノ權ナキモノトス
- 第六十二條 組長ハ毎年其翌年度ニ係ル經費豫算ヲ調製スル
- 但組合ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
- 第六十三條 組合經費ノ豫算并徵收法ハ委員會ノ議決ヲ經會計年度二ヶ月前ニ地方廳ノ認可ヲ請フモノトス事業成績經費ノ決算貸借對照表ハ每會計年度後二ヶ月以内ニ之ヲ組合ニ公告シ縣知事ニ報告スヘシ

- 第六十四條 第十五條第十六條ニ違背シタル者ハ貳拾錢以上五拾錢以下ノ過怠金ヲ出サシムヘシ
- 第六十五條 過怠金ハ其處分ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ組合事務所ニ差出スヘシ

第十章 定款變更及任意解散

- 第六十六條 此ノ定款ノ規程ハ委員會ニ於テ總委員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ決議シ縣知事ノ認許ヲ經テ更正加除スルコトヲ得
- 但第二章第七章ノ事項ヲ議決スルコトヲ得ス
- 第六十七條 當組合ハ業務ノ都合ニヨリ組合員總會ニ於テ組合員五ノ四以上ノ同意ヲ得テ縣知事ノ認可ヲ經テ任意解散ヲナスコトヲ得
- 此定款第七章ノ規定ハ組合員總會ニ於テ前項ノ手續ヲ經テ更正加除スルコトヲ得
- 第六十八條 前條第一項ノ場合ニ於テハ組合員總會ニ於テ精算人ヲ選舉シ本組合ノ財産及債權債務ヲ處理セシムヘシ

第十一章 雜則

- 第六十九條 組合ノ印章左ノ如シ
- | | |
|----|-------|
| 方一 | 岐阜縣郡 |
| 方二 | 上郡產牛馬 |
| 方三 | 同 |
| 方四 | 上 |
| 方五 | 燒印 |

方七	岐阜縣郡上
方八	郡產牛馬
方九	組合副組
方十	長之印

△岐阜縣郡上郡產牛馬組合役員以下給與規程

- 第一條 役員報酬及職員月俸ハ毎月二十二日(休日ニ當ルトキハ繰上ケトス)支給ス
- 第二條 職員新任及増俸ノ場合ニハ其月分俸給ハ辭令ノ翌日ヨリ日割ヲ以テ支給シ退職ノ場合ニハ全月分ノ俸給ヲ支給ス
- 第三條 役員及職員ノ旅費ハ左表ニ依リ之ヲ支給ス其支給方法ハ内國旅費規則ニ依ル

左 表

郡	内	外
車馬賃	宿泊料	汽車賃
一里ニ付	一日ニ付	一里ニ付
一里ニ付	一日ニ付	一里ニ付
拾五錢	七拾錢	參拾錢
四錢	四錢	四錢
四錢	拾五錢	壹圓
五拾錢	九拾錢	

- 第四條 技術員郡内ヲ旅行シタルトキハ特別用務ノ爲メ出張ヲ命シタル場合ノ外ハ前條ノ規程ニヨラス日額壹圓ヲ支給スルモノトス
- 但出發當日歸着シ其往復陸路六里未滿ナルトキハ日額ノ半額ヲ支給スルモノトス

附 則

- 第五條 此改正規程ハ明治四十年四月一日ヨリ施行スルモノトス

△岐阜縣郡上郡產牛馬組合委員及評議員手當支給規程

- 第一條 委員及評議員ニ支給スル手當左ノ如シ
- | | | | |
|------|------|------|-------|
| 旅 費 | 一車馬賃 | 一里ニ付 | 金六 錢 |
| | 二宿泊料 | 一夜ニ付 | 金貳拾五錢 |
| | 三日 當 | 一日ニ付 | 金拾 錢 |
| 出務日當 | 一出 勤 | 一日ニ付 | 金貳拾五錢 |
- 第二條 車馬賃ハ順路ノ行程ニヨリ往復里數ヲ通算シテ之ヲ支給ス
 - 但一里未滿ノ端數ハ算入セス
 - 第三條 宿泊料ハ宿泊シタル夜數ニ應シ之ヲ支給ス
 - 但其旅行片道一里未滿ナルモノハ特ニ宿泊ヲ要シタルモノ、外支給セス
 - 第四條 日當ハ旅行シタル日數ニ應シ之ヲ支給ス
 - 但片道二里未滿ノモノニハ之ヲ支給セス
 - 第五條 出務日當ハ委員會又ハ評議員會へ出頭シ其事務ニ從事シタルモノニ之ヲ支給ス
 - 但同一ノ日ニ委員會及評議員會ニ出勤スルモノハ委員會ニ係ル出務日當ノミヲ支給ス
 - 第六條 此規程ハ明治四十年四月一日ヨリ施行ス
- △郡上郡產牛馬組合技術員往診規定
- 第一條 本組合技術員ノ往診ヲ乞ハントスル者ハ本規定ニヨリ往診旅費ヲ支拂フヘシ
 - 但病牛馬ノ藥價其他治療用品代價ハ畜主ノ實費支辨トス

第二條 旅費額ハ片道三里以上一日一圓三里未満ハ一日金五拾錢ヲ支拂フモノトス

但至急ヲ要スル場合ニハ別ニ車馬賃實費ヲ支拂フヘシ

附則

第三條 本規定ハ明治四十年八月一日ヨリ施行ス

△組合役員及職員

組長	三島榮太郎
副組長	林 治
同	藤井平吉
評議員	岩屋長兵衛
同	河合誠一
同	林 富吉
同	清水實文
同	古池助右衛門
理事	坪井房次郎
同	野々田源太郎
畜産技手	玉田甚吾
書記	廣江安民

△組合施設事業

一 種付事項

牛馬ノ改良蕃殖ヲ圖ランタメ愛知種馬所及岐阜縣畜種場ノ施設方針ニ從ヒ郡ノ中央ナル八幡町ニ愛知縣種馬所種馬種付所ヲ設ケ洋種種馬ノ派遣ヲ仰キ又岐阜縣種畜場ヨリ和良村並ニ與明方村ニ種付所ヲ設置セシメ種馬派遣ヲ請ヒ一般ニ畜産當業者ヲ督勵シ種付セシメ又與明方村大

五 牛馬去勢獎勵

縣ノ馬匹去勢獎勵ニ伴ヒ去勢術施行ヲ勸誘シ毎年春秋二回之ヲ行フ其術ヲ受クルモノ年々百頭内外アリ去勢ハ最初忌避スルモノアリシモ近時進シテ之ヲ受クルニ至レリ又隨時去勢術ヲ出願スルモノ往々アルヲ以テ組合技師員ヲシテ術ヲシメツ、アリ其成績佳良ナリトス

六 技術員設置

去ル明治四十一年ヨリ當組合ニ專任技術員一名ヲ置キ常ニ郡内ヲ巡回セシメ牛馬ノ飼育養成ヲ指導セシメ時ニ畜産講話會ヲ開キ牛馬ノ改良ヲ促シ或ハ衛生事項ニ關シ健康検査ヲ行ヒ疾病牛馬アルトキハ往診治療セシムル等其

七 牧草園ノ設置並ニ牧草種子配付

牧草園ヲ設置シオートチャールド、チモシー、クロバー等ヲ試作シ模範園トナシ此牧草ハ乾草ノ上愛知種馬所種牡馬ノ飼料ニ賣却ス又種子ヲ各村ニ配付シ試作獎勵シツ、アリ

○岐阜縣加茂郡產牛馬組合

△定 款

第一章 名稱及事務所位置

第一條 當組合ハ岐阜縣加茂郡產牛馬組合ト稱ス

第二條 當組合事務所ハ當分加茂郡太田町加茂郡役所内ニ設置ス

第二章 營業ノ種類及其地區

產牛馬組合

字小川(種牡馬一頭同村奪住)種牡牛ホルスタインフリ一シヤン種一頭高鷲村鷲見(デボン種)種々牡牛一頭ノ預托ヲ受ケ改良蕃殖ヲ圖リ尙又與明方村寒水ニ組合有種牡馬一頭ヲ特ニ配置シテ種付ヲ獎勵ス

二 品評會開催

毎年一回宛牛馬品評會ヲ開催シ郡内生産當才ヨリ三四才ニ至ル牛馬ヲ出陳セシメ審査ノ上等級ヲ定メ優良ナルモノニハ相當賞品ヲ與ヘ飼養育成ニ注意獎勵シ本年其數九回ニ及ヘリ

三 市場ノ開設

郡内生産牛馬ノ販路ヲ擴張セシタメ毎年一回夏期土用入七日ヨリ五日間八幡町ニ於テ家畜市場ヲ開設ス之ヲ毛付市ト稱シ其出頭數年々四百以上ニ達シ近縣ノ牛馬商集合シ盛大ナル取引ヲ行フ其期間中ニ取扱フ賣買價格約壹萬圓内外ニ及フ本年家畜市場法改正ニ伴ヒ永久厩舎ヲ建設シタルヲ以テ今後ハ更ニ二回ヲ増シ春秋ニ開設セン

四 優良牝馬購入

曩ニ去ル明治三十九年同四十年ノ兩度ニ於テ岐阜縣畜産會ノ斡旋ニヨリ補助ヲ受ケ岩手青森縣下ヨリ優良牝馬五十餘頭ヲ購入セシカ近時漸ク其成績ヲ舉クルニ至レリ之ニ依テ畜産當業者ハ牝馬ノ改良ヲ自認シ續々賣買交換スルニ至レリ

第三條 當組合ハ牛又ハ馬ノ生産ニ從事スル者ヲ以テ組織ス

第四條 當組合ハ岐阜縣加茂郡壹圓ヲ以テ區域トス

第三章 目的及其業務

第五條 當組合ハ牛馬ノ改良及組合員ノ共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第六條 當組合業務ノ種類ハ左ノ如シ

- 一 種牡牛馬ノ供用ニ關スル事項
 - 二 牛馬市ノ開設ニ關スル事項
 - 三 牛馬籍ノ調製ニ關スル事項
 - 四 牛馬共進會品評會ニ關スル事項
 - 五 牛馬販路ノ擴張ニ關スル事項
 - 六 牛馬去勢ノ普及ニ關スル事項
 - 七 獸疫ノ豫防制遏ニ關スル事項
 - 八 牛馬飼養獎勵ニ關スル事項
 - 九 牧場設置ニ關スル事項
 - 十 技術者招聘ニ關スル事項
 - 十一 產牛馬ニ關シ官廳ノ諮問アルトキハ之ニ答ヘ又意見アルトキハ官廳ニ建議スル事
- 第七條 當組合ハ委員會ノ決議ヲ經テ德望アル者ヲ總裁ニ推戴スルコトヲ得
- 第八條 組合ニ於テ施行スル事務ノ順序方法等ハ委員會ノ決議ニヨリ之ヲ定ムルモノトス
- 第九條 組合ニ種牡牛馬ヲ購入シテ之ヲ飼養ス
- 第十條 組合有種牡牛馬ノ交尾ヲ要求セントスルモノハ種類年齡尺毛色ヲ記シタル交尾請求書ヲ毎年一月迄ニ組長ニ

差出スヘシ

第十一條 組合有種牡牛馬ハ牝牛馬ノ優等ナルモノニアラサレハ交尾セシメサルモノトス

第十二條 組合有種牡牛馬ニ交尾請求者中交尾ヘスキ牝牛馬所有者ニハ交尾票ヲ交付ス

第十三條 組合有種牡牛馬ヲ交付スヘキ牝牛馬選定ノ爲メ組合ニ於テ選定委員三名ヲ擧ケ其評決ニ依リ交尾票交付ノ當否ヲ定ム

第十四條 組合有種牡牛馬ニ交尾シテ分娩シタルモノハ血統證ヲ交付ス

第十五條 組合員其所有ノ牝牛馬分娩シタルトキハ其年月日種類毛色牝牡ヲ記シ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第十六條 組合員其所有ノ牛馬ヲ賣買交換シ又ハ牛馬死亡シタルトキハ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第十七條 組合ニ組合員名簿ヲ備ヘ置キ組合員ニハ証票及表札ヲ交付ス此場合ニハ調製料トシテ証票ハ五錢表札ハ五錢ヲ徴收ス

第十八條 組合地區内ニ於テ牛馬ノ生産ニ従事スルモノハ其區ノ委員ヲ經テ當組合事務所ヘ申立ツヘシ

第十九條 組合員死亡廢業又ハ組合外ヘ轉出シタルトキハ其遺言ヲ届出テ証票及表札ヲ返納スヘシ此場合ニハ己納ノ調製料ハ返付セス

第五章 役員ノ資格權限及其選舉

第二十三條 當組合ニ左ノ役員ヲ置ク

一 組長 一名

一 副組長 二名

一 評議員 三名

一 幹事 二名

第二十四條 役員タルヲ得ヘキモノハ年齢二十五歳以上ノ男子ニシテ左記各號ニ該當セサルモノニ限ル

一、地區内ニ於テ組合ヲ組織スル營業ニ従事シ一箇年ヲ經サルモノ

二、禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ放免後二箇年ヲ經サル者

第二十五條 役員ハ委員會ニ於テ組合員ヨリ之ヲ選舉ス

第二十六條 役員ノ任期ハ四ヶ年トス但滿期後再選ヲ防ケス補缺選舉ニヨリ就任シタル者ハ前任者ノ殘任期間トス

第二十七條 組長ハ組合一切ノ事務ヲ總理ス副組長ハ組長ヲ補佐シ組長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第二十八條 組長ハ事務上ノ利害ニ關シ必要ノ事件アルトキハ所轄郡長又ハ縣知事ニ申報スヘシ

第二十九條 組長ハ此定款ニ違背セシ者アリテ之レカ處分ヲ爲シタルトキハ郡役所ヲ經テ縣廳ニ申報スヘシ

第三十條 組長ハ書記ヲ任用シ及雇員ヲ使用スル事ヲ得

第三十一條 評議員ハ組長ノ諮問ニ應シ及業務施行ノ狀況ヲ監査シ又ハ意見ヲ述フ

評議員ハ組長副組長共ニ故障アルトキハ之ヲ代理シ若クハ

料ハ返付セス

第二十條 組合員組合内ノ轉居家督相續改名又ハ証票及表札ヲ遺失毀損シタルトキハ其書換又ハ再渡ヲ乞フヘシ此場合ニハ第十七條ヲ適用ス

第二十一條 組合ニ加入ノ手續ヲナシタルトキハ五日以内ニ見易キ所ニ表札ヲ掲クヘシ

第二十二條 組合員ノ証票及表札ノ雛形ハ左ノ如シ

表 第三號 岐阜縣加茂郡產牛馬組合員 住所 氏名		明治 年 月 日 岐阜縣加茂郡產牛馬組合事務所 事務所印
裏 表札 木製 七寸五分		第三號 岐阜縣加茂郡產牛馬組合員 住所 氏名

定款ノ規定ニ依リ組長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

第三十二條 幹事ハ組長ノ命ヲ承ケ本組合ニ關スル事務ヲ處理ス技術員ハ組長ノ命ヲ承ケ技術ニ従事ス

第三十三條 委員會ハ各區域ニ於ケル組合員ノ選舉シタル定數ノ委員ヲ以テ組織ス其區域及定數左ノ如シ

太田町、古井村、蜂屋村、加茂野村、坂祝村 以上一人

田原村、富岡村、富田村、加治田村、伊深村 以上一人

山之上村、三和村、川邊町、下麻生町 以上一人

下米田村、上米田村、和知村、八百津町 以上一人

久田見村、湖南村、福地村 以上一人

飯地村 以上一人

蘇原村、黒川村、西白川村 以上一人

東白川村 以上一人

佐見村 以上一人

第三十四條 委員タルヲ得ヘキモノ、資格ニ就テハ第二十四條ヲ適用ス

第三十五條 委員ノ選舉ハ組長ノ公告ニヨリ之ヲ行フ公告ハ選舉會場及日時ヲ記シ選舉ノ日ヨリ少ナクモ七日前ニ之ヲ發スヘシ

第三十六條 委員ノ選舉ハ組長ニ於テ選舉掛長及選舉掛二名ヲ指定シテ選舉ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシムヘシ

第三十七條 委員ノ當選人定マリタルトキハ選舉掛長ハ之ヲ組長ニ報告スヘシ

第三十八條 委員ノ任期ハ四ヶ年トス滿期後再選セララル、コ

トヲ得

第三十九條 委員中缺員アルトキハ五十日以内ニ補缺選舉ヲ行フヘシ但補缺員ノ任期ハ前任者ノ任期ニ依ル

第四十條 委員會ハ組合經費ノ豫算並ニ徵收法ヲ定メ及決算ヲ認定シ其他此定款ニ規定シタル事項ヲ議決ス

第四十一條 委員會ハ毎年五月、十二月ノ再度ニ通常會ヲ開クヘシ其會期ハ三日以内トス其他組長ニ於テ必要ト認メタルトキ若クハ委員三分ノ一以上ノ請求アルトキハ其事件ニ限リ臨時會ヲ開クコトヲ得其會期ハ二日以内トス

第四十二條 委員會ハ組長ヲ以テ議長トス

第四十三條 委員會ハ組長之ヲ招集ス

招集ハ會日ヨリ五日前ニ公告スヘシ但急施ヲ要スル場合ハ此限リニアラス

第四十四條 委員會ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外委員三分ノ二以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス但同一ノ議事ニ就キ招集再回以上ニ涉リタル場合ハ三分ノ一以上出席ニテ足ル

第四十五條 委員會ノ議決ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外過半数ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル處ニ依ル

第四十六條 凡テ會議ニ於テ議決シタル事項ハ之ヲ議事録ニ記載シ議長及委員二名以上署名捺印スヘシ

第四十七條 委員會ノ議決ヲ經ヘキ事件ニシテ重要事項ニ非ラサルモノハ組長ニ於テ書面ニ依リ期間ヲ定メ意見ヲ徵シ委員會ノ招集ニ代フルコトヲ得

前項ノ期間内ニ申出サル意見ハ採決數ニ加ヘサルモノトス

第四十八條 議事ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 組合員總會

第四十九條 組合員總會ハ任意解散ヲ議決スル場合若クハ本章ノ規定ヲ變更スル場合ニ開クモノトス

第五十條 組合員總會ハ任意解散ノ場合ヲ除クノ外第三條ニ定メタル各種組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニ非アレハ議決スルコトヲ得ス

第五十一條 組合員ハ他ノ組合員ヲ代理人トシテ組合員總會ニ出席シ議決權ヲ行ハシムルコトヲ得

代理人ハ委任狀ヲ示スヘシ

第五十二條 組合員總會ノ議長及招集ノ手續ハ第四十條第四十三條ヲ適用ス

組合員總會ノ開會ヲ請求スルハ第三條ニ定メタル各種組合員三分ノ一以上ヲ要ス

第五十三條 組合員總會ニ出席ノ名簿ヲ調製シ之ニ署名捺印セシメ議事録ニ付綴スヘシ但議事録ハ第四十六條ヲ準用ス

第八章 會計

第五十四條 當組合經費ノ費目左ノ如シ

- 一 事務所費
- 一 會議費
- 一 事業費
- 一 豫備費

第五十五條 役員ニハ報酬若クハ給料旅費委員ニハ旅費日當ヲ給スルコトヲ得其額ハ委員會ノ定ムル所ニ依ル

第五十六條 組合ノ支出ニ充ツル費用ハ組合有財産ヨリ生ス

ル收入其他雜收入ヲ以テ充ツルモノ、外ハ組合員ニ分賦ス

第五十七條 組合員ハ組合費ヲ負擔スルノ義務アリ

第五十八條 組合費ハ必ス納期內ニ完納スヘシ若シ納期後十日ヲ過クルトキハ組長之ヲ督促ス

第五十九條 組合費不納者ニ督促ヲナストキハ督促狀ヲ發スヘシ

第六十條 督促ノ手数料及過怠金ハ組合費雜收入トス

第六十一條 督促手数料ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第六十二條 組合費負擔ノ義務消滅又ハ變更スルモ既納ノ分ハ返付セス

組合員組合ヲ脱退スルモ財産ノ分配ヲ請求スルノ權ナキモノトス

第六十三條 組長ハ毎年其翌年度ニ係ル經費豫算ヲ調製スヘシ但組合ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第六十四條 組合經費豫算並ニ徵收法ハ委員會ノ決議ヲ經テ會計年度ニケ月前ニ縣知事ノ認可ヲ請フモノトス事業成績、經費ノ決算貸借對照表ハ每會計年度後二ヶ月以内ニ之ヲ組合ニ公告シ縣知事ニ報告スヘシ

第九章 違約者處分

第六十五條 第十四條第十五條第二十條ニ違背シタル者ハ拾錢以上壹圓以下ノ過怠金ヲ出サシムヘシ

第六十六條 過怠金ハ其處分ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ組合事務所ニ差出スヘシ

第十章 定款變更及任意解散

第六十七條 此定款ノ規定ハ委員會ニ於テ總委員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ決議シ縣知事ノ認可ヲ經テ更正加除スルコトヲ得

第六十八條 當組合ハ業務ノ都合ニヨリ組合員總會ニ於テ組合員五分ノ四以上ノ同意ヲ得テ縣知事ノ認可ヲ經テ任意解散ヲ爲スコトヲ得

此定款第七章ノ規定ハ組合員總會ニ於テ前項ノ手續ヲ經テ更正加除スルコトヲ得

第六十九條 前條ノ場合ニ於テハ組合員總會ニ於テ精算人ヲ選舉シ本組合ノ財産及債權債務ヲ處理セシムヘシ

第十一章 雜則

第七十條 當組合ノ印章左ノ如シ

方一 岐阜縣加茂郡產牛馬組合之印	方一 同 上 烙 印
方七 岐阜縣加茂郡產牛馬組合組長之印	方七 岐阜縣加茂郡產牛馬組合副組長印

組合役員

組長	大畑市太郎
副組長	村雲國太郎
同	柘植豐次郎

評議員

西田周五郎 栗山喜代吉 桂川金松

△組合施設事業

一 牛馬ノ改良發達ヲ圖ルタメ三十三年ヨリ三十九年ニ至ル...

二 産馬ノ改良ヲ圖ル爲メ三十五年以來年々産馬品評會ヲ東...

三 三十八年以來縣費ノ補助ヲ受ケ本縣畜産會ノ斡旋ニ依リ...

四 三十九年農商務省令第二號牝馬臨時貸下規程ニ依リ貸下...

五 明治四十年以來種馬所及種畜場種付所ヲ設置セラレ其成...

Table with columns for year (年次), breeding location (種付所), opening date (開閉月日), number of horses (頭數), and other details. Includes a section for income (収入ノ部).

Table showing expenses (支出ノ部) categorized by item (科目) and amount (金額). Includes sub-sections for various administrative and operational costs.

Table showing expenses (支出ノ部) categorized by item (科目) and amount (金額). Includes sub-sections for various administrative and operational costs.

Table showing expenses (支出ノ部) categorized by item (科目) and amount (金額). Includes sub-sections for various administrative and operational costs.

第六款 豫備費	五、五〇〇	五、五〇〇
第一項 豫備費	五、五〇〇	五、五〇〇
一 目 豫備費	五、五〇〇	五、五〇〇
計	二七、九四三、四五〇	五、五五六

△業務成績

- 一 委員會
明治四十四年二月廿七日委員會ヲ開キ四十四年度經費豫算並分賦收入方法定款變更議決並四十二年度收支決算ノ承認ヲ經タリ
- 一 補助金受領
產馬品評會ニ付キ明治四十三年十月廿一日縣費ヨリ補助金四拾九圓及事業費ニ四十四年二月八日郡費ヨリ補助金七拾圓受領セリ
- 一 役員就任認可
明治四十三年五月廿日組長以下役員(三月認可申請)認可ヲ受ク
- 一 牧草種子配付
明治四十三年七月廿日牧草種子數種ヲ東白川村及湖南村ニ配付シ以テ試作セシメタリ
- 一 牝馬購入並交尾料補助
優良ナル種牝馬購入ヲ獎勵シ飯地村四頭ヲ購入セシメ一頭ニ付參圓宛補助セリ又種牝馬獎勵ニ東部各村ニ於テ八十九頭(内四十三頭ハ廿五錢宛四十六頭ハ八拾錢宛)補助金ヲ交付セリ
- 一 種牝馬預托

聘シ東白川村紳士ニ畜産講習會ヲ開ク聽講生三十餘名ナリ

○岐阜縣惠那郡產牛馬組合

△定款

第一章 名稱及事務所位置

- 第一條 當組合ハ岐阜縣惠那郡產牛馬組合ト稱ス
- 第二條 當組合ノ事務所ハ惠那郡中津町中津川千九百四十一番地ニ設置ス
- 第二章 營業ノ種類及其地區
- 第三條 當組合ハ牛又ハ馬ノ生産ニ從事スルモノヲ以テ組織ス
- 第四條 當組合ハ惠那郡一圓ヲ以テ區域トス
- 第三章 目的及其業務
- 第五條 當組合ハ牛馬ノ改良及組合員ノ共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第六條 當組合業務ノ種類左ノ如シ
 - 一 種牝牛馬ノ供用ニ關スル事項
 - 二 牛馬市ノ開設ニ關スル事項
 - 三 牛馬籍ノ調製ニ關スル事項
 - 四 牛馬共進會品評會ニ關スル事項
 - 五 牛馬販路ノ擴張ニ關スル事項
 - 六 牛馬去勢普及ニ關スル事項

縣種畜場飯地種付所ハ昨年迄開始セラレタルモ本年(四十四年)ハ廢止セラレタルヲ以テ種牝馬一頭種畜場ヨリ預托ヲ受ケ飯地村ニ於テ飼養管理セシメ同地方種付ノ便利ヲ圖リ而シテ預托種牝馬種付料徴收ノ件二月廿八日認可ヲ受ク

- 一 種付並產駒頭數
愛知種馬所紳士種付所ハ四月十二日開始六月廿八日閉鎖種付頭數百五頭縣種畜場飯地村種付所ハ四月十二日開始六月二日閉鎖種付頭數四十六頭ニシテ四十四年四月ヨリ四十四年三月迄ニ產駒頭數通シテ四十九頭ニシテ何レモ成績良好ナリ
- 一 產馬品評會
產馬品評會ヲ東白川村紳士及飯地村ノ二ヶ所ニ開催ス而シテ紳士ハ明治四十三年八月十五日開催出品頭數三十五頭ニシテ審査ノ結果(優等一頭、一等一頭、二等二頭、三等三頭、四等十頭)ニシテ同日褒賞ヲ授與セリ外ニ參考品トシテ優良牝馬ノ出陳十五頭ニシテ參觀人約二百名ニ選シ斯業發展上多大ノ裨益アリ飯地村ニ開催セシハ同年八月十七日ニシテ出品頭數三十一頭(當才十六頭二才四頭三才以上十一頭)外ニ參考馬匹七頭ニシテ審査ノ結果(優等一頭、一等一頭、二等二頭、三等三頭、四等七頭)褒賞ヲ授與セリ來觀人員約百五十人ニシテ同地方營業者ハ斯業ニ對スル觀念ヲ一層篤カラシメタリ
- 一 講話會
明治四十四年二月三日ヨリ七日迄五日間和田本縣技師ヲ

七 獸疫ノ豫防制遏ニ關スル事項
八 產牛馬ニ關シ官廳ノ諮問アルトキハ之ニ答ヘ又意見アルトキハ官廳ニ建議スルコト

右ノ外委員會ニ於テ必要ト認メタル事項

- 第七條 組合ニ於テ施行スル事務ノ順序方法等ハ委員會ノ決議ニ依リ之ヲ定ムルモノトス
- 第八條 組合ニ種牝牛馬ヲ購入シテ之ヲ飼養ス
- 第九條 組合有種牝牛馬ノ交尾ヲ要求セントスルモノハ種類年齡体尺毛色ヲ記シタル交尾請求書ヲ毎年一月迄ニ組長ニ差出スヘシ
- 第十條 組合有種牝牛馬ハ牝牛馬ノ優等ナルモノニアラサルハ交尾セシメサルモノトス
- 第十一條 組合有種牝牛馬ニ交尾スヘキ牝牛馬所有者ニハ交尾票ヲ交付ス
- 交尾請求者ハ前項ノ交尾票交付ト同時ニ委員會ニ於テ定メタル交尾料金ヲ納付スヘシ
- 交尾料金ハ毎年十二月開會ノ委員會ニ於テ其ノ都度之レヲ定ム
- 第十二條 組合有種牝牛馬ヲ交尾スヘキ牝牛馬選定ノ爲メ組合ニ於テ選定委員若干名ヲ舉ケ其評決ニヨリ交尾票交付ノ當否ヲ定ム
- 第十三條 組合有種牝牛馬ニ交尾シテ分娩シタルモノニハ血統證ヲ交付ス
- 前項ノ血統證ヲ受クルモノハ料金拾錢ヲ納ムヘシ
- 第十四條 組合員其ノ所有ノ牝牛馬分娩シタルトキハ其年月

日種類毛色牝牡ヲ記シ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第十五條 組合員ニシテ其出産シタル牛馬ヲ賣却シ若クハ組合員ノ生産ニ係ル牛馬ヲ購入セントスルトキハ總テ組合員市場ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ正當ノ理由ニヨリ豫メ組長ノ承認ヲ得タルモノハ此限リニ非ス

第十六條 組合員市場開設ノ時期及場所ハ毎年委員會ニ於テ之ヲ定メ一ヶ月以前ニ公告ス

但糶市場ニ關スル細則ハ別ニ之レヲ定ム

第十七條 組合員其所有ノ牛馬ヲ賣買交換シ又ハ牛馬死亡シタルトキハ速ニ組合員ニ届出ツヘシ

第四章 組合員加入及脱退

第十八條 組合員ニハ證券及表札ヲ交付ス此場合ニハ調製料トシテ證券ハ參錢表札ハ參錢ヲ徴收ス

第十九條 組合員加入セントスルモノハ其區ノ委員ヲ經テ當組合事務所ニ申立ツヘシ

第二十條 組合員死亡廢業又ハ組合外ヘ轉居シタルトキハ其旨ヲ届出テ證券及表札ヲ返納スヘシ此場合ニハ已納ノ調製料ハ返付セス

第二十一條 組合員組合内ノ轉居家督相續改氏名又ハ證券及表札ヲ遺失毀損シタルトキハ其書替又再渡ヲ請フヘシ此場合ニハ第十八條ヲ適用ス

第二十二條 組合員加入ノ手續ヲナシタルトキハ五日以内ニ見易キ所ニ表札ヲ掲クヘシ

第二十三條 組合員ノ證券及表札ノ雛形ハ左ノ如シ

證券紙製

三寸
第 二 號
岐阜縣惠那郡産牛馬組合員
住 所
氏 名

裏
明治 年 月 日
岐阜縣惠那郡産牛馬組合事務所
事務所印

表札木製

三寸
第 三 號
岐阜縣惠那郡産牛馬組合員
住 所
氏 名
烙印
七寸五分

第二十四條 役員ノ資格權限及其選舉當組合ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 組 長 一名
- 一 副 組 長 一名
- 一 理 事 三名

評議員ハ組長ノ諮問ニ應シ及業務施行ノ狀況ヲ監査シ又ハ意見ヲ述フヘシ

評議員ハ組長副組長共ニ故障アルトキハ之レヲ代理シ若クハ定款ノ規定ニヨリ組長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

代理順位ハ年長者ヲ以テ之ニ充ツ

第六章 委員會

第三十三條 委員會ハ各區域ニ於ケル組合員ノ選舉シタル定數ノ委員ヲ以テ組織ス其區域及定數左ノ如シ

- 第一區 加子母村 一人
- 第二區 付知町 一人
- 第三區 川上村、福岡村、苗木町、坂下町 一人
- 第四區 中ノ方村、蛭川村、笠置村 一人
- 第五區 落合村、中津町、坂本村 一人
- 第六區 東野村、大井町、長島町 一人
- 第七區 三郷村、武並村 一人
- 第八區 阿木村 一人
- 第九區 本郷村、岩村町 一人
- 第十區 遠山村、鶴岡村 一人
- 第十一區 吉田村、陶村、三濃村 一人
- 第十二區 明知町、靜波村 一人
- 第十三區 串原村 一人
- 第十四區 上村、下原田村 一人
- 第十五區 委員タルヲ得ヘキモノ、資格ニ付テハ第二十五條ヲ適用ス

一 評 議 員

六 名

第二十五條 役員タルヲ得ヘキモノハ年齢二十五歳以上ノ男子ニシテ左記各號ニ該當セサルモノニ限ル

一、地區内ニ於テ組織スル營業ニ從事シ一箇年ヲ經サルモノ

二、重禁錮一ヶ年以上ノ刑ニ處セラレ又ハ農商工業ヲ妨害スル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレ滿期又ハ赦免後二ヶ年ヲ經サル者

三、公權剝奪セラレタル者又ハ其停止中ノ者

四、復權セサル破産者及家資分散者

第三十六條 役員ハ委員會ニ於テ組合員ヨリ之ヲ選舉ス

第三十七條 役員ノ任期ハ二ヶ年トス滿期ノ後再選セラルコトヲ得

但シ欠員ヲ生スル場合ニヨリテハ三十日以内ニ補欠選舉ヲナス其任期ハ前任者ノ任期ニヨル

第二十八條 組長ハ組合一切ノ事務ヲ總理ス副組長ハ組長ヲ補助シ組長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第二十九條 組長ハ事務上ノ利害ニ關シ必要ノ事件アルトキハ所轄郡長又ハ縣知事ニ申報スヘシ

第三十條 組長ハ此定款ニ違背セシモノアリテ之レカ處分ヲ爲シタルトキハ郡役所ヲ經テ縣廳ニ申報スヘシ

第三十一條 組長ハ書記ヲ任用シ及雇員ヲ使用スルコトヲ得

第三十二條 理事ハ組長ノ指揮ヲ受ケ組合ノ業務ニ從フ

第三十五條 委員ノ選舉ハ組長ノ公告ニ依ル公告ハ選舉會場及日時ヲ記シ選舉ノ日ヨリ少クモ七日前ニ之ヲ發スヘシ

第三十六條 委員ノ選舉ハ組長ニ於テ選舉掛長及選舉掛二名ヲ指定シテ選舉ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシムヘシ

第三十七條 委員ノ當選人定マリタルトキハ選舉掛長ハ之ヲ組長ニ報告スヘシ

第三十八條 委員ノ任期ハ四ケ年トス滿期後再選セラル、事ヲ得

第三十九條 委員中欠員アルトキハ五十日以内ニ補欠員選舉ヲ行フヘシ但シ補欠員ノ任期ハ前任者ノ任期ニヨル

第四十條 委員會ハ組合經費ノ豫算並ニ徵收法ヲ定メ及決算ヲ認定シ其他定款ニ規定シタル事項ヲ議決ス

第四十一條 委員會ハ毎年五月十二月ノ兩度ニ通常會ヲ開クヘシ其會期ハ三日以内トス其他組長ニ於テ必要ト認メタルトキ若クハ委員三分ノ一以上ノ請求アルトキハ其事件ニ限リ臨時會ヲ開ク事ヲ得其ノ會期ハ二日以内トス

第四十二條 委員會ハ組長ヲ以テ議長トス

第四十三條 委員會ハ組長之レヲ召集ス召集ハ會日ヨリ五日前ニ公告スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此限リニアラス

第四十四條 委員會ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外委員三分ノ二以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス

但シ同一ノ議事ニ付召集再回以上ニ涉リタル場合ニハ三分ノ一以上出席ニテ足ル

第四十五條 委員會ノ議決ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外過半数

ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十六條 凡テ會議ニ於テ議決シタル事項ハ之ヲ議事録ニ記載シ議長及委員二名以上署名捺印スヘシ

第四十七條 議事ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 組合員總會

第四十八條 組合總會ハ任意解散ヲ議決スル場合若クハ本章ノ規定ヲ變更スル場合ニ開クモノトス

第四十九條 組合員總會ハ任意解散ノ場合ヲ除クノ外第三條ニ定メタル各種組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ議決スルコトヲ得ス

第五十條 組合員ハ他ノ組合員ヲ代理人トシテ組合員總會ニ出席シ議決權ヲ行ハシムルコトヲ得代理人ハ委任狀ヲ示スヘシ

第五十一條 組合員總會ノ議長及召集ノ手續ハ第四十二條第四十三條ヲ適用ス組合員總會ノ開會ヲ請求スルハ第三條ニ定メタル各種組合員三分ノ一以上ヲ要ス

第五十二條 組合員總會ハ出席者ノ名簿ヲ調製シ之ニ署名捺印セシメ議事録ニ付綴スヘシ但シ議事録ハ第四十六條ヲ準用ス

第八章 會計

第五十三條 當組合經費ノ費目左ノ如シ

- 一 事務所費
- 一 會議費
- 一 事業費
- 一 豫備費

第五十四條 役員ニハ報酬若クハ給料旅費委員ニハ旅費日常ヲ給スルコトヲ得其額ハ委員會ノ定ムル所ニヨル

第五十五條 組合ノ支出ニ充ツル費用ハ組合有財産ヨリ生スル收入其他雜收入ヲ以テ充ツルモノ、外ハ組合員ニ分賦ス

第五十六條 組合員ハ組合費ヲ負擔スルノ義務アリ

第五十七條 組合費ハ必ス納期内ニ完納スヘシ若シ納期後十日ヲ過クルトキハ組長之ヲ督促ス

第五十八條 組合費ヲ不納者ニ督促ヲナストキハ督促狀ヲ發スヘシ

第五十九條 督促手数料及過怠金ハ組合費雜收入トス

第六十條 督促手数料ニ關スル規程ハ別ニ之レヲ定ム

第六十一條 組合費負擔ノ義務消滅又ハ變更スルモ既納ノ分ハ送付セス組合員組合ヲ脱退スルモ財産ノ分配ヲ請求スルノ權ナキモノトス

第六十二條 組長ハ毎年其翌年度ニ係ル經費豫算ヲ調製スヘシ但シ組合ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第六十三條 組合經費ノ豫算并ニ徵收方法ハ委員會ノ議決ヲ經會計年度二ヶ月前ニ縣知事ノ認可ヲ請フヘシ

事業成績經費ノ決算貸借對照表ハ每會計年度後二ヶ月以内ニ之ヲ組合ニ公告シ縣知事ニ報告スヘシ

第九章 違約者處分

第六十四條 第十四條第十七條第二十二條ニ違背シタル者ハ五拾錢以上五圓以下第十五條ニ違背シタルモノハ賣買當事者各別ニ一圓ニ付金貳圓宛ノ過怠金ヲ徵收ス

第六十五條 過怠金ハ其處分ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ組合事務所ニ差出スヘシ

第十章 定款變更及任意解散

第六十六條 此定款ノ規定ハ委員會ニ於テ總委員三分ノ二以上ノ同意ニヨリ決議シ縣知事ノ認可ヲ經テ更正加除スルコトヲ得

但シ第二章第七章ノ事項ヲ決議スルコトヲ得ス

第六十七條 當組合ハ業務ノ都合ニヨリ組合員總會ニ於テ組合員五分ノ四以上ノ同意ヲ得テ縣知事ノ認可ヲ經テ任意解散ヲナスコトヲ得

此定款第七章ノ規定ハ組合員總會ニ於テ前項ノ手續ヲ經テ更正加除スルコトヲ得

第六十八條 前條第一項ノ場合ニ於テハ組合員總會ニ於テ精算人ヲ撰舉シ本組合ノ財産及債權債務ヲ處理セシムヘシ

第十一章 雜則

第六十九條 當組合ノ印章左ノ如シ

分七方	岐阜縣惠那郡產牛馬組合組長之印	分七方	岐阜縣惠那郡產牛馬組合副組長之印
分五寸一方	岐阜縣惠那郡產牛馬組合之印	分五寸一方	同上烙印

△組合役員及職員

組長	欠員
副組長	堀 彌 一
理事	河村 寅吉
評議員	早川 熊次郎
同	細川 清助
同	市岡 年雄
同	三宅 亨
同	坪井 誠爾
同	安藤 友吉
書記	雲谷 致一

△組合施設事業

當組合施設事業ノ概況ヲ陳フルニ方リ最モ惜ムヘキハ本郡ニ牧場ノ設備ナキト近來蠶業發展ノ爲メ勞力ニ欠乏ヲ來セシ結果大ニ斯業ニ影響ヲ及ホシ年々牛馬ノ飼育者減少スルノ傾向アルハ頗ル遺憾トスル所ナリトス將來之等ニ對スル相當ノ方法ヲ講究シ斯業ノ發展ヲ圖ラントス依テ是迄施設セシ事業概要ヲ摘載スレハ左ノ如シ

一 種牡馬ノ種付

愛知種馬所ハ岩村種付所ヲ設置セラレ又岐阜縣種畜場ハ下原田村付知町加子母村ノ三ヶ所ニ種付所ヲ設ケ何レモ良馬ヲ派遣シ毎年三百頭餘ノ種付ヲ爲セリ又組合有個人有種牡馬モ同様種付ヲ開始シ其ノ種付頭數四百餘頭ニ及ヘリ成績最モ良好ナリトス

二 種牝馬購入

種牝馬購入ハ縣費ノ補助ヲ得縣畜産會へ購入ヲ囑託シ毎年數頭乃至數十頭ヲ購入セシメ今ヤ牝馬ノ良好ナルモノ各所ニ散在スルニ至レリ

一 品評會

本年度ヲ以テ第十二回牛馬品評會ヲ開設スルニ至レリ近來牝馬共ニ良好ナルモノ増加セシ結果其ノ出陳セシ仔馬價モ毎回改良ノ實績顯著ナリ

一 市場

品評會ニ引續キ糶市場ヲ開始シ賣買セシ仔馬數數年前一頭平均拾五圓内外ナレトモ目下參拾圓内外ニ昂騰スルニ至レリ

一 獎勵金下附

馬政局ハ四十年度以降毎年本組合員所有ニ係ル馬匹ニ對シ種牡馬ハ八拾圓種牝馬ハ參拾圓乃至五拾圓ノ獎勵金ヲ下附セララル

○岐阜縣益田郡産牛馬組合

△定 款

第一章 名稱及事務所位置

第一條 當組合ハ岐阜縣益田郡産牛馬組合ト稱ス

第二條 當組合ノ事務所ハ萩原町大字萩原四百八十九番戸ニ設置ス

第二章 組織及其地區

第三條 當組合ハ牛又ハ馬ノ生産ニ従事スル者ヲ以テ組織ス

第四條 當組合ハ益田郡一圓ヲ以テ區域トス

第五條 當組合ニ部ヲ設ケ左ノ町村ヲ以テ區域トス

- 一小坂町 小坂部 一萩原町 萩原部
- 一下呂村 下呂部 一竹原村 竹原部
- 一上原村 上原部 一中原村 中原部
- 一下原村 下原部 一馬瀬村 馬瀬部
- 一川西村 川西部 一朝日村 朝日部
- 一高根村 高根部

第三章 目的及其業務

第六條 當組合ハ牛馬ノ改良及組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第七條 當組合業務ノ種類左ノ如シ

- 一 濠洲産及齒獲貸下牝馬ノ管理ニ關スル事項
- 二 本縣種畜場預托種牡牛馬ノ管理ニ關スル事項
- 三 牛馬市ノ開設ニ關スル事項
- 四 牛馬共進會品評會ニ關スル事項
- 五 牛馬販路ノ擴張ニ關スル事項
- 六 獸疫ノ豫防制遏ニ關スル事項
- 七 産牛馬ニ關シ官廳ノ諮問アル時ハ之ニ答ヘ又ハ意見アルトキハ官廳ニ建議スルコト

第八條 組合ニ於テ施行スル事務ノ順序ノ方法ハ評議員會ノ決議ニ依リ之ヲ定ムルモノトス

第九條 組合ハ種牡牛馬ヲ購入シ又ハ預托ヲ受ケ之ヲ飼養ス

第十條 組合有又ハ預托ヲ受ケタル種牡牛馬ノ交尾ヲ要求セントスルモノハ別ニ定ムル所ノ様式ニヨリ交尾請求書ヲ組長ニ差出スヘシ

第十一條 組合有種牡牛馬ハ牝牛馬ノ優等ナルモノニアラサレハ之ヲ交尾セシメサルモノトス

第十二條 交尾請求者ハ組合ニ於テ定メタル交尾料ヲ納付スヘシ

第十三條 組合有種牡牛馬ニ交尾シテ分娩シタルモノニハ血統證ヲ交付ス

第十四條 組合員所有又ハ飼育ノ牝牛馬分娩シタルトキハ其年月日種類毛色牝牡ノ區別ヲ記シ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第十五條 組合員其所有又ハ飼育ノ牛馬賣買交換シ又ハ牛馬死亡シタルトキハ体尺年齢毛色等ヲ詳記シ速ニ組長ニ届出ツヘシ

第四章 組合員加入及脱退

第十六條 組合事務所ニ組合員名簿ヲ備置キ異動ノ都度加除更正スヘシ

第十七條 組合員ニハ表札ヲ交付ス

第十八條 組合ニ加入セントスルモノハ所轄部長ヲ經テ當組合事務所ニ申立ツヘシ

第十九條 組合員死亡廢業又ハ組合外へ轉居シタルトキハ其旨ヲ届出テ表札ヲ返納スヘシ

第二十條 組合員組合内ノ轉居家督相續改氏名又ハ表札ヲ遺失毀損シタルトキハ其ノ書換又ハ再渡ヲ請フヘシ

第二十一條 組合ニ加入ノ手續ヲナシタルトキハ五日以内ニ戸外見易キ所ニ表札ヲ掲クヘシ

第二十二條 組合員ノ表札ノ雛形ハ左ノ如シ

表札木製

第 號
 岐阜縣 益田 郡產牛馬組合員
 住 所
 氏 名
 烙印

第五章 役員ノ資格權限及其選舉

第三十二條 當組合ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 組 長 壹名
- 二 副組長 壹名
- 三 理事 參名
- 四 評議員 五名

第三十四條 役員タルヲ得ヘキモノハ年齡廿五歳以上ノ男子ニシテ左記各號ニ該當セサルモノニ限ル

- 一 本組合ニ加入後一箇年ヲ經サルモノ
- 二 重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ又ハ農商工業ヲ妨害スル罪財產ニ對スル罪風俗ヲ害スル罪及信用ヲ害スル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレ滿期又ハ赦免後二箇年ヲ經サル者
- 三 公權剝奪セラレタル者又ハ其停止中ノ者
- 四 復權セサル破産者及ヒ家資分散者
- 第三十五條 役員ハ部長會ニ於テ組合員ヨリ之ヲ選舉ス
- 第三十六條 役員ノ任期ハ滿二個年トス滿期ノ後再選セラル、コトヲ得

但シ欠員ヲ生スル場合ニアリテハ三ヶ月以内ニ補欠選舉ヲ

ナス其任期ハ前任者ノ殘任期トス

第三十七條 組長ハ組合一切ノ事務ヲ總理ス副組長ハ組長ヲ補佐シ組長事故アルトキハ之ヲ代理ス理事ハ組長ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ執行ス

第三十八條 組長ハ事務上ノ利害ニ關シ必要ノ事件アルトキハ所轄郡長又ハ縣知事ニ申報スヘシ

第三十九條 組長ハ此定款ニ違背セシモノアリテ之カ處分ヲ爲シタルトキハ郡役所ヲ經テ縣廳ニ申報スヘシ

第三十條 組長ハ技師技手又ハ書記ヲ任用シ及雇員ヲ使用スルコトヲ得

第三十一條 評議員ハ組長ノ諮問ニ應シ及業務執行ニ就キ必要ナル規定ヲ議決シ並其施行ノ狀況ヲ監督シ又ハ意見ヲ述ヘ組長副組長共ニ故障アルトキハ之ヲ代理シ若クハ組長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌ス但組長ノ代理ヲ爲ス順位ハ每年ノ始メニ於テ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第六章 部長會
第三十二條 部長會ハ各部一名ツ、其部組合員ノ選舉シタル部長ヲ以テ組織ス

第三十三條 部長タルヲ得ヘキモノ、資格ニ付テハ第廿四條ヲ適用ス

第三十四條 部長ノ選舉ハ組長ノ公告ニ依リ之ヲ行フ公告ハ選舉會場及日時ヲ記シ選舉ノ日ヨリ少クモ七日間前ニ之ヲ發スヘシ

第三十五條 部長ノ選舉ハ組長ニ於テ選舉掛長及選舉掛二名ヲ指定シテ選舉ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシムヘシ

第四十六條 議事ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム
第七章 組合員會
第四十七條 組合員總會ハ任意解散ヲ議決スル場合若クハ本章ノ規定ヲ變更スル場合又ハ組合員ノ請求ニヨリ之ヲ開ク者トス

第四十八條 組合員總會議事ハ特ニ規定セルモノ、外第三條ニ定メタル各種組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ議決スルコトヲ得ス

第四十九條 組合員ハ組合員ヲ代理人トシテ組合總會ニ出席シ議決權ヲ行ハシムルコトヲ得代理人ハ委任狀ヲ示スヘシ

第五十條 組合員總會ノ議長及召集ノ手續ハ第四十一條第四十二條ヲ適用ス組合員總會ノ開會ヲ請求スルハ第三條ニ定メタル各種組合員三分ノ一以上ヲ要ス

第五十一條 組合員總會ハ出席者ノ名簿ヲ調製シ之レニ署名捺印セシメ議事録ニ付綴スヘシ

第八章 會 計
第五十二條 當組合經費ノ費目左ノ如シ

- 一 事務所費
- 一 會議費
- 一 事業費
- 一 豫備費
- 一 負擔費

第五十三條 役員ニハ報酬若クハ給料旅費部長ニハ旅費日當ヲ給スル事ヲ得其額ハ部長會ノ定ムル所ニ依ル

- 第三十六條 部長ノ當選人定リタルトキハ選舉掛長ハ之レヲ組長ニ報告スヘシ
- 第三十七條 部長ノ任期ハ滿四ヶ年トス滿期後再選セラル、コトヲ得
- 第三十八條 部長中缺員アルトキハ三十日以内ニ補欠選舉ヲ行フヘシ
- 但補欠員ノ任期ハ前任者ノ殘任期ニ依ル
- 第三十九條 部長會ハ組合經費ノ豫算並徵收法ヲ定メ及決算ヲ認定シ其他此定款ニ規定シタル事項ヲ議決ス
- 第四十條 部長會ハ毎年一月六月ノ兩度ニ通常會ヲ開クヘシ其會期ハ五日以内トス其他組長ニ於テ必要ト認メタルトキ若クハ部長三分ノ一以上ノ請求アルトキハ其事件ニ限り臨時會ヲ開クコトヲ得其會期ハ三日以内トス
- 第四十一條 部長會ハ組長ヲ以テ議長トス
- 第四十二條 部長會ハ組長之ヲ召集ス
- 召集ハ會日ヨリ五日前ニ公告スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此限リニアラス
- 第四十三條 部長會ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外部長半數以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得ス
- 但シ同一ノ事件ニ付召集再回ニ涉リタル場合ハ三分ノ一以上ノ出席ニテ足ル
- 第四十四條 部長會ノ議決ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外過半數ニ依ル可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
- 第四十五條 凡テ會議ニ於テ議決シタル事項ハ之ヲ議事録ニ記載シ議長及部長二名以上署名捺印スヘシ

第五十四條 組合ノ支出ニ充ツル費用ハ組合有財産ヨリ生スル收入其他雜收入ヲ以テ充ツルモノ、外組合員ニ分賦ス

第五十五條 組合員ハ組合費ヲ負擔スルノ義務ヲ負フ

第五十六條 組合費ハ必ス納期内ニ完納スヘシ若シ納期後十日ヲ過クルトキハ組長ハ之ヲ督促ス

第五十七條 組合費不納者ニ督促ヲナストキハ督促狀ヲ發スヘシ

第五十八條 督促手數料及過怠金ハ組合ノ雜收入トス

第五十九條 徵收手續督促手數料ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第六十條 組合費負擔ノ義務消滅シ又ハ變更スルモ既納ノ分ハ返付セズ

組合員組合ヲ脱退スルモ財産ノ分配ヲ請求スルノ權ナキモノトス

第六十二條 組長ハ毎年其翌年度ニ係ル經費豫算ヲ調製スヘシ但シ組合ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第六十二條 組合經費ノ豫算並ニ徵收法ハ部長會ノ議決ヲ經會計年度二ヶ月前ニ知事ノ認可ヲ請フモノトス

事業ノ成蹟經費ノ決算貸借對照表ハ每會計年度後二ヶ月以内ニ之ヲ組合ニ公告シ知事ニ報告スヘシ

第九章 違約者處分

第六十三條 組合員ニアラサルモノ、所有セル牝牛馬ヲ自己ノ所有ト偽リ又ハ第十四條第十五條第二十一條ニ違背シタル者ハ拾錢以上拾圓以下ノ過怠金ヲ出サシムヘシ

第六十四條 過怠金ハ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ組合事務所ニ差出スヘシ

第十章 定款變更及任意解散

第六十五條 此ノ定款ノ規定ハ部長會ニ於テ總部長三分ノ二以上ノ同意ニ依リ決議シ知事ノ認可ヲ經テ更正加除スルコトヲ得但シ第七章ノ事項ヲ議決スルコトヲ得ス

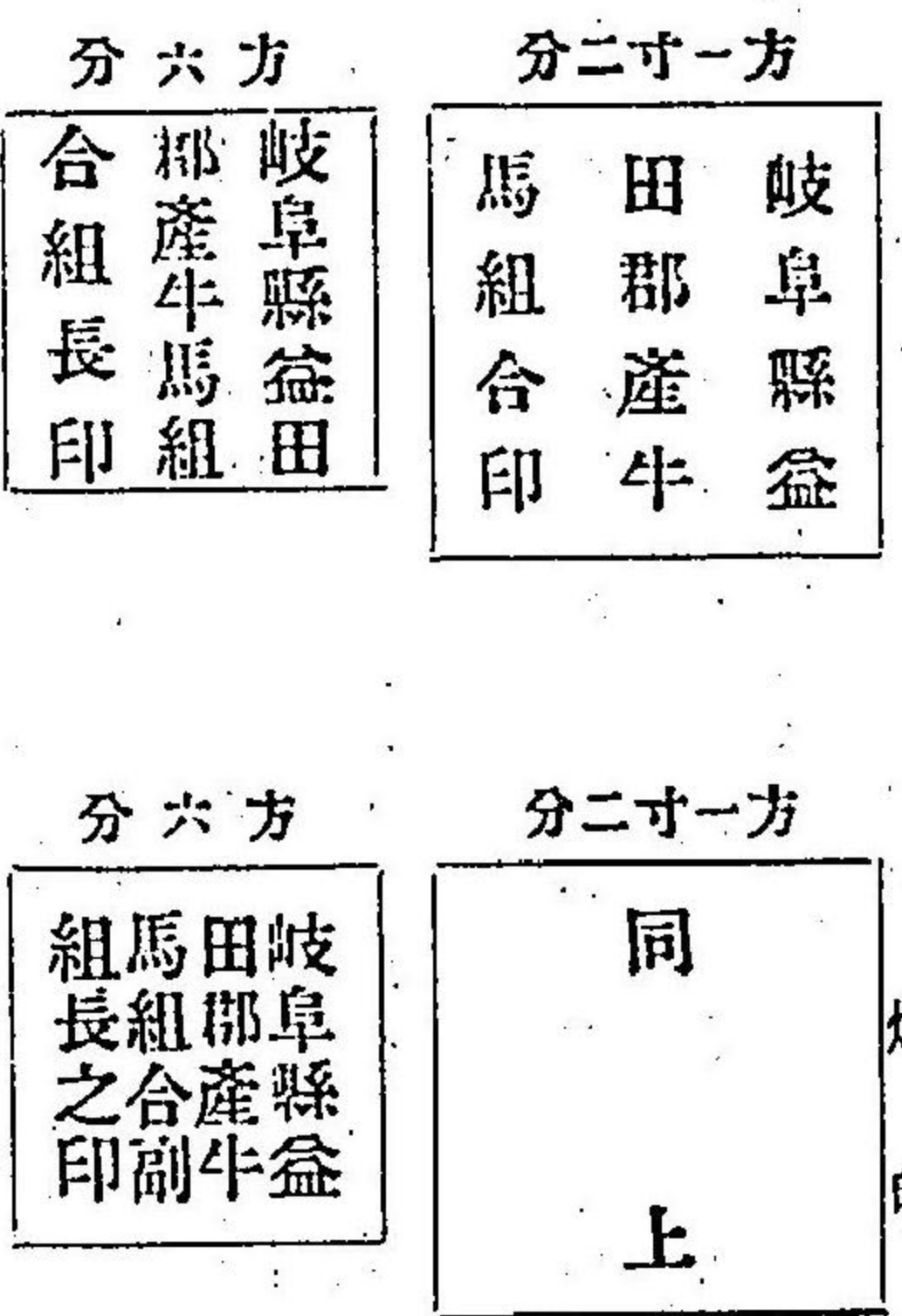
第六十六條 當組合ハ業務ノ都合ニヨリ組合員總會ニ於テ組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ知事ノ認可ヲ經テ任意解散ヲナスコトヲ得

此定款第七章ノ規定ハ組合員總會ニ於テ前項ノ手續ヲ經テ更正加除スルコトヲ得

第六十七條 前條第一項ノ場合ニ於テハ組合ニ於テハ組合員總會ニ於テ精算人ヲ選舉シ現務ノ結了債權ノ取立債務ノ辨濟殘餘財産ノ引渡ヲ處理セシム

第十一章 雜則

第六十八條 當組合ノ印章左ノ如シ



第六十九條 創立當初ノ役員ハ創立總會ニ於テ第二十四條第一號ノ規程ニ關セス同意者中ヨリ選舉シ其ノ年ノ終ル迄ヲ以テ就職滿一年ニ計算ス

又創立年度ノ經費豫算并ニ徵收方法ハ創立總會ニ於テ議決スルコトヲ得

岐阜縣益田郡產牛馬組合牛馬籍ニ關スル内規

第一條 各部ニ牛馬籍ヲ備ヘ其部内ニ現在スル組合員ノ所有又ハ飼育牛馬ヲ登錄スヘシ

第二條 牛馬籍ノ記載事項ハ左ノ如シ
性、種類、毛色、生年月、體尺、特徴、用途、産地、所有者又ハ飼育者ノ姓名、事由

第三條 部長ハ牛馬ノ異動アル毎ニ牛馬籍ヲ加除スヘシ

第四條 牛馬籍ニ登記シタル牛馬ニシテ他ノ部内ヘ移轉シタルトキハ其部ヘ通知スルヲ要ス

第五條 部長ハ毎年二回四月一日十一月一日現在牛馬頭數及組合員人數ヲ左記書式ニヨリ取調其月二十日限リ組合事務所ニ報告スヘシ

ハ種付ヲ出願スル事ヲ得

一、年齢四歳以上ニシテ發育全良ナルコト

二、身幹四尺四寸以上ナルコト但シ體格特ニ優等ナルモノハ此限リニアラス

三、遺傳病又ハ惡癖ナキコト

四、體格優等性質全良體質健全ナルコト

第三條 本組合種牡馬ノ種付ヲ受ケントスルモノハ第一號式ニ依リ當該町村部長ヲ經テ毎年二月十五日迄ニ組長ニ願出ツヘシ

第四條 種付ヲ受クヘキ牝馬ハ左前蹄ニ第四號式ノ蹄印ヲ烙スルモノトス

第五條 本組合ノ種付許可證ヲ有スル牝馬ニアラサルハ種付ヲ受クルコトヲ得ス

第六條 種付牝馬カ豫定數ニ達セサル場合ニ於テハ第三條ノ手續ヲ經サルトキト雖組長ハ牝馬所有者又ハ管理者ノ請求ニ依リ臨時ニ種付許可證ヲ下付スルコトヲ得

第七條 種付場ハ左ノ五區ニ別チ開設スルモノトス
但種付場ノ位置及種付場開閉ノ期日等ハ其都度組長ヨリ町村部長ニ通告ス

四月一日 現在報告 何々町部①主任者ノ印
十一月十一日 組合員人數 牛頭數 馬頭數

明治四十二年三月一日議決

△岐阜縣益田郡產牛馬組合種牡馬種付規則

第一條 本組合種牡馬ハ本組合員所有ノ牝馬ニシテ現ニ本郡内ニ飼養セラル、モノ、種付ニ供ス

第二條 左ニ掲ケタル資格ヲ有スル牝馬ノ所有者又ハ管理者

第一區 上原村 中原村 下原村

第二區 竹原村 下呂村

第三區 萩原町 小坂町

第四區 川西村 馬瀬村

第五區 朝日村 高根村

右各區ニ於ケル種付場ハ組合町村交互ニ之ヲ設置スルモノ

トス

第八條 種付場閉鎖ノ期日迄ニ發情セサルモノハ種付許可ノ効力ヲ失フモノトス

第九條 種付ノ順序及配合ハ總テ出張掛員ノ指揮ニ從フヘシ第十條 種付料ハ組長ノ指定シタル期日迄ニ納付スヘシ其期日ヲ過キ種付料ヲ納付セサルトキハ種付許可證ノ効力ヲ失フモノトス

但種付料ハ受胎セサルモ還付セス

第十一條 種付料納付シタル後ト雖種付牝馬ノ斃死又ハ其他ノ事故ニ依リ種付ヲ爲サ、ルトキハ種付料ヲ還付ス

第十二條 本組合種牝馬種付ハ一日四回ヲ超ユルコトヲ得ス第十三條 本組合種牝馬ニシテ疾病又ハ勢力衰弱若ハ他ニ異

第十四條 種付許可證ヲ有スル牝馬ト雖傳染ノ虞アル疾病又ハ衰弱其他障害アリト認ムルトキハ種付ヲ爲サ、ルトコトアルヘシ

ルヘシ

但此場合ニ於テハ種付料ヲ還付スルモノトス

第十五條 種付ヲ受ケタル牝馬ニシテ左ノ場合ヲ生シタルトキハ十日以内ニ種付ノ許可證ヲ添へ第二號式ニ據リ當該町村部長ヲ經テ組長ニ届出ツヘシ

一 種付牝馬ノ分娩シタルトキ

二 種付牝馬ノ受胎セサルコトヲ確認シタルトキ

三 種付後十二ヶ月ヲ經過セサル牝馬ノ流産斃死撲殺逸走盜難又ハ賣買讓與シタルトキ並逸走盜難後發見シタルトキ

トキ

第十六條 種付牝馬ニシテ十二ヶ月ヲ經過セサルモノハ本組合區域外ニ搬出スルコトヲ許サス

第十七條 産出シタル仔馬ニシテ斃死撲殺逸走盜難賣買讓與シタルトキハ十日以内ニ第三號式ニ依リ當該町村部長ヲ經テ組長ニ届出ツヘシ

但二歳糶拂後ハ届出ヲ要セス

第十八條 種付シタル牝馬及其産出シタル仔馬ハ指定ノ地ニ牽出シ検査ヲ爲スコトアルヘシ

第十九條 種付ヲ受ケタル牝馬ノ所有者ニシテ其産仔ノ血統書ヲ得ントスルモノハ願書ヲ組長ニ差出スヘシ

第二十條 第十三條第十四條ニ違背シ又ハ産出仔馬ノ飼育管理ニ注意セサル爲メ斃死又ハ發育不良ノ成績アルモノニハ次回ヨリ種付ヲ許可セサルコトアルヘシ

明治四十二年三月一日議決

(第一號式)

種付願

一 牝馬

種類 毛色 年齢 身幹 名號

產地 父母系統

右貴組合種牝馬種付相願候也

住所

年月日 所有者(又ハ管理者)姓 名印

益田郡産牛馬組合組長 氏 名殿

前書ノ通出願候處本組合種牝馬種付規則第二條ノ資格ヲ有スルコトヲ證明ス

前書ノ通相違無之候也

益田郡町村部長 姓 名印

(三) 種付牝馬逸走(盜難)届

明治 年月日 種付許可證第號

一 牝馬

明治 年月日 益田郡産牛馬組合種馬名號交尾

明治 年月日 逸走(盜難)

右逸走(盜難ニ罹リ)候ニ付御届候也

住所

年月日 所有者(管理者)姓 名印

益田郡産牛馬組合組長 氏 名殿

前書ノ通相違無之候也 益田郡町村部長 姓 名印

發見シタルトキモ右ノ書式ニ依リ

(四) 種付牝馬賣買(讓與)届

明治 年月日 種付許可證第號

一 牝馬

右賣買(讓與)候ニ付許可證相添御届候也

住所 賣(讓)渡人 姓 名印

住所 買(讓)受人 姓 名印

年月日

益田郡産牛馬組合組長 氏 名殿

前書ノ通相違無之候也

(第二號式)

(一) 種付牝馬分娩届

益田郡町村部長 姓 名印

母馬 種付許可證第號

父馬 益田郡産牛馬組合種馬名號

仔馬 姓 身幹 特徴 毛色 名號

明治 年月日 日出産

右分娩候ニ付種付許可證相添御届候也

住所

年月日 所有者(又ハ管理者)姓 名印

益田郡産牛馬組合組長 氏 名殿

前書ノ通相違無之候也

益田郡町村部長 姓 名印

(二) 種付牝馬(流産)(斃死)(撲殺)届

明治 年月日 種付許可證第號

一 牝馬

明治 年月日 益田郡産牛馬組合種馬名號交尾

明治 年月日 流産、斃死、撲殺

右何々ノ(理由由明記)爲流産(斃死、撲殺)候ニ付種付許可證相添御届候也

住所

年月日 所有者(管理者)姓 名印

益田郡産牛馬組合組長 氏 名殿

産牛馬組合

益田郡町部長 姓名 名印

(五)種付ノ牝馬不妊届

明治 年月 日 種付許可證第 號

一牝馬

明治 年月 日 益田郡産牛馬組合種馬名號交尾

右不妊ニ付種付許可證相添御届候也

住 所

所有者(管理者) 姓名 名印

益田郡産牛馬組合組長 氏 名殿

前書ノ通相違無之候也

益田郡町部長 姓名 名印

(第三號式)

(一)産出仔馬斃死(撲殺)届

母馬 明治 年月 日 種付許可證第 號

父馬 益田郡産牛馬組合種馬名 號

仔馬 姓名 毛色 身幹 特徴 名號 産出 月 日

明治 年月 日 斃死(撲殺)

右何々ノ(理由明記)ノ爲斃死(撲殺)候ニ付御届候也

住 所

所有者(管理者) 姓名 名印

益田郡産牛馬組合組長 氏 名殿

前書ノ通相違無之候也

益田郡町部長 姓名 名印

(二)産出仔馬逸走(盜難)届

母馬 明治 年月 日 種付許可證第 號

父馬 益田郡産牛馬組合種馬名 號

仔馬 姓名 毛色 身幹 特徴 名號 産出 月 日

右逸走(盜難ニ罹リ)候ニ付御届候也

住 所

所有者(管理者) 姓名 名印

益田郡産牛馬組合組長 氏 名殿

前書ノ通相違無之候也

益田郡町部長 姓名 名印

(三)産出馬賣買(讓與)届

母馬 明治 年月 日 種付許可證第 號

父馬 益田郡産牛馬組合種馬名 號

仔馬 姓名 毛色 身幹 特徴 名號 産出 月 日

右賣買(讓與)候ニ付御届候也

住 所

賣(讓)渡人 姓名 名印

住 所

買(讓)受人 姓名 名印

益田郡産牛馬組合組長 氏 名殿

前書ノ通相違無之候也

益田郡町部長 姓名 名印

(第四號式)

左前蹄印 合

(第五號式)

益田郡産牛馬組合種付許可證

番 號	種 類	毛 色	名 號	生 年 月 日	身 尺 寸	産 地	特 徴	父 系	母 系	種 牡 馬 名 號	交 尾	同	同
第 一 號	種 類	色 類	號 類	年 月 日	年 月 日	尺 寸	尺 寸	尺 寸	尺 寸	尺 寸	尺 寸	尺 寸	尺 寸
住 所	住 所	住 所	住 所	住 所	住 所	住 所	住 所	住 所	住 所	住 所	住 所	住 所	住 所
所有者 姓名 名	所有者 姓名 名	所有者 姓名 名	所有者 姓名 名	所有者 姓名 名	所有者 姓名 名	所有者 姓名 名	所有者 姓名 名	所有者 姓名 名	所有者 姓名 名	所有者 姓名 名	所有者 姓名 名	所有者 姓名 名	所有者 姓名 名

右明治 年ヲ限リ種牡馬ノ種付ヲ許可ス

裏

面

明治 年 月 日	益田郡産牛馬組合
----------	----------

支給規則日給ノモノニアリテハ一般ノ例ニ依ル

第四條 役員ニ支給スル旅費日當ハ別表ニ依ル

第五條 日當ハ旅行及會議ニ出席セシ日數旅費ハ其行程ニヨ

リ支給シ單位未滿ノ端數ハ切捨トス

但片道三里未滿ノ旅行ハ日當ヲ支給セス

第六條 強雨積雪夜間又ハ非常急行ノ場合ハ實費ヲ支給スル

△岐阜縣益田郡産牛馬組合諸給與規程

第一條 本組合役員給與金ハ此規程ニ依リ支給ス

第二條 俸給中月俸ノモノニハ毎月二十二日給ノモノニハ

毎月末日之ヲ支給ス但支給當日休暇日ニ當ルトキハ繰上ケ

トス

第三條 俸給支給ノ方法ハ月俸ノモノニアリテハ判任官俸給

コトアルヘシ
 第七條 旅行中組合ノ爲メニ要シタル費用ハ評議員會ノ評決ニ付シ其實費ヲ支給スルコトヲ得
 第八條 旅費支給方法ニ付本規程ニヨリ難キトキハ内國旅費規則ニ準ス
 第九條 本規則ハ明治四十二年四月ヨリ施行ス
 明治四十二年三月一日議決

種別	日當			
	日當一里ニ付	車馬賃一哩ニ付	汽車賃一哩ニ付	汽船賃一哩ニ付
組合内	正副組長	壹圓	拾五錢	拾五錢
	其他役員	壹圓	拾五錢	拾五錢
組合外	壹圓五拾錢	貳拾錢	四錢	四錢

△岐阜縣益田郡産牛馬組合會計規則
 第一條 收入支出ノ所屬年度ヲ定ムルコト左ノ通
 歳入納期ノ一定シアルモノハ納期末日ニ屬スル年度隨時ノ收入ハ決裁日ノ屬スル年度歳出借入金ノ元利ハ仕拂期日ニ屬スル年度其他ハ債務ノ屬スル年度
 第二條 出納閉鎖ノ期日ハ毎年六月三十日トス
 第三條 收支ニ關スルコトハ渾テ組長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ執行スルコトヲ得ス
 第四條 收入支出ノ取扱順序ハ左ノ通リトス
 納期ノ一定シタル收入ハ納期十日前其ノ他ノ收入ハ隨時納入告知書ヲ發ス現金ノ收入ヲナストキ及支出ヲ要スルトキハ諸般ノ調査ヲ了シ組長ノ決判ヲ受ケタル後預ケ入レ又ハ

引出シノ手續ヲナスヘシ
 第五條 會計事務ハ理事之ヲ主掌ス
 會計係ハ適宜ノ様式ニヨリ左ノ帳簿ヲ備ヘ置キ收支ノ都度記帳スヘシ
 歳入簿、歳出簿、現金在高日計簿、郵券受拂簿
 備品臺帳

第六條 現金ハ組長ノ名義ヲ以テ株式会社飛驒銀行萩原支店ニ小口當座預金トシテ預ケ入レ引出シニ要スル印章ハ組長ノ實印ヲ以テ充ツ
 第七條 此規程ハ明治四十二年度ヨリ施行ス
 明治四十二年三月一日議決
 △牝牛馬預托規程

第一條 組合有牝牛馬ハ本組合各部ヲ以テ被預托者トス
 第二條 前條ニ依リ預托ヲ受ケムトスル各部ハ第一號様式ニ依リ當組合ニ願出ツヘシ
 前項許可ヲ得タルトキハ第二號様式ノ受書ヲ差出スヘシ
 第三條 預托料ハ無償トス但牝牛馬分娩五ヶ月後産駒産價ヲ評價シ左ノ割合ヲ以テ其利益ヲ分配スルモノトス
 但評價ニハ組長評議員ノ内二名被預托者立會ヲ以テ評決トス
 産價七分組長 三分受托者
 産駒六分組合 四分受托者

第四條 預托期間ハ六ヶ年以内トシ預托スヘキ牝牛馬毎ニ之ヲ定ム
 預托期間完全ニ受托義務履行シタルトキハ其牝牛馬ヲ無償

牝牛馬預托願

何頭

一 牝馬 改良蕃殖ヲ圖リ度候間預托相成度此段相願候也
 年 號 月 日 何町村部長 氏 名

益田郡産牛馬組合組長宛

第二號様式

請書

何々號

一 牝牛馬
 種類
 年 齡
 毛 色
 身 幹
 特 徵

右預托相成候ニ付テハ本組合牝牛馬預托規程ヲ確守シ其義務ヲ履行可仕ハ勿論平素懇切ニ取扱ヒ且畜産改良蕃殖ノ趣旨ニ副ハンコトヲ期シ可申候
 年 號 月 日 何町村部長 氏 名

益田郡産牛馬組合組長宛

△組合役員及職員

- 組 長 横井 銃吉
- 副 組 長 牧 多賀次郎
- 理 事 平川 賢雄
- 同 安 田 稔
- 同 都筑 瀧次郎
- 囑託獸醫 横山 俊三

ニテ受托者ニ交付ス
 第五條 受托者受托牝牛馬ニ種付ヲ爲サシムルトキハ種付前其種牝牛馬ニ付組長ノ認可ヲ受クヘシ
 第六條 預托牝牛馬分娩シタルトキ又ハ斃死シタルトキハ其都度組長ニ報告スヘシ
 第七條 預托牝牛馬斃死又ハ其他ノ事故生シタルトキハ其事由ヲ詳記シ速ニ組長ニ報告スヘシ
 但斃死ノ場合ニ於テハ獸醫ノ檢案書ヲ添付スヘシ
 第八條 預托牝牛馬蕃殖成績不良ナリト認ムルトキハ受托者ハ之ヲ返納スルコトヲ得
 第九條 預托牝牛馬ノ受托返納其他ニ要スル一切ノ費用ハ受托者ノ負擔トス
 第十條 預托牝牛馬ノ受托者ハ其飼養管理ニ付當組合ノ命ヲ受ケタル役員又ハ技術員ノ指示ヲ遵守シ常ニ善良ナル注意ヲ爲シ若シ疾病ノ徵候アルキハ速ニ適當ノ治療ヲ加フヘシ
 第十一條 預托牝牛馬飼養管理ノ狀況ハ當組合ノ命ヲ受ケタル役員又ハ技術員ヲシテ臨時視察セシメ場合ニ依リ場所ヲ指定シテ牽付ケシムルコトアルヘシ
 前項ノ場合ニ於テ受托者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
 第十二條 預托牝牛馬ノ受托者本規程ニ違犯シ又ハ其飼養管理ニ付不正若ハ怠慢ノ行爲アルトキハ其預托ヲ解除スルコトアルヘシ
 第十三條 預托牝牛馬ノ受托者故意又ハ怠慢ニヨリ牝牛馬ニ損害ヲ生セシメタルトキハ其損害ヲ賠償セシム
 第一號様式

評議員

長瀬市之助
水口鉦之助
今井徳太郎
中島孫右衛門
足立高太郎

△組合施設事業

- 一 牛馬品評會開催 毎年 各部へ預托ス
- 一 種牝牛馬購入
- 一 馬匹去勢獎勵
- 一 種牝牛馬預托飼育 縣有ノ分
- 一 貸下牝馬預托飼育 國有ノ分

△明治四十三年度益田郡產牛馬組合歳入歳出決算書

科	目	本年度 預算額	本年度 決算額	比 較
第一款 雜收入	第一項 雜收入	11,500	4,760	減 6,740
	第二項 預金利息	5,000	4,260	
第二款 雜收入	第一項 雜收入	5,000	5,000	増 0
	第二項 預金利息	5,000	4,260	
第三款 手數料	第一項 血統書手數料	1,500	500	減 1,000
	第二項 血統書手數料	1,500	500	
第四款 繰越金	第一項 前年度繰越金	4,400	1,913.5	減 2,486.5
	第二項 前年度繰越金	4,400	1,913.5	
合計		44,100	19,833.5	減 24,266.5

科	目	本年度 預算額	本年度 決算額	比 較
第三款 補助金	第一項 補助金	6,000	6,010	増 10
	第二項 補助金	5,000	4,000	
	第三項 補助金	3,000	3,000	
	第四項 補助金	2,000	2,000	
第四款 寄附金	第一項 寄附金	1,948	1,700	減 248
	第二項 寄附金	2,480	1,400	
合計		23,500	9,719.5	減 13,780.5

科	目	本年度 預算額	本年度 決算額	比 較
第一款 事務所費	第一項 諸給	18,630	23,065	増 4,435
	第二項 報酬	4,000	2,970	
第二款 旅費	第一項 組長以下役員旅費	1,600	7,200	増 5,600
	第二項 旅費	1,380	7,295	
第三款 需用費	第一項 備用品費	5,800	5,850	増 50
	第二項 備用品費	5,800	5,850	
第四款 印刷費	第一項 印刷費	1,500	1,700	増 200
	第二項 印刷費	1,500	1,700	
合計		33,000	43,860	増 10,860

科	目	本年度 預算額	本年度 決算額	比 較
第四款 通信運搬費	第一項 評議員及部長會議費	10,000	10,000	増 0
	第二項 旅費	10,000	1,680	
第三款 雜給	第一項 雜給	1,500	1,590	増 90
	第二項 雜給	1,500	1,590	
第二款 雜給	第一項 雜給	1,000	600	減 400
	第二項 雜給	1,000	600	
第一款 雜給	第一項 雜給	8,000	300	減 7,700
	第二項 雜給	8,000	300	
第四款 事業費	第一項 品評會費	7,750	5,477.5	減 2,272.5
	第二項 品評會費	7,750	5,477.5	
第三款 雜給	第一項 雜給	3,500	14,000	増 10,500
	第二項 雜給	3,500	14,000	
第二款 雜給	第一項 雜給	4,000	4,350	増 350
	第二項 雜給	4,000	4,350	
第一款 雜給	第一項 雜給	5,000	2,860	減 2,140
	第二項 雜給	5,000	2,860	
第四款 畜費	第一項 牝牛馬購入費	3,900	2,880	減 1,020
	第二項 牝牛馬購入費	3,900	2,880	
第三款 畜費	第一項 去勢獎勵費	1,500	550	減 950
	第二項 去勢獎勵費	1,500	550	
第二款 畜費	第一項 去勢獎勵費	1,500	550	減 950
	第二項 去勢獎勵費	1,500	550	
第一款 畜費	第一項 去勢獎勵費	1,500	550	減 950
	第二項 去勢獎勵費	1,500	550	
第四款 貸下料	第一項 技術員嚙托手當	3,750	3,750	増 0
	第二項 技術員嚙托手當	3,750	3,750	
第三款 貸下料	第一項 技術員嚙托手當	3,750	3,750	増 0
	第二項 技術員嚙托手當	3,750	3,750	
第二款 貸下料	第一項 技術員嚙托手當	3,750	3,750	増 0
	第二項 技術員嚙托手當	3,750	3,750	
第一款 貸下料	第一項 技術員嚙托手當	3,750	3,750	増 0
	第二項 技術員嚙托手當	3,750	3,750	

科	目	本年度 預算額	本年度 決算額	比 較
第一款 負担	第一項 縣畜産會負担	3,750	3,750	増 0
	第二項 縣畜産會負担	3,750	3,750	
第二款 豫備費	第一項 豫備費	3,000	3,000	増 0
	第二項 豫備費	3,000	3,000	
第三款 合計	第一項 合計	13,050	8,780	減 4,270
	第二項 合計	13,050	8,780	

△明治四十三年度業務報告

評議員會

一本會ヲ招集シタルコト次ノ如シ
明治四十三年六月廿八日日本組合事務所ニ開會評決事項左ノ如シ

明治四十二年益田郡產牛馬組合經費歳入歳出決算

明治四十二年益田郡產牛馬組合業務成績報告

明治四十三年九月廿六日益田郡朝日村大字甲臨時本會事務所ニ開會評決事項左ノ如シ

牛馬品評會ノ件

明治四十四年二月四日日本組合事務所ニ開會評決事項左ノ如シ

明治四十四年度益田郡產牛馬組合歳入歳出豫算

益田郡產牛馬組合牛馬品評會規則

部長會

一本會ヲ招集シタルコト次ノ如シ

明治四十三年六月廿八日日本組合事務所ニ開會評決事項左ノ如シ

ノ如シ

明治四十二年度益田郡産牛馬組合歳入歳出決算

明治四十二年度業務報告

明治四十四年二月五日六日本組合事務所ニ開會評決事項
左ノ如シ

明治四十四年益田郡産牛馬組合歳入歳出豫算
役員選舉

益田郡産牛馬組合牛馬品評會規則

明治四十三年四月一日獸醫横山俊三ヲ本組合獸醫ヲ囑託ス

明治四十三年十一月縣有種牡馬左記一頭預托ヲ受ケ之ヲ馬瀬村ニ預托セリ

名稱 松島號 種類 二回雜種
 生年月 明治三十七年五月 毛色 黒鹿毛
 特徵 星上唇飛白 身幹 五尺一寸五分
 産地 青森縣三戸郡五戸町
 血統 父洋種 蟠龍號 母一回雜種白梅號
 畜養地 益田郡馬瀬村
 種付區域 益田郡一圓
 縣補助購入牝馬

本年組合ノ幹旋ニ依リ縣補助ヲ受ケ購入シタル種牝馬左記ノ通

名稱	種類	毛色	年齢	体尺	購入者
岩盛號退却雜種鹿	毛三歲	鹿毛	八分		益田郡産牛馬組合
二回雜種星毛鹿	同	同	同		益田郡産牛馬組合
					四見寺中原村細江宮次郎

置ス

第二章 組織及其地區

第三條 當組合ハ牛又ハ馬ノ生産ニ従事スル者ヲ以テ組織ス

第四條 當組合ハ大野郡一圓ヲ以テ區域トス

第五條 當組合ニ左ノ十二部ヲ置キ町村ヲ以テ區域トス

- 一 高山部 高山町 一大名田部 大名田村
- 一 灘部 灘村 一大八賀部 大八賀村
- 一 丹生川部 丹生川村 一上枝部 上枝村
- 一 清見部 清見村 一莊川部 莊川村
- 一 白川部 白川村 一宮部 宮村
- 一 久々野部 久々野村 一山之口部 山之口村

第三章 目的及其業務

第六條 當組合ハ牛馬ノ改良及組合員ノ共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第七條 當組合業務ノ種類撰子左ノ如シ

- 一 種牡牛馬ノ供用ニ關スル事項
- 二 貸下牝馬及預托種牡牛馬ノ管理ニ關スル事項
- 三 牛馬市ノ開設ニ關スル事項
- 四 牧場設置ニ關スル事項
- 五 牛馬籍ノ調製ニ關スル事項
- 六 牛馬共進會品評會ニ關スル事項
- 七 牛馬販路擴張ニ關スル事項
- 八 牛馬去勢普及ニ關スル事項
- 九 獸疫ノ豫防制遏ニ關スル事項
- 十 産牛馬ニ關シ官廳ノ諮問ニ答ヘ又意見アルトキハ建議

産牛馬組合

越谷號	雜種	鹿毛	三歲	四見寺	上原村	細江	太吉
玉山號	同	栗毛	三歲	四見寺	同	田口	元助
岩手號	同	青毛	同	四見寺	川西村	野口	彦六
清上號	一回雜種	鹿毛	四歲	四見寺	同	益田郡産牛馬組合	

以上組合ニ於テ購入シタル牝馬中岩盛號ハ馬瀬村部長ヘ預托シ尚清上號ハ川西村部長ヘ預托セリ

牛馬品評會

明治四十三年九月廿五日ヨリ二日間朝日村大字甲ニ於テ開催ス其ノ概況左ノ如シ

出品人員	九十七人
出品点数	百拾頭
受賞人員	左表ノ通り
種類	優等 一等 二等 三等 四等 五等 計
馬	二 一 二 三 四 一三 三四
牛	二 一 一 一 二 一三 一九
計	四 二 三 六 三六 五三

本會ハ第一回ノ品評會ニ比シ殆ト倍數ノ出品ニシテ一般營業者ノ大ニ改良ノ實績ヲ認メタリ

○岐阜縣大野郡産牛馬組合

第一章 名稱及事務所位置

第一條 當組合ハ岐阜縣大野郡産牛馬組合ト稱ス

第二條 當組合ノ事務所ハ高山町大字川西四百十九番戸ニ設

スル事

第八條 組合ニ於テ施行スル業務ノ順序方法等ハ評議員會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム

第九條 組合員所有ノ牝牛馬分曉シタルトキハ其年月日種類毛色牝牡ノ別ヲ記シ十日以内ニ所屬部長ニ届出ツヘシ組合員外所有ノ牝牛馬ニシテ組合員ノ飼養スルモノ亦同シ

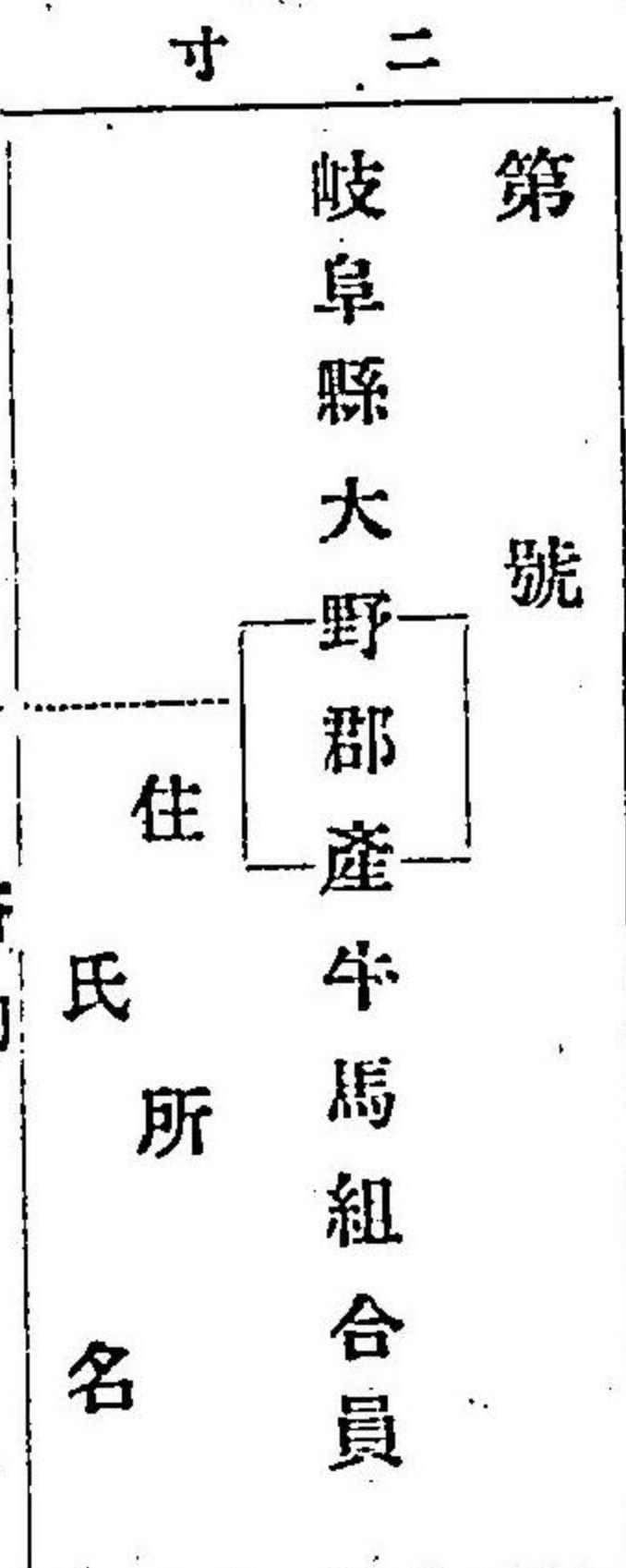
第十條 組合員新タニ牛馬ヲ所有若ハ飼養シ及所有若ハ飼養牛馬ノ異動アリタルトキハ其種類体尺年齢毛色牝牡ノ別ヲ記シ十日以内ニ所屬部長ニ届出ツヘシ

第四章 組合員加入及脱退

第十一條 組合事務所ニ組合員名簿ヲ備ヘ置キ異動ノ都度加除更正スヘシ

第十二條 組合員ニハ左ノ表札ヲ交付ス但組合員ハ之ヲ戶外ニ掲クヘシ

表札木製



第十三條 組合區域内ニ於テ新ニ牛又ハ馬ノ生産ニ従事スル者ハ十日以内ニ所屬部長ヲ經テ組長ニ届出ツヘシ

第十四條 組合員死亡廢業又ハ組合區域外ヘ轉居シタルトキハ十日以内ニ其旨ヲ届出テ表札ヲ返納スヘシ但死亡ノ場合

ニ在テハ相續者ニ於テ本文ノ手續ヲナスヘシ
第十五條 組合員組合内ノ轉居相續改氏名又ハ表札ヲ損失シタルトキハ速ニ其書換又ハ再渡ヲ請フヘシ

第五章 役員資格權限及其選舉

第十六條 當組合ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 組長 一名
- 二 副組長 一名
- 三 理事 二名
- 四 評議員 五名

第十七條 役員タルヲ得ヘキモノハ年齢二十五歳以上ノ男子ニシテ左記各號ニ該當セサルモノニ限ル

- 一 本組合ニ加入後一箇年ヲ經サル者
- 二 重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ又ハ農商工業ヲ妨害スル罪、財産ニ對スル罪風俗ヲ害スル罪及信用ヲ害スル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレ滿期又ハ赦免後二箇年ヲ經サル者
- 三 公權ヲ剝奪セラレタル者又ハ其停止中ノ者
- 四 復權セサル破産者及ヒ家資分散者

第十八條 役員ハ部長會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス

第十九條 役員ノ任期ハ曆年ニ從ヒ二箇年トシ滿期後再選ヲ妨ケス但缺員ヲ生シタルトキハ三ヶ月以内ニ補欠選舉ヲ行フヘシ其任期ハ前任者ノ殘任期トス

第二十條 役員ハ任期滿了後ト雖トモ後任者ノ就職スル迄仍舊其職務ヲ行フモノトス

第二十一條 組長ハ組合一切ノ事務ヲ總理ス
副組長ハ組長ヲ補佐シ組長事故アルトキハ之ヲ代理ス

後再選ヲ妨ケス

第三十二條 部長副部長中欠員アルトキハ三十日以内ニ補欠選舉ヲ行フヘシ但補欠員ノ任期ハ前任者ノ殘任期トス

第三十三條 部長ハ組長ノ指揮ヲ受ケ其部内ニ於ケル事務ノ一部ヲ掌理シ且其部内組合員ヲ代表シ部長會ヲ組織ス

副部長ハ部長ヲ補佐シ部長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第三十四條 部長會ハ組合經費豫算並ニ徵收法ヲ定メ及決算ヲ認定シ其他此定款ニ規定シタル事項ヲ議決ス

第三十五條 部長會ハ毎年一月六月ノ兩度ニ通常會ヲ開キ臨時必要ノ事件アルトキハ臨時會ヲ開クコトヲ得其會期ハ何レモ二日以内トス

第三十六條 部長會ハ組長ヲ以テ議長トス

第三十七條 部長會ハ組長之ヲ招集ス
招集ハ會日ヨリ五日前ニ公告スヘシ但急施ヲ要スル場合ハ此限ニアラス

第三十八條 部長會ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外部長半數以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開キ議決ヲナスコトヲ得ス但シ同一ノ事件ニ付招集再回ニ涉リタル場合ハ三分ノ一以上ノ出席ニテ足ル

第三十九條 部長會ノ議決ハ定款變更ノ件ヲ除クノ外過半數ニ依ル可同數ナルトキハ議長ノ決スル處ニ依ル

第四十條 會議ニ於テ議決シタル事項ハ之ヲ議事録ニ記載シ議長及部長二名以上署名捺印スヘシ

第四十一條 議事ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 組合員總會

理事ハ組長ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第二十二條 組長ハ業務上ノ利害ニ關シ必要ノ事件アルトキハ所轄部長又ハ縣知事ニ申報スヘシ

第二十三條 組長ハ此定款ニ違背セシモノアリテ之カ處分ヲ爲シタルトキハ所轄部長ヲ經テ知事ニ申報スヘシ

第二十四條 組長ハ技術員又ハ書記ヲ任用シ及雇員ヲ使用スルコトヲ得

第二十五條 評議員ハ組長ノ諮問ニ應シ及業務施行上必要ナル規程ヲ議決シ並其施行ノ狀況ヲ監査シ又ハ意見ヲ述ヘ組長副組長共ニ故障アルトキハ之ヲ代理ス其ノ代理ヲ爲ス順位ハ毎年ノ始メニ於テ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第六章 部長及其職務並部長會

第二十六條 各部ニ部長一名副部長一名ヲ置キ其部内組合員ニ於テ之ヲ選舉ス

第二十七條 部長副部長タルコトヲ得キヘモノ、資格ニ付テハ第十七條ヲ準用ス

第二十八條 部長副部長ノ選舉ハ組長ノ公告ニ依リ之ヲ行フ公告ハ選舉會場及日時ヲ記シ選舉ノ日ヨリ少クモ五日前ニ之ヲ發スヘシ

第二十九條 部長副部長ノ選舉ハ組長ニ於テ選舉掛長及選舉掛二名ヲ指定シテ選舉ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシムヘシ

第三十條 部長副部長當選人定リタルトキハ選舉掛長ハ之ヲ組長ニ報告スヘシ

第三十一條 部長副部長ノ任期ハ曆年ニ從ヒ四ケ年トス滿期

第四十二條 組合員總會ハ任意解散ヲ議決スル場合若クハ本章ノ規定ヲ變更スル場合及組合員ノ請求ニ依リ之ヲ開クモノトス

第四十三條 組合員總會ノ議事ハ特ニ規定セルモノ、外第三條ニ定メタル各種組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ議決スルコトヲ得ス

第四十四條 組合員ハ組合員ヲ代理人トシテ組合員總會ニ出席シ議決權ヲ行ハシムルコトヲ得代理人ハ委任狀ヲ示スヘシ

第四十五條 組合員總會ノ議長及招集ノ手續ハ第三十六條及第三十七條ヲ準用ス

組合員三分ノ一以上ノ請求アルトキハ其事件ニ限リ組合員總會ヲ開クコトヲ得

第四十六條 組合員總會ハ出席者ノ名簿ヲ調製シ之ニ署名捺印セシメ議事録ニ付綴スヘシ但シ議事録ハ第四十條ヲ準用ス

第八章 會計

第四十七條 當組合經費ノ概目左ノ如シ

- 一 會議費
- 一 事業費
- 一 事業補助費
- 一 負擔費
- 一 豫備費

第四十八條 役員ニハ報酬若ハ給料旅費部長副部長ニハ旅費

産牛馬組合

九十九

日當ヲ支給スルコトヲ得其額ハ部長會ノ定ムル所ニ依ル

第四十九條 組合ノ費用ハ組合有財産ヨリ生スル收入其他雜

收入ヲ以テ充ツルモノ、外組合員ニ分賦ス

第五十條 組合員ハ組合費ヲ負擔スルノ義務ヲ負フ

第五十一條 組合費ハ必ス納期內ニ完納スヘシ若シ納期後十

日ヲ過クルトキハ組長之ヲ督促ス

第五十二條 組合費不納者ニ督促ヲナストキハ督促狀ヲ發シ

且ツ督促手数料ヲ徴收スヘシ

第五十三條 督促手数料及過怠金ハ組合ノ收入トス

第五十四條 組合費徴收手續及督促手数料ニ關スル規程ハ別

ニ之ヲ定ム

第五十五條 組合員負擔金ハ其納付ノ義務消滅又ハ變更スル

モ既納金ハ還付セス

組合員組合ヲ脱退スルモ財産ノ分配ヲ請求スルノ權ナキモ

ノトス

第五十六條 組長ハ翌年度ニ係ル經費豫算ヲ編成スヘシ但シ

組合ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第五十七條 組合經費ノ豫算並ニ徴收法ハ部長會ノ議決ヲ經

事業年度二ヶ月前知事ノ認可ヲ請フモノトス

事業ノ成績經費ノ決算貸借對照表ハ事業年度後三ヶ月以内

ニ之ヲ組合ニ公告シ知事ニ報告スヘシ

第九章 違約者處分

第五十八條 組合員第九條第十條ニ違背シタルトキハ拾錢以

上五圓以下ノ過怠金ヲ出サシムヘシ

第五十九條 過怠金ハ其處分ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ組

合事務所ニ差出スヘシ

第十章 定款變更及任意解散

第六十條 此定款中第七章ノ規定ヲ除ク外ハ部長會ニ於テ部

長總員三分ノ二以上ノ同意ヲ得知事ノ認可ヲ經テ更正加除

スルコトヲ得

第六十一條 當組合ハ業務ノ都合ニ依リ組合員總會ニ於テ組

合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得知事ノ認可ヲ經テ任意解散ヲ

ナスコトヲ得

此定款第七章ノ規定ハ組合員總會ニ於テ前項ノ手續ヲ經テ

更正加除スルコトヲ得

第六十二條 前條第一項ノ場合ニ於テハ組合員總會ニ於テ精

算人ヲ選舉シ現務ノ終了債權ノ取立債務ノ辨濟殘餘財産ノ

處分ヲナサシム

第十一章 雜 則

第六十三條 當組合ノ印章左ノ如シ

第六十四條 部ニ於テ其部限リ業務施行ノ爲メ特ニ規約ヲ設

ケントスルトキハ部長ハ本組長ノ承認ヲ受クヘシ

得難キ場合ハ雜種ヲ以テ之レニ代フルコトヲ得

組長ノ承認セサル種牡馬ニ配合セシメ出生セシ産駒ハ組合

ニ沒收スルコトアルヘシ

第六條 第四條ノ期間寄附金ヲ完納シタルトキハ其牝馬ハ管

理者ノ所有ニ歸スト雖トモ其後尙三ヶ年間ハ飼養ノ義務ア

ルモノトス

前項管理期間中管理ノ權利ヲ他人ニ讓渡セントスルトキ又

飼養義務年限中ノ他ニ賣却若クハ讓渡セントスルトキハ

其事由ヲ具シ當組長ノ承認ヲ受クヘシ

第七條 管理牝馬ハ組合區域外ニ於テ飼養スルコトヲ得ス但

特ニ當組合ノ承認ヲ經タル場合ハ此限ニアラス

第八條 管理牝馬ノ蕃殖成績不良又ハ老衰セリト認ムルトキ

ハ之ヲ返納スルコトヲ得但既納ノ寄附金ハ還付セス

第九條 管理者ハ第二號書式ノ蕃殖臺帳ヲ備ヘ置キ産駒ニ關

スル狀況ヲ記載シ置クヘシ

第十條 管理者ハ毎年十一月三十日マテニ第三號書式ニ依リ

蕃殖成績ヲ當組長ヘ報告スヘシ

第十一條 管理牝馬ノ分娩シタルトキ若クハ産駒ノ斃死シタ

附 則

第六十五條 組合創立當初ノ役員ハ創立總會ニ於テ選舉シ當

選ノ時ノ屬スル年ノ終ヲ以テ任期一ヶ年ニ計算ス

元飛驒國産牛馬組合ニ於テ一ヶ年以上其組合員タリシ者ハ

第十七條第一號ニ該當セサル者ト見做ス

△貸下牝馬管理規程(明治四十一年十月三日決議)

第一條 明治三十九年農商務省令第二號ニ依リ元飛驒國産牛

馬組合ニ於テ貸下ヲ受ケタル軍用濠州産牝馬ハ左ニ掲クル

者ノ内評議員會ノ議決ヲ以テ管理者ヲ定ム但元飛驒國産牛

馬組合ノ指定ニ依リ同組合解散ノ際當組合區域內ニ於テ管

理者タリシモノハ更ニ本組合ノ指定ニ依リ引續キ管理者タ

ルヲ得ヘキモノトス

二 本組合各部

二 本組合員中産馬業ニ經驗ヲ有シ身元確實ナルモノトス

第二條 管理者ハ第一號書式ノ管理證ヲ提出スヘシ

第三條 管理者ハ牝馬管理ノ爲メ代理人ヲ置キタルトキハ其

ノ住所氏名ヲ直ニ當組合ヘ届出ツヘシ變更シタルトキ亦同

キハ管理牝馬ノ返納ヲ命シ故意又ハ怠慢ニ依リ損害ヲ與ヘ
 タトキハ相當價格ヲ賠償セシム
 第十六條 管理牝馬疾患ニ罹リ又ハ附近ニ傳染病ヲ發生シ若
 シハ蔓延ノ兆アルトキハ治療豫防ノ措置ヲ爲スヘシ
 第十七條 管理牝馬ニ斃死又ハ其他ノ事故ヲ生シタルトキハ
 其事由ヲ明記シ當組合ヘ急報スヘシ但斃死ノ場合ニ於テハ
 獸醫ノ檢案書ヲ添付スヘシ
 第十八條 管理牝馬ノ牽付返納其他ニ要スル一切ノ費用ハ總
 テ管理者ノ負擔トス

附 則

第十九條 岐阜縣畜産會ヨリ借受タル鹵獲牝馬ノ管理ニ關シ
 テモ本規程ヲ準用ス但第四條ノ寄附金ハ明治四十一年ヨリ
 三ヶ年間ニ別チ納付スヘキモノトス
 第二號書式

牝馬管理證

一 牝馬 壹頭
 名 號 種類
 年 齡 毛 色
 体 尺 特 徵

此指定寄附金

右馬匹改良蕃殖ノ爲メ管理セシメラレ候ニ就テハ明治三十
 九年農商務省令第二號牝馬臨時貸下規程及當組合牝馬管理
 規程ハ勿論左記ノ各項遵守可致萬一違背致候節ハ何時返納
 命セラレ候共聊異存無之御指定ノ期日及場所ニ牽付返納
 可申萬一本入ニ於テ不都合ノ所爲有之時ハ保證人ニ於テ代

毛 色
 体 尺
 管理年月
 飼育地
 管理者住所
 管理者氏名
 代理人住所
 代理人氏名
 大野郡 大野郡
 村大字 村大字
 番戸 番戸

事項	種 類	種 牡		種付月日	分娩月日	産 駒	
		名 稱	毛 色			名 稱	毛 色
第一次							
第二次							
第三次							
第四次							
第五次							
第六次							
第七次							
第八次							
第九次							

テ處理可致依テ保證人連署管理證如此候也

明治 年月 日

住 所 住 所
 右管理者 氏 名
 保 證 人 氏 名

一 官廳及組合ノ指揮ニ從ヒ常ニ衛生ニ注意シ誠實ニ飼養
 管理可致事

二 管理牝馬ハ専ラ蕃殖ノ用ニ供スヘキ事

三 農商務若ハ陸軍官憲又ハ地方長官ノ要求アルトキハ何
 時ニテモ飼養地ヨリ約六里以内ノ御指定地ニ産駒ト共
 ニ自費ニテ牽出シ御檢査ヲ受クヘキ事

四 疾病ニ罹リ又ハ負傷シタルトキハ速ニ獸醫ノ治療ヲ受
 クル事

五 指定寄附金ハ明治四十一年ヨリ向四ヶ年ニ分チ毎年指
 定ノ納期ニ納付可致事

六 管理セシメラレタル牝馬ハ特ニ組合ノ承認ヲ經タル場
 合ヲ除クノ外組合區域外ニ於テ飼養不致事

七 管理者ニ於テ指定寄附金ヲ納入期限ニ納入セサル爲メ
 組合ニ於テ一時借入金ヲ爲シタル場合ハ元金百圓ニ付
 日歩金五錢ノ割合ヲ以テ利息金ヲ負擔可致事

第二號書式

母 馬 名
 種 類
 年 齡

備 考	買 却		事 故 月 日
	地 方	買 價	

備 考

一 一項毎ニ母馬一頭及其産駒ヲ記載ス
 二 事故トハ斃死撲殺等ヲ云フ

第三號書式

貸下牝馬蕃殖成績表ノ一 (當 歲)

母馬名	種 牡	種付月日	仔 馬	事 故 月 日		管 理 者	代 理 人
				名 稱	毛 色		

備 考

一 事故欄ニハ墮胎、斃死、不受胎等ヲ記入スヘシ

第三號書式ノ二

貸下牝馬蕃殖成績表ノ二 (二歳)						
前年出 産頭數	現在頭數	事故頭數	賣却頭數			
				賣却價格	最高價格	最低價格
計						
牝						
計						

備考

- 一 事故トハ斃死撲殺等ヲ云フ
- 二 組合各部ニ貸下ケタルモノハ部別ニ製表スヘシ

第四號書式

貸下牝馬分娩(産駒斃死)届

一母馬名
産駒(性)名
毛色
明治 年 月 日 午前 時 分娩(斃死)
右及御届候也

明治 年 月 日 住 所 管理者 氏 名
組合組長宛

第一條 岐阜縣預托種牡牛馬管理規程(明治四十一年十二月二十日決議)
岐阜縣ヨリ預托ヲ受ケタル種牡牛馬ハ評議員會ノ議

決ニ依リ左ニ掲クル者ノ内ヲ以テ其ノ管理者ヲ定ム

- 一 本組合各部
- 二 本組合員中畜産業ニ經驗ヲ有シ身元確實ナルモノ
- 第二條 管理者ハ第一號書式ノ管理証ヲ差出スヘシ
- 第三條 預托種牡牛馬ノ管理期間ハ別ニ之ヲ指定ス
前項管理期間中ニ於ケル其ノ種牡牛馬ノ飼養管理其他一切ノ費用ハ管理者ノ負擔トス
但管理者ハ當組合ノ承認ヲ得テ種付牝牛馬一頭ニ付貳圓以內ノ種付料ヲ徴收スルコトヲ得
- 第四條 管理者ニハ其ノ管理期間中手當ヲ給スルコトヲ得但シ其金額ハ評議員會ノ議決ニ依リ之ヲ定ム
- 第五條 管理者ハ岐阜縣預托種牡牛馬種付規程ニ基キ本組合區域内ニ於ケル牝牛馬所有者又ハ管理者ヨリ種付ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ニ應スヘシ
- 第六條 管理者ハ岐阜縣預托種牡牛馬種付規程第五條ノ検査合格證ヲ有スル牝牛馬又ハ岐阜縣種畜場種付規程第一條ノ資格ヲ具備スル牝牛ニアラサレハ種付ヲ爲スコトヲ得ス
- 第七條 管理者ハ其管理種牡牛馬ノ狀況並ニ翌年種付ヲ爲スヘキ牝牛馬ノ見込頭數ヲ其年十二月十日限リ當組合ニ届出テ指揮ヲ受クヘシ
- 第八條 管理者ハ其管理種牡牛馬ノ種付ニ關シ本規程及岐阜縣預托種牡牛馬種付規程ニ規定アル事項ノ外當組合ノ指示ニ從フヘシ
- 第九條 管理者ハ第二號書式ノ種付簿ヲ備ヘ置キ種付ヲ爲ス毎ニ指定ノ事項ヲ記入スヘシ

第十條 管理者ハ左ノ事項ヲ當組合ニ報告スヘシ

- 一 毎年種付ヲ終リタルトキハ種付簿ノ寫(終了後十日以内)
- 二 前年ノ種付ニ依リ生産シタル成績(其年十二月限リ)
- 三 管理種牡牛馬疾病其他ノ事故アリタルトキハ其ノ詳細及獸醫ノ診斷書(即時)

第十一條 管理者ハ其管理種牡牛馬ノ飼養管理ニ付當組合ノ指示ヲ遵守シ常ニ善良ナル注意ヲ爲シ若シ疾病ノ徵候アルトキハ速ニ適當ノ治療ヲ加フヘシ

第十二條 管理種牡牛馬飼養管理ノ狀況ハ當組合ニ於テ隨時視察シ且場合ニヨリ場所ヲ指定シテ牽付シムルコトアルヘシ

第十三條 管理者本規程又ハ岐阜縣預托種牡牛馬種付規程ニ違背シ又ハ其飼養管理種付ニ付不正若ハ怠慢ノ行爲アリタルトキ又ハ正當ノ事由ナクシテ一種牡牛馬ニ對スル一個年ノ種付牝牛馬二十頭ニ滿タサルトキハ其ノ管理ヲ解除スルコトアルヘシ

第十四條 管理者故意又ハ怠慢ニ依リ種牡牛馬ニ損害ヲ生ゼシメタルトキハ其ノ損害ヲ賠償セム

第一號樣式

印紙 請書

種牡牛馬何々號

種類

産牛馬組合

第二號樣式

(表紙)種牡牛(馬)何號種付簿

受托者 組 合 名
管理者 住 所 氏 名

(表紙裏)

何 號
種 類
年 齡
毛 色
身 幹
血 統
産 地
特 徵

明治何年分

種類	付牝牛(馬)	種付月日及時	事故	牝牛(馬)所有者	住所氏名	種付月日及時									
						年	月	日	時	分					

備考 事故欄ニハ攢駒生産アリタルトキハ其月日及時、流産其他ノ事故アリタルトキハ其月日及時事由ヲ記載スヘシ

△種牝牛馬獎勵規程(明治四十一年十月三日決議)

- 第一條 組合員所有牝牛馬ニシテ體格性能優良ナルモノニ對シ組長ニ於テ必要ト認ムルトキハ評議員會ノ議決ニ依リ獎勵金ヲ交付ス
- 第二條 獎勵金ヲ交付スヘキ種牝牛馬ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ、中ヨリ之ヲ選定ス
 - 一 種牝牛馬ノ證明書ヲ有シ組合ヲ通シテ優良ナルモノ
 - 二 組合區域内組長ノ指定シタル地方ヘ種付ノ爲メ牽付ヲ諾シタルトキ
 - 三 前各號ノ外特ニ畜産改良上必要ナリト認メタルトキ
- 第三條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル種牝牛馬ノ所有者獎勵金ヲ受ケタルトキヨリ一ケ年以内ニ其牛馬ヲ讓渡セントスルトキハ組長ノ承認ヲ受ケ又斃死シタルトキハ組長ニ届出ツヘシ
- 第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル種牝牛馬ノ所有者ニシテ組

長ノ指定シタル條件ヲ實行セサルトキハ其獎勵金ヲ返納セシムルコトアルヘシ

- △種牝牛馬購入獎勵規程(明治四十二年二月六日決議)
- 第一條 組合員ニシテ種牝牛馬ヲ購入スルモノハ此ノ規程ニ依リ獎勵金ヲ交付ス但其交付金額ハ評議員會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ム
- 第二條 獎勵金ヲ交付スヘキ種牝牛馬ハ左ノ各號ニ該當スルモノニ限ル
 - 一 縣ノ補助ヲ受ケ當組合ノ斡旋ヲ以テ購入セシモノタルコト
 - 二 三ケ年以上必ス繁殖ノ用ニ共スヘキコト
- 第三條 前條第二ノ年限内ニ於テ廢用セントスルトキハ相當ノ代リ種牝牛馬ヲ購入シ當組合ノ認可ヲ受クヘシ
- 第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル種牝牛馬ヨリ生産アリタルキハ其種類性毛色生年月日ヲ十五日以内ニ當組合ニ届出ツ

ヘシ

- 第五條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル種牝牛馬ヲ他ノ組合員ニ賣渡又ハ讓渡セントスルトキハ豫メ當組合ノ認可ヲ受クヘシ其斃死シタルトキハ速ニ當組合ニ届出ツヘシ
- 第六條 購入者前各條ノ規定ニ違背シタルトキハ獎勵金ノ返還ヲ命スルコトアルヘシ
- △大野郡産牛馬組合會計規則(明治四十一年十月三日決議)
 - 第一條 毎年度歳入歳出金ヲ出納スルハ翌年度五月三十一日限トス
 - 第二條 會計事務ハ渾テ組長ノ決裁ヲ經理事之ヲ執行スルモノトス
 - 第三條 出納事務處理ノ爲メ左ノ簿冊ヲ備ヘ之ヲ整理スルモノトス
 - 現金差引日計簿
 - 經費歳入出入内譯簿
 - 收入臺帳
 - 財產臺帳
 - 第四條 現金ハ渾テ株式會社飛驒銀行小口當座預金トシテ收支ノ都度預ケ入又ハ引出ヲ爲スモノトス
 - 小口當座預金ニ要スル印章ハ組長ノ實印トス
 - 第五條 本則ニ規定スルモノ、外ハ岐阜縣會計ニ屬スル規定ノ例ニ據ル
- △大野郡産牛馬組合諸給與規程(四十一年十月三日決議)
 - 第一條 本組合役員部長及職員ノ給與金ハ此規程ニ依リ支給ス
 - 第二條 俸給ハ月俸ノモノハ毎月廿二日日給ノモノハ毎月末日之ヲ支給ス但支給當日休暇日ニ當ルトキハ繰上トス

區別	旅費		出務日
	旅費	出務日	
役員及部長	四錢	四錢	拾五錢
組合外員	四錢	拾五錢	壹圓
			五拾錢
			壹圓

△大野郡産牛馬組合諸給與規程(四十一年十月三日決議)

第一條 議員ノ席次番號ハ豫メ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

- 第三條 俸給支給ノ方法ハ月俸ノモノニアリテハ判任官俸給支給ノ例ニ依リ日給ノモノニアリテハ一般ノ例ニ依ル
- 第四條 役員及部長職員ニ支給スル旅費及出務日當ハ別表ニ依ル但部長會及評議員會ニ出席シタルモノニ對シテハ車馬賃及出務日當ノミヲ支給ス
- 組合囑託技術員組合内ノ旅行及出務ニ對シテハ前項ノ旅費ヲ支給セス但往返陸路三里以上六里未満ナルトキハ日額金貳拾五錢往返陸路六里以上ナルトキハ日額金五拾錢宿泊シタルトキハ路程ノ遠近ニ拘ハラズ日額金五拾錢ノ旅行手當ヲ支給ス
- 第五條 強雨積雪夜間又ハ非常急行ノ場合ハ實費ヲ支給スルコトアルヘシ
- 第六條 旅行中組合ノ爲メニ要シタル費用ハ評議員會ノ評決ニ付シ其實費ヲ支給スルコトヲ得
- 第七條 手當金ノ給與ハ俸給支給ノ例ニ依リ報酬及慰勞金ハ評議員會ノ議決ニ依リ支給シ賞與金ハ組長之ヲ專行ス
- 第八條 旅費支給方法ニ付本則ニ規定スルモノ、外ハ内國旅費規則ノ例ニ依ル

第二條 議事ハ第一讀會第二讀會第三讀會ノ三會ニ區別ス但
緊急事件又ハ簡易ノ議題ハ讀會ノ順序ヲ省畧スルコトアル
ヘシ

第三條 第一讀會ニ於テハ議案ノ大体ニ就キ發言セシメ第二
讀會ヲ開ク可キヤ否ヲ決スヘシ

第四條 第二讀會ニ於テハ議案ヲ逐條審議シテ之ヲ議決ス

第五條 第三讀會ニ於テハ第二讀會ノ議決ヲ以テ議案トシ其
ノ全体ノ可否ヲ議決確定スヘシ

第六條 議長ハ會議ノ事ヲ總理シ會議ノ順序ヲ定メ其ノ日ノ
會議ヲ開閉シ議場ノ秩序ヲ保持ス

第七條 議長ハ會議中時宜ニ依リ議員ノ發言ヲ止メ或ハ議事
ヲ中止スルコトヲ得

第八條 發言セントスルモノハ起立シテ議長ト呼ビ自己ノ番
號ヲ稱ヘ議長ノ許可ヲ待テ發言スヘシ

第九條 發言ハ議題外ニ涉ルコトヲ得ス

第十條 建議ヲナサントスルモノハ議席ニ於テ之ヲ演ヘ又ハ
文案ヲ具シテ議長ニ提出スヘシ但シ建議ハ議員三名以上ノ
賛成者アルニアラサレハ議題トナスコトヲ得ス否決シタル
建議ハ同會期内ニ於テ再ヒ提出スルコトヲ得ス

第十一條 議場ニ現在スル議員ハ表決ノ數ニ加ヘサルコトヲ
得ス

第十二條 議事ニ關スル事項ハ書記之ヲ筆記シ議長及議員二
名以上署名捺印スヘシ

第十三條 議事中ハ議長ノ許可ヲ經ルニ非サレハ其席ヲ退ク
コトヲ得ス

△大野郡産牛馬組合費督促手數料規程 (四十一年十月三日決議)

第一條 本組合定款第五十二條ノ組合費不納者督促手數料ハ
一通毎ニ金五錢ヲ徴收ス

第二條 督促手數料ハ本費ト同時ニ徴收ス

- △組合役員及職員
- | | |
|------|-------|
| 組長 | 柿元一兵 |
| 副組長 | 上木甚四郎 |
| 評議員 | 池之端惣助 |
| | 直井信平 |
| | 尾崎咲良 |
| | 山崎茂助 |
| | 豊住松太郎 |
| | 村井正元 |
| | 松島草太郎 |
| | 小林善之助 |
| 囑託理事 | |
| 囑託獸醫 | |

技術員常設
牛馬品評會開催
本縣預托種牡牛馬管理
畜産業講習會開催
牛馬去勢獎勵
牧草試作
畜産業視察員派遣

畜産業研究會開催

牝牛馬購入費補助

種付所及馬房設備補助

畜産々馬共進會出品獎勵

貸下牝馬飼養管理

畜産業發展研究

飛騨國三郡斯業發展上一定方針ノ制定ハ最須要ナルコト
ヲ認メ本年四月一二兩日該研究會ヲ開催シ馬政官、種馬
所長、縣官等ノ出張説明ヲ求メ慎重ニ研究ヲ重ナル結
果更ニ三郡ヨリ三名ツ、ノ委員ヲ選出シ討議問題其他ノ
調査ヲ遂ケ同會カ是ナリト認メタル事項ハ各組合員ヲシ
テ着々實踐セシムル方針ヲ以テ現ニ其開會準備中ニ屬セ
リ本會調査ノ曉ハ斯界ニ裨益スル處尠少ナラサルヘキヲ
信ス

産牛馬獎勵金交付

比年産牛馬ノ改善獎勵ニ昂メタル結果明治四十二年以來
馬政局及農商務省ヨリ獎勵金ノ交付ヲ受ケタル牛馬頭數
金額左ノ如シ

牛 壹頭	金八拾圓
馬 八頭	金四百參拾圓

△明治四十三年度大野郡産牛馬組合歳入出決算

科	目	豫算額	決算額	對 比	附 記
第一款財產收入		一八〇〇〇	一八一四七	増	一四七
				減	

第一項 積立金利息	一八〇〇〇	一八一四七	一四七		
第一目 預金利息	一八〇〇〇	一八一四七	一四七		
第二項 組合員負擔金	四一〇〇〇	四一五、二〇〇	五、二〇〇		
第一目 組合員負擔金	四一〇〇〇	四一五、二〇〇	五、二〇〇		
第二目 牛馬頭數割	三〇〇〇〇	三三、九〇〇	五、九〇〇		
第二目 人頭割	一〇〇〇〇	一七、三〇〇	一、七〇〇		
第三項 補助金	六四、〇〇〇	六八、三〇〇	一、〇〇〇		
第一目 補助金	六四、〇〇〇	六八、三〇〇	一、〇〇〇		
第二目 郡補助	四四、〇〇〇	四八、三〇〇	一、〇〇〇		
第四項 寄附金	一〇〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇		
第一目 寄附金	一〇〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇		
第二目 會費	一〇〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	四〇、〇〇〇		
第五項 雑收入	二四、〇〇〇	三、六四〇	一九、六四〇		
第一項 過年度收入	三、〇〇〇		三、〇〇〇		
第一目 前年度組合員負擔金	三、〇〇〇		三、〇〇〇		
第二目 元飛騨國産牛馬組合交付金	四、〇〇〇		四、〇〇〇		
第二項 雑收入	二一、〇〇〇	三、〇〇〇	一七、〇〇〇		
第一目 旅費交付金	一六、〇〇〇	三、〇〇〇	一三、〇〇〇		
第二目 預金利息	五、〇〇〇	六、六四〇	一、六四〇		
第三項 預金利息	五、〇〇〇	六、六四〇	一、六四〇		
第一目 預金利息	五、〇〇〇	六、六四〇	一、六四〇		
第六項 前年度繰越金	二〇、〇〇〇	九、五五四	一〇、四四六		
第一項 前年度繰越金	二〇、〇〇〇	九、五五四	一〇、四四六		
第一目 前年度繰越金	二〇、〇〇〇	九、五五四	一〇、四四六		
計		一、三三、〇〇〇	一、三五、五〇二		

歳出

科	目	豫算額	決算額	増減	附記
第一款事務所費	第一項給料	150,000	169,850	19,850	
	第二項使丁給料	100,000	100,000	0	
第二項雜費	第一項報酬	55,000	90,600	35,600	
	第二項旅費	55,000	44,000	-11,000	
第三項需用費	第一項備用品費	50,000	18,050	-31,950	
	第二項印刷費	100,000	62,500	-37,500	
第四項通信運搬費	第一項會費	60,000	8,000	-52,000	
	第二項雜費	300,000	178,700	-121,300	
第一項旅費	第一項旅費	45,000	36,250	-8,750	
	第二項日常費	81,000	76,000	-5,000	
第二項需用費	第一項印刷費	40,000	36,000	-4,000	
	第二項消耗品費	20,000	3,300	-16,700	
第三款事業費	第一項品評會費	200,000	37,950	-162,050	
	第二項品評會費	300,000	278,490	-21,510	

科	目	豫算額	決算額	増減	附記
第一款寄附金	第一項寄附金	53,300	31,700	-21,600	
	第二項積立金	5,400	3,050	-2,350	
第二款雜收入	第一項積立金	16,400	15,050	-1,350	
	第二項產脫收得金	40,000	8,000	-32,000	
計	歳入	115,100	57,800	-57,300	
	歳出	1,100,000	755,500	-344,500	

明治四十三年度牝馬貸下費歳入出決算

科	目	豫算額	決算額	増減	附記
第一款貨下	第一項牝馬貸下料	400,000	400,000	0	
	第二項飼養管理指導費	50,000	50,000	0	
第三款特別積立金	第一項指導技術員旅費	40,000	40,000	0	
	第二項特別積立金	80,000	80,000	0	
第四款雜費	第一項雜費	14,000	15,000	1,000	
	第二項雜費	570,000	369,000	-201,000	

歳入不足ニ付一時普通組合費ヨリ假入

△明治四十三年度大野郡産牛馬組合事業成績

産牛馬組合

事業

第六回牛馬品評會
 明治四十三年九月二十九日ヨリ十月一日マテ三日間久々野村ニ於テ前年ニ引續キ開催セリ審査長ハ内田本縣種畜場技手ニシテ出品人員百一人出品点数馬百点牛一点授賞人員四十五人トス今回ノ開催ヲ以テ前回ニ比スレハ品質ノ改善進步ヲ認ムヘキモノアリテ一般ニ家畜思想ノ發展ヲ見ルハ斯界ノ前途大ニ慶スヘキ現象ナリトス

一種牝馬種付獎勵
 山之口部ニハ牝馬三十頭餘現在スルモ此レニ配合スヘキ種牝馬現在セス蕃殖上遺憾ナルヲ以テ組合ヨリ獎勵金ヲ支出シ民有種牝馬ヲ派遣セシメ種付ヲ獎勵セリ

一種牝牛馬預托
 本縣ヨリ預托ヲ受ケタル種牝牛馬及管理者等左ノ如シ
 四十二年受托 種牝牛初曉號デボレ三回雜種
 丹生川村 大下二郎外一人
 四十二年十月廿五日受托 種牝牛 ジャックオプエマ號アシヤ種
 莊川村 直井信平
 四十二年十月四日受托 種牝馬瀧澤號雜種 宮部
 一牝牛去勢獎勵
 本年度莊川部ニ於テ模範的牝牛九頭ノ去勢ヲ實行シタルニ依リ獎勵金ヲ交付セリ
 馬匹去勢施行ノ豫定ナリシモ縣ノ都合ニ依リ中止セラレタリ

一牧草種子分配

組合ニ於テ購入セシ分及本縣種畜場ヨリ配付ニ係ル種子ハ
試作ノ爲メ左ノ部落ヘ分配セリ

- 久々野部 丹生川部 大八賀部
- 大名田部 清見部 上枝部
- 宮部 莊川部

二牧草試作場
前年度ニ引繼キ久々野村大字無數河字城下ニ於テ田反別五
畝歩ヲ借入レ模範的試作場ヲ設ケ各種類ヲ試作シ居レリ

一 種牝馬購入奨励
本年度ニ於テ専ラ購入ヲ奨励シタル結果左記ノ如ク縣及組
合補助購入ヲ了セリ

購入期	牛馬別頭數	購入原價及添付費	縣補助金	組合補助金	購入部
四十三年九月	馬	二七、七五、七三	四四、〇〇〇	五、〇〇〇	莊川部
四十四年三月	同	三三、八八、九三	七一、六五三		丹生川部
同	同	一一、三三、六一	三三、四八		大八賀部
同	同	二二、四八、三六	三九、〇〇〇		丹生川部
計		五三、三三、三三	一五、七〇〇	五、〇〇〇	

備考 四十四年二月購入ニ對スル組合補助ハ經費ノ都合上四
十四年度ニ於テ支出スルコト、セリ

一 種付所及馬房設備
本縣種畜場派遣種牝馬種付所及馬房設備不完全ナル爲種付
上不便支障アルヲ以テ丹生川村ハ改築費清見村ハ新築費大
八賀村ハ設備費ニ對シ何レモ補助金四拾圓ツ、支出シ完備
セシメタリ

一 貸下牝馬飼養管理

一 牛馬飼養技術員選定ノ件
一 明治四十三年六月十六日評議員會ヲ招集シ左ノ件々ヲ議了
セリ

- 一 明治四十二年度組合費歳入出決算ノ審査
- 一同 牝馬貸下費歳入出決算ノ審査
- 一同 貸借對照表ノ審査
- 一同 事業成績報告ノ審査
- 一 組合定款中追加ノ件
- 一 貸下牝馬月殿號返納ノ件
- 一 牛馬飼養管理指導技術員選任ノ件
- 一 獸醫常設ノ件
- 一 明治四十三年十二月廿四日評議員會ヲ招集シ左ノ件々ヲ議了
セリ
- 一 明治四十四年度事業計畫ノ件
- 一 岐阜縣預托種牝牛馬管理規程中改正ノ件
- 一 岐阜縣預托種牝馬澗澤號管理者指定ノ件
- 一 岐阜縣預托種牝牛ジャックオブエヌ號管理者指定ノ件
- 一 貸下牝馬沖路號管理換承認ノ件
- 一同 花桃號管理換承認ノ件
- 一 元飛驒國産牛馬組合交付種付料徴收免除ノ件
- 一 貸下牝馬初戸號返納ノ件
- 一 明治四十四年二月五日評議員會ヲ招集シ左ノ件々ヲ議了セ
リ
- 一 貸下牝馬產駒評價ノ件
- 一 諸給與規程中改正ノ件

本組合ヘ貸下ヲ受ケタル貸下牝馬ハ常ニ飼養管理ニ留意シ
蕃殖ニ供用セシメ居レリ而シテ異動セシモノ左ノ如シ

- 7 鹿子染號 四十四年三月十一日病死 宮村 黒木甚三
- 6 初戸號 同一月廿三日返納許可 久々野村 平井清太郎
- 2 友鳥號 明治四十三年五月十一日吉城 郡産牛馬組合ヘ借受變更 同 日比野久次郎
- 4 葉草號 四十二年五月十一日返 納許可 同 塚越太郎之助
- 3 花崎號 四十二年八月十一日吉城郡産 牛馬組合ヘ借受變更 同 道上彦右衛門
- 5 月殿號 四十二年六月三十日返 納許可 同 大名田村
- 1 村花號 四十二年五月十一日益田郡産 牛馬組合ヨリ借受變更 同 祐成吉左衛門

一 産馬獎勵金下附
比年産馬獎勵ニ勗メタル結果本年度ニ於テ馬政局ヨリ獎勵
金下付セラレタル分左ノ如シ

- 金七拾圓 牝小松號 久々野村 橋本直右衛門
- 金五拾圓 牝保信號 同 堤忠平
- 金五拾圓 牝宮駒號 宮村 中藪駒吉

一 明治四十三年四月十九日評議員會ヲ招集シ左ノ件々ヲ議了
セリ

- 一 貸下牝馬葉草號返納ノ件
- 一同 友鳥號吉城郡産牛馬組合ヘ借受變更ニ關スル件
- 一 明治四十二年度歳入出追加ニ關スル件
- 一 組合囑託獸醫ノ件
- 一 各部規約設定ノ件

一 明治四十三年度組合費歳入出追加豫算ノ審査
一 明治四十四年度組合費歳入出決算ノ審査
一同 組合員負擔金分賦徴收規程ノ審査
一同 牝馬貸下費歳入出決算ノ審査
一 牝馬貸下費特別積立金使用ノ件審査
一 畜牛結核検査期日ノ件ニ付本縣知事ヘ請願案
一 明治四十四年三月二十一日評議員會ヲ招集シ左ノ件々ヲ議
了セリ

- 一 畜産業研究會開催ニ關スル件
- 一 明治四十四年度組合費豫算追加ニ關スル件
- 一 獸醫常設ノ場合當用器械設備ニ關スル件
- 一 明治四十三年六月十七日部長會ヲ招集シ左ノ件々ヲ議了セ
リ
- 一 明治四十二年度組合費歳入出決算
- 一同 牝馬貸下費歳入出決算
- 一同 貸借對照表
- 一同 事業成績報告
- 一 組合定款中改正ノ件
- 一 明治四十三年度組合費歳入出追加豫算
- 一 組合役員改選ノ件
- 一 獸醫常設ノ件詢議
- 一 明治四十四年本縣種畜場派遣種牝馬種付所ニ關スル件詢
議
- 一 明治四十三年九月十四日臨時部長會ヲ招集シ左ノ件々ヲ議了
セリ

- 一 第六回牛馬品評會費久々野部指定寄附金額遞減ノ件
- 一 明治四十四年二月五日部長會ヲ招集シ左ノ件々ヲ議了セリ
- 一 明治四十三年度組合費歳入出追加豫算
- 一 明治四十四年度組合費歳入出追加豫算
- 一 牝馬貸下費特別積立金使用ノ件
- 一 明治四十四年度組合費分賦徴收規程
- 一 同 牝馬貸下費歳入出豫算
- 一 畜牛結核検査期日ノ義ニ付請願ノ件

雜件

- 一 明治四十三年四月四日明治四十三年度事業費へ郡費金貳百圓補助セラルヘキ指令ヲ受ケタリ
- 一 明治四十三年四月一日山之口部長青木相助辭職ニ付同月廿五日補欠選舉會開會黒木甚三當選セリ
- 一 明治四十三年六月十八日明治四十二年度經費決算、貸借對照表、事業成績報告書ヲ知事及郡長へ提出セリ
- 一 明治四十三年六月十七日組合役員任期滿了ニ付選舉會開會左ノ通り當選同月廿九日本縣知事ノ認可ヲ經テ就職セリ

組長 柿元一兵
 副組長 上木甚四郎
 評議員 池之端惣助
 評議員 直井信平
 同 山崎茂助
 同 尾崎咲良
 同 豐住松太郎
 理事 志村春吉

理事

松島草太郎

- 一 明治四十三年七月十三日定款變更ノ件知事ノ認可ヲ經タリ (部ニ規約ヲ設クル件)
- 一 明治四十三年十月四日牛馬品評會へ縣費金四拾九圓補助セラルヘキ指令ヲ受ケタリ
- 一 明治四十三年十月二十一日宮谷忠次郎へ組合獸醫ヲ囑託シ同年十二月廿六日解囑セリ
- 一 明治四十三年十月廿五日日本縣ヨリエーア種々牡牛ジャツクオブエヌ號ノ預托ヲ受ケタリ
- 一 明治四十三年十一月廿二日購入種牝馬十七頭ニ對シ縣費ヨリ金四百三拾四圓補助セラルヘキ指令ヲ受ケタリ
- 一 明治四十三年十二月十九日貸下ケ牝馬蕃殖成績ヲ郡長ニ報告セリ
- 一 明治四十三年十二月廿六日岐阜縣預托種牝馬管理規程中改正ノ件知事及郡長へ報告セリ
- 一 明治四十四年二月六日諸給與規程中改正ノ件知事及郡長へ報告セリ
- 一 明治四十四年二月十四日明治四十三年度組合費歳入出追加豫算明治四十四年度經費豫算並ニ組合員負擔金賦課徴收方法知事ノ認可ヲ經タリ
- 一 明治四十四年二月廿七日明治四十三年組合業務狀況ヲ知事へ報告セリ
- 一 明治四十四年三月三十一日購入牝馬二十三頭ニ對シ金七百四拾四圓購入牝牛十二頭ニ對シ金參百八拾九圓縣費ヨリ補助セラルヘキ指令ヲ受ケタリ

一 明治四十三年十一月四日日本縣ヨリ雜種々牡馬瀧澤號ノ預托ヲ受ケタリ

○岐阜縣吉城郡産牛馬組合

△定款

第一章 名稱及事務所位置

- 第一條 本組合ハ岐阜縣吉城郡産牛馬組合ト稱ス
- 第二條 本組合ノ事務所ハ吉城郡古川町ニ設置ス
- 第二章 營業ノ種類及其區域
- 第三條 本組合ハ牛又ハ馬ノ生産ニ從事スル者ヲ以テ組織ス
- 第四條 本組合ハ吉城郡壹圓ヲ以テ區域トシ左ノ區域ヲ以テ部ヲ設ク

國府部(國府村一圓) 古川部(古川町一圓)
 細江部(細江村一圓) 小鷹利部(小鷹利村一圓)
 河合部(河合村一圓) 坂上部(坂上村一圓)
 坂下部(坂下村一圓) 袖川部(袖川村一圓)
 船津部(船津町一圓) 阿曾布部(阿曾布村一圓)
 上寶部(上寶村一圓)

第三章 目的及其業務

- 第五條 本組合ハ牛馬ノ改良及組合員共同ノ利益ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第六條 本組合業務ノ種類左ノ如シ
 - 一 種牛馬ノ供用ニ關スル事項
 - 二 牛馬市ノ開設ニ關スル事項
 - 三 牛馬籍ノ調査ニ關スル事項
 - 四 牛馬共進會品評會ニ關スル事項

應ニ建議スルコト

- 第七條 組合ニ於テ施行スル事務ノ順序方法等ハ部長會ノ決議ニヨリ之ヲ定ム
- 第八條 組合ハ種牝牛馬ヲ購入シ又ハ預托ヲ受ケ之ヲ飼養ス
- 第九條 組合有及預托ヲ受ケタル種牝牛馬ノ交尾ヲ要求セントスルモノハ別ニ定ムル所ノ様式ニ依リ交尾請求書ヲ組長ニ差出スヘシ
- 第十條 組合有種牝牛馬ハ牝牛馬ノ優良ナルモノニアラサレハ交尾セシメサルモノトス
- 第十一條 組合有種牝牛馬ニ交尾シテ分娩シタルモノニハ血統證ヲ交付ス
- 第十二條 前項ノ血統證ヲ受クルモノハ料金五拾錢ヲ納ムヘシ
- 第十三條 組合員其所有ノ牝牛馬分娩シタルトキハ其年月日種類毛色牝牝ノ別ヲ記シ組長ニ届出ツヘシ
- 第十四條 組合員所有ノ牛馬ニシテ賣買交換又ハ死亡シタルトキハ組長ニ届出ツヘシ
- 第十四條 組合事務所ニハ組合員名簿ヲ備置キ異動ノ都度加除更正スヘシ
- 第十五條 組合ニ加入セントスルモノハ當組合事務所ニ申出

第四章 組合員加入及脱退

ツヘシ

第十六條 組合員死亡廢業又ハ組合外へ轉居シタルトキハ其旨ヲ届出ツヘシ

第十七條 組合ニ加入ノ手續ヲナシタルトキハ五日以内ニ戶外見易キ所ニ表札ヲ掲クヘシ

第五章 役員ノ資格權限及其ノ選舉

第十八條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

一 組長 一名

一 副組長 一名

一 理事 二名

一 評議員 五名

第十九條 役員タルヲ得ヘキモノハ年齢二十五歳以上ノ男子トス

第二十條 役員ハ部長會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選舉ス

第二十一條 役員ノ任期ハ曆年ニ從ヒ三ヶ年トス滿期再選セラル、コトヲ得但シ缺員ヲ生シタル場合ニアリテハ三ヶ月以内ニ補欠選舉ヲナス其ノ任期ハ前任者ノ殘任期トス役員ハ其任期滿了後ト雖後任者ノ就職スルマテ其職務ヲ行フモノトス

第二十二條 組長ハ組合一切ノ事務ヲ總理ス

副組長ハ組長ヲ補佐シ組長事故アルトキハ之ヲ代理ス

理事ハ組長ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ執行ス

第二十三條 組長ハ技術員又ハ書記ヲ任用シ及雇員ヲ使用スルコトヲ得

第二十四條 評議員ハ組長ノ諮問ニ應シ及業務施行ノ狀況ヲ

第三十五條 郡長會ハ組長之ヲ招集ス

招集ハ開會ノ日ヨリ五日前ニ公告スヘシ但シ急施ヲ要スル場合ハ此限ニ在ラス

第三十六條 部長會ハ定款變更ノ場合ヲ除クノ外部長半數以上出席スルニアラサレハ會議ヲ開キ議決ヲ爲スコトヲ得

但シ同一ノ事件ニ就キ招集再回ニ涉リタル場合ハ三分ノ一以上ノ出席ヲ以テ議決スルコトヲ得

第三十七條 部長會ノ議決ハ定款變更ノ場合ヲ除クノ外過半數ニ依ル可同數ナルトキハ議長ノ決スル處ニ依ル

第三十八條 凡テ會議ニ於テ議決シタル事項ハ之ヲ議事録ニ記載シ議長及部長二名以上署名スヘシ

第三十九條 議事ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 組合員總會

第四十條 組合員總會ハ任意解散ヲ議決スル場合若クハ本章ノ規定ヲ變更スル場合及組合員ノ請求ニ依リ之ヲ開クモノトス

第四十一條 組合總會ノ議事ハ特ニ規定セルモノ、外第三條ニ定メタル各種組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニ非サレハ議決スルコトヲ得

第四十二條 組合員ハ他ノ組合員ヲ代理人トシテ組合總會ニ出席シ議決權ヲ行ハシムルコトヲ得

代理人ハ委任狀ヲ示スヘシ

第四十三條 組合員總會ノ議長及招集ノ手續ハ第三十四條第三十五條ヲ適用ス

組合員總會ノ開會ヲ請求スルハ第三條ニ定メタル各種組合

監査シ組長副組長共ニ故障アルトキハ之ヲ代理ス但シ組長ノ代理ヲ爲ス順位ハ毎年ノ始メニ於テ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第六章 部長會

第二十五條 部長會ハ各部一名ツ、其ノ部區域内組合員ノ選舉シタル部長ヲ以テ組織ス

第二十六條 部長タルヲ得ヘキ資格ニ就テハ第十九條ヲ適用ス

第二十七條 部長ノ選舉ハ組長ノ公告ニヨリ之ヲ行フ公告ハ選舉會場及日時ヲ記シ選舉ノ日ヨリ少ナクモ七日前ニ之ヲ發スヘシ

第二十八條 部長ノ選舉ハ組長ニ於テ選舉掛長及選舉掛二名ヲ指定シテ選舉ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第二十九條 部長ノ當選人定マリタルトキハ選舉掛長之ヲ組長ニ報告スヘシ

第三十條 部長ノ任期ハ曆年ニ從ヒ三ヶ年トス滿期後再選セラル、コトヲ得

第三十一條 部長中缺員アルトキハ三十日以内ニ補缺選舉ヲ行フ補欠ニ依リ選舉セラレタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期ニ依ル

第三十二條 部長會ハ組合經費ノ豫算並ニ徵收法ヲ定メ及決算ヲ認定シ其ノ他此ノ定款ニ規定シタル事項ヲ議決ス

第三十三條 部長會ハ毎年一月六月通常會ヲ開クヘシ其會期ハ五日以内トス其ノ他組長ニ於テ必要ト認メタルトキ若クハ部長三分ノ一以上ノ請求アルトキハ其ノ事件ニ限り臨時會ヲ開クコトヲ得其會期ハ三日以内トス

第三十四條 部長會ハ組長ヲ以テ議長トス

員三分ノ一以上タルヲ要ス

第四十四條 組合總會ニ於テハ出席者ノ名簿ヲ調製シ之ニ署名捺印セシメ議事録ニ付綴スヘシ但シ議事録ハ第三十八條ヲ準用ス

第八章 會計

第四十五條 本組合經費ノ費目左ノ如シ

一 事務所費 一 會議費

一 事業費 一 豫備費

一 負擔費

第四十六條 役員ニハ報酬若ハ給料旅費部長ニハ旅費日當ヲ給スルコトヲ得其額ハ部長會ノ定ムル所ニ依ル

第四十七條 組合ノ支出ニ充ツル費用ハ組合有財産ヨリ生スル收入其他雜收入ヲ以テ充ツルモノ、外ハ組合員ニ分賦ス

第四十八條 組合員ハ組合費ヲ負擔スルノ義務アルモノトス

第四十九條 組合費ハ必ス納期内ニ完納スヘシ若納期後十日ヲ過ルトキハ組長之ヲ督促ス

第五十條 組合費ノ督促ヲ爲ストキハ滯納金額及手数料ヲ列記シタル督促狀ヲ以テスヘシ

第五十一條 本組合費賦課ノ割合及徵收時期ハ部長會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第五十二條 督促手数料及過怠金ハ組合ノ雜收入トス

第五十三條 組合費負擔ノ義務消滅又ハ變更スルモ既納ノ分ハ返付セス組合員組合ヲ脱退スルモ財産ノ分配ヲ請求スルノ權ナキモノトス

第五十四條 組長ハ毎年其ノ翌年度ニ係ル經費豫算ヲ調製ス
ヘシ但組合ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十
一日ニ終ル

第五十五條 組合經費ノ豫算並徵收方法ハ部長會ノ議決ヲ經
會計年度二ヶ月前ニ縣知事ノ認可ヲ請フモノトス事業成績
經費ノ決算貸借對照表ハ毎會計年度後三ヶ月以内ニ之ヲ組
合ニ公告シ縣知事ニ報告スヘシ

第九章 違約者處分

第五十六條 第十二條第十三條ニ違背シタル者ハ五拾錢以内
ノ過怠金ヲ徵收ス

第五十七條 過怠金ハ其ノ處分ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ
組合事務所ニ差出スヘシ

第十章 定款變更及任意解散

第五十八條 此定款ノ規定ハ部長會ニ於テ部長總數三分ノ二
以上ノ同意ヲ以テ決議シ縣知事ノ認可ヲ經テ更正加除スル
コトヲ得但第七章ノ事項ヲ議決スルコトヲ得ス

第五十九條 當組合ハ事務ノ都合ニ困リ組合員總會ニ於テ組
合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ縣知事ノ認可ヲ經テ任意解
散ヲナスコトヲ得

此ノ定款第七章ノ規定ハ組合總會ニ於テ前項ノ手續ヲ經テ
更正加除スルコトヲ得

第六十條 前條第一項ノ場合ニ於テハ組合總會ニ於テ精算人
ヲ選舉シ現務ノ結了債權ノ取立債務ノ辨濟殘餘財産ノ引渡
ヲ處理セシム

第十一章 雜則

△組合施設事業(四十四年度)

- 一 種付所設備補助 河合村阿曾布村袖川村ニ於ケル愛知
種馬所及縣有種牡馬ノ種付所設備費ヲ補助シ設備ノ完成
ヲ圖リ種付ノ便ヲ期セムトス
- 二 牛馬品評會開設 第三回牛馬品評會ヲ開設シ牛馬ノ改良
ニ資セムトス
- 三 牛馬市場開設 牛馬市場ヲ開設シ牛馬賣買ノ便宜ヲ與フ
ルト同時ニ從來牛馬賣買上ニ於ケル弊風ヲ矯正セムトス
- 四 第三回岐阜縣畜産々馬共進會出品獎勵出品運搬並ニ看守
費ニ對シ補助ヲ與ヘ多數牛馬ノ出品ヲ獎勵セムトス
- 五 講習講話會ノ開催畜産業ニ關スル講習講話會ヲ開催シ牛
馬ノ改良發展ニ資セムトス
- 六 蕃殖用牝牛馬購入獎勵縣畜産會ノ斡旋ヲ得蕃殖用牝牛馬
ヲ購入シタルモノニ對シ一頭ニ付金五圓以内ノ補助ヲ與
ヘ獎勵シツ、アリ

△明治四十三年度吉城郡産牛馬組合經費決算

科	目	豫算額	決算額	豫算ニ對スル	増	減	說明
第一款線	越金	三三、三〇〇	三三、三〇〇				
第一項	前年度繰越金	二二、三〇〇	二二、三〇〇				
第二款雜	收入	一一、〇〇〇	一一、〇〇〇				
第一項	手数料	一、〇〇〇	一、〇〇〇				手数料收入
第二款雜	附金	四、〇〇〇	四、〇〇〇				預金利息多 カリシニ因
合計		四七、三〇〇	四七、三〇〇				

第六十一條 本組合ノ印章左ノ如シ

分七方 岐阜縣吉城郡産牛馬組合組長之印

分七方 岐阜縣吉城郡産牛馬組合副組長之印

分五方 岐阜縣吉城郡産牛馬組合之印

附則

第六十二條 創立當初ノ役員ハ創立總會ニ於テ第十九條ノ規
定ニ關セス同意者中ヨリ選舉シ其年終ルマテヲ以テ就職滿
一年ニ計算ス又創立年度ノ經費豫算茲ニ徵收方法ハ創立總
會ニ於テ議決スルコトヲ得

△組合役員及職員

職名	姓名
組長	加藤 官吉
副組長	小池 松太郎
理事	中村 正彦
評議員	天 木 安之
	堂 前 由郎
	和 田 竹之助
	古 宿 岩之助
	上 木 戸義文
	岡 村 利右衛門
	田 中 利平

科	目	豫算額	決算額	豫算ニ對スル	増	減	說明
第一款	事務所費	一四、〇〇〇	一四、〇〇〇				
第一項	組長報酬	八、〇〇〇	八、〇〇〇				組長交代欠 員アリタル ニ因ル
第二項	副組長報酬	一、〇〇〇	一、〇〇〇				
第三項	理事報酬	三、〇〇〇	三、〇〇〇				
第四項	旅費	五、〇〇〇	五、〇〇〇				
第五項	需用費	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇				
第六項	通信費	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇				
第七項	雜費	一、〇〇〇	一、〇〇〇				
第八項	使丁給料	一、〇〇〇	一、〇〇〇				
合計		八四、〇〇〇	八四、〇〇〇				

科	目	豫算額	決算額	豫算ニ對スル	増	減	說明
第一款	事務所費	一四、〇〇〇	一四、〇〇〇				
第一項	組長報酬	八、〇〇〇	八、〇〇〇				組長交代欠 員アリタル ニ因ル
第二項	副組長報酬	一、〇〇〇	一、〇〇〇				
第三項	理事報酬	三、〇〇〇	三、〇〇〇				
第四項	旅費	五、〇〇〇	五、〇〇〇				
第五項	需用費	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇				
第六項	通信費	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇				
第七項	雜費	一、〇〇〇	一、〇〇〇				
第八項	使丁給料	一、〇〇〇	一、〇〇〇				
合計		八四、〇〇〇	八四、〇〇〇				

第二項需用費	一八〇〇〇	二七、五〇〇	九、五〇〇	印刷物少ナ
第一目印刷費	三、〇〇〇	二、一六〇	八四〇	カリシニ因
第二目雜費	一五、〇〇〇	二五、三五〇	一〇、三五〇	豫定ヨリ多
第三款事業費	六九、〇〇〇	五八、一九〇	一〇、八一〇	額ノ雜費ナ
第一項牝馬借受料	三四、〇〇〇	三四、〇〇〇	〇	要シタルニ
第二項講習講習會費	一〇、〇〇〇	八、七〇〇	一、三〇〇	因ル
第三項產牛馬品評會費	一三〇、〇〇〇	一三六、四〇〇	六、四〇〇	講習會ノミ
第四項種付所建設補助	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	〇	シノ開催ナリ
第五項牛馬市場費	三〇、〇〇〇	一八、八〇〇	一一、二〇〇	豫定ヨリ經
第六項牧場經營補助	六〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	〇	費少ナガリ
第七項牛馬去勢獎勵費	一〇、〇〇〇	〇	一〇、〇〇〇	シニ由ル
第八項畜殖用牝牛馬購入獎勵	二五、〇〇〇	二五、〇〇〇	〇	去勢施行ナ
第四款積立金	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	〇	カリシニ由
第五款積立金	二〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	〇	
第六款豫備費	九、〇〇〇	九、〇〇〇	〇	
合計	八四、五〇〇	一〇七、〇〇〇	二二、五〇〇	

△吉城郡產牛馬組合諸給與規定
 第一條 本組合役員及職員ノ給與金ハ此規定ニ依リ支給ス
 第二條 報酬(年額ノ十二分ノ一)及月俸ハ毎月二十一日日給ハ勤務日數ニ應シ其ノ月ノ末日ニ於テ支給ス
 第三條 報酬及給料ヲ受クル者退職辭職ノ場合ハ其當月迄ノ分ヲ支給シ始メテ就職シタル者ハ發令ノ日ヨリ支給ス

第四條 旅費ハ車馬賃、汽船賃、鐵道賃、日當、宿泊料ノ五種トシ本組合所在地若クハ居住地ヨリ目的地ニ到ル往復ノ里數、哩數、海里數、日數、夜數ニ應シ第一號表ニ依リ支給ス
 技術員ノ本組合區域内ノ出張ハ第二號表ノ日額旅費ヲ支給ス但特殊ノ出張ヲ命シタルトキハ區域内ト雖モ第一號表ノ旅費ヲ支給ス
 第五條 強雨積雪又ハ道路險惡等ノ爲定額ノ車馬賃ニテ支辨シ難キ場合ニハ定額ノ二倍マテ支給スルコトヲ得
 第六條 此ノ規程ニ定メタル外旅費ノ支給ニ關シテハ明治四十二年勅令第二百七十四號内閣旅費規則ヲ準用ス
 第七條 本規程ハ明治四十四年七月ヨリ施行ス

職名	車馬賃	鐵道賃	汽船賃	宿泊料	日當
組長	區域内 貳拾錢	四錢	壹圓五拾錢	八拾錢	壹圓五拾錢
副組長	區域外 貳拾五錢	五錢	壹圓八拾錢	壹圓	壹圓
評議員	同 拾五錢	參錢	壹圓	五拾錢	五拾錢
理事	同 貳拾錢	四錢	壹圓五拾錢	五拾錢	五拾錢
技術員	同 拾五錢	參錢	壹圓	五拾錢	五拾錢
書記	同 貳拾錢	四錢	壹圓拾錢	五拾錢	五拾錢

△明治四十三年度吉城郡產牛馬組合事業成績
 區別金額
 日額 往復六里未満 五拾錢
 日額 往復六里以上 壹圓貳拾錢

一、會 議

總會ノ開會二回
一、受發文書件數
四百五十件

一、事 業

- 貸下牝馬借受本組合ハ明治四十二年度以來牝馬臨時貸下規程ニ依リ濰州產牝馬八頭ヲ借受ケ左記八名ヲシテ管理セシメツ、アリ本年度中分娩シタルモノ四頭ニシテ頗ル優良產駒ナリ
 川上富之助、三井直康、大下吉太郎、牛丸延太郎、中谷清太郎、堀 長平、坂井與九郎、堂前 由郎、
- 講話會開催畜産思想鼓吹ノ目的ヲ以テ上實、阿會布、袖川、坂上、小鷹利、國府ノ六ヶ村ニ於テ畜産講話會開催セルニ聽講者多數有リ斯業發展上多大ノ効果アルヲ信ス
- 牛馬品評會開催
 畜産ノ改良發展ヲ期シ前年度ニ繼續シ本年十月三日ヨリ五日迄三日間河合村ニ於テ第二回牛馬品評會ヲ開催セルニ出陳頭數牛十二頭馬五十八頭ニシテ審査ノ結果左ノ通り擬賞セリ而シテ當業者ノ參觀多ク盛況ヲ極メ斯業獎勵上裨益不尠ヲ信ス

優等	牛	一	馬	一
壹等	牛	一	馬	一
貳等	牛	一	馬	四
參等	牛	三	馬	十二
四等	牛	一	馬	十二

縣立種畜場

(4) 種付所建設補助、袖川村種付所建設費ニ對シ金貳拾圓ヲ補助シ設備ヲ完成セシメ種付ノ便ヲ圖リタリ

(5) 牛馬市場開設
牛馬品評會ニ引續キ二日間河合村ニ於テ開設セルニ出場頭數五十二頭ニシテ賣買ヲ行ヒタルハ二十頭ナリ

(6) 牧場經營費補助、
森茂牧場外柵修繕厩舍建設費ニ對シ金六拾圓ヲ補助獎勵セリ

(7) 畜殖用種牝牛馬購入者ニ對シテ一頭ニ付金五圓ノ補助ヲ與ヘ獎勵セルニ本年度ニ於テ縣畜産會ノ斡旋ヲ得購入シタルモノ馬五頭アリタリ

一、財 產
積立金百貳拾六圓 (飛驒銀行古川支店へ預ク)

書籍箱一個 (預托種牝馬管理人ニ貸付)

牛馬手入道具二組

○縣立種畜場

○道廳府縣種畜場規程(三十五年四月三十日)

- 第一條 本規程ニ於テ道廳府縣種畜場ト稱スルハ北海道地方費又ハ府縣ノ費用ヲ以テ設立スル種畜場ヲ謂フ
- 第二條 道廳府縣種畜場ハ畜産ノ改良發達ヲ圖ル爲メ種畜ノ蕃殖育成及種付ヲ行フモノトス
- 第三條 道廳府縣種畜場ハ左ノ業務ヲ行フコトヲ得

一 巡回講話

- 二 家畜ノ改良蕃殖ニ關スル試験
- 三 家畜ノ管理及飼養方法ニ關スル試験
- 四 家畜ノ肥肉法ニ關スル試験
- 五 酪業ニ關スル試験
- 六 牧草ノ栽培ニ關スル試験
- 七 畜産業ニ關スル講習

第四條 道廳府縣種畜場ハ農商務大臣ノ指定シタル事項ニ付

キ試験又ハ調査ヲ爲スコトヲ要ス

第五條 道廳府縣種畜場ヲ設立セントスルトキハ地方長官ハ

左ノ事項ヲ具シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ分場ヲ設ケン
トスルトキ亦同シ

一 名稱及位置

二 業務ノ項目

三 用地ノ種類及其面積

四 建物ノ種類及其ノ坪數

五 職員ノ職名其ノ員數及俸給額

六 收支豫算書

第六條 道廳府縣種畜場ノ收支豫算書ハ每會計年度ニ箇月前

ニ地方長官ヨリ農商務大臣ニ差出スヘシ

前條第一號乃至第五號ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタルト

キハ地方長官ハ毎年三月三十一日ニ於テ現存スル事項ヲ翌

月中ニ農商務大臣ニ届出ツヘシ

第七條 道廳府縣種畜場前年度ノ決算報告書及業務功程ハ地

一方長官ヨリ每會計年度後二箇月内ニ之ヲ農商務大臣ニ報告

場合ニヨリ囑托員ヲ置クコトアルヘシ

第五條 場長ハ知事ノ指揮監督ヲ受ケ場務ヲ整理ス

技師技手及囑托員ハ場長ノ指揮ヲ受ケ場務ニ從事ス書記ハ

場長ノ指揮ヲ受ケ庶務ニ従事ス

○岐阜縣種畜場處務規程 (明治四十一年一月)

(縣訓令第四號)

第三條 種畜場ハ岐阜縣種畜場規程ニ基キ畜産ノ改良蕃殖ニ

關スル事務ヲ執行スルモノトス

第三條 縣有種牛馬ノ等級及種付地區ハ豫メ知事ノ認可ヲ受

クヘシ

第三條 場長ハ種畜場ニ於テ取扱タル事務ノ件數並縣有種牛

馬種付ノ狀況及場員ノ勤務日數ヲ三ヶ月毎ニ取纏メ其翌月

五日マテニ又一箇年ノ業務ノ功程ハ翌年政始ノ日知事ニ報

告スヘシ

第四條 左ノ事項ハ豫メ知事ノ許可ヲ受クヘシ

一、場長出張ノコト但シ管内十日以内ハ此限ニアラス

二、場員管外出張ノコト

第五條 削除

第六條 左ノ事項ハ場長ニ於テ專行スルコトヲ得

一、場員管内出張ノコト

二、豫算定額内ヲ以テ一廉五拾圓未滿ノ物件購入修理借入

及圖書類印刷ノ件

三、指定金額ヲ超ヘサル指定修繕及豫算定額内小破修繕工

事ノ件

四、豫算定額内ヲ以テ備人及人夫使用ノ件

スヘシ

道廳府縣種畜場ノ業務ニ關スル報告書ハ之ヲ發行スル毎ニ

地方長官ヨリ之ヲ農商務大臣ニ差出ヘシ

第八條 道廳府縣種畜場又ハ其ノ分場ヲ廢止セントスルトキ

ハ地方長官ハ其ノ事由ヲ具シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

附 則

第九條 本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十條 本規程施行前ニ設立シタル道廳府縣種畜場ニ付テハ

地方長官ハ施行ノ日ヨリ一箇月内ニ第五條ニ掲ケタル事項

ヲ農務商大臣ニ届出ツヘシ

○岐阜縣種畜場規程 (明治四十一年一月)

(縣告示第十號)

第一條 岐阜縣種畜場ハ畜産改良蕃殖ヲ圖ル爲メ之ヲ設置ス

第二條 岐阜縣種畜場ハ郡上郡上保村大島ニ置ク

第三條 岐阜縣種畜場ハ左ノ事項ヲ執行ス

一、縣有種牛馬ノ飼養育成並種付

二、家畜並牧草ニ關スル試験

三、畜産ニ關スル講習講話並ニ實地指導

四、畜産ニ關スル質問應答

五、預托牛馬ノ監督

第四條 岐阜縣種畜場ニ左ノ職員ヲ置ク

場 長 一 人

技 師 若干人

技 手 若干人

書 記 若干人

五、見積價格一廉金貳拾圓未滿ノ製産物及不用品賣却ノ件

六、牧夫又ハ小使命免ノ件

七、場員ノ除服及雇員進退ニ關スル件

八、場員ノ父母病氣看護ノ爲メ欠勤許可スル件

前項第二號ニ依リ物件ノ借入ニ付豫算外新ニ義務ノ負擔ト

ナルヘキ契約ヲナサントスルトキハ豫メ知事ノ許可ヲ受ク

ヘシ

第七條 場長事故アルトキハ次席者其事務ヲ代理ス

第八條 場員出張シタル時ハ歸場後三日以内ニ復命書ヲ場長

ヲ經テ知事ニ差出スヘシ

第九條 種牛馬預托ノ申請ヲ受ケタルトキハ之ニ意見ヲ附シ

知事ニ進達スヘシ

第十條 場員出勤シタルトキハ自ラ出勤簿ニ捺印スヘシ

第十一條 技手又ハ書記ノ内一名宿直シ宿直中ニ生シタル事

務ヲ取扱フヘシ

第十一條 新任セラレタルモノハ三日以内ニ印鑑及履歷書ヲ

縣廳ニ差出スヘシ

第十三條 病氣其他ノ事故ニ依リ缺勤セントスルトキハ場長

ハ知事ニ其他ノ場員ハ場長ニ届出ヘシ病氣ノ爲缺勤一週間

ヲ超ユルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ知事ニ届出爾後一週間

毎ニ同様届出ヘシ

第十四條 縣有種畜廢斃又ハ重症疾患ニ罹リタルトキハ診斷

書ヲ添ヘ知事ニ報告スヘシ

第十五條 事務ノ分掌文章帳簿ノ取扱、種畜飼養ノ標準、宿

直員ノ職務、牧夫並小使ノ服務心得其他處務細別ハ知事ノ

認可ヲ得テ場長之ヲ定ム

○岐阜縣種畜場處務細則(四十一年一月二十五日認可)

第一條 種畜場ノ事務ハ總テ場長ノ決裁ヲ經テ施行スルモノトス

第三條 職員ノ分擔左ノ如シ

種畜主任

一 種牛馬ノ飼養并ニ育成ニ關スルコト

二 厩舎、手術舎、病舎、運動場、並畜具ノ整備ニ關スルコト

三 牧夫ノ監督ニ關スルコト

四 種牛馬ノ運動治療衛生ニ關スルコト

五 蕃殖主任ノ主宰ニ關セサル事項

蕃殖主任

一 種牛馬ノ種付ニ關スルコト

二 預托牛馬ニ關スルコト

三 種付所ニ關スルコト

四 質問應答ニ關スルコト

五 場内其他附屬地ノ利用及管理ニ關スルコト

書記

一 金錢物品ノ管理及出納ニ關スルコト

二 文書帳簿ノ整理保存ニ關スルコト

三 種畜主任ノ主管ニ屬セサル建物ノ管理ニ關スルコト

四 宿直ノ割當ニ關スルコト

五 小使ノ監督ニ關スルコト

保存類目

帳簿及書類 同一種類ノモノヲ類別シテ保存スヘシ

書類例記豫算決算牛馬籍

庶務種付請求預托

保存年限經過シタルトキハ場長ノ決裁ヲ得テ棄却ノ手續ヲ爲スヘシ

第十一條 特使ノ差立又ハ人夫ノ使用ヲ要スルトキハ第五號様式ノ帳簿ニ記載シ決裁ヲ受クヘシ

第十二條 物品ノ購入修理又ハ借入ヲ要スルトキハ第六號様式ノ帳簿ニ記載シ決裁ヲ受クヘシ

第十三條 消耗品ノ交付ヲ要スルトキハ第七號様式ノ帳簿ニ記載シ決裁ヲ受クヘシ

第十四條 備品ノ貸付ヲ要スルトキハ第八號様式ノ帳簿ニ記載シ決裁ヲ受クヘシ

第十五條 豫算及前渡金ハ第九號様式ノ帳簿ニ依リ科目節別ニ整理スヘシ

第十六條 書記ハ毎月ノ事務件數ヲ調査シ翌月三日迄ニ第十號様式ノ帳簿ニ記入シ場長ニ提出スヘシ

第十七條 文書簿冊及物品ハ鄭重ニ取扱ヒ机上其他ニ散逸セシムヘカラス退場ノ時一定ノ場所ニ收藏シ鎖鑰アルモノハ必ス之ヲ施シ鑰ハ宿直員ニ引繼クヘシ

第十八條 執務中病氣又ハ其ノ他ノ事故ニ依リ退場セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ場長ノ承認ヲ受クヘシ

第三條 種付牝馬ノ検査種付所ノ巡視畜産ニ關スル講習講話及實地指導其ノ他ニ關シ出張ヲ要スル事務ニ就テハ場長ニ於テ第一號様式ノ帳簿ニ記載シテ之ヲ命ス

第四條 到着ノ文書ハ親展ヲ除クノ外書記ニ於テ開封シ第二號様式ノ件名簿ニ登記シ其ノ文書ニ受付年月日及番號ヲ記載シ場長ノ閱覽ヲ經テ各主任ニ交付スヘシ

第五條 郵便料未納又ハ不足ノモノハ其差出ノ官公署ニカ、ルモノ其ノ他公務ト認メ得ヘキモノニ限り其ノ未納又ハ不足ノ料金納付ノ手續ヲ爲シ收受スヘシ

第六條 各主任文書ノ配付ヲ受ケタルトキハ三日以内ニ處分案ヲ起草シ場長ノ決裁ヲ受クヘシ

第七條 同議書ハ第四號様式ニ依リ其ノ用字ハ楷行二體ニ限ル

第八條 場長不在中處理シタル事務ハ代理者ニ於テ取纏メ場長ニ差出スヘシ

第九條 文書完結シタルトキハ其ノ文書ニ保存年限及類目ヲ記シ書記ニ引繼クヘシ

第十條 文書帳簿ハ左ノ區分ニ依リ保存スヘシ

保存年限

永久保存 永ク證徴トシテ棄却スヘカラサルモノ

十年保存 永久保存ノ要ナキモノ

三年保存 一時ノ事件ヲ處理シタルニ止ルモノ

第十九條 親族ノ喪ニヨリ忌服ヲ受クルトキハ定式ノ期日續柄ヲ記シ父母ノ祭日ニ相當シ缺勤スルトキハ其ノ前日賜假中旅行スルトキハ期間及旅行先ヲ記シ届出ヘシ

第二十條 父母看病人同墓參ノ爲メ缺勤セントスルトキハ期日任地ヲ離レタルトキハ旅行先ヲ記シ願出許可ヲ受クヘシ

第二十一條 陸海軍ノ召集ニ應シタルトキハ出發前ニ出發日時所屬部隊號守府名、乘組艦名ヲ届出ヘシ服役シタルトキハ其所屬長官ノ証明ヲ受ケ兵種官職名俸給額ヲ届出爾後増減變更アル毎ニ届出ヘシ

第二十二條 近火其他非常ノ事故アルトキハ速ニ出場シ機宜ヲ誤ルコトナキヲ努ムヘシ

第二十三條 在場技手及書記ノ内一名交替宿直シ執務時間外ニ於ケル諸般ノ事務ヲ取扱ヒ且場内一切ノ看守ニ任シ牧夫及小使ヲ指揮監督スヘシ

第二十四條 宿直中取扱タル文書物品並其他ノ事故ハ之ヲ日誌ニ記載シ書記ニ引繼クヘシ

第二十五條 種畜飼養ノ標準ハ第十一號様式ノ帳簿ニ記載シ場長ノ決裁ヲ受ケ牧夫ニ示達シ且ツ之ヲ厩舎ニ掲示スヘシ

第二十六條 牧夫及小使ハ場員ノ指揮ヲ遵守シ誠實ニ職務ニ従事スヘシ

第二十七條 牧夫又ハ小使外出セントスルトキハ場長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十八條 牧夫ハ種畜ノ異常ヲ認メタルトキハ速カニ場員ニ申告スヘシ

(第一號) 出張命令簿

場長命 令印	出張 地名	用件 日數	豫定 事由	官職 氏名	出張者 認印
-----------	----------	----------	----------	----------	-----------

(第二號) 件名簿

第 月	日	第 月	日	第 月	日
主務交付立案 施行保存月日	月日	主務 月日	月日	月日	月日

(第三號) 郵便電信發送簿

月日	發送先	件名	種類	重量又 ハ字數	料 金
----	-----	----	----	------------	--------

此ノ帳簿ニハ月計ヲ附スルヲ要ス

(第四號)

第 月	日	受 決	判	月	日	淨書印	校合印	決了 發送	月	日	印
--------	---	--------	---	---	---	-----	-----	----------	---	---	---

明治 年 月 日

種畜場主任官 氏 名 印

場員 何々ノ件

上申文ノ例

(發案ノ事由ヲ掲ク)

何々ノ件上申(何々)

此段(右)及上申(内申)(建議)(具申)(届)(内報)

(答申)(報告)候也

岐阜縣種畜場長 氏 名 印

照會文ノ例 岐阜縣種畜場(種畜場長)印

御取調相成度(御回答相成度)(御了知相成度)(何々)

人夫使用簿

場長 決裁者印	請求 者印	月日	用件 使役歩合	事由	賃金 支拂月日 及書記印	人夫 氏名
------------	----------	----	------------	----	--------------------	----------

此ノ帳簿ニハ月計及累計ヲ爲スヘシ

(第六號) 物品購入簿

場長 決裁者印	物品取 主在	請求 者印	品名	摘要	數量	價格	月日 決裁	現品受入 月日 支拂月日 台帳
------------	-----------	----------	----	----	----	----	----------	--------------------------

(第七號) 消耗品交付簿

場長 數量	用途	物品出 納吏印	請求月日	請求 者
----------	----	------------	------	---------

(第八號) 備品貸付簿

牛馬 名稱	時期	運動	飼 大豆 穀 大麥 乾草 藥 食鹽 何々	糧	備考
----------	----	----	-------------------------	---	----

(第九號) 出納簿

年月日	摘要	豫算額	前渡金	前渡金對 豫算殘額	支拂 金額	支拂金對 前渡金額
-----	----	-----	-----	--------------	----------	--------------

(第十號)

種別	區分	縣	應	其他 官公署	人	民	計
畜種	員	職	書	文	種別	區分	計
計	馬	牛	計	發送	受付	計	計

○岐阜縣種畜場種付規程(四十一年二月)

- 第一條 縣内ニ於テ牛馬ノ改良蕃殖ヲ圖ラントスル牝牛馬ノ所有者又ハ管理者ハ縣立種畜場種付牝牛馬ノ種付ヲ請求スル
エトヲ得
- 前項ノ牝牛馬ハ左ノ資格ヲ具備スルコトヲ要ス
一、年齡牛ハ滿二歳以上馬ハ三歳以上ノモノ
二、身幹牛ハ三尺七寸以上馬ハ四尺二寸以上ノモノ但シ体格特ニ優等ナルモノハ此限ニアラス
- 三、發育善良ニシテ遺傳病又ハ惡癖ナキモノ
- 第二條 種付ヲ請求スルモノハ馬ニアリテハ毎年二月二十八日迄ニ牛ニアリテハ隨時第一號様式ノ請求書ヲ所轄都市役所ヲ經テ種畜場長ニ差出スヘシ
- 第三條 種付ノ請求ヲナシタル牝牛馬ハ毎年告示スル期日ニ指定ノ場所ニ牽付ケ検査ヲ受クヘシ
- 種付ノ請求ヲナシタル牝牛馬ハ種畜場長ノ指定スル期日並場所ニ於テ其ノ検査ヲ受クヘシ
- 前二項ノ検査ニ合格シタル牝牛馬ニハ第二號様式ノ合格書ヲ交付シ且牝牛馬ノ左前蹄ニ第三號様式ノ烙印ヲ爲ス
- 第四條 合格證ヲ受ケタル牝牛馬ヲ讓渡シタルトキハ合格證

ヲ添へ双方連署ノ上其ノ書換ヲ種畜場長ニ請求スヘシ但シ
縣外ニ賣渡シタルトキハ其ノ旨種畜場長ニ届出合格證ヲ返
納スヘシ

合格證ヲ毀損亡失シ又ハ合格證記載ノ事項ニ異動ヲ生シタ
ルトキハ其ノ事由ヲ具シ再渡又ハ書換ヲ種畜場長ニ請求ス
ヘシ

合格證ヲ受ケタル後斃死又ハ種付ヲ中止シタルトキハ合格
書ヲ返納スヘシ種付ノ際ハ合格證ヲ携帯スヘシ

第五條 種付ヲ爲シタルトキハ左ノ種付料ヲ徴收ス但シ種牡
牛馬ノ等級ハ種畜場長之ヲ定ム

一等種牡牛馬 牝一頭ニ付金貳圓

二等種牡牛馬 牝一頭ニ付金壹圓五拾錢

三等種牡牛馬 牝一頭ニ付金壹圓

四等種牡牛馬 牝一頭ニ付金五拾錢

種付料ハ種付ヲ爲シタル後郡市長ノ發スル納入告知書ニ依
リ納付スヘシ

第六條 種畜場長ハ第四號様式ニ依リ種付ヲ爲シタル牝牛馬
ノ所有者又ハ管理者ノ住所氏名ヲ所轄郡市長ニ通知スヘシ

第七條 種牡牛ノ種付ハ一日三回以内種牡馬ノ種付ハ一日二
回以内トシ牝馬ノ配合ハ一期間五回以内トス

第八條 左ノ場合ニ於テハ種畜場長ハ種付ヲ停止シ又ハ合格
證ノ効力ヲ取消スコトヲ得

一、牝牛馬疾病衰弱又ハ其ノ他ノ事故ニ依リ種付ニ害アリ
ト認メタルトキ

二、種付所閉鎖ノ期日マテニ發情セザルトキ

三、所有者又ハ管理者ニ於テ當該吏員又ハ技術員ノ指揮ニ
從ハザルトキ

第九條 種付所ノ位置區域及種付所開閉ノ期日ハ其ノ都度之
ヲ告示ス

第十條 種付ヲ受ケタル牝牛馬左ノ事項ニ該當スルトキハ所
有者又ハ管理者ハ直チニ種畜場長ニ届出ツヘシ

一、分娩前讓渡シタルトキハ其ノ讓受人ノ住所氏名

二、分娩前ニ斃死シタルトキハ其ノ年月日及事由

三、分娩シタルトキハ其ノ年月日駒體ノ性毛色特徴及体尺

四、流産シタルトキハ其ノ年月日及事由

五、駒體ヲ賣渡シタルトキハ其ノ年月日價格 但シ明ケ二
歳ニ達シタル後賣渡シタルトキハ此届出ヲ要セス

六、駒體生後一ケ年以内ニ於テ斃死シタルトキハ其ノ年月
日及事由

第十一條 種付ヲ受ケタル牝牛馬分娩シタルトキハ種付合格
證ヲ添へ血統證ノ交付ヲ種畜場長ニ請求スルコトヲ得

第十二條 第十條ノ届出ヲ爲サス又ハ牝牛馬ノ管理ニ關シ當
該吏員又ハ技術員ノ指揮ヲ遵守セス若クハ故ナク種付ヲ受
ケザルトキハ次回ノ種付ヲ許可セザルコトアルヘシ

第十三條 明治四十一年ニ限リ第二條ノ出願期限ヲ三月二十
八日迄トス

○第一號様式
種付請求書

一牝 馬牛 一頭

種付 月日	第一回 月日	第二回 月日	第三回 月日	種付料
回四第	回二第	回三第		
月日	月日	月日	月日	
回五第	月日	月日	月日	
月日				
				検査員 證印

年月日 岐阜縣種畜場 印

○第三號様式



○第四號様式
郡市長宛 種畜場長

種牡牛(馬)種付通知	種牡牛 別種馬等級	種付 月日	種付 頭數	種付 料金	住所 氏名
計					

○預托種牡牛馬種付規程(四十一年四月
縣令第十九號)

第一條 種畜場種付規程第一條ニ掲クル牝牛馬ノ所有者又ハ
管理者ハ其ノ區域内ニ預托シタル縣有種牡牛馬ノ種付ヲ請
求スルコトヲ得

前項預托種牡牛馬ノ種付區域ハ別ニ之ヲ告示ス
第二條 預托種牡牛馬ノ種付ヲ受ケムトスルモノハ馬ニアリ

縣立種畜場

種付種牝馬(牛)	種付種牡馬(牛)
種類	馬名
年齢	種類
毛色	毛色
身幹	年齢
特徴	場所

○第二號様式
種付合格證

右縣有種牡牛種付相成度候也
年月日 住所 氏名 印
岐阜縣種畜場長宛
備考 牝牛馬ノ名稱アルモノ又ハ血統ノ詳カナナルモ
ノハ之ヲ記載スヘシ

縣立種畜場

百二十九

テハ毎年二月二十日マテニ牛ニアリテハ隨時預托種牡牛馬ノ受托者ニ請求スヘシ

第三條 預托種牡馬ノ受托者ハ前項ノ請求ヲ取纏メ第一號様式ニ依リ毎年二月二十八日マテニ種畜場長ニ報告スヘシ

第四條 預托種牡馬ノ種付ヲ請求シタル牝馬ハ當廳ヨリ告示スル期日ニ指定ノ場所ニ牽付ケ検査ヲ受クヘシ

前項ノ検査ハ種畜場技術員ヲシテ之ヲ行ハシム

第五條 前條ノ検査ニ合格シタル牝馬ニハ第二號様式ノ合格證ヲ交付シ且牝馬ノ左前蹄ニ第二號様式ノ烙印ヲ爲ス

第六條 預托種牡牛馬ノ種付ヲ受ケタル牝牛馬ニシテ種畜場種付規程第十條ノ各號ニ該當スルトキハ所有者又ハ管理者ヨリ其ノ種付ヲ爲シタル種牡牛馬ノ受托者ニ通知スヘシ

第七條 種畜場種付規程第四條第七條第八條第十一條ノ規定ハ預托種牡牛馬ノ種付ニ關シ之ヲ準用ス

○第一號様式

種牡馬何々號種付請求者報告

Table with columns: 牝 (Female), 名稱 (Name), 種類 (Type), 年齢 (Age), 毛色 (Color), 身幹 (Body), 特徴 (Features), 住所 (Address), 所有者 (Owner), 氏名 (Name)

○第二號様式

第 號

種付合格證

住所

第二條 縣有種牡牛馬ノ預托期間ハ五箇年以内トシ預托スヘキ種牡牛馬毎ニ之ヲ定ム

預托期間完全ニ受托ノ義務ヲ履行シタルトキハ其ノ種牡牛馬ヲ無償ニテ受托者ニ交付ス

第三條 預托種牡牛馬ノ飼養管理其ノ他一切ノ費用ハ受托者ノ負擔トス但シ受托者ハ當廳ノ認可ヲ得テ種付牝牛馬一頭ニ付貳圓以内ノ種付料ヲ徴收スルコトヲ得

第四條 預托種牡牛馬ノ受托者ハ預托種牡牛馬種付規程ニ依リ其ノ區域内ニ於ケル牝牛馬所有者又ハ管理者ヨリ種付ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ニ應スヘシ

第五條 預托種牡牛馬ノ受托者ハ預托種牡牛馬種付規程第五條ノ検査合格証ヲ有スル牝馬又ハ種畜場種付規程第一條ノ資格ヲ具備スル牝牛ニアレサレハ種付ヲナスコトヲ得ス

第六條 預托種牡牛馬ノ受托者ハ種牡牛馬ノ狀況ヲ具シ毎年種付ヲナスヘキ牝牛馬ノ見込頭數ヲ定メ種畜場長ノ指揮ヲ受クヘシ

第七條 預托種牡牛馬ノ受托者ハ其ノ種付ニ關シ本則及預托種牡牛馬種付規程ニ規定アル事項ノ外種畜場長又ハ種畜場技術員ノ指示ニ從フヘシ

第八條 預托種牡牛馬ノ受托者ハ第三號様式ノ種付簿ヲ備ヘ置キ種付ヲナス毎ニ指定ノ事項ヲ記入スヘシ

第九條 預托種牡牛馬ノ受托者ハ左ノ事項ヲ種畜場長ニ報告スヘシ

- 一、毎年種付ヲ終リタルトキハ種付簿ノ寫
二、前年ノ種付ニヨリ生産シタル成績

所有者又ハ管理者 氏名

Table for breeding records with columns: 種付 (Breeding), 種類 (Type), 年齢 (Age), 毛色 (Color), 身幹 (Body), 特徴 (Features), 種付日期 (Breeding Date), 種付場所 (Breeding Place), 種付料 (Breeding Fee), 検査員 (Inspector), 印章 (Seal)

年月日 印

岐阜縣種畜場

○第三號様式



○縣有種牡牛馬預托規則(四十一年四月)

(縣令第二十號)

第一條 縣有種牡牛馬ノ預托ヲ受ケムトスル團體又ハ個人ハ第一號様式ニ依リ郡市役所ヲ經テ當廳ニ願出ツヘシ

三、預托種牡牛馬疾病其ノ他ノ事故アリタルトキハ其ノ詳細及獸醫ノ診斷書

第十條 預托種牡牛馬ノ受托者ハ其ノ飼養管理ニ付當廳又ハ當廳ノ命ヲ受ケタル官吏職員又ハ技術員ノ指示ヲ遵守シ常ニ善良ナル注意ヲナシ若シ疾病ノ徵候アルトキハ速ニ適當ノ治療ヲ加フヘシ

第十一條 預托種牡牛馬飼養管理ノ狀況ハ當廳又ハ當廳ノ命ヲ受ケタル官吏職員又ハ技術員ヲシテ隨時視察セシメ場合ニヨリ場所ヲ指定シテ牽付ケシムルコトアルヘシ

第十二條 預托種牡牛馬ノ受托者本則又ハ預托種牡牛馬種付規程ニ違背シ又ハ其ノ飼養管理種付ケニ付不正若ハ怠慢ノ行爲アリタルトキ又ハ正當ノ事由ナクシテ一種牡牛馬ニ對スル一箇年ノ種付牝牛馬二十頭ニ滿タサルトキハ其ノ預托ヲ解除スルコトアルヘシ

第十三條 預托種牡牛馬ノ受托者故意又ハ怠慢ニヨリ種牡牛馬ニ損害ヲ生セシメタルトキハ其ノ損害ヲ賠償セシム

○第一號様式

種牡牛馬預托願

種牡馬 何 頭

一 使用セントスル區域

二 區域内ニ於ケル牝馬頭數

三 同上ノ内蕃殖用ニ供スヘキ牝馬頭數

右畜産ノ改良蕃殖ヲ圖リ度候間預托相成度管理方法書添此段相願候也

年號月日 何々産牛馬組合長又ハ個人住所氏名印

知事宛

備考 管理方法書ニハ畜養地、厩舎ノ構造、飼糧ノ種類及給養量、運動手入方法、其ノ他養飼管理ニ關スル事項ヲ掲クヘシ

○第二號様式

印紙 請書 種牡馬 何々號

右預托相成候ニ付テハ縣有種牡牛馬預托規則及預托種牡牛馬種付規程ヲ確守シ其ノ義務ヲ履行可仕ハ勿論平素懇切ニ取扱

且縣下畜産改良蕃殖ノ趣旨ニ副ハンコトヲ期シ可申候也

知事宛

○第三號様式

(表紙裏) 種牡馬何々號種付簿 受托者團體名又ハ住所氏名 何々號

種牡馬何々號 種年類 身毛年種 血統 産地 特産地 何年分

種類	年齢	毛色	身幹	産地	種付年月日及時					事故	住所	氏名				
					第一回	第二回	第三回	第四回	第五回							
					年	月	日	年	月	日	年	月	日			

備考 事關ニハ駒牝生産アリタルトキハ其ノ月日及性流産其ノ他ノ事故アリタルトキハ其ノ月日及事由ヲ記載スヘシ

○場員

岐阜縣種畜場長技師 和田足也
技手 内田總一
技手 關桂作
技手 川島庸夫
書記 松下正章

○用地

本場ハ縣下郡上郡上保村ニアリ所謂大島野ノ一角ニ位シ八幡町ヲ相去ルコト四里此間道路平坦ニシテ日々定期乗合馬車ノ

往復アリ場内東西ニ緩傾斜ヲナシテ凸凹渺ナク水利頗ル便ナリ、土性第四紀古層ノ埴土ニ屬スルモ往々石礫ヲ混シ地力稍ヤ肥ヘ牧場地トシテ將タ牧草栽培地トシテ天然ノ好適地ナリトス且ツ近ク鳴ケ野アリテ事業擴張ノ便アリ隣村ニ高鷲ノ諸原野アリテ皆ナ之レ幾千萬貫ノ牧草ヲ供給スヘク又白鳥、天島ノ部落ハ所要ト労働者ト物質ノ供給ニ何等不便アルコトナシ一用地面積拾四町餘

内譯

貳町歩 建物敷地
壹反五畝歩 運動場
五反歩 道路
七町九反歩 新墾地
三町歩 耕地見込
七反歩 防風林

○種畜

(イ) 種牡馬

種	類	名稱	年齢	毛色	身幹	別	徵	産地	母父血統
種	種	寒月	六	黒鹿	五三〇	波星	分	青森縣	トロッター種種瀬田號
種	種	大日	八	鹿	四九〇	珠目	上	青森縣	雜種左近號
種	種	大島	五	栗	五二〇	流	星	同本町	
種	種	大星	六	栗	五二〇	星		岩手町	洋種

四十四年三年度購入

種	類	名稱	生年月	毛色	身幹	別徵	産地	父母血統
トロッター	種	芳柳	五〇五	五二〇	波分	岩手	洋種芳綾號	
トロッター	種	宮古	五〇五	五二〇	進目	岩手	洋種芳綾號	
トロッター	種	清風	五〇五	五二五	星	宮古	洋種芳綾號	
アラブ	種	不二	五二〇	五二〇	四星	同	洋種	アラブ種吉見川號
アラブ	種	夕ヶ瀬	四九三	四九三	四星	同	洋種	アラブ種
アラブ	種	大迫	五〇五	五〇五	流星	同	洋種	アラブ種
アラブ	種	吉濱	五二五	五二五	星	同	洋種	アラブ種
トロッター	種	三樹野	五〇〇	五〇〇	進官	青森	洋種	トロッター種
トロッター	種	舞鶴	四九三	四九三	浪星	青森	洋種	トロッター種
トロッター	種	西越	四九五	四九五	右額刺毛	同	洋種	トロッター種
トロッター	種	日ノ戸	五〇五	五〇五	珠星	同	洋種	トロッター種
トロッター	種	和賀	五〇〇	五〇〇	波分	同	洋種	トロッター種
トロッター	種	松風	五〇五	五〇五	珠目	同	洋種	トロッター種
トロッター	種	秀逸	四八五	四八五	流星	同	洋種	トロッター種
トロッター	種	岩手	五二〇	五二〇	二星	同	洋種	トロッター種

以下四十一年度購入

以下四十二年度購入

以下四十三年度購入

種	類	名稱	生年月	毛色	身幹	別徵	産地	父母血統
サラブレット	種	三里	三	四八三	珠目	新御	洋種第三頂號	サラブレット種第六フランレントビユ
サラブレット	種	福泉	三	四八八	星	同	洋種	サラブレット種ケルツ
サラブレット	種	福山	三	四九八	鼻	同	洋種	サラブレット種
サラブレット	種	福田	四	四九八	後鼻	同	洋種	サラブレット種
トロッター	種	盛野	三	五〇〇	波星	同	洋種	トロッター種
トロッター	種	盛山	三	五〇〇	三	同	洋種	トロッター種
トロッター	種	盛川	四	五〇三	小	同	洋種	トロッター種
トロッター	種	盛谷	三	五〇〇	流星	同	洋種	トロッター種
トロッター	種	盛好	三	五〇〇	左後	同	洋種	トロッター種
トロッター	種	盛本	四	五〇〇	流星	同	洋種	トロッター種
トロッター	種	飛燕	四	五〇〇	星	同	洋種	トロッター種
トロッター	種	三樹野	五	五〇〇	進官	同	洋種	トロッター種

ホルスタイン 西川 四十二年十一月 同 四二九 眼黒鼻 廣安 佐島 郡 第二ホノラ號 下總號

(ハ) 預托種牡馬

種類	名稱	年齢	毛色	身幹	別	徴	産地	母父血	統	購入年度	預托年月	預体名
雑種	花山	六	柄栗	四六〇			青森縣	トロッター		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	音羽	七	鹿	五二〇	星	右後一白	青森縣	トロッター		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	玉山	五	鹿	五〇〇	星	右後一白	青森縣	トロッター		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	晚翠	五	鹿	五二〇	門	右髮中	青森縣	トロッター		四十年	四十二年	郡上郡産
同	珠瀧	五	鹿	五二三			岩手縣	洋種フロチンガムカ		四十年	四十二年	郡上郡産
同	神山	六	鹿	五〇五	小	波分	青森縣	洋種第二北星號		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	荻川	五	鹿	四七〇	後	一白	岩手縣	和種		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	緑島	六	鹿	五二五	小	波分	岩手縣	雜種安明號		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	瀧澤	四	鹿	四七〇	波	右一分	岩手縣	雜種高見號		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	松島	七	黒鹿	五三〇	星	右後一白	岩手縣	雜種高見號		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	飛上唇白				星	右後一白	岩手縣	雜種高見號		四十年	四十二年	郡上郡産

(ニ) 預托種牡牛

種類	名稱	生年月	毛色	体尺	別	徴	産地	母父血	統	購入年度	預托年月	預体名
雑種	初曉	五	同	四三五			大原郡	デボン種美賀登		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	初春	六	同	四四〇			大原郡	デボン種美賀登		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	初良	九	褐	四三〇			大原郡	デウボン、美賀登		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	初養	九	褐	四五五			同	デウボン、ヘリオクラ、		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	初渡	三	褐	四二五			大原郡	デウボン第五勝軍		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	シマー	九	黒白	四八〇			深洲	デウボン		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	アンファイ	九	赤白	四二六	額	白	深洲	ゼーシーオフラグバング		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	初武	五	黒白	四四〇			廣島縣	ホルスタイン種第二千		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	千歳	四	黒白	四二七			石川縣	ホルスタイン種第三		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	崎浦	四	同	四二七			石川縣	ホルスタイン種第三		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	筑波	四	同	四二七			石川縣	ホルスタイン種第三		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	粟津	四	同	四二七			石川縣	ホルスタイン種第三		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	敷嶋	三	同	四二七			石川縣	ホルスタイン種第三		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	若松	四	同	四二七	星	腰部	同	ホルスタイン種第三		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	シヤツク	九	赤白	四二〇	左	肩白毛	種畜牧場	ホルスタイン種第三		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	オアエヌ	九	赤白	四二〇			種畜牧場	ホルスタイン種第三		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	笠舞	九	黒白	四二〇			石川縣	千歳號		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	下西	四	黒白	四二五			廣島縣	第四下總號		四十年	四十二年	郡上郡産
雑種	八島	四	白褐	四三〇			廣島縣	第四下總號		四十年	四十二年	郡上郡産

馬政局

○馬政局官制 (三十九年五月 勅令一二二號)

- 第一條 馬政局ハ陸軍大臣ノ管理ニ屬シ馬匹ノ改良蕃殖其他馬政ニ關スル一切ノ事務ヲ掌ル
- 第二條 馬政局ハ之ヲ東京ニ置ク
地方ニ種馬牧場三ヶ所種馬育成所一ヶ所及種馬所十五ヶ所ヲ置キ馬政局ノ事務ヲ分掌セシム
- 第三條 馬政局ニ左ノ職員ヲ置ク

馬政長官	十人
書記官	一人
種馬牧場長	三人
種馬育成所長	一人
種馬所長	十五人
技師	六人
書記	四十三人
技手	八十一人
判任	
- 馬政官種馬牧場長種馬育成所長又ハ種馬所長タル技師ハ前項ノ定員外トス
- 第四條 馬政長官ハ現役陸軍中將又ハ少將ヲ以テ之ニ充ツ陸軍大臣ノ指揮監督ヲ承ケ局務ヲ總理シ所屬土地建物ノ經營ヲ管掌ス
- 第五條 馬政官ハ三年以上馬匹ニ關スル職務ニ從事シタル陸

軍現役佐尉官又ハ馬政局技師ヲ以テ之ニ充ツ上官ノ命ヲ承ケ馬政ニ關スル事務ヲ掌ル

第六條 書記官ハ上官ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌ル

第七條 種馬牧場長種馬育成所長又ハ種馬所長ハ陸軍騎兵科若クハ獸醫部ノ現役上長官、士官又ハ馬政局技師ヲ以テ之ニ充ツ

第八條 種馬牧場長ハ馬政長官ノ指揮監督ヲ承ケ種馬ノ蕃殖及飼料ノ耕作ニ關スル事務ヲ掌理ス

第九條 種馬育成所長ハ馬政長官ノ指揮監督ヲ承ケ幼種馬ノ育成及調教並飼料ノ耕作ニ關スル事務ヲ掌理ス

第十條 種馬所長ハ馬政長官ノ指揮監督ヲ承ケ種馬ノ飼養管理及種付ニ關スル事務ヲ掌理ス

第十一條 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第十二條 書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第十三條 技手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第十四條 種馬牧場種馬育成所及種馬所ノ名稱位階並ニ種馬同所ノ管轄區域ハ陸軍大臣之ヲ定ム

附則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○馬政管區監督規程 (三十九年七月 馬發北九號)

第一條 馬政官ハ擔任監督管區ニ於テハ馬政ニ關スル諸般ノ事務ヲ掌理シ常ニ區内ヲ巡檢シテ馬匹ノ改良發達ヲ獎勵シ主トシテ左ノ業務ヲ處理スヘシ

一 地方適切ノ種馬ヲ供用セシムルコト

八 產馬組合業務ノ功程

九 種畜場業務ノ功程

十 馬ニ關スル地方ノ施政

第六條 馬政官ハ管區產馬業ニ就キ意見ヲ附シ其狀況ヲ隨時馬政長官ニ報告スヘシ

○馬政管區 (三十九年七月 內閣告示三號)

- 第一管區 北海道
 - 岩手縣 青森縣 秋田縣
- 第二管區
 - 東京府 神奈川縣 埼玉縣 千葉縣 茨城縣
 - 栃木縣 宮城縣 福島縣 山形縣
- 第三管區
 - 京都府 大阪府 新瀉縣 群馬縣 奈良縣
 - 三重縣 愛知縣 靜岡縣 山梨縣 滋賀縣
 - 岐阜縣 長野縣 福井縣 石川縣 富山縣
 - 和歌山縣
- 第四管區
 - 兵庫縣 鳥取縣 島根縣 岡山縣 廣島縣
 - 山口縣 德島縣 香川縣 愛媛縣 高知縣
- 第五管區
 - 長崎縣 福岡縣 大分縣 佐賀縣 熊本縣
 - 宮崎縣 鹿兒島縣 沖繩縣
- 第六管區

○產馬獎勵規程 (三十九年十二月 月閣令第九號)

第一條 北海道廳又ハ府縣ニ於テ馬匹ニ關シ聯合共進會廳府縣共進會又ハ之ニ準ズルモノヲ開設シタル場合ニ於テ地方長官ノ請求ニ依リ必要ト認メタルトキハ馬政長官ハ審査長及審査官ヲ命シテ出陳馬匹ヲ審査セシムルコトヲ得

第二條 前條ノ場合ニ於テハ馬政長官ハ共進會ニ出陳セル優等馬匹ニ對シ褒賞ヲ授與ス

第三條 褒賞ヲ分チテ左ノ四等トシ更ニ賞牌ヲ甲乙二種ニ區別シ甲種ハ聯合共進會又ハ之ニ準スベキモノニ於テ乙種ハ府縣共進會又ハ之ニ準スベキモノニ於テ之ヲ授與ス

- 一 一等賞金牌 甲種 直徑二寸五分 綬 紅白
- 二 二等賞銀牌 同 直徑二寸 綬 紫白
- 三 三等賞銅牌 同 同 同
- 四 四等賞褒狀 同 同 同

賞牌ヲ受ケタル者ニハ併セテ賞金ヲ授與ス

第四條 馬政長官ハ聯合共進會府縣共進會又ハ之ニ準スベキモノ、開設ニ際シ必要ト認ムルトキハ其開設費ノ幾分ヲ補助スルコトヲ得

第五條 馬政長官ハ馬匹改良上功勞アリト認ムル者ニ對シ功勞賞ヲ授與スルコトヲ得功勞賞ハ賞杯又ハ賞金トス

第六條 功勞賞ヲ授與セラルヘキ者其ノ授與前死亡シタルトキハ之ヲ其ノ遺族ニ交付ス

第七條 馬政長官ハ民有ノ馬匹ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノニ對シ獎勵金ヲ下附ス

- 一 体格性能優良ナルモノ
- 二 現ニ蕃殖ニ使用シ其成績良好ナルモノ
- 三 飼養管理良好ナルモノ

シ必要ト認ムルトキハ競馬會ヨリ報告ヲ徵シ又ハ其ノ業務及財産ノ狀況ヲ檢查スルコトヲ得

○馬匹ニ關スル聯合共進會廳府縣共進會又ハ之ニ準スヘキモノノ開閉ノ件

(三十九年十二月馬發五二七號)

第一項 馬匹ノ共進會ヲ開設セムトスルトキハ其規則書及左ノ事項ヲ馬政長官ニ報告スルコト

- 一 會 名
- 二 開會地名
- 三 開會及閉會期日
- 四 褒賞授與ノ期日
- 五 出陳區域
- 六 出陳馬匹ノ豫定頭數
- 七 會費總額府縣費又ハ寄附金等ノ別ヲ記載スルコト

第二項 前項共進會閉會シタルトキハ三十日以内ニ左ノ事項ヲ馬政長官ニ報告スルコト

- 一 出陳馬匹ノ種類、性、年齢及頭數
- 二 出陳人員
- 三 受賞馬匹ノ種類、名稱、性、產地、年齢、毛色、体尺、特徴、褒賞ノ等級及其所有者ノ住所氏名
- 四 來觀人員
- 五 會場ノ狀況
- 六 收支決算

第三項 第一項及第二項ノ報告ハ聯合共進會ノ場合ニ在リテハ主催地ノ地方長官ヨリ之ヲ爲スコト

四 同一所有者ニ於テ一年以上飼養シタルモノノ獎勵金ノ下附ヲ受ケタル馬匹ノ所有者ハ獎勵金ヲ受ケタルトキヨリ一ケ年以内ニ其馬匹斃死シ又ハ之ヲ讓渡シタルトキハ其都度馬政長官ニ報告スヘシ

○競馬開催ヲ目的トスル法人ノ設立及監督ニ關スル件 (三十九年十二月)

第一條 競馬ノ開催ヲ目的トスル社團又ハ財團ヲ民法第三十條ニ依リ法人ト爲サントスル者ハ定款又ハ寄附行爲ヲ以テ定メタル事項ノ外資産ノ總額調書及設計書ヲ差出スヘシ

第二條 前條設計書ニハ左ノ事項ヲ具備スヘシ

- 一 競馬開催ニ必要ナル建物及一哩以上ノ馬場ヲ設備スルコト
 - 二 毎年二回以上定期ニ競馬ヲ行フコト
 - 三 競走馬匹ノ年齢ハ明ケ四歳以上タルコト
 - 四 毎年新馬ヲ競走馬匹中ニ加フルコト
- 前項第一號ノ事項ニ付テハ其設備方法及圖面ヲ添付スヘシ
- 第三條 競馬開催ヲ目的トスル法人ヲ設立セントスル地方ニ於テハ既ニ法人タル競馬會アルトキハ後ノ設立者ハ競馬開催ノ時期ヲ異ニスヘシ
- 第四條 競馬會ハ毎年度剩餘金ノ幾分ヲ以テ產馬獎勵ノ目的ニ之ヲ使用スヘシ
- 第五條 馬政長官ハ競馬開催ヲ目的トスル法人ノ業務ヲ監督

○產馬獎勵報告事項 (四十年七月)

馬發第五一六號

產馬獎勵上必要有之候ニ付自今左記ノ事項ニ該當スル者アリタルトキハ調査御報告相成度此段及通牒候也

追テ既往ニ屬スルモノト雖モ事實明瞭ナルモノ有之候ハ、此際御報告相成度此段申進候也

- 一 府縣共進會ニ於テ二等賞以上ヲ得タル馬匹三頭以上ノ生産者アリタルトキハ別紙一號書式ニ據リ調査ノ事
- 二 二歳耀市場ニ於テ一人ニテ軍馬トシテ五頭以上ヲ賣上ケタル生産者アリタルトキハ別紙第二號書式ニ據リ調査ノ事
- 三 產馬事業ニ關シ特ニ功勞者アリタルトキハ別紙第三號書式ニ據リ調査スルコト

第一書式

產馬業者調査表

種類	馬名	生年月	毛色	体尺	特徴	年 月		生 産 者 住所氏名
						年 月	日 調 査	

備考 摘要欄ニハ褒賞ノ等級及共進會ノ會名ヲ記入スルコト

第二書式

產馬業者調査表

種類	馬名	生年月	毛色	体尺	特徴	年 月		賣上者 住所氏名	生 産 者 住所氏名
						年 月	日 調 査		

第三書式

產馬事業ニ關シ特ニ功勞アル者調査書

何府縣何郡區市何町村何番地
身分職業

何年何月生

- 一 明治何年何月ヨリ產馬事業ニ從事シ現ニ何縣(郡)產牛馬組合員トナリ役員ニ舉ケラレ專ラ組合業務ノ發達ニ盡力セル等
- 一 明治何年何月何縣產馬共進會ニ於テ開設費何程ヲ出金シ本會ヲ補助セル等
- 一 明治何年何月馬匹思想ヲ喚起セシムル爲ニ自費ヲ以テ何所ニ乘馬演習場ヲ設ケ愛馬心ヲ誘導スル事
- 以上ノ外馬匹改良ノ爲メ若クハ優等馬匹ヲ所有シ褒賞等ヲ受ケタルモノナルトキハ其事柄等荷モ產馬事業ニ關シ功勞アルモノハ必ス詳記スルヲ要ス

○產馬功勞者調査手續 (四十三年四月)

- 第一條 產馬獎勵規程第五條ニ依リ功勞賞ヲ授與スヘキ個人又ハ團體ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ノ内ヨリ之ヲ選定ス
- 一 多數ノ種牡馬又ハ牝馬ヲ飼養シテ馬匹ノ生産ヲ營ミ其成績顯著ナルモノ
- 二 優良ナル種牡馬ヲ所有シ廣ク產馬業者ノ用ニ供シ馬匹改良上功勞多キモノ
- 三 優良ナル種牡馬又ハ蕃殖牝馬ヲ所有シ地方ノ產馬ニ多大ノ裨益ヲ與ヘタルモノ

- 四 獎勵金ヲ受ケ又ハ共進會ニ於テ三等賞以上ノ褒賞ヲ受ケタル馬匹十頭以上ヲ生産シ產馬上功勞アルモノ
- 五 共同ノ放牧場ヲ設立シ地方產馬ノ發達ヲ圖リ功績アルモノ
- 六 馬匹改良ニ關シ率先シテ事業ヲ企畫シ其ノ功績著大ナルモノ
- 七 多額ノ資金ヲ投シテ產馬ノ事業ヲ起シ地方產馬ノ發達ヲ促シタルモノ
- 八 多年產馬業ニ從事シ良好ナル成績ヲ舉ケ他ノ模範トナルモノ
- 九 前各號ノ外直接產馬事業ニ多大ノ利益ヲ與ヘタルモノ
- 第二條 地方長官前條ニ該當スルモノアルトキハ其ノ功績ヲ詳記シ本人ノ氏名生年月日本籍職業住所ヲ具シ褒賞ノ授與ヲ馬政長官ニ申請スルモノトス
- 追賞ノ場合ニハ受賞者ノ氏名生年月日本籍職業住所ヲモ前項申請書ニ記載スヘシ
- 第三條 管區擔任馬政官又ハ種馬所長ハ所轄區域内ニ於テ第一條ニ該當スルモノアルトキハ第二條ニ準シ馬政長官ニ報告スヘシ
- 第四條 馬政長官前二條ノ申請又ハ報告ヲ受ケタルトキハ主務課ニ交付シ主務課ハ調査ノ上關係管區擔任馬政官ニ合議シ案ヲ具シ長官ノ決裁ヲ受クヘシ

○產馬獎勵規程ニヨリ產馬共進會開設ノ場合ニ於ケル出陳馬匹審査用紙雛形

(明治四十一年四月三十日)

日 月		審査		審査		審査		審査		審査		審査		審査		審査		審査		審査	
審査官																					
要 摘																					
理 管																					
決 評																					
能 性																					
肢 四																					
頭 頸																					
位 品																					
特 徵																					
胸 圍																					
尺 體																					
統 血																					
性 質																					
色 毛																					
名 馬																					
出 陳																					
母 父																					

○競馬規程 (四十一年十一月)

- 第三條 競馬ハ民法第三十四條ニ依リ設立シタル競馬會ニ非テサレハ之ヲ行フコトヲ得ス但シ祭典等ニ際シ專ラ娛樂ノ爲ニスルモノハ此ノ限ニ在ラス
- 第二條 競馬ハ毎年二回定期ニ之ヲ行ヒ一回ノ日數ハ四日以内トス

前項ノ外臨時ニ競馬ヲ開催セントスルトキハ馬政長官ノ認可ヲ受クヘシ

- 第三條 競馬ノ種類ハ平地競走及障礙競走トス
- 第四條 馬場ハ長サ一哩幅十二間以下ニ下スコトヲ得ス
- 第五條 馬場馬見所其ノ他附屬建造物ハ秩序及風紀ノ維持並人馬ノ危害豫防ニ必要ナル設備ヲ爲スヘシ

第六條 競馬ヲ開催セントスルトキハ二月前ニ開催ノ日時ヲ定メ番組ヲ具シ馬政長官ノ認可ヲ受クヘシ
前項ノ番組ニハ各競走ニ付左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 名 稱
- 二 種 類
- 三 距 離
- 四 賞 金
- 五 馬匹ノ負擔量
- 六 其他必要ノ事項

第七條 競走距離ハ一哩以上トス但シ新馬競走、換恤競走ニ在リテハ馬政長官ノ許可ヲ經テ一哩以下ハ爲スコトヲ得

第八條 削除

第九條 年齢明ケ三歳以下ノ馬匹及馬匹改良上裨益ナキ馬匹ハ競走ニ使用スルコトヲ得ス

第十條 各競馬會ハ每期ノ競馬ニ内國產新馬十頭以上ヲ出場セシムルコトヲ要ス

前項ノ新馬ハ明ケ八歳ヲ超ユルコトヲ得ス

第十一條 各競馬會ハ競馬規則ヲ定メ競走馬匹負擔重量發馬審判騎手ノ撰擇其ノ他競馬施行ニ關スル詳細ノ事項ヲ規定シ馬政長官ニ届出ヘシ

第十二條 馬政長官ハ必要ニ應シ官吏ヲ派遣シ競馬ノ施行ヲ監督セシム

第十三條 競馬ヲ終リタルトキハ一月以内ニ左ノ事項ヲ馬政長官ニ届出ヘシ

- 一 入場馬匹ノ總頭數

一 競馬會ニ於テ本令ニ違反シ其他不法不當ノ所爲アルトキ

二 競馬施行ニ關シ危害アリト認ムルトキ

三 競馬場内ノ秩序及風紀ノ維持上必要アルトキ

臨檢官吏ハ急ヲ要スル場合ニ於テハ前項ノ處分ヲ爲シ直ニ所屬長官ニ報告スヘシ

第二十二條 本令ニ定ムルモノ、外馬政長官ハ競馬施行ニ關シ必要ノ事項ヲ競馬會ニ命スルコトヲ得

第二十三條 產牛馬組合法ニ依ル組合ハ本令ニ依ラス地方長官東京ニ在リテハ警視總監ノ許可ヲ得テ競馬ヲ行フコトヲ得

附 則

本令ハ公市ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際既ニ開催ノ届出ヲ爲シタル競馬ニハ第六條ヲ適用セズ

○種馬牧場及種馬所

○種馬牧場及種馬所ノ名稱位置

奥羽種馬牧場	青森縣上北郡七戸町
日高種馬牧場	北海道日高國浦河郡西舍村
十勝種馬牧場	同 十勝國河東郡音更村
種馬育成所	岩手縣岩手郡瀧澤村
岩手種馬所	同 縣同 郡厨川村
熊本種馬所	熊本縣菊池郡西合志村
宮城種馬所	宮城縣玉造郡西大崎村
秋田種馬所	秋田縣仙北郡神宮寺町

種馬牧場及種馬所

二 新馬及各競走ニ於ケル優勝馬ノ名稱類性毛色年齢体尺特徵產地所有者抽籤新馬ノ購買價格購買地生産者並優勝馬ノ競走時間

三 競馬開催ニ關スル經費ノ收支

四 入場參觀者ノ員數

五 競馬場ニ於ケル諸般ノ狀況

第十四條 競馬賞金ハ主トシテ競走距離ニ應シ其額ヲ定ムヘシ

第十五條 競馬賞金ハ内國產馬ニ厚クスヘシ

第十六條 個人ノ寄附ニ係ル賞金又ハ賞品ニシテ番組ヲ指定シタルモノハ前二條ニ依ラサルコトヲ得

第十七條 馬政長官ハ每期ノ競馬中豫メ番組ヲ指定シ優勝馬ニ對シ賞金ヲ下付スルコトヲ得

第十八條 馬政長官ノ指定シタル聯合競走ノ優勝馬ニハ特殊ノ賞金ヲ下付スルコトアルヘシ

第十九條 馬政長官ハ馬匹改良上必要ト認ムルトキハ競馬會ニ對シ設備費又ハ開催費ヲ補助ス

設備補助金ハ馬場其他ノ設備ノ取得維持及改修ニ要スル費用ニ充ツル爲メ年額及年限ヲ定メ之ヲ下付ス

開催補助ハ競馬賞金其他開催費ニ充ツル爲メ開催ノ都度其額ヲ定メ之ヲ下付ス

第二十條 競馬場内ノ秩序及風紀ノ維持ニ關スル事項ハ競馬場所在地ヲ管轄スル地方長官東京ニ在リテハ警視總監之ヲ管理ス

第二十一條 左ニ掲クル場合ニ於テハ監督官廳ハ競馬ヲ停止シ又ハ相當ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

福島種馬所	福島縣西白河郡西郷村
宮崎種馬所	宮崎縣西諸縣郡小林村
島根種馬所	島根縣仁多郡八川村
愛知種馬所	愛知縣額田郡美合村
石川種馬所	石川縣能美郡唐幸村
長野種馬所	長野縣北佐久郡三井村
鹿兒島種馬所	鹿兒島縣始良郡牧園村
青森種馬所	青森縣上北郡野邊地町
長萬部種馬所	北海道釧路郡長萬部村
朽木種馬所	朽木縣河内郡藥師寺村

○種馬牧場及種馬所馬匹預托規則

(明治三十年一月七日 農商務省訓令第一號)

第一條 種馬牧場及種馬所ニ於テ飼養スル馬匹ヲ預托飼養セシムルトキハ此ノ規程ニ依ルヘシ

第二條 受托人ハ馬匹ノ飼養ニ熟達シ身元確實ナル者ニ限ル受托人ハ身元確實ナル保證人ヲ要ス

第三條 馬匹預托期限及馬匹預托飼養料ハ種馬牧場長若クハ種馬所長之ヲ定ム飼養料ハ飼養ノ結果ニ依リ其金額ヲ増減スルコトヲ得

第四條 馬匹預托飼養料ハ馬匹返納ノ後交付ス但シ時宜ニ依リ數回ニ交付スルコトヲ得

第五條 預托馬匹ノ輸送費ハ種馬牧場長若クハ種馬所長於テ其實費ヲ仕拂フヘシ

第六條 馬匹預托中疾病負傷等ノタメ治療ヲ要シタルトキハ

種馬牧場長若ハ種馬所長ハ其實費ヲ仕拂フヘシ但シ其原因

受托人ノ不注意ニ出ツルモノハ此ノ限リニアラス

第七條 種馬牧場長若クハ種馬所長ハ馬匹預托中受托人ヲシ

テ左ノ各項ヲ遵守セシムヘシ

一 常ニ衛生ニ注意シ飼料ヲ精選シ誠實ニ管理飼養スルコ

ト

二 適當ノ運動ヲナサシムルノ外使役セサルコト

三 疾病ニ罹リ又ハ負傷シタルトキハ速ニ獸醫ノ治療ヲ受

ケ同時ニ種馬牧場若クハ種馬所ニ急報スルコト

四 傳染病發生シ若クハ蔓延ノ兆アルトキハ速ニ適當ノ所

置ヲナスコト

五 斃死流産等ノ場合ニ於テハ其狀況ヲ詳記シ診斷書及證

明書類ヲ添ヘ速ニ種馬牧場若クハ種馬所ニ届出テ指揮ヲ

受クルコト

六 預托馬匹逸走シ又ハ盜奪セラレタルトキハ直ニ最寄警

察署、警察分署若クハ巡査駐在所ニ届出テ同時ニ種馬牧

場若クハ種馬所ニ急報スルコト

七 前項ノ外種馬牧場長若クハ種馬所長ヨリ特ニ指定シタ

ル事項ヲ遵守スルコト

第八條 種馬牧場長若クハ種馬所長ハ隨時預托馬匹ノ検査ヲ

行フヘシ但シ受托人ヲシテ特ニ指定ノ場所ニ馬匹ヲ牽出サ

シムルコトヲ得

第九條 預托中ト雖モ種馬牧場若クハ種馬所ノ便宜ニ依ルカ若

クハ受托人ニ於テ此規定ヲ遵守セサル行爲アリト認ムルト

何々種馬牧場 官姓名殿

何府(縣)何郡(市)何町(村)何番地住
何府(縣)何族(平民) 氏 名 印

○種馬所種付規則 (明治三十五年一月二十五日)

(農商務省令第一號)

第一條 左ニ掲ケタル資格ヲ有スル牝馬ノ所有者又ハ管理者

ハ種馬所ニ種付ヲ出願スルコトヲ得

一 年齢滿三歳以上ニシテ發育善ナルコト

二 身幹四尺五寸以上ナルコト但シ體格特ニ優等ナルモノ

ハ此限リニ非ラス

三 遺傳病又ハ惡癖ナキコト

四 體格優等性質善良體質健全ナルコト

前項ノ出願ヲ爲サントスルモノハ郡市役所ヲ經由シテ第一

號書式ノ願書ヲ所轄種馬所長ニ差出スヘシ

第二條 前條ノ出願アリタルトキハ種馬所長ハ牝馬ヲ検査シ

種付合格證ヲ下付スヘシ此種付合格證ハ一種付期間其効力

ヲ有ス種付合格證ヲ有スル牝馬ニアラサレハ種付ヲ受クル

コトヲ得ス

第三條 合格牝馬カ豫定頭數ニ達セサル場合ニ於テハ第一條

第二項ノ手續ヲ經サルトキト雖モ種馬所長ハ牝馬ノ所有者

又ハ管理者ノ請求ニ因リ臨時ニ之ヲ検査シ合格證ヲ下付ス

ルコトヲ得

第四條 種付出願期日検査及ヒ種付ノ期日及ヒ場所ハ種馬所

長ノ通告ニ依リ地方長官之ヲ告示ス

種馬牧場及種馬所

キハ何時タリトモ預托ノ馬匹ヲ返納セシムヘシ

第十條 第七條第五項第六項ノ場合ニ於テ損失ノ原因受托人

ノ故意又ハ不注意ニ出タルモノト認ムルトキハ相當ノ代價

ヲ辨償セシムルコトヲ得

第十一條 種馬牧場長若クハ種馬所長ハ受托人ヲシテ馬匹受

取ノ際左記書式ノ預證ヲ差出サシムヘシ

書式

印紙 何々種馬牧場 馬匹預證

一 馬匹 何頭

馬匹明細表

種類	名稱	牝牡	毛色	年齢	寸尺	特徴	一日分飼養料

右ハ種馬牧場及種馬所馬匹預托規則ヲ遵守シ明治何年何月何日ヨリ向フ何箇月間受托致シ候ニ就テハ誠實ニ飼養管理可仕ハ勿論萬一不行届ノ廉有之御規定ノ御處分有之候トモ決シテ違背不仕候若シ本人ニ於テ此契約ニ背キ候節ハ保證人ニ於テ一切引受ケ處辨可仕候依テ保證人連署證書如斯候也

年 月 日 受托人

何府(縣)何郡(市)何町(村)何番地住

何府(縣)何族(平民)

氏 名 印

保證人

第五條 種付ノ期日ニ種付ヲ受クルコト能ハサル事由ヲ生シ

タルトキハ合格牝馬ノ所有者又ハ管理者ハ直チニ其旨ヲ種

付所ニ届出ツヘシ

第六條 優等種牝馬ヲ種付スルトキハ拾圓以内ノ種付料ヲ徴

收ス

前項ノ種牝馬及種付料ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ種馬所長

之ヲ定ム

第七條 種付料ハ第二號書式ノ納付書ニ依リ初回種付ノ時ニ

於テ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

納付シタル種付料ハ之ヲ返還セス

種付ノ回数ハ種馬所長之ヲ定ム

第八條 左ニ掲ケタル事由ヲ生シタルトキハ種付牝馬ノ所有

管理者又ハ讓受人ハ直チニ種馬所長ニ届出ツヘシ二頭以上

ノ種付牝馬ヲ所有又ハ管理スルトキハ種付合格證ノ番號ヲ

届書中ニ記載スヘシ

一 出産前牝馬ヲ讓渡シタルトキハ其讓受人ノ氏名住所

二 出産前牝馬斃死シタルトキハ其年月日

三 出産シタルトキハ其年月日及産駒ノ性毛色並ニ出産ノ

時ニ於ケル身幹

四 流産シタルトキハ其年月日

五 受胎セサルコトヲ確認シタルトキハ其事實

六 産駒ヲ讓渡シタルトキハ其年月日價額讓渡ノ時ニ於ケ

ル身幹及讓受人ノ氏名住所又ハ糶場ノ名稱

七 産駒斃死シタルトキハ其年月日

第九條 種付牝馬ノ所有者又ハ管理者ハ其産駒血統証ヲ下付

百四十七

種馬所長ニ出願スルコトヲ得

第十條 左ノ場合ニ於テハ種馬所長ハ種付合格証ノ効力ヲ停止シ又ハ之ヲ取消スコトヲ得

一 牝馬ノ疾病其他ノ事由ニ因リ種付ニ害アリト認めタルトキ

二 指定ノ種牡馬ニ對シ異議ヲ述ヘタルトキ

三 當該官吏ノ指揮ニ從ハサルトキ

四 種付料ヲ納付セサルトキ

第十二條 種牡馬ノ疾病其他ノ事由ニ因リ種付スルコト能ハズアルトキハ種馬所長ハ指定シタル種牡馬ヲ變更シ又ハ種付ヲ爲サ、ルコトヲ得

第十三條 第八條ノ届出ヲ怠リタル者第十條第二號乃至第四號ニ掲ケタル事由ニ因リ種付合格証ノ効力ヲ取消サレタル者ノ又ハ種付牝馬若クハ産駒ノ飼養管理ヲ怠リタル者ニハ

次年ノ種付ヲ許可セサルコトアルヘシ

第十三條 本則ノ規定ハ種馬牧場ニ於テ民有牝馬ニ種付ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第十四條 本則施行前明治三十五年種付合格証ハ本則ニ依リ種付合格証ト看做ス

第一號書式

種付願

一 牝馬 一頭

種類 毛色 年齢 身幹

産地 父母系統

右貴所種牡馬種付相願候也

年月日

縣

市郡

町字

番地

何種馬所長氏名殿

所有者

氏

名印

(備考)特ニ管理者ヲ定メタル場合ハ其住所氏名ヲ並記スベシ

第二號書式

種付料納付書

一金 圓

種付合格証第

號

種付料

收入印紙

右納付致候也

縣

市郡

町字

番地

年月日

所有者(又ハ管理者)氏

名印

何種馬所長氏名殿

種馬牧場種馬育成所種馬所處務規程

(三十九年十月 內閣訓令第二號)

第一條 種馬牧場長種馬育成所長種馬所長ハ官制ノ定ムル所ニ從ヒ主管事務ノ整理ニ付其責ニ任ス

第二條 種馬牧場長種馬育成所長種馬所長事故アルトキハ部下ノ官吏ヲシテ場長ノ名義ヲ以テ事務ヲ處辨セシムルコトヲ得

第三條 種馬牧場長種馬育成所長種馬所長ハ事務整理ノ爲メ馬政長官ニ經伺ノ上處務細則ヲ設クルコトヲ得

第四條 種馬牧場長種馬育成所長種馬所長ハ場員又ハ所員ニ對シ主管事務ノ分任擔當ヲ定ムヘシ

種畜牧場

種畜牧場及種牛所官制

(四十二年三月 勅令第八二號)

第一條 種畜牧場及種牛所ハ農商務大臣ノ管理ニ屬シ左ノ事務ヲ掌ル

種畜牧場

一 牛、羊、豚及家禽ノ改良蕃殖育成及其ノ試験並練習ニ關スル事項

二 畜産物ノ製造及其ノ試験並練習ニ關スル事項

三 種牛種羊種豚及種禽ノ配付並其ノ監督ニ關スル事項

四 家畜飼料ノ栽培及其試験ニ關スル事項

種牛所

一 種牛ノ飼養、管理並育成ニ關スル事項

二 牝牡牛ノ配合ニ關スル事項

三 種付牝牛ノ検査監督並産績成績ニ關スル事項

第二條 種畜牧場及種牛所ニ左ノ職員ヲ置ク

場長又ハ所長

技師

書記

第三條 場長又ハ所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ農商務大臣ノ指揮監督ヲ受ケ場務又ハ所務ヲ掌理ス

第四條 技師ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ヲ掌ル

第五條 技師ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

第六條 書記ハ判任トシ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第五條 種馬牧場長種馬育成所長種馬所長ハ判任以下ノ歸省

看護醫參轉地療養願ヲ許可シ又ハ服除出仕ヲ命スルコトヲ得

第六條 種馬牧場長種馬育成所長種馬所長ハ場員又ハ所員ノ出張ヲ要スルトキハ其旨馬政長官ニ伺出ツヘシ但シ經伺ノ暇ナキ場合ニ於テハ臨時出張ヲ命シ其事由ヲ報告スヘシ

第七條 馬匹評會等ノ爲旅費ヲ支辨シ場員又ハ所員ノ出張ヲ申出ツル者アルトキハ種馬牧場長種馬育成所長種馬所長ニ之ヲ許可スルコトヲ得

第八條 種馬牧場長種馬育成所長種馬所長ハ收夫農夫ノ出張ヲ命スルコトヲ得

第九條 種馬牧場長種馬育成所長種馬所長ハ月俸拾貳圓又ハ日給四拾錢ヲ越エサル雇員又ハ傭員ノ採用解免ヲ專功スルコトヲ得

第十條 種馬牧場長種馬育成所長種馬所長ハ其主管事務ニ付各官廳ニ照會ヲ往復スルコトヲ得

第十一條 種馬牧場長種馬育成所長種馬所長ハ毎年七月末日迄ニ翌年度ニ於ケル事業設計書ヲ馬政長官ニ提出スヘシ

第十二條 種馬牧場長種馬育成所長種馬所長ハ第四條第五條第七條第八條及第九條ノ場合ニ於テハ其都度馬政長官ニ報告スヘシ

第十三條 種馬牧場長種馬育成所長種馬所長ハ毎年二月十五日迄ニ前年ノ業務成績ヲ馬政長官ニ報告スヘシ

第七條 種畜牧場及種牛所ヲ通シテ專任技師三人專任技師十
一人專任書記五人ヲ以テ定員トス

第八條 種畜牧場及種牛所ノ名稱位置ハ農商務大臣之ヲ定ム
第九條 農商務大臣ハ必要ト認ムル地ニ種畜牧場ノ分場ヲ置
クコトヲ得

分場長ハ種畜牧場技師ヲ以テ之ニ充テ本場ノ事務ヲ分掌ス
附 則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
種畜牧場官制ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ種畜牧場技師技手又ハ書記ノ職ニ在ル者別
ニ辭令書ヲ交付セサルトキハ各種畜牧場ノ技師技手又ハ書記
ニ同官等俸給ヲ以テ任セラレタルモノトス

○種畜牧場及種牛所處務規程

(四十二年四月)
(農商務省訓令第八號)

第一條 種畜牧場長及種牛所長ハ所制ノ定ムル所ニ從ヒ主管
事務ニ付其責ニ任ス

第二條 種畜牧場長及種牛所長事故アルトキハ部下ノ官吏ニ
代理ヲ命シ又ハ主管事務ノ幾分ヲ委任シ自己ノ名義ヲ以テ
之ヲ處辨セシムルコトヲ得

第三條 種畜牧場長及種牛所長ハ特別ノ規定アルモノヲ除ク
ノ外左ニ掲クル事項ハ之ヲ專決スルコトヲ得
一 判任官以下ノ歸省看護養參轉地療養ノ出願ヲ許可シ及
除服出仕ヲ命スルコト

細則ヲ設クコトヲ得

第六條 種畜牧場長及種牛所長ハ其主管事務ニ付各官廳ニ照
會應答スルコトヲ得

第七條 種畜牧場長及種牛所長ハ新ニ事業ヲ開始セントスル
トキハ其業務ノ豫定及其擔任ヲ定メ認可ヲ受クヘシ

第八條 種畜牧場長及種牛所長出張種付ヲ開始セントスル
トキハ豫メ出張地種畜ノ種類頭數日數出張人員旅費經費等詳
細ナル計畫ヲ定メ認可ヲ受クヘシ

第九條 種畜牧場及種牛所長第三條第三項ノ用務ニ因リ出張
ヲ要スル場合ニ於テ日數十日以内ナルトキハ出張歸任ノ後
遲滞ナク其旨ヲ報告シ十日ヲ超ユルトキハ認可ヲ受クヘシ

第十條 種畜牧場長及種牛所長ハ毎月五日限リ前月中ニ於テ
第三條ニ依リ專決シタル雇員ノ氏名給額採用月日履歷場員
ノ出張用務出張地日數人名旅費額ヲ報告スヘシ

第十一條 現金前渡ヲ受クル官吏ハ每一箇月分ノ金額ヲ豫定
シ現金前渡ヲ請求スルコトヲ得

第十二條 現金前渡ヲ受ケタル官吏ハ其ノ前渡金ノ各目流用
ニ付テハ之ヲ專決スルコトヲ得

第十三條 種畜牧場長及種牛所長ハ前年ニ於テ施行セル主管
業務ノ成績ヲ審査編纂シ四月末日限リ報告スヘシ

本規程ハ種畜牧場分場ニ付其分場長及現金前渡ヲ受クル官
吏ニ之ヲ準用ス

附 則

明治四十一年加農商務省訓令第十一號種畜牧場處務規程ハ本
規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

二月俸貳拾圓又ハ日給六拾錢ヲ超エサル雇員ヲ採用又ハ
解免スルコト

三 第八條ニ依リ認可ヲ受ケタル出張種付實施輸入動物受
取ノ爲場員ニ出張ヲ命シ又ハ一週間以内ニ於テ牧場用務
ノ爲場員ニ出張ヲ命スルコト

四 物品會計官吏ヲ命免スルコト

五 一廉貳百圓ヲ超エサル印刷物ノ調製物件ノ購買借入運
搬及一廉金五百圓ヲ超エサル飼料ノ購買人夫職工雇備ノ
件

六 一廉金百圓ヲ超エサル建設物修繕ノ件

七 工事及物件ノ賣買貸借ニ關シ伺濟ノ範圍内ニ於テ會計
規則第七十五條ノ豫定價格ヲ指定スルコト

八 明治二十三年勅令第九十三號ニ依リ隨意契約ヲ締結
スルコト

九 生産物又ハ不用物品ニシテ見積價格一廉金貳百圓ヲ超
ユサルモノヲ處分スルコト

十 常備夫ノ採用解免及慰勞金ヲ給與スルコト

第四條 種畜牧場長及種牛所長ハ左記各號ノ官吏若ハ主任トス
一 種畜牧場種牛所ノ經費ノ現金前渡ヲ受クル官吏

二 工事及物件ノ賣買貸借ニ關シ契約擔任官吏會計規則第
六十七條ノ監督及檢査ヲ行フ官吏

三 物品出納命令官並物品會計規則第十條ノ二及第十一條
ノ檢査官吏

四 收入官吏歳入歳出外現金出納官吏及保管物取扱主任

第五條 種畜牧場長及種牛所長ハ事務處理ノ爲經同ノ上處務

○種畜牧場ノ位置

(明治四十一年四月九日)
(農商務省告示第五十二號)

一 七塚原種畜牧場 廣島縣比婆郡山内東村
北邊道札部郡豐平村及
同 道空知郡瀧川村

一 月寒種畜牧場 澁谷分場東京府豊多摩郡澁谷村
(種畜種豚所)

一 大分種牛所 大分縣速見郡朝日村大字鶴見

○種畜種付規則 (明治四十年五月二十一日)
(農商務省令第二三號)

第一條 左ニ掲クル資格ヲ有スル牝牛、牝豚、牝綿羊、牝山
羊ノ所有者又ハ管理者ハ種畜牧場、種牛所ニ種牝牛、種牝
豚、種牡綿羊、種牡山羊ノ種付ヲ出願スルコトヲ得

一 牝牛ニ在リテハ年齡滿二歲以上牝豚ニアリテハ年齡滿
十ヶ月以上牝綿羊又ハ牝山羊ニアリテハ年齡滿十ヶ月以
上ナルコト

一 牝牛ニ在リテハ身幹四尺以上ニ達シ又ハ体格均稱宜シ
キモノナルコト

一 惡質ノ疾病又ハ惡癖ナキコト

一 体格優等體質健全ナルコト

前項ノ出願ヲ爲サムトスル者ハ第一號様式ニ依リ願行ヲ種
畜牧場長種牛所長ニ差出スヘシ

第二條 種付ヲ行フ種畜牧場種牛所並ニ種付ヲ行フヘキ種牝
牛種牡豚種牡綿羊種牡山羊ノ種類ハ農商務大臣之ヲ告示ス

第三條 第一條ノ出願アリタルトキハ種畜牧場長種牛所長ハ
期日及場所ヲ定メ出願人ヲシテ牝牛牝豚牝綿羊又ハ牝山羊

ラ牽付ケシメ第一條第一項各號ノ事項ヲ検査シ検査ニ合格シタル牝牛又ハ牝豚ニ付種付合格証ヲ交付スヘシ
 前項ノ期日及場所ニ牝牛又ハ牝豚ヲ牽付ケサルトキハ出願者其効力ヲ失フ
 種付合格証ハ牝牛ニ在リテハ百日間牝豚、牝綿羊、又ハ牝山羊ニ在リテハ五十日間有効トス
 種付ヲ受クヘキ牝牛又ハ牝豚カ種付合格証下付後第二條第二項ノ資格ヲ喪失シタルトキハ種付合格証ハ其効力ヲ失フ
 第四條ノ種畜牧場長種牛所長ハ前條第一項ノ検査ニ合格シタル牝牛牝豚牝綿羊又ハ牝山羊ニ付種付ヲ行フヘキ日時及場所ヲ定メ之ヲ出願人ニ通告スヘシ
 第五條 牝牛牝豚牝綿羊又ハ牝山羊ニ付種付ノ許可ヲ受ケタル者又ハ其承繼人ハ種付ヲ受クル際種付合格証ヲ携帶シ之ヲ當該吏員ニ示スヘシ
 第六條 牝牛牝豚牝綿羊又ハ牝山羊第一回ノ種付ヲ以テ受胎モサル場合ニ於テハ第一回種付ノ日ヨリ牝牛ニ在リテハ六十日以内牝豚、牝綿羊、又ハ牝山羊ニ在リテハ三十日以内ニ於テ第二回ノ種付ヲ請求スルコトヲ得第九條ニ依リ種付施行ヲ延期シタル日數ハ前項ノ期間ニ之ヲ算入セス
 第七條 第三條ノ規定ハ第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ種付合格證ノ有効期間ヲ經過シタルモノ、外牝牛又ハ牝豚ノ検査ヲ行ハス
 第七條 種付ヲ受クル者ハ第一回ノ種付ヲ受ケントスル際種付料トシテ牝牛ニ在リテハ二頭ニ付金貳圓牝豚牝綿羊又ハ牝山羊ニ在リテハ三頭ニ付金壹圓ヲ納付スヘシ

前條ニ依ル第二回ノ種付ニ付テハ種付料ヲ要セス
 第八條 種付料ニ納付セントスル者ハ第二號様式ニ依リ納付書ニ種付料ニ相當スル收入印紙ヲ貼付シ之ヲ種畜牧場長、種牛所長ニ差出スヘシ
 前項ノ納付アリタルトキハ種畜牧場長、種牛所長ハ其ノ適法ナルコトヲ認メタル後納付書ノ紙面ト印紙ノ彩紋トニ掛ケ消印ヲ捺捺スヘシ既納ノ種付料ハ之ヲ還付セス其過剩アル場合亦同シ
 第九條 種畜牧場長、種牛所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ検査又ハ種付ノ施行ヲ延期スルコトヲ得
 一 種畜牧場種牛所ニ於テ指定ノ期日ニ検査又ハ種付ヲ施行スルコト能ハサルトキ
 一 牝牛、牝豚、牝綿羊若クハ牝山羊ノ飼養地又ハ其ノ附近又ハ牽付ノ際經過スヘキ地方ニ於テ獸畜傳染病ノ發生又ハ流行スルトキ
 一 種畜牛、種畜豚、種畜羊若クハ種畜山羊又ハ検査若クハ種付ヲ受クヘキ牝牛、牝豚、牝綿羊若クハ牝山羊ノ疾病、傷疾其他ノ事由ニ依リ検査又ハ種付ヲ行フコト能ハス又ハ種付ニ害アリト認メタルトキ
 一 疾病又ハ傷疾ニ因リ牝牛又ハ牝豚ヲ牽付クルコト能ハサルトキ
 検査又ハ種付ヲ受クル者其ノ牝牛又ハ牝豚カ前項第三號又ハ第四號ニ該當スル爲メ其ノ延期ヲ請求スル場合ニ於テハ其ノ検査又ハ種付ヲ受クヘキ期日ヲ豫定シテ種畜牧場長種牛所長ニ届出ツヘシ

第四條ノ規定ハ第一項ノ場合ヲ準用ス
 第十條 種畜牧場長種牛所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ種付ノ許可ヲ取消スルコトヲ得
 一 種付ヲ行フヘキ期日及場所ニ牝牛、牝豚、牝綿羊又ハ牝山羊ヲ牽付ケサル者
 二 第七條ニ依リ種付料ヲ納付セサルモノ
 一 種付ヲ受クヘキ者種付施行ニ付異議ヲ述ヘ又ハ該當吏員ノ指揮ニ從ハサル者
 第十一條 種畜牛、種畜豚、種畜綿羊、種畜山羊ノ斃死疾病其他已ニ得サル事由ニ依リ種付ヲ行フコト能ハサルトキハ種畜牧場長種牛所長ハ種付ヲ受クヘキ者ノ同意ヲ得テ種畜牛又ハ種畜豚ノ種類ヲ變更スルコトヲ得
 前項ノ場合ニ於テ種付ヲ受クヘキ者種畜牛又ハ種畜豚ノ種類ノ變更ニ同意セサルトキハ種付ノ許可ヲ取消スルコトヲ得
 第十二條 種付ヲ受ケタル者ハ種付ニ因リ生シタル損害ニ對シ賠償ヲ請求スルコトヲ得
 第十三條 牝牛、牝豚、牝綿羊又ハ牝山羊ニ種付ヲ受ケタル者又ハ其承繼人ハ其仔牛、仔豚、仔綿羊又ハ仔山羊ニ付血統證ノ下附ヲ種畜牧場長種牛所長ニ出願スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ種畜牧場長種牛所長ノ指揮ニ從ヒ仔牛又ハ仔豚ノ検査ヲ受クヘシ
 第十四條 種付ヲ受ケタル牝牛、牝豚、牝綿羊若クハ牝山羊又ハ其ノ仔牛仔豚仔綿羊若クハ仔山羊所有者又ハ管理者ハ遲滞ナク左記ノ事項ヲ種畜牧場長種牛所長ニ届出ツヘシ
 一 牝牛牝豚牝綿羊又ハ牝山羊ノ分娩前之ヲ讓渡シタルト

キハ其ノ年月日、讓渡人ノ氏名住所牝牛又ハ牝豚斃死シタルトハ其年月日及事由
 一 牝牛、牝豚、牝綿羊又ハ牝山羊分娩シタルトキハ生産ニ在リテハ其ノ年月日仔牛ノ性毛色又ハ仔豚、仔綿羊又ハ仔山羊ノ數及性死産ニ在リテハ其ノ年月日數性及事由
 一 仔牛、仔豚、仔綿羊又ハ仔山羊ヲ讓渡シタルトキハ其ノ年月日價格讓受人ノ氏名住所仔牛又ハ仔豚斃死シタルトキハ其ノ年月日及事由
 第十五條 種畜牧場長種牛所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ種付出願ヲ許可セサルコトヲ得
 一 種付ヲ受ケタル牝牛牝豚牝綿羊若クハ牝山羊又ハ其ノ仔牛仔豚仔綿羊若クハ仔山羊ノ飼養其他ノ管理ヲ怠リタル者
 一 第十條ニ依リ種付ノ許可ヲ取消サレタル者
 一 前條ノ届出ヲ怠リタル者
 第十六條 種畜牛ノ種付ハ種畜牧場種牛所吏員各地ニ出張シテ之ヲ行フコトアルヘシ
 前項ノ場合ニ於テハ本則ニ依ル種畜牧場長種牛所長ノ職務ハ出張吏員ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得
 第十七條 前條ノ場合ニ於テ種付ヲ行フヘキ期間場所及種畜牛ノ種類並願書差出期間及場所等ハ豫メ之ヲ公告スヘシ
 第十九條 明治三十七年農商務省令第二號ハ之ヲ廢止ス
 第一號様式ノ一
 種畜牛種付願 名 號
 一 何種牝牛

毛色 生年月 身幹
產地
血統 父何種 母何種 毛色 產地
右種畜種付規則ヲ遵守致候間何種々種付御許可相成度此段相願候也

年月日 住所 所有者又ハ管理者 氏名印

種畜牧場長種牛所長宛
第一號様式ノ二

種牝豚(緬羊)種付願
一何種牝豚(緬羊)(山羊)

毛色 生年月

產地 父何種 母何種 毛色 產地

右種畜種付規則ヲ遵守致候間何種牝豚ノ種付御許可相成度此段相願候也

年月日 住所 所有者又ハ管理者 氏名印

種畜牧場長種牛所長宛
第二號様式

種牝牛(豚)(緬羊)(山羊)種付料納付書

一金何圓也 收入印紙

但シ何種種牝牛(豚)種付料
右納付候也

年月日 住所 所有者又ハ管理者 氏名印
種畜牧場長種牛所長宛

注意 收入印紙ハ消印スヘカラス

(參照) 明治三十七年三月農商務省令第二號ハ種牛牧場種付規則ナリ

○種牝牛貸付規程(明治四十二年八月十一日農商務省令第三四號)

第一條 種畜牧場長種牛所長ハ本規程ニ依リ其保管ニ屬スル種牝牛ヲ左ノ各號ニ該當スルモノニ無償ニテ貸付スルコトヲ得

一 道廳府縣種畜場又ハ畜牛ノ改良蕃殖ヲ行フ爲既舎、運動場其他必要ノ設備ヲ爲セル道府縣

一 產牛馬組合法ニヨリ道府縣以上ヲ區域トシテ牧場及其ノ他相當ノ設備ヲ爲シ畜牛ノ改良蕃殖ヲ行フ組合又ハ組合聯合會

前項貸付ヲ爲スヘキ種牝牛ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ種畜牧場長種牛所長之ヲ定ム

第二條 前條ノ貸付ヲ受ケントスルトキハ道府縣種畜場及道府縣ニ在リテハ地方長官ヨリ產牛馬組合又ハ其ノ聯合會ニ在リテハ地方長官ヲ經テ組長ヨリ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ種畜牧場長種牛所長ニ差出スヘシ

一 貸付ヲ受ケントスル種牝牛ノ種類頭數及借受期間

一 貸付種牝牛ノ管理及飼養ノ方法並ニ之ニ要スル經費

豫算
一 種付ヲ行ハントスル牝牛ノ種類別見込頭數及之ヲ行フ場所

一 組合又ハ組合聯合會ニ在リテハ其種畜ニ關スル道廳府縣種畜場規程第五條第三號乃至第六號ニ掲クル事項

第二條 前條ノ申請書ヲ受ケタルトキハ種畜牧場長種牛所長ハ意見ヲ具シ農商務大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

第四條 種牝牛貸付許可ノ通知アリタルトキ又ハ貸付期間ノ滿了若ハ其ノ他ノ事由ニ依リ種牝牛ヲ返納スル場合ニ於テハ借受者ハ指定期日及場所ニ於テ之ヲ受領シ又ハ之ヲ返納スヘシ

第五條 種牝牛ノ貸付期間ハ二年以内トス但シ期間滿了ノ後繼續貸付ヲ受ケントスル者ハ期間滿了ノ日ヨリ二ヶ月前ニ其ノ旨ヲ申請スヘシ

第六條 種牝牛ノ借受、管理、飼養返納ニ關スル一切ノ費用ハ總テ借受者ノ負擔トス

第七條 借受者ニ於テ種牝牛ノ管理飼養ヲ怠リタル場合其ノ他種畜牧場種牛所ニ於テ必要ト認ムルトキハ貸付期間ト雖モ農商務大臣ノ認可ヲ得テ種牝牛ヲ返納セシムルコト得此ノ場合ニ於テ借受者ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第八條 貸付種牝牛ニ付失踪、斃死、盜難、疾病其他重要ノ事故アリタルトキハ借受者ハ其ノ事由ヲ具シ之ヲ種畜牧場長種牛所長ニ報告スヘシ但シ斃死ノ場合ニ於テハ獸醫ノ検査書ヲ添付スヘシ

種畜牧場種畜拂下規程(明治四十二年六月二十九日農商務省令第三〇號)
第一條 本規程ニ於テ種畜ト稱スルハ種牛、種豚、種緬羊ヲ謂フ
第二條 種畜ヲ拂受ケントスル者ハ別記書式ニ依リ隨時種畜

牧場長ニ拂下願書ヲ提出スヘシ

第三條 前條ノ出願アリタルトキハ種畜牧場長ハ現ニ拂下クヘキ種畜ノ種類、性、生年月日及拂下代價ヲ出願人ニ通知シ期間ヲ指定シテ拂受希望ノ種畜ヲ撰定シテ之ヲ届出テシムヘシ出願人ニ於テ指定期間内ニ前項ノ届出ヲ爲サハルトキハ出願ハ其効力ヲ失フ

第四條 種畜牧場長出願ヲ許可シタルトキハ代金納付ノ期限及種畜引渡ノ期間ヲ指定シ拂下許可證ヲ下付スヘシ

第五條 拂受人正當ノ事由ナクシテ前條指定期限迄ニ拂下代金ヲ納付セサルトキハ拂下ノ許可ハ其効力ヲ失フ

第六條 拂受人種畜ノ引渡ヲ請求スルトキハ拂下許可證及代金納付ノ證書ヲ種畜牧場長ニ呈示スヘシ

拂受人前項ノ書面ヲ呈示セサルトキト雖種畜牧場長ニ於テ其拂下許可ヲ受ケ且拂下代金ヲ納付シタル者ナルコトヲ認メタルトキハ引渡ヲ爲スコトヲ得

種畜牧場長ニ於テ必要ト認ムルトキハ何時タリトモ拂受人ニ通知シテ種畜引渡ノ期間ヲ變更スルコトヲ得

第七條 拂受人引渡期間内ニ引渡ヲ請求セサルトキハ期間後一頭ニ付種牛ニ在リテハ一日金五拾錢種豚種羊ニ在リテハ一日金拾五錢ノ割合ヲ以テ飼養費ヲ引渡請求ノ際納付ス

第八條 拂受人引渡期間後二週間内ニ引渡ヲ請求セサルトキハ拂下ノ許可ハ其効力ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ既納ノ代金ハ還付セズ

第九條 引渡前ニ於テ拂下ノ目的タル種畜カ滅失シ又ハ廢疾

何種畜牧場長宛
○種牡牛馬種付料
(明治三十九年五月十二日、四十二年五月三十一日)
(勅令第三百四號、勅令第三百五十五號改正)
種馬牧場種馬所種牛所及種畜牧場ノ保管ニ屬スル種牡牛馬ノ種付ヲ受クル者ハ種付料ヲ納付スヘシ
種付料ヲ納付スヘキ種牡牛馬及其ノ種付料ハ主務大臣之ヲ定ム種付料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ
但シ國又ハ公共團體ニ於テ種付ヲ受クルトキハ此ノ限リニ非ラス

○種猪種付料

(明治三十九年十二月二十四日)
(勅令第三百十七號)
種牛牧場ノ保管ニ屬スル種猪ノ種付料ヲ納付スヘシ
種付料ヲ納付スヘキ種猪及其種付料ハ主務大臣之ヲ定ム種付料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

○種禽及種卵ノ拂下代金納付ニ關スル件

(明治三十九年十二月二十四日)
(勅令第三百十六號)
種牛牧場ノ保管ニ屬スル種禽及種卵ノ拂下代金ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納ムヘシ

○種禽種卵拂下規程

(明治四十年三月二日)
(農商務省令第一號)
第二條 種禽及種卵ヲ拂受ケシト欲スル者ハ第一號様式ノ願書ニ依リ種牛牧場長ニ出願スヘシ
第二條 拂下クヘキ種禽及種卵ノ種類ハ農商務大臣之ヲ告示

ニ罹リタルトキハ拂受人ノ請求ニ因リ代金ヲ還付スヘシ
拂受人ハ隠レタル瑕疵ヲ事由トシテ拂下許可ノ取消代金ノ減額又ハ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第十條 種畜牧場長ハ拂受人ニ種畜引渡ノ際其血統證ヲ交付スヘシ

第十一條 拂下種畜ノ所有者又ハ管理者ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一 拂受ケタル種畜斃死若クハ逃走シ又ハ之ヲ屠殺若ハ撲殺シタルトキハ其事由ヲ具シ三十日以内ニ種畜牧場長ニ届出テ同時ニ血統證ヲ返納スヘシ

二 前年ニ於ケル拂受種畜ノ交尾蕃殖ノ狀況仔畜ノ生育改良ノ成績等ヲ毎年一月三十一日迄ニ種畜牧場長ニ報告スヘシ

三 種畜ノ飼養管理及改良上ニ關シ農商務大臣又ハ種畜牧場長ヨリ諮問アリタルトキハ遲滞ナク之ニ答申スヘシ

附 則
種牛牧場種豚種羊規程及種牛牧場種牛種羊規程ハ之ヲ廢止ス(別紙書式)

種牛(豚)(種羊)種下願
一 何々種牡(牝)(牛)(豚)(種羊) 一頭

一 同 同 同
右種畜牧場種畜種下規程ヲ遵守シ牛(豚)(種羊)ノ改良蕃殖ニ從事致度候間御拂下相成度此段相願候也

年 月 日 住 所 職 業 氏 名

第三條 拂下クヘキ種禽及種卵ノ代金左ノ如シ
一種 禽 三箇月未滿ノモノ以上 一羽ニ付 金壹圓五拾錢以内
一 同 三箇月未滿ノモノ以上 一羽ニ付 金貳圓五拾錢以内
一 同 四箇月未滿ノモノ以上 一羽ニ付 金參圓乃至七圓
一 同 四箇月以上ノモノ 一羽ニ付 金拾五錢以内

第四條 出願者一人ニ拂下クヘキ種禽及種卵ハ一回ニ付各一種類ノ種禽ニ在リテハ雄ニ羽雌ニ羽ヲ種卵ニ在リテハ六個ヲ超ユルコトヲ得ズ

種牛牧場長ハ政府ノ設立シタル學校及農事試驗場道廳、府縣、郡、市町村又ハ之ニ準スヘキモノ又ハ其ノ設立シタル學校、農事試驗場、農事講習所、種畜場及農會ノ出願其他公益事業ノ爲必要ナリト認メタル出願ニ對シテハ前項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

第五條 種牛牧場長出願ヲ許可シタル下キ種禽及種卵ノ種類數量代金及其納付期限並引渡ノ期間ヲ指定シ之ヲ出願者ニ通知スヘシ

出願者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ代金納付期限迄ニ拂下代金ニ相當スル收入印紙ヲ第二號様式ニ依リ納付書ニ貼付シ消印ヲ爲サシテ之ヲ納付スヘシ但シ郵便ニ附スルトキハ書留ニテ差出スヘシ

種牛牧場長納付書ヲ收受シタルトキハ之ヲ調査シ種禽及種卵ノ引渡ト同時ニ納付書ノ紙面ト貼付印紙ノ彩紋ニ掛ケ消印ヲ押捺スヘシ

第六條 拂受人前條第二項ニ依リ代金ヲ納付シタルトキハ種

禽及種卵ノ引渡期間ニ第三號様式ニ依ル受領書ヲ差出シ其ノ引渡ヲ受クヘシ

第七條 拂受人種禽及種卵ノ輸送ヲ受ケントスルトキハ第三號様式ニ依ル種禽及種卵ノ受領書ト共ニ第四號様式ニ依ル託送請求書ヲ差出スヘシ

前項輸送ニ要スル荷造費運搬費ハ拂受人ノ負擔トシ輸送ヲ引受ケタル者ニ之ヲ支拂フヘシ

輸送ヲ引受ケタル者ニ種禽及種卵ノ交付ヲ爲シタルトキハ引渡ヲ了シタルモノトス

第八條 拂受人ハ何等ノ事由ヲ問ハス納付期限迄ニ拂下代金ヲ納付セス又ハ引渡期間内ニ種禽及種卵ノ引渡ヲ受ケサルトキハ拂下ノ許可ハ其効力ヲ失フ

第九條 種牛牧場長ニ於テ必要ト認メタルトキハ拂受人ニ通知シテ引渡ノ期間ヲ變更スルコトヲ得

第十條 拂受人ハ引渡ヲ受ケタル后ニ於テ種禽及種卵ノ疾病斃死損傷又ハ瑕疵ヲ發見シタルトキハ代金ノ返還又ハ減額代物ノ交付又ハ損害ノ賠償ヲ求ムルコトヲ得ス

第十一條 拂受人ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ
一 前年ニ於ケル拂受ケタル種禽及種卵ノ孵化、蕃殖及發育ノ狀況ヲ記載シタル報告書ヲ毎年一月三十一日迄ニ種牛牧場長ニ差スヘシ

二 家禽ノ飼養管理及改良ニ關シ農商務大臣又ハ種牛牧場長ヨリ諮問アリタルトキハ速ニ答申スヘシ

第一號様式ノ一 種禽拂下願

一第一希望

一何種 種禽雄 孵化后何箇月 一羽

一同 同 雌 同 同 二羽

右何種ノ拂下ヲ受クルコト能ハサルトキハ次ノ種禽ヲ拂下ケラレタシ

一第二希望

一何種 種禽雄 孵化后何箇月 一羽

一同 同 雌 同 同 二羽

前同斷

以下前項ニ準シ順次之ヲ記載スヘシ

右種禽種卵拂下規程ヲ遵守致候間御拂下相成度此段相願候也

年 月 日 住所 職業 氏 名印

種牛牧場長宛

注意

一 種禽種卵拂下規程第七條ニ依リ種禽ノ輸送ヲ受ケント欲スルトキハ其旨願書ニ記載スヘシ

一 種禽及種卵ヲ同時ニ拂受ケント欲スルトキハ願書ヲ各別ニ調製スヘシ

第二號様式ノ二 種卵拂下願

一第一希望

一何種 種卵 何箇

右何種ノ拂下ヲ受クルコト能ハサルトキハ次ノ種卵ヲ拂下ケラレタシ

一第二希望

一何種 種卵 何箇

前同斷

以下前項ニ準シ順次之ヲ記載スヘシ

右種禽種卵拂下規程ヲ遵守致候間御拂下相成度此段相願候也

年 月 日 住所 職業 氏 名印

種牛牧場長宛

注意

一 種禽拂下規程第七條ニヨリ種卵ノ輸送ヲ受ケムト欲スルトキハ其旨記載スヘシ

一 種禽及種卵ヲ同時ニ拂受ケムト欲スルトキハ願書ヲ各別ニ調製スヘシ

第二號様式

種禽及種卵拂下代金納付書

一何圓何拾錢也

明治何年何月第何號ヲ以テ拂下許可相成候種禽何羽(又ハ種卵何個)ノ拂下代金トシテ納付候也

年 月 日 住所 拂受人 何 某印

種牛牧場長宛

收入印紙貼付

注意

一 拂下代金納付書ハ種禽ト種卵トニ付各別ニ調製シ收入

印紙モ各別ニ貼付スヘシ

一 收入印紙ハ消印スヘカラス

第三號様式

拂下種禽(又ハ種卵)受領書

一何種 種禽雄 孵化后何箇月 何羽

一同 同 雌 同 同 同

又ハ

一何種 種卵 何箇

右正ニ受領候也

年 月 日 住所 拂受人 何 某印

種牛牧場長宛

注意

一 受領書ハ種禽ト種卵トニ付各別ニ調製スヘシ

第四號様式 託送請求書

一 種禽 何羽

又ハ 一 種卵 何個

右ハ明治何年何月第何號ヲ以テ拂下許可相成候處種禽種卵拂下規程第七條ニ依リ輸送相受度候間御所ニ於テ適當ト御認メテ運送業者ヲシテ荷造費運搬費等總テ到着拂下以テ輸送セシメラレ度此段請求致候也

年 月 日 住所 拂受人 何 某印

種牛牧場長宛

注意

一 託送請求書ハ種禽ト種卵トニ付各別ニ調製スヘシ

○種牡緬羊及種牡山羊種付料

(明治四十二年七月五日勅令第百八十一號)

種畜牧場ノ保管ニ屬スル種牡緬羊及種牡山羊ノ種付ヲ受クル者ハ種付料ヲ納付スヘシ

種付ヲ爲スヘキ種牡緬羊及種牡山羊並ニ其種付料ハ主務大臣之ヲ定ム

種付料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○種禽種卵拂下ニ關スル件

(明治四十二年七月五日農商務省告示第百三十號)

一 種禽種卵拂下規程ニ依リ差出スヘキ書類ハ月寒種畜牧場澁谷分場ニ之ヲ提出スヘシ

二 種禽ハ當分ノ内種禽種卵拂下規程第四條第一項ノ制限内ニ於テ政府ノ設立シタル學校農事試驗場道府縣、道府縣農會又ハ道府縣ノ設立シタル學校、農事試驗場、農事講習所、種畜場又ハ之ト同等以上ノ設備ヲ有スル者ニ限り之ヲ拂下ク

三 拂下クヘキ種禽及種卵ノ種類左ノ如シ

- 一 單冠褐色レグホーン 一 金色ワイアンドット
- 二 單冠白色レグホーン 一 銀色ワイアンドット
- 一 黑色ミノルカ 一 アンダルシヤン
- 二 白色ブリマスロツク 一 金色紋斑ハムバーク

一 銀色紋斑ハムバーク

一 黑色ハムバーク

一 連斑フリマスロツク

一 白色ワイアンドット

一 淡色ブラマ

一 ラングシヤン

四 拂下ケタル種禽及種卵ノ引渡ハ月寒種畜牧場澁谷分場ニ於テ之ヲ行フ

明治四十年農商務省告示第百二十七號ハ之ヲ廢止ス

○種付ヲ行フ種畜牧場及種畜ノ種類

(明治四十三年七月五日農商務省告示第百三十七號)

一 七塚原種畜牧場

種牡牛ニアシヤ種シメンタル種ブラウンスイス種

一 月寒種畜牧場

種牡牛ニアシヤ種シメンタル種ブラウンスイス種

種牡細羊シユロツプシヤ種

一 月寒種畜牧場澁谷分場

種牡豚 バークシヤ種 ヨークシヤ種

種牡山羊 ガーネン種

明治四十年農商務省告示第百十八號ハ之ヲ廢止ス

○拂下ヲ行フ種畜牧場及種畜ノ種類

(明治四十一年七月五日農商務省告示第百三十二號)

一 七原種畜牧場

種牛ニアシヤ種シメンタル種ブラウンスイス種

一 月寒種畜牧場

種牛ニアシヤ種シメンタル種ブラウンスイス種

種細羊シユロツプシヤ種サウスダウソ種

一月寒種畜場澁谷分場

種豚 バークシヤ種ヨークシヤ種

一 大分種牛所

ニアシヤ種 シンメンタル種 ブラウンスイス種

○種牛牧場牧畜練習生規程

(三十九年六月十四日官報掲載農商務省)

第一條 種牛牧場ニ於テハ牧畜練習志願者ヲシテ牛豚ノ飼養、管理畜産物ノ製造及飼料ノ栽培調製等ヲ練習セシム

牧畜練習生ノ定員ハ種牛牧場長ニ於テ隨時之ヲ定ム

第二條 牧畜練習生ハ年齢満十七歳以上三十五歳以下ノ男子ニシテ品行方正身體健全勞働ニ堪ヘ高等小學校卒業ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヨリ之ヲ採用ス

第三條 練習ノ期間ハ一ケ年トシ毎年五月一日ニ始マリ翌年四月三十日ニ終ルモノトス

前項ノ期間後ト雖モ本人ノ志望ニ依リ尙一ケ年以内練習ヲ繼續セシムルコトヲ得

第四條 牧畜練習生タラント欲スル者ハ願書ニ履歷書及醫師ノ体格検査書ヲ添ヘ毎年三月中ニ種牛牧場長ニ差出スヘシ

種牛牧場長前項願書ヲ受理シタルトキハ調査ノ上許否ヲ決スヘシ

第五條 前條ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ保証人ヲ定メ別記書式ノ保証書ヲ差出スヘシ

保証人ハ一月ヲ拂ヘ市町村長ニ於テ身元確實ナルコトヲ証明シタル成年者ニ限ル

種畜牧場

一 黑色オリーブントン

一 バブ色オリーブントン

一 淡色ブラマ

一 ラングシヤン

四 拂下ケタル種禽及種卵ノ引渡ハ月寒種畜牧場澁谷分場ニ於テ之ヲ行フ

明治四十年農商務省告示第百二十七號ハ之ヲ廢止ス

○種付ヲ行フ種畜牧場及種畜ノ種類

(明治四十三年七月五日農商務省告示第百三十七號)

一 七塚原種畜牧場

種牡牛ニアシヤ種シメンタル種ブラウンスイス種

一 月寒種畜牧場

種牡牛ニアシヤ種シメンタル種ブラウンスイス種

種牡細羊シユロツプシヤ種

一 月寒種畜牧場澁谷分場

種牡豚 バークシヤ種 ヨークシヤ種

種牡山羊 ガーネン種

明治四十年農商務省告示第百十八號ハ之ヲ廢止ス

○拂下ヲ行フ種畜牧場及種畜ノ種類

(明治四十一年七月五日農商務省告示第百三十二號)

一 七原種畜牧場

種牛ニアシヤ種シメンタル種ブラウンスイス種

一 月寒種畜牧場

種牛ニアシヤ種シメンタル種ブラウンスイス種

第六條 授業料ハ之ヲ徵收セス但シ練習ニ要スル費用ハ一切牧畜練習生ノ負擔トス

第七條 練習ニ要スル器具機械ハ種牛牧場ニ於テ之ヲ貸與ス故意又ハ重大ノ過失ニ因リ前項ノ器具機械等ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ現品又ハ代價ヲ以テ之ヲ辨償セシムヘシ

第八條 牧畜練習生ハ種牛牧場長ノ指定シタル地ニ居住シ牧場内ニ在リテハ總テ係員ノ指揮ニ從フヘシ

第九條 牧畜練習生疾病其他ノ事故ニ因リ就業スルコト能ハサルトキハ始業時刻前ニ其旨掛員ニ届出ツヘシ

第十條 牧畜練習生掛員ノ指揮命令ニ從ハス若クハ品行不正課業怠惰ニシテ改悛セサル者又ハ成業ノ見込ナキ者ハ練習生ヲ免スヘシ

第十一條 練習滿期ニ至リ其ノ業ニ習熟シタルト認ムル者ニハ練習証明狀ヲ授與ス

附則

第十二條 明治三十九年ニ於テ採用スヘキ牧畜練習生ノ願書提出期限及練習年限ハ種牛牧場長ノ定ムル所ニ依ル

(別記書式)

保証書

現住所

本籍族(戸主ナラサルトキ)

何 某

生年月

右ノ者今般貴場ニ於テ牧畜練習生タルコト御許可相成候ニ就テハ御規則堅ク爲相守可申ハ勿論本人ニ係ル一切ノ事件ハ拙

百六十一

者ニ於テ引受可申候右保証致候也

現住所
本籍族

年 月 日

保証人何

生 年 月 某

種牛牧場長宛

○種牡牛馬

○種牡馬検査法 (三十九年三月 法律第十二號)

- 第一條 牡馬ハ此ノ法律ニ依リ毎年検査ヲ受ケ合格シタルモノニ非ラサレハ種付ニ使用スルコトヲ得ス
- 第二條 検査ニ合格シタル種牡馬ニハ軀肢ノ一部ニ烙印シ其所有者ニ證明書ヲ下付スヘシ
- 第三條 證明書ノ効力ハ滿一箇年トス但地方ノ狀況ニ依リ此年限ニ據ラサルコトヲ得
- 前項期限内ト雖モ疾病其他ノ事故ニ因リ種牡馬ニ不適當ナリト認メタルトキハ証明ノ効力ヲ停止シ若ハ之ヲ取消スコトアルヘシ
- 第四條 検査ニ關スル費用ハ國庫ノ負擔トス
- 第五條 此ノ法律ハ官廳所有ノ種牡馬ニ適用セス
- 第六條 學術研究ノ爲メ牡馬ヲ種付ケニ使用セムトスル者アルトキハ地方長官ハ農商務大臣ノ認可ヲ經時ニ其ノ種付ヲ許可スルコトアルヘシ

- 第七條 検査ニ合格セサル牡馬又ハ証明ノ効力ヲ失ヒ若ハ停止セラレタル種牡馬ヲ種付ニ使用シタル者ハ貳圓以上貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第八條 種牡馬検査ノ標準及方法検査委員ヲ組織其他此ノ法律施行ノ爲メ必要ノ規程ハ農商務大臣之ヲ定ム
- 第九條 北海道廳長官府縣知事ノ具狀ニ固リ農商務大臣ハ當分ノ内島嶼ニ限リ此ノ法律ヲ施行セサルコトヲ得

附 則

- 第十條 此ノ法律施行以前ニ與ヘタル種牡馬ノ免許ハ其ノ免許期限間効力ヲ有スルモノトス
- 第十一條 此ノ法律ハ明治三十一年四月一日ヨリ施行ス

○種牡馬検査法施行規則 (三十九年十月 閣令第八號)

- 第一條 種牡馬ノ検査ヲ受ケムトスル者ハ地方長官ニ願出ツヘシ
- 但シ同一廳府縣ニ於テ前回ノ検査ニ合格シタルモノハ直ニ検査所ニ牽付検査ヲ受クルコトヲ得
- 第二條 種牡馬ノ検査ハ馬政長官二名以上ノ検査委員ヲシテ之ヲ行ハシム其ノ期日及場所ハ馬政長官ノ通告ニ依リ地方長官之ヲ告示ス
- 検査委員ハ馬政局官吏及北海道廳府縣官吏ヲ以テ組織シ馬政局官吏ニ在リテハ馬政長官北海道廳府縣官吏ニ在リテハ地方長官之ヲ命ス但シ北海道廳府縣官吏ヨリ命スヘキ検査委員ノ數ハ馬政官之ヲ定ム
- 北海道廳府縣ノ管下ニ屬スル島嶼及沖繩縣並種牡馬ノ數寡

少ニシテ馬政長官ノ特ニ指定シタル地方ニ於ケル種牡馬ノ検査ハ馬政長官前二項ノ規定ニ依ラス之ヲ行フコトヲ得

- 第二條ノ二 前條ノ検査期日經過後外國ヨリ輸入シ若ハ他府縣ヨリ牽入レタル牡馬又ハ疾病其他已ムヲ得サル事由ニ因リ検査期日ニ検査ヲ受ケサル牡馬ノ所有者又ハ管理者ハ臨時検査ヲ受クルコトヲ得但シ地方長官ヲ經テ馬政長官ニ願出テ其許可ヲ得ルコトヲ要ス
- 前項ノ臨時検査ハ馬政長官又ハ地方長官ノ命シタル検査委員之ヲ行フ其場所ハ馬政長官之ヲ指定ス

第三條 種牡馬検査ノ標準ハ左ノ如シ

- 一 年齢滿三歳以上又ハ次ノ種付期迄ニ滿三歳ニ達スヘキモノ
- 二 体格及性質善良ナルモノ
- 三 遺傳性缺点ナキモノ

馬政長官ハ地方ノ狀況ニ依リ前項各號ノ外必要ト認ムル標準ヲ定ムルコトヲ得

- 第四條 検査ニ合格シタル種牡馬ハ其前肢左蹄ニ烙印シ且第一號書式ニ依リ其所有者又ハ管理者ニ證明書ヲ下付ス
- 前項證明書ノ有効期間ハ證明書下付當時滿三歳以下ノモノニ在リテハ滿三歳ニ達スル日ヨリ起算ス
- 第四條ノ二 第一條但書ノ規定ニ依リ検査ヲ受ケントスル者ハ前回ノ検査ニ於テ下付セラレタル證明書ヲ検査員ニ差出スヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ検査ニ合格シタルモノニ付テハ證明書ニ有効期間ヲ記入シ所有者又ハ管理者ニ下付ス

第五條 證明書ノ有効區域ハ一馬政管區トス但シ馬政長官必要ト認ムルトキハ其區域ヲ限定スルコトヲ得

- 第六條 馬政長官又ハ地方長官ハ検査ニ合格シタル種牡馬ニシテ疾病其他ノ事故ニ依リ種牡馬ニ不適當ナリト認ムルモノアルトキハ其證明ノ効力ヲ停止シ又ハ之ヲ取消スコトヲ得但シ地方長官ニ於テ證明ヲ取消サムトスル場合ニハ馬政長官ノ承認ヲ受クヘシ
- 馬政長官前項ノ規定ニ依リ種牡馬證明ノ効力ヲ停止シ又ハ取消シタルトキハ其ノ旨地方長官ニ通報スヘシ

第七條 左ノ場合ニ於テハ種牡馬ノ所有者又ハ管理者ハ三十日以内ニ證明書ヲ地方長官ニ返納スヘシ

- 一 證明書ノ有効期間滿了シタルトキ
- 二 種牡馬斃死シタルトキ
- 三 種牡馬ノ用ヲ廢シタルトキ
- 四 前條ニ依リ證明ヲ取消サレタルトキ

第八條 種牡馬ノ種付ヲ爲ストキハ其所有者又ハ管理者ハ證明書ヲ携帶スヘシ

- 證明書ハ職權アル官吏又ハ此馬所有者若ハ管理者ヨリ其閱覽ヲ請求スルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス
- 第九條 證明書ノ記載事項ニ異動ヲ生シタルトキハ種牡馬ノ所有者又ハ管理者ハ地方長官ニ届出テ證明書ノ更正ヲ受ケヘシ但シ種牡馬ノ所有權ヲ移轉シタルトキハ相續又ハ遺贈ニ依ル場合ヲ除ク外讓渡人ノ連署ヲ要ス
- 證明書ヲ毀損亡失シタル場合ニ於テハ種牡馬ノ所有者又ハ管理者ハ其ノ旨地方長官ニ届出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ第

二號書式ノ證明書ヲ下付ス

第九條ノ二 第二條ノ二第二項ノ規定ニ依リ地方長官ノ命シタル検査委員ノミニ於テ検査ヲ爲シ又ハ前條第二項ノ届出ヲ受ケタル場合ニ於テハ地方長官ハ假証明書ヲ下付スルコトヲ得

第十條 種牡馬ノ所有者又ハ管理者ハ第三號書式ノ帳簿ヲ調製シ種付牝馬ノ種類名稱年齢尺毛色特徴種付年月日及其ノ所有者又ハ管理者ノ住所氏名ヲ記載スヘシ

第十一條 牝馬所有者又ハ管理者産駒ノ血統證ヲ請求スルトキハ種牡馬ノ所有者又ハ管理者ハ理由ナクシテ之カ交付ヲ拒ムコトヲ得ス

第十二條 種牡馬検査委員検査ヲ結了シタルトキハ其成績ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第十三條ノ二 地方長官ハ種牡馬表ヲ調製シ種牡馬ノ證明書番號種類名稱年齢尺毛色産地有効區域及所有者又ハ管理者ノ住所氏名ヲ管内ニ告示スヘシ其ノ異動ヲ生シ又ハ証明ノ効力ヲ停止セラレ若ハ取消サレタルトキ亦同シ

第十三條 馬政長官又ハ地方長官ハ臨時主任官吏ヲシテ種牡馬ノ狀況産駒ノ成績及第十條ノ帳簿ヲ検査セシムルコトヲ得前項ノ場合ニ於テハ種牡馬所有者又ハ管理者ハ其検査ヲ拒ムコトヲ得ス

第十四條 地方長官第十二條ノ二ノ告示ヲ爲シタルトキハ之ヲ馬政長官ニ報告スヘシ

第十五條 種牡馬ノ所有者又ハ管理者第七條第八條第九條第十條第十條第十一條及第十三條第二項ニ違反シタルトキハ

至明治 年月日	自明治 年月日	至明治 年月日	自明治 年月日
	至明治 年月日		自明治 年月日
考 備	一本證明書ハ検査及種付ノ際ニハ必ず携帯スヘシ 一前回ノ検査ニ合格シタルモノニシテ更ニ種牡馬検査ヲ受ケントスル者ハ受檢ノ際検査委員ニ本證明書ヲ差出スヘシ 一有効期間ヲ經過シ又ハ効力ヲ失ヒタル證明書ハ三十日以内ニ地方長官ニ返納スヘシ 一本證明書記載事項ニ異動ヲ生シ又ハ本證明書ヲ毀損亡失シタルトキハ地方長官ニ届出テ更正文又ハ證明書ノ下付ヲ受クヘシ		
注 意			

第二號書式 (縦五寸横七寸)

道府縣第 種牡馬證明書 號

住 所

種類名稱	年齢	体尺	毛色	特徴	種付	月	日	分	性	摘要	住所	氏名
					第一回							
					第二回							
					第三回							
					第四回							
					第五回							

科料ニ處ス

附 則

本令ハ明治四十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

種牡馬検査法施行細則ハ之ヲ廢止ス

本令旅行ノ際二年以上有効ノ證明書ヲ有スル種牡馬ハ其ノ有効期間毎年検査ヲ受クヘキモノトス正當ノ事由ナクシテ検査ヲ受ケサルトキハ證明ノ効力ヲ停止スルコトヲ得

第一號書式

縦五寸横七寸

道府縣第 種牡馬證明書 號

住 所

所有者又ハ管理者 氏 名

種類名稱

生 年 月 日

体 尺

毛 色

有 効 區 域

檢 査 地

右種牡馬タルコトヲ證明ス

明 治 年 月 日

馬 政 局

至明治 年月日	自明治 年月日	至明治 年月日	自明治 年月日
有 効 期 間	檢 査 年 月 日	檢 査 年 月 日	檢 査 委 員 氏 名 印

第三號書式

種牡馬種付簿

道府縣第 種牡馬種付簿 號

住 所

所有者又ハ管理者 氏 名

種類名稱

生 年 月 日

体 尺

産 地

種類名稱	生 年 月 日	体 尺	毛 色	有 効 區 域	有 効 期 間	檢 査 地	種 牡 馬 檢 査 法 施 行 規 則 第 九 條 二 依 リ 本 證 明 書 ヲ 下 付 ス	明 治 年 月 日	馬 政 局
------	---------	-----	-----	---------	---------	-------	---	-----------	-------

備考

摘要欄ニハ流産又ハ血統證ヲ交付シタルコト等ノ事項ヲ記入スヘシ

種牡馬検査法施行規則第四條ニ要スル烙印左記之通り

(四十年一月馬發第一二號)

可

備考
一直經四分トス
二輪廓ナシ

○種牡馬検査事務取扱手續(四十二年七月馬發第三八四號)

第一條 種牡馬検査ノ場所及期日ハ検査施行六十日前馬政長官之ヲ地方長官ニ通知ス

第二條 地方長官種牡馬検査ノ願書ヲ受理シタルトキハ其ノ出願馬匹頭數及前回ノ検査ニ合格シタル馬匹頭數ヲ検査所別トシ馬政長官ニ報告シ且第一號書式ノ名簿ニ通テ調製シ検査委員ニ交付スルモノトス

第三條 検査委員主任ヲ置キ馬政長官之ヲ命ス

第四條 種牡馬検査法施行規則第二條ニ據リ地方長官検査委員ヲ命シタルトキハ其官氏名ヲ馬政長官ニ報告スルモノトス

第五條 北海道廳府縣ノ管下ニ屬スル嶋嶼及沖繩縣並種牡馬ノ數寡少ニシテ特ニ指定シタル地方ニ於ケル検査ハ地方長官ノ命シタル検査委員ノミヲ以テ之ヲ行フコトアルヘシ

前項ノ場合ニ於テハ馬政長官豫メ地方長官ニ通知ス
第六條 種牡馬検査法施行規則第二條ノ二ニ依リ地方長官ニ於テ臨時検査ノ願書ヲ受理シタルトキハ其ノ事實ヲ調査シ

意見ヲ附シ馬政長官ニ送付スルモノトス

馬政長官前項ノ出願ヲ許可シタルトキハ検査場所ヲ指定シテ地方長官ニ通知ス但シ種馬牧場種馬所ニ於テ検査ヲ行フ場合ニハ同時ニ種馬牧場種馬所長ニ通知スヘシ

第七條 臨時検査ハ地方廳ニ牽付検査ヲ行フ場合ニハ地方長官種馬牧場又ハ種馬所ニ牽付検査ヲ行フ場合ニハ種馬牧場長又ハ種馬所長ニ於テ検査ノ日時ヲ指定スルモノトス

第八條 種牡馬検査法施行規則第五條但書ニ依リ有効區域ヲ限定スル場合ニ於ケル證明書ハ左ノ二種トス
一 地方廳管内ヲ通シ有効ナルモノ
二 一地方ヲ限り有効ナルモノ

第九條 種牡馬検査法施行規則第三條各號ノ外馬匹ノ体尺ハ四尺八寸以上トス但シ地方ノ狀況ニ依リ検査委員適宜之ヲ斟酌スルコトヲ得
第十條 検査ニ合格シタル種牡馬ニハ検査委員烙印シ證明書ヲ下付スヘシ

第十一條 證明書ハ定期検査ニ在リテハ検査委員主任臨時検査ニ在リテハ検査委員相當欄ニ記入捺印スルモノトス

第十二條 種牡馬検査法施行規則第九條ノ二ノ假證明書ハ地方廳ニ於テ適宜調製シ同規則第二號書式種牡馬證明書ノ記載事項ヲ記入スルモノトス

前項假證明書ヲ下付シタルトキハ其事由證明書ニ記載スヘキ事項及假證明書下付ノ年月日ヲ報告シ本證明書ノ送付ヲ

受クルモノトス

第十三條 検査委員検査ヲ結了シタルトキハ第二號書式ニ第三第四第五第六第七號書式ノ書類ヲ添へ馬政長官ニ第二號書式ニ第三號書式ノ書類及第一號書式名簿ニ相當記入シタ

ルモノヲ添へ地方長官ニ報告スヘシ

第十四條 種牡馬検査法及同施行規則ニ違反シ處罰ヲ受ケタル者アルトキハ地方長官ハ其旨馬政長官ニ報告スルモノトス
書式第一號 (地方長官)(検査委員)

種 牡 馬 檢 査 名 簿

何 郡 何 町

種 類	名 稱	生 年 月 体 尺	毛 色	産 地	特 徴	血 統		前 年 檢 査 成 績	今 回 檢 査 成 績	摘 要	所 有 者 (管 理 者)	
						父 母 名 稱	母 父 血 統 別				郡 市 町 村	氏 名
何	何々	四二五	鹿	岩手縣	何々	何(ア)	國 有				何 町 村	何 某
何	何々	四二六	星 栗	北 海 道	何々	何(ア)	民 有				何 町 村	何 某
計	何々	三六	青	何縣	何々	何(ア)					何 町 村	何 某

(書朱)

備 考

名簿ノ調製ハ検査所別トシテ各町村毎ニ取纏メ列記シ末尾ニ若干ノ餘白ヲ存スヘシ

- 二 前回ノ検査ニ合格シタルモノハ朱書シテ列記スルコト
- 三 父母名稱ノ下ニ種類ノ詳記ヲ爲スヘシ但トロッター種ハ(ト)アングロノルマン種ハ(ア)ノ如ク略記スルコトヲ得
- 四 馬政局保管馬匹ヲ國有トシ其他ノ所有馬匹ヲ民有トシテ區分ス
- 五 検査成績ノ欄ニハ有効區域甲(馬政管區)乙(一地方廳管區)丙(一地方)ノ區分並証明書番號ヲ記載スルモノトス
- 六 摘要欄ニハ検査委員ニ於テ不參不合格或ハ馬格ノ摘要其他検査上所要ノ事項ヲ記入スルモノトス

書式第二號 (馬政長官(地方長官))

種牡馬検査成績報告

年月日 種牡馬検査委員官 氏 名印
主任官 氏 名印

馬政長官(地方長官)宛
何道府縣下(郡市)種牡馬検査終了ニ付別紙附表何通相
添左記ノ通り及報告候也

- 一 種牡馬一般ノ資格
- 二 飼養管理其他馬匹取扱ノ景況
- 三 不合格ノ原因
- 四 馬産推移變遷ノ狀況
- 五 將來ニ對スル意見検査日割ノ變更種牡馬充用上注
意スヘキ要點其他馬政上參考トナルヘキ事項

書式第三號 (馬政長官(地方長官))

種牡馬検査成績一覽表

村 郡 町 名	月 日	検査出願頭數	不參頭數	検査種牡馬系統別頭數	合格頭數			不合格頭數			
					甲	乙	丙	計	不詳	民有	國有
計											

書式第五號 (馬政長官)

検査馬匹種類別表

種 洋 種	種 類 等 級	甲 合格頭數	乙 合格頭數	丙 合格頭數	不合格頭數	備 考	總 計			不 合 格			格 丙						
							計	不詳	民有	國有	計	不詳	民有	國有	計	不詳	民有	國有	
サラブレット種																			
アラブ種																			
トロッター種																			
何々種																			
計																			

書式第四號 (馬政長官)

種牡馬検査成績前年比較表

村 郡 町 名	月 日	合 計	甲			乙			初回以上計	本年頭數	前年比較	備考
			計	不詳	民有	國有	計	不詳				
計												

書式第六號 (馬政長官)

検査馬匹体尺別表

考 備	合 計	体 尺 等 級						甲 合格頭數	乙 合格頭數	丙 合格頭數	不合格頭數
		五尺五寸以上	五尺四寸以上	五尺三寸以上	五尺二寸以上	五尺一寸以上	四尺九寸以上				

書式第六號 (馬政長官)

検査馬匹体尺別表

考 備	合 計	体 尺 等 級						甲 合格頭數	乙 合格頭數	丙 合格頭數	不合格頭數
		五尺五寸以上	五尺四寸以上	五尺三寸以上	五尺二寸以上	五尺一寸以上	四尺九寸以上				

第六條 左ノ場合ニ於テハ種牡牛ノ所有者又ハ管理者ハ三十日以内ニ証明書ヲ地方長官ニ返納スヘシ

- 一 証明書ノ有効期間満了シタルトキ
- 一 種牡牛斃死シタルトキ
- 一 種牡牛ノ用ヲ廢シタルトキ

トキ

第七條 種牡牛ノ種付ヲ爲ストキハ其ノ所有者又ハ管理者ハ証明書ヲ携帶スヘシ

証明書ハ當該官吏又ハ種付ヲ受ケントスル牝牛ノ所有者若

ハ管理者ヨリ其ノ閱覽ヲ請求スルハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第八條 種牡牛ノ所有者又ハ管理者ニ異動ヲ生シ又ハ其住所氏名ヲ變更シタル場合ニ於テハ種牡牛ノ所有者又ハ管理者

ハ地方長官ニ届出テ証明書ノ書換ヲ受クヘシ但シ種牡牛ノ所有者ニ異動アリタルトキハ讓渡人ノ連署ヲ要ス

証明書ヲ毀損又ハ滅失シタルトキハ種牡牛ノ所有者又ハ管理者ハ之ヲ地方長官ニ届出テ其再渡ヲ受クヘシ但シ毀損ニ

因リ再渡ヲ受クル場合ニハ原証明書ヲ返納スヘシ

第九條 種牡牛ノ所有者又ハ管理者ハ帳簿ヲ調製シ種付ケラ

受ケタル牝牛ノ種類年齢毛色高サ特徴種付ケ年月日及其ノ所有者又ハ管理者ノ住所氏名ヲ記載スヘシ

第十條 牝牛ノ所有者又ハ管理者ニ於テ其仔牛ノ血統証ヲ請求スルトキハ種牡牛ノ所有者又ハ管理者ハ正當ノ事由ナク

シテ之カ交付ヲ拒ムコトヲ得ス

第十一條 地方長官ハ証明書ヲ下付シタル種牡牛ニ付其ノ種

類年齢毛色高サ及所有者又ハ管理者ノ住所氏名ヲ管内ニ告示スヘシ第六條第一號乃至第四號ノ場合又ハ第八條ニ依リ証明書ヲ書換又ハ再渡シタル場合亦同シ

第十二條 地方長官ハ當該官吏ヲシテ種牡牛ノ狀況仔牛ノ成績及第十條ノ帳簿ヲ調査セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ種牡牛及仔牛ノ所有者又ハ管理者ハ其ノ調査ヲ拒ムコトヲ得ス

第十三條 地方長官ハ第二條第一項又ハ前條ニ依リ行ヒタル

調査又ハ調査ノ成績及狀況ヲ検査又ハ調査ヲ終了シタル日ヨリ三十日以内ニ農商務大臣ニ報告スヘシ

但シ検査成績報告ハ別記様式ニ依ルヘシ

第十四條 第六條第七條第二項第八條乃至第十條又ハ第十二條第二項ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

附 則

本則ハ明治四十年七月一日ヨリ施行ス

(別記様式)

縦四寸 横五寸五分

第 種 號

種牡牛証明書

所有者(管理者アルトキ) 住所氏名

一 種 類 名 號

一年 齡

一 高 サ

一 毛 色 及 特 徵

右種牡牛タルコトヲ証明ス

年 月 場 所	検査出願頭數	検査合格		検査不合格頭數	不 參 取 消 頭 數
		計	計		

年 月 日 道 府 縣

検査年月日 及有効期間 検査氏名 印章

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

種牡牛検査成績報告書ノ一

○種 牡 牛 表 (一)

(明治四十三年自十一月二十七日起定期検査)

名 號	種 類	生 年 月	毛 色	高 サ	住 所	所 有 者	(管 理 者) 氏 名
富 士	ホルスタイン	四十一年二月	白赤	四尺三寸	吉城市阿曾布村	植村甚四郎	
東	同	四十一年一月	黑白	四尺三寸五分	同 河合村	松井元之助	
ソフィアス	エーアシャ	三十九年三月	赤白	四尺二寸八分	同 上寶村	(縣有) 小池松太郎	

- 一 種牡牛検査員ノ官職職業氏名
- 二 不合格ノ事由
- 三 検査ノ狀況
- 四 種牡牛ニ關スル一般ノ狀況

種牡牛検査成績報告書ノ二

合格種牡牛種類	名 號	生 年 月	高 サ	毛 色	血 統	産 地	畜 養 所 有 者 氏 名
何々種	何々	何年何月何日	何寸	何色	何々	何々	何々

備考

合格種牡牛欄中外國種ハ單ニ外國種ト記載セスシテ其種類名ヲ記載シ雜種ハ凡テ種牡牛ノ種名ヲ冠スルヲ要ス

第三號	內國	勝軍	三十二年三月生	五尺一寸	枋栗毛	下總御	同	同	同	堀彌一
第四號	ナラブレット	武浪	三十三年三月生	五尺	栗毛	料山御	同	同	同	伊藤金八
第七號	洋内國	江花	三十三年三月生	五尺一寸	鹿毛	岐阜縣	同	同	同	深谷國太郎
第二號	洋内國	早月	四十年六月生	四尺六寸	栗毛	岐阜縣	同	同	同	二村磯市郎
第八號	雜	紅越	三十九年五月生	五尺一寸	枋栗毛	同	同	同	同	日下部平藏
第八四號	雜	溪勝	三十八年五月生	四尺九寸	鹿毛	福島縣	同	同	同	高橋廣吉
第一七號	洋内國	清越	三十三年七月生	五尺一寸	枋栗毛	青森縣	同	同	同	吉田萬次郎
第五號	雜	清崎	四十一年四月生	五尺	同	岐阜縣	同	同	同	江崎藤右衛門
第四四號	雜	玉山	三十九年四月生	五尺	鹿毛	岩手縣	同	同	同	岐阜縣種畜場
第一八號	雜	小松	三十五年六月生	五尺	同	青森縣	同	同	同	橋本直右衛門
第六號	同	日乃出	四十年二月生	四尺六寸	栗毛	岐阜縣	同	同	同	奥原藤太郎
第二五號	雜	音羽	三十七年六月生	五尺二寸	鹿毛	青森縣	同	同	同	岐阜縣種畜場
第一六號	雜	山櫻	四十年三月生	四尺八寸	同	岩手縣	同	同	同	原助次郎
第二五號	雜	高根	三十一年九月生	四尺八寸	同	同	同	同	同	同
第一九號	雜	盛岡	三十五年五月生	五尺五分	同	同	同	同	同	同
第九號	同	盛山	三十四年五月生	四尺八寸	同	奥州	同	同	同	塚中源右衛門
第三四號	ナラブレット	灘見	四十年三月生	五尺二寸	同	岐阜縣	同	同	同	三井直康
第四二號	雜	晚翠	三十九年九月生	五尺二寸	同	青森縣	同	同	同	同

第四三號	雜	珠瀧	三十九年四月生	五尺	同	岩手縣	同	同	同	同
第一二號	內國	應坂	四十一年五月生	四尺八寸	同	岐阜縣	同	同	同	坂井與九郎
第一〇號	雜	吉川	三十九年九月生	四尺八寸	同	岩手縣	同	同	同	鈴木彌七郎
第一一號	雜	三里	四十年五月生	四尺八寸	同	青森縣	同	同	同	岐阜縣種畜場
第一四號	雜	福泉	四十一年四月生	四尺八寸	同	岩手縣	同	同	同	同
第一〇號	雜	福山	四十一年三月生	四尺九寸	同	同	同	同	同	同
第二二號	同	福田	四十年四月生	四尺九寸	栗毛	同	同	同	同	同
第三三號	同	盛野	四十一年三月生	五尺	同	同	同	同	同	同
第五五號	雜	盛好	四十一年三月生	五尺	同	同	同	同	同	同
第五五號	雜	盛川	四十年四月生	五尺三分	鹿毛	同	同	同	同	同
第五七號	雜	盛谷	四十一年三月生	五尺一寸	栗毛	同	同	同	同	同
第五九號	雜	盛山	四十一年四月生	五尺	同	同	同	同	同	同
第六三號	雜	盛本	四十年五月生	五尺	同	同	同	同	同	同
第二六號	同	寒月	三十八年二月生	五尺三寸	鹿毛	青森縣	同	同	同	同
第二七號	雜	大日	三十六年五月生	四尺九寸	鹿毛	同	同	同	同	同
第二九號	雜	松島	三十七年五月生	五尺二寸	黑鹿毛	青森縣	同	同	同	同
第三二號	雜	大星	三十八年三月生	五尺	栗毛	岩手縣	同	同	同	同
第三三號	同	天瀑	三十八年三月生	四尺九寸	同	青森縣	同	同	同	同

第三三號	雜	ト	ロツタ	種	一	大島	三十九年生	五尺一寸	同	同	岐阜縣	同	同
第三四號	同					芳柳	三十九年生	四尺八分	同	同	同	同	同
第三五號	同					宮古	三十九年生	五尺一寸	同	同	同	同	同
第三六號	雜	ア	ングロアラ	種	一	清風	三十九年六月生	五尺二分	同	同	政管區	同	同
第三七號	同					不二	三十九年五月生	五尺一寸	同	同	岐阜縣	同	同
第三九號	雜	ハ	クニ	種	一	大迫	三十八年三月生	五尺一寸	同	同	同	同	同
第四〇號	雜	ア	ングロアラ	種	一	夕ヶ瀬	三十九年五月生	五尺	同	同	同	同	同
第四一號	雜	ア	ングロノルマン	種	一	吉濱	三十九年四月生	五尺三分	同	同	同	同	同
第四六號	雜			種		三樹野	三十九年五月生	五尺	同	同	政管區	同	同
第四七號	同					舞鶴	四十年三月生	四尺九寸	同	同	同	同	同
第四八號	雜	ト	ロツタ	種	一	西越	四十年三月生	四尺九寸	同	同	政管區	同	同
第四九號	同					日ノ戸	三十九年四月生	五尺	同	同	同	同	同
第五〇號	雜	サ	ラブレ	種	ト	和賀	三十八年三月生	五尺	同	同	同	同	同
第五一號	雜			種		瀧澤	四十年四月生	四尺八分	同	同	政管區	同	同
第五二號	雜	ア	ングロアラ	種	一	松風	四十年三月生	五尺	同	同	同	同	同
第五三號	洋	ア	ングロアラ	種	一	秀逸	四十年三月生	四尺八分	同	同	同	同	同
第五四號	雜	ハ	クニ	種	一	岩手	四十年四月生	五尺五分	同	同	同	同	同
第五六號	雜	サ	ラブレ	種	ト	飛燕	四十年三月生	五尺	同	同	同	同	同

○獸醫蹄鐵工

○獸醫免許規則(二十三年八月)

- 第一條 獸醫ノ開業ハ農商務大臣ヨリ獸醫免許ヲ受ケタル者ニ限ル
- 第二條 獸醫免許狀ヲ受クルコトヲ得ル者左ノ如シ
 - 一 獸醫免許試験ニ合格シ其證書ヲ有スル者
 - 一 官立府縣立ノ獸醫學校若ハ農學校ニ於テ獸醫學ヲ專修シ其卒業證書ヲ有スル者
 - 一 公立又ハ私立學校ニ於テ農商務大臣ノ認可シタル學則ニ依リ獸醫學ヲ專修シ其卒業證書ヲ有スル者
 - 一 外國ニ於テ官立府縣立ノ獸醫學校若ハ農學校ト同等以上ノ學則ニ依リ獸醫學ヲ專修シ其ノ卒業證書ヲ有スル者

第五八號	雜			種		宮古	三十五年四月生	五尺一寸	鹿毛	同	同	同	同	
第六〇號	同					友千代	三十四年六月生	四尺八寸	同	同	岐阜縣	同	同	同上郡 八幡町
第六一號	和			種		乙原	三十二年五月生	四尺七寸	同	同	同	同	同	同上郡 田口宮吉
第四五號	雜			種		華山	三十八年二月生	五尺	栗毛	同	同	同	同	同上郡 岐阜縣種畜場
第六二號	種	ア	ングロアラ	種	一	村雨	四十年五月生	四尺八寸	鹿毛	同	岐阜縣	同	同	同上郡 加藤金太夫
第三〇號	雜	ト	ロツタ	種	一	綠島	三十八年二月生	五尺一寸	同	同	岩手縣	同	同	同上郡 岐阜縣種畜場
第六八號	雜			種		日吉	三十八年四月生	五尺一寸	同	同	福島縣	同	同	同上郡 若原五太郎

- 第三條 第二條ノ資格ヲ有スル者ニシテ獸醫免許狀ヲ受ケント欲スルトキハ試験及第證書又ハ卒業證書ノ寫ヲ添ヘ地方廳ヲ經由シテ農務大臣ニ出願スヘシ
- 第四條 獸醫免許狀ヲ受ケタル者ノ氏名本籍ハ農務省ノ獸醫籍ニ登錄シ之ヲ公告スヘシ
- 第五條 獸醫廢業シタルトキハ本人ヨリ死亡シタルトキハ其ノ遺族又ハ親戚ヨリ三十日以内ニ地方廳ヲ經由シテ其ノ免狀ヲ農務省ニ返納スヘシ
- 第六條 獸醫免許狀ヲ受ケタル者ハ其免狀下付ノトキ手数料トシテ金壹圓ヲ納ムヘシ
- 第七條 獸醫免許狀ヲ毀損亡失シ若ハ氏名本籍ヲ變換シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ地方廳ヲ經由シテ免狀ノ書換ヲ農務大臣ニ出願スヘシ
- 書換ノ免狀ヲ受ケタル者ハ免狀下付ノトキ手数料トシテ金五

拾錢ヲ納ムヘシ

第八條 獸醫業ニ關シ犯罪若ハ不正ノ行為アリタルトキハ農商務大臣ハ情狀ヲ參酌シ五日以上五十日以下ノ範圍内ニ於テ其業ヲ停止シ情狀ノ最モ重キモノハ之ヲ禁止スルコトアルヘシ

禁止ノ處分ヲ受ケタル者ハ十日以内ニ地方廳ヲ經由シテ獸醫免狀ヲ農商務省ニ返納スヘシ

第九條 第八條ノ禁止ノ處分ヲ爲シタル者ト雖モ三年ヲ經過シタル後情狀ニ依リ其禁止ヲ解クコトアルヘシ

禁止ヲ解カレタル者ニシテ再ヒ獸醫免狀ヲ受ケント欲スル者ハ第三條及第六條ニ依ルヘシ

第十條 免狀ヲ受ケスシテ獸醫ノ業ヲ爲シタル者ハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條 獸醫業停止中具ノ業ヲ爲シタル者ハ貳圓以上貳拾五圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 獸醫正當ノ事由ナクシテ其ノ業ニ關シ他人ノ依頼ヲ拒ミタルトキハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第十三條 獸醫免許試驗規則ハ農商務大臣之ヲ定ム

第十四條 獸醫ニ乏シキ地ニ於テハ當分ノ内北海道廳長官府縣知事ノ具狀ニ依リ農商務大臣ハ第二條ノ資格ナキ者ト雖モ出願者ノ履歷ニ依リ營業區域及年限ヲ定メ獸醫假免狀ヲ授與スルコトアルヘシ

第十五條 第十四條ニ依リ獸醫假免狀ヲ受ケタル者ニモ亦此ノ規則ヲ適用ス

第十六條 明治十六年第十七號布達獸醫開業試驗規則其ノ他此ノ法律ニ抵觸スル規定ハ總テ廢止ス

○獸醫假免許手續 (二十三年九月農商務省訓令第四四號)

明治二十三年八月法律第七六號獸醫免許規則第十四條ノ獸醫假免許手續左ノ條項ニ依リ取扱フヘシ
但明治十九年十一月十二號省訓令第二十一號假開業獸醫免許手續ハ廢止ス

第一條 獸醫假免狀ノ下付ヲ願出ル者アルトキハ左ノ事項ヲ取調本人ノ願書及履歷書ヲ添へ具狀スヘシ

一 營業區域ノ廣袤及地勢ノ險夷
一 區域内牛馬ノ頭數
一 營業年限

一 出願區域中他ニ開業者ノ有無若シ之アルトキハ其資格
一 現ニ開業者アル隣接營業區域トノ距離及牛馬交通ノ難易

一 繼續出願ノモノニ在リテハ從來假免許開業中ノ成績及本人性行ノ概畧

一 特ニ假免許開業者ヲ置クヲ要スル理由
一 出願者ノ技能其他假免許ヲ與フルノ當否ニ關スル意見

○獸醫假免狀出願細則 (二十三年九月農商務省訓令第四五號)

第一條 獸醫ニ乏シキ地ニシテ假免狀ノ下付ヲ出願スル者ハ別記書式ノ願書ニ履歷書ヲ添へ郡市役所ヲ經テ本縣ヘ差出スヘシ

一 營業區域ノ廣袤及地勢ノ險夷
一 區域内牛馬ノ頭數
一 營業年限

一 出願區域中他ニ開業者ノ有無若シ之アルトキハ其ノ資格
一 現ニ開業者アル隣接營業區域トノ距離及牛馬交通ノ難易

一 繼續出願ノモノニ至リテハ從來假免許開業中ノ成績
一 本人性行ノ概略並前科ノ有無有ルモノハ其ノ刑名刑期

一 特ニ假免許開業者ヲ置クヲ要スル理由
一 出願者ノ技能其他假免許ヲ與フルノ當否ニ關スル意見

○蹄鐵工免許規則 (二十三年四月三日法律第三一號)

第一條 蹄鐵工ハ農商務大臣ヨリ蹄鐵工免狀ヲ受ケタル者ニ限ル
蹄鐵工トハ他人ノ依頼ニ應シ蹄鐵ヲ裝シ又ハ蹄ヲ剪ルヲ以テ其ノ業ト爲スモノヲ謂フ

第二條 蹄鐵工免狀ヲ受ケタルコトヲ得ル者左ノ如シ
一 蹄鐵工免許試驗ニ合格シ其及第證書ヲ有スル者
一 官立府縣立ノ農學校若ハ獸醫學校又ハ陸軍部内ニ於テ蹄鐵學又ハ蹄鐵學ヲ專修シ其ノ卒業證書ヲ有スル者

一 公立又ハ私立學校ニ於テ農商務大臣ノ認可シタル學則ニ依リ蹄鐵學又ハ蹄鐵學ヲ專修シ其ノ卒業證書ヲ有スル者

一 外國ニ於テ官立府縣立ノ農學校若クハ獸醫學校利同等以上ノ學則ニ依リ蹄鐵學又ハ蹄鐵學ヲ專修シ其卒業證書

第二條 假獸醫ハ一區域ニ一人ヲ限ルヘシ
第三條 假獸醫營業ノ免許年限ハ滿二年以内トス
第四條 假獸醫ハ免許區域外ニ出テ獸畜ノ治療ヲ爲スヲ得ス
ト雖モ其免許區域内ニ牽來リタルモノハ之ヲ爲スコトヲ得
第五條 假獸醫ニシテ免許ノ有効期限ヲ經過シタルトキハ郡市役所ヲ經テ該免狀ヲ本縣ヘ返納スヘシ

(料紙美濃紙)
獸醫假開業免狀下付願

住所 (寄留ナレハ本籍)
族 籍 氏 名 年 月 生 年 月 日 右

農商務大臣宛
○獸醫蹄鐵工假免狀出願ニ關スル調
查ノ件 (四十二年八月)
縣訓令第四三號

獸醫又ハ蹄鐵工ノ假免狀下付ヲ出願スル者アルトキハ左記事項ヲ取調本人ノ願書及履歷書ヲ添へ副申スヘシ

一 營業區域

獸醫蹄鐵工

- 一 有スル者
- 一 獸醫開業免狀ヲ有スル者但獸醫假開業免狀ヲ有スル者ヲ除ク
- 第三條 第二條ノ資格ヲ有スル者ニシテ蹄鐵工免狀ヲ受ケント欲スルトキハ試験及第證書又ハ卒業證書若クハ獸醫開業免狀ノ寫ヲ添ヘ地方廳ヲ經由シテ農商務大臣ニ出願スヘシ
- 第四條 蹄鐵工免狀ヲ受ケタル者ノ氏名本籍ハ農商務省ノ蹄鐵工籍ニ登錄シテ之ヲ公告スヘシ
- 第五條 蹄鐵工廢業シタルトキハ本人ヨリ死亡シタルトキハ其ノ遺族又ハ親戚ヨリ三十日以内ニ地方廳ヲ經由シテ其ノ免狀ヲ農商務省ニ返納スヘシ
- 第六條 蹄鐵工免狀ヲ受ケル者ハ其ノ免狀下付ノトキ手数料トシテ金壹圓ヲ納ムヘシ
- 第七條 蹄鐵工免狀ヲ毀損亡失シ若クハ氏名本籍ヲ變換シタルトキハ其事由ヲ記シ地方廳ヲ經由シテ免狀ノ書換ヲ農商務大臣ニ出願スヘシ
- 書換ノ免狀ヲ受ケル者ハ免狀下付ノトキ手数料トシテ金五拾錢ヲ納ムヘシ
- 第八條 蹄鐵工ハ正當ノ事由ナクシテ其ノ業ニ關シ他人ノ依頼ヲ拒ムコトヲ得ス
- 第九條 免狀ヲ受ケスシテ蹄鐵工ノ業ヲ爲シタル者ハ貳圓以上貳拾五圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第十條 第八條ヲ犯シタル者ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ罰金ニ處ス
- 第十一條 蹄鐵工免狀試驗規則ハ農商務大臣之ヲ定ム

附 則

- 第十二條 蹄鐵工ニ乏シキ地ニ於テハ當分ノ内北海道廳長官府縣知事ノ具狀ニ依リ農商務大臣ハ第二條ノ資格ナキ者ト雖モ出願者ノ履歷ニ依リ營業區域及年限ヲ定メ蹄鐵工假免狀ヲ授與スルコトアルヘシ
 - 第十三條 第十二條ニ依リ蹄鐵工假免狀ヲ受ケタルモノニモ亦此ノ規則ヲ適用ス
 - 第十四條 此ノ規則施行以前免許ヲ受ケタル獸醫ニシテ蹄鐵工ヲ兼ネント欲スル者ハ第三條ニ依リ蹄鐵工免狀ノ下付ヲ農商務大臣ニ出願スヘシ其免狀ヲ受ケル者ハ第六條ノ手数料ヲ要セス
 - 第十五條 此ノ規則ハ明治二十三年十月一日ヨリ施行ス
- 蹄鐵工假免許手續(二十三年七月)
農商務省訓令第三十八號
- 明治二十三年法律第三十一號蹄鐵工免許規則第十二條ニ據リ蹄鐵工假免狀ノ下付ヲ出願スル者アルトキハ左ノ手續ニ依リ取扱フヘシ
- 第一條 蹄鐵工假免狀ノ下付ヲ出願スル者アルトキハ蹄鐵工ニ乏シキ地ニ限リ左ノ事項ヲ取調本人ノ願書及履歷書ヲ添ヘ具狀スヘシ
 - 一 區域廣袤地勢及馬匹頭數
 - 一 營業年限
 - 一 出願區域中他ニ開業者ノ有無若シ之アルトキハ其ノ資格
 - 一 現ニ開業者アル隣接營業區域トノ距離及牛馬交通ノ難易

- 一 繼續出願ノモノニ在リテハ從來假免許開業中ノ成績及本人性行ノ概畧
- 一 特ニ假免許開業者ヲ置クヲ要スル理由
- 一 出願者ノ技能其他假免許ヲ與フルノ當否ニ關スル意見
- 第二條 假免狀下付ノ出願ニ係ル細則ハ北海道廳長官府縣知事之ヲ定ムヘシ

○蹄鐵工假免狀出願細則(二十三年八月廿八日)
縣令第四三號

- 第一條 蹄鐵工ニ乏シキ地ニシテ假免狀ノ下付ヲ出願スル者ハ別記書式ノ願書ニ履歷書ヲ添ヘ郡市役所ヲ經テ本縣ヘ差出スヘシ
- 第二條 假蹄鐵工ハ一區域一人ヲ限ルヘシ
- 第三條 假蹄鐵工營業ノ免許年限ハ滿二年以内トス
- 第四條 假蹄鐵工ハ免許區域外ニ出テ蹄鐵ヲ裝シ又ハ蹄ヲ剪ルヲ爲スヲ得スト雖モ其免許區域内ニ牽來リタルモノハ之ヲ爲スコトヲ得
- 第五條 假蹄鐵工ニシテ免狀ノ有効期限ヲ經過シタルトキハ郡市役所ヲ經テ該免狀ヲ本縣ヘ返納スヘシ

蹄鐵工假免狀下附願
住所(寄留ナレハ本籍ヲ併記スヘシ)
族 籍
氏 名
年 月 生

私儀何國何市何町何番戶ニ於テ蹄鐵工營業仕度候間蹄鐵工假

獸醫 蹄鐵工

免狀御下附被成下度別紙履歷書相添此段奉願候也

年 月 日
氏 名 名印
町長 氏 名印

農商務大臣宛

○開業獸醫轉居ノトキ届出方(二十二年十月二十日)

農商務省告示第一五號
開業獸醫(假開業獸醫ヲ除ク)ニシテ明治二十二年十二月一日以降轉居セシ者ハ其ノ都度直ニ當省農務局ニ届出ツヘシ

○獸醫蹄鐵工轉居届出方(二十七年二月二十日)
農商務省告示第二七號

獸醫蹄鐵工ニシテ他府縣管内ヨリ本縣管内ニ轉居開業シ又ハ從來本縣管内ニテ開業ノモノ轉居セントスルトキハ其旨直ニ縣廳ヘ届出ツヘシ

○獸醫蹄鐵工免許試驗規則(二十七年十二月)
農商務省令第一四號

- 第一條 獸醫蹄鐵工免許試驗ハ本則ニ依リ之ヲ行フ
- 第二條 獸醫免許試驗ノ科目左ノ如シ
- 一 家畜解剖學
- 二 家畜生理學
- 三 家畜藥物學
- 四 家畜內科學 家畜傳染病論ヲ含ム
- 五 家畜外科學 眼科學及產科學ヲ含ム
- 六 獸醫警察學 家畜衛生學ヲ含ム

- 七 畜産學
- 八 臨床診斷及外科手術
- 九 蹄鐵學及其他實地應用

- 一 蹄鐵學
- 二 裝飾判斷
- 三 造鐵、裝鐵、及削蹄

第三條 獸醫免許試験ハ前條第一項第一號乃至第七號ニ付テハ筆記試験第八號ニ付テハ實地試験第九號ニ付テハ筆記試験及實地試験ヲ行フ蹄鐵工免許試験ハ前條第二項第一號ニ付テハ筆記試験第三號ニ付テハ實地試験ヲ行フ
 獸醫免許試験ニ在リテハ筆記試験、蹄鐵工免許試験ニ在リテハ筆記試験又ハ口述試験ニ合格セサル者ハ實地試験ヲ受クルコトヲ得ス

第四條 試験ハ毎年一回之ヲ行ヒ其場所及期日ハ豫メ之ヲ告示ス

第五條 農商務大臣ハ試験主事及委員ヲ選任シテ試験ヲ行ハシム

第六條 試験ヲ受ケムトスル者ハ左記ノ書式ニ依リ願書ヲ造リ履歷書ヲ添ヘ試験期日卅日前迄ニ農商務大臣ニ差出スベシ

第七條 獸醫免許試験ヲ受ケムトスル者ハ手数料トシテ金貳圓ヲ蹄鐵工免許試験ヲ受ケムトスル者ハ手数料トシテ金壹圓ヲ納ムヘシ

前項手数料ハ其金額ニ相當スル收入印紙ヲ願書ニ貼付シテ納付スヘシ

農商務大臣宛

○獸醫ノ業務停禁ニ關スル件(三十五年十二月十日農務局長通牒)

發第七六三號

獸醫業務上ニ關シ犯罪又ハ不正ノ行為アリ獸醫免許規則第八條ニ該當スル場合ニ於テ之カ行政處分ヲ稟議セラル、ニ當リ事實ノ證明トシテ司法警察官等ノ申報書ヲ添付セラル、向有之候處營業ノ停止又ハ禁止等ノ如キハ營業ノ自由及名譽ニ關スル重要ノ件ナルニ依リ自今右稟議ノ際ニハ確定判決等アルトキノ外本人ヲシテ始末書ヲ提出セシメ若クハ警察官ニ於テ本人ヲ取調タル場合ニハ口供書ヲ調製シ之ヲ添付セラル、様致度此段及御通牒候也

○仮免許獸醫蹄鐵工ノ件(四十二年六月二日農務局長通牒)

農發第一一七號

明治二十三年法律第七十六號獸醫免許規則第十四條及同二十三年法律第三十一號蹄鐵工免許規則第十二條ニヨリ獸醫蹄鐵工仮免狀ノ授與ハ獸醫、蹄鐵工ニ乏シキ地ニ於テ營業者ノ不便ヲ來サ、ラシメンカ爲出願者ノ履歷ヲ斟酌シ當分ノ内特ニ認許セラル、コトニ相成居候處今ヤ畜産ノ業逐年勃興ノ機運ニ向ヒ該則發布ノ當時ニ於ケル状態トハ大ニ趣ヲ異ニスルモソアルノミナラス獸醫ノ學蹄鐵ノ術亦著シク進歩シ各種病原菌ノ開明ハ勿論瘟疫ニ對スル數多ノ診斷液並ニ豫防血清ノ發明及應用蹄鐵學ノ研究等舊時ニ比シ固ヨリ同一ノ論ニアラサルカ爲自然獸醫蹄鐵工ノ程度モ之ニ伴ヒ稍高メサルヲ得サル

願書ヲ收受シタルトキハ當該官吏ハ其ノ適法ナルコトヲ認メタル後願書ノ紙面ト貼付印紙ノ彩紋トニ掛ケ黒肉ヲ用ヒテ消印ヲ捺捺スヘシ但シ納付者ニ於テ消印ヲ捺捺シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

既納ノ手数料及其ノ過剩額ハ之ヲ還付セス
 第八條 受験者ハ試験期日ノ一日前迄ニ受験地ニ到達シ其ノ宿所ヲ東京ニ在リテハ農商務省ニ他ノ地方ニ在リテハ其地方廳ニ届出ツヘシ

第九條 試験ニ合格シタル者ニハ試験主事ヨリ合格證書ヲ附與ス

第十條 不正ノ方法ヲ以テ合格シタルトキハ合格ノ効ナキモノトス

附則

明治二十三年農商務省令第六號蹄鐵工免許試験規則及同年農商務省令第十一號獸醫免許試験規則ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

願書式

獸醫(蹄鐵工)免許試験願

住所(寄留者ハ本籍ヲ併記スヘシ)

身分 職業

氏名

年月生

私儀第何回何地獸醫(蹄鐵工)免許試験相受度別紙履歷書ヲ添ヘ此段相願候也

年月日 右

氏名印

場合ニ會シ居リ候ニモ不拘兎角仮免許出願者中ニハ頗ル不完全ナル履歷ヲ有シ斯業ノ進歩ニ隨伴セサルモノ少ナカラサル有様ニ有之候然ルニ現下官公立農學校及畜産學校等ヨリ毎歲系統的教育ヲ受ケタル獸醫科卒業生輩出シ又一面ニ於テ獸醫、蹄鐵工免許試験ニ合格シ該證書ヲ有スルモノ其他陸軍部内ニ於ケル蹄鐵術卒業者等甚タ多數有之候條向後獸醫蹄鐵工ノ乏シキ地方ハ可成之等卒業生ヲ以テ補充セシメラレ候様致度從テ右假免許出願者ニ對シテモ亦タ其ノ履歷人格等十分御取調相成畜産獎勵上遺憾ナカラシメラレ度依命此段及通牒候也
 追テ別紙獸醫、蹄鐵工ニ關スル最近統計表爲御參考添付候也

○獸醫、蹄鐵工假免狀下付副申ニ關スル件(四十二年六月四日第七六三號內務部部長通牒)

關スル件

明治廿三年法律第七十六號獸醫免許規則第十四條及同年法律第三十一號蹄鐵工免許規則第十二條ニ依リ獸醫蹄鐵工仮免狀ノ授與ニ就テハ獸醫蹄鐵工ニ乏シキ地ニ於テ營業者ノ不便ヲ來サ、ラシメンカ爲出願者ノ履歷ヲ斟酌シ當分ノ内特ニ認許セラル、コトニ相成居候處今ヤ畜産ノ業逐年勃興ノ機運ニ向ヒ該則發布ノ當時ニ於ケル状態トハ大ニ趣ヲ異ニスルモソアルノミナラス獸醫ノ學蹄鐵ノ術亦著シク進歩シ各種病原菌ノ開明ハ勿論瘟疫ニ對スル數多ノ診斷液並ニ豫防血清ノ發明及應用蹄鐵學ノ研究等舊時ニ比シ固ヨリ同一ノ論ニアラサルカ爲自然獸醫蹄鐵工ノ程度モ之ニ伴ヒ稍高メサルヲ得サル場合ニ會シ居リ候ニモ不拘兎角假免許出願者中ニハ頗ル不完全ナル履歷ヲ有シ斯業ノ進歩ニ隨伴セサルモノ少ナカラサル有様ニシテ